

栃木県埋蔵文化財調査報告第319集

森後遺跡 I

—緊急地方道路整備事業一般国道293号鹿子畠バイパスに伴う埋蔵文化財発掘調査—

2009.3

栃木県教育委員会
(財)とちぎ生涯学習文化財団

もりうら
森後遺跡 I

—緊急地方道路整備事業一般国道 293 号鹿子畠バイパスに伴う埋蔵文化財発掘調査—

2009.3

栃木県教育委員会
(財)とちぎ生涯学習文化財団



森後遺跡遠景（南上空より）



調査区中央掘立柱建物群全景（南上空より）

序

森後遺跡は、栃木県中央東部のさくら市（旧喜連川町）鹿子畠地内に所在します。旧喜連川町は、喜連川丘陵の山間を荒川・内川・江川などの水流豊かな河川が流れる、自然環境に恵まれた地域です。その肥沃な土地に、多くの遺跡が存在しています。

このたび、一般国道 293 号鹿子畠バイパス整備事業に先立ち、計画地内に所在する遺跡の取り扱いについて、関係機関と協議の上、記録保存を目的とした発掘調査を実施いたしました。

発掘調査では、竪穴住居跡や大型の掘立柱建物跡などを多数確認し、本地域の歴史を理解するためには欠くことのできない資料を得ることができました。本報告書は、森後遺跡の一般国道 293 号鹿子畠バイパス調査区の調査成果をまとめたものです。本書が、県民の皆様にとって郷土の歴史を理解する一助になるとともに、各方面において広くご活用いただければ幸いです。

最後になりましたが、発掘調査から報告書作成に至るまで、多大なるご協力をいただきましたさくら市教育委員会、栃木県県土整備部をはじめとする関係機関、並びに関係各位に対しまして、厚くお礼申し上げます。

平成 21 年 3 月

栃木県教育委員会

教育長 須藤 稔

例　　言

1. 本書は、栃木県さくら市鹿子畠に所在する森後遺跡の発掘調査報告書の卷次Ⅰである。
2. 発掘調査は、緊急地方道路整備事業一般国道293号鹿子畠バイパスに伴う事前調査である。
3. 調査は、栃木県県土整備部の委託事業であり、栃木県教育委員会事務局文化財課の指導により、財団法人とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センターが実施したものである。
4. 調査は、栃木県農政部による江川南部Ⅰ地区における県営圃場整備事業に伴う発掘調査（経営体育成基盤整備事業江川南部Ⅰ地区における埋蔵文化財発掘調査）と同時期に実施しており、農政部の調査区を便宜上1～5区とし、県土整備部の調査区を6区としている。
5. 本遺跡の調査及び整理報告期間は以下の通りである。

調査	平成19年4月2日～平成19年10月31日
	平成20年1月7日～平成20年1月31日
整理作業・報告書作成	平成19年10月1日～平成20年3月28日
	平成20年6月2日～平成21年3月27日

6. 発掘調査は、財団法人とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター調査部長川原由典の下、以下の職員が担当している。

調査部調査第一担当　副主幹　藤田典夫　係長　塙本師也　主任　板橋正幸
主任　藤田直也　嘱託調査員　鈴木芳英

7. 本書の執筆・編集及び遺物整理・実測・図面作成・写真図版の作成は、調査部資料整理担当　主任　板橋正幸・同嘱託調査員　鈴木芳英が担当した。

8. 発掘調査における航空写真撮影・測量は、中央航業株式会社に委託している。

9. 遺構の写真は発掘担当者が撮影し、遺物の写真は日立レフテクノ株式会社に委託している。

10. 発掘調査から整理報告に至るまで、次の諸機関・諸氏からの御指導・御協力を賜っている。記して謝意を表したい（敬省略）。

さくら市教育委員会、さくら市市史編さん委員会、栃木県県土整備部、栃木県農政部、
栃木県塩谷農業振興事務所、栃木県矢板土木事務所、那須烏山市教育委員会
渥美賢吾、池田真規、上野修一、海老原郁雄、江守浩史、大嶽浩良、大橋泰夫、木下実、木元拳周、
木本雅康、小竹弘則、小林大二、齊藤弘、眞保昌弘、鈴木勝、高橋清司、竹澤謙、常川秀夫、中村信博、
橋本澄朗、塙静夫、伴克一郎、山中敏史

11. 発掘調査に従事した作業員は次の通りである。

相ヶ瀬征美、相田タミ、阿久津ヒロ、天羽國廣、荒井和子、荒井サヨ子、石井サキ子、石原昭子、磯順子、
植松千晶、碓井ヒロ子、大金俊夫、大島静江、大塚トヨイ、大塚照子、大貫宮子、大輪カヨ、岡鮎子、
岡敏夫、岡美純、岡田節子、小川征男、小野幸夫、加藤達雄、加藤レイ子、軽部孝雄、川上保乃、
久郷ヨシエ、久郷好子、桑原恵美子、古口博子、児島哲子、小島利三、小林春英、小林守栄、小堀紘夫、
小森英二、齊藤和子、酒井美幸、佐藤強、佐藤美子、塙田治男、品川秀子、島村洋子、鈴木一男、
鈴木史子、鈴木秀之、鈴木ヤエ、墨野倉弘美、五月女昌弘、高木光男、高瀬キミ子、高野清志、
高橋恭子、高林稔子、滝則子、田口春江、田所清一、田中キミエ、手塙光子、豊田裕美子、中澤章、
長島詮、中村洋一郎、中山殷、仁木宏枝、西田陽子、野澤佐季子、橋本洋、羽石明美、羽田高、樋山稔、
平野善孝、藤田斌久、船山英雄、古屋ミサ子、増田早苗、溝上吉博、三ツ木一、三ツ木光江、皆川晶、

村上勝久、諸沢良和、横田栄、横田シナ、横田リサ子、吉河賢次、吉澤ひとみ、若色光、若松幸雄、渡辺久仁子、渡辺圭子、渡辺剛、渡辺ヒロ子

12. 整理報告作業に従事した補助員は次の通りである。

杵渕佳代子、桑川江美子、鈴木実花、長道子、中山真理、芳賀美津子、本多佳子、宗形純一、渡邊貞

13. 本遺跡の出土品・資料類は、財団法人とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センターに保管している。

14. 本遺跡における概要は、年報等で一部公表されているが、本書をもって正報告とする。

凡 例

1. 森後遺跡の名称は、S R - MUである。

2. 遺構の表示は、遺構の種類により次のように示している。

S A (掘立柱塀)、S B (掘立柱建物)、S D (溝)、S E (井戸)、S I (竪穴住居)、S K (土坑・方形竪穴遺構・小ピット)

3. 遺構番号は、発掘調査業務において遺構の種類・時期に関係なく確認した遺構から付し、調査区1～3区内の遺構には1～4000番、調査区4区では4001～5000番、調査区5区では5001～6000番・7001～9000番、調査区6区では6001～7000番を発番している。また、遺構内で建て替えや掘り直しが認められた場合は、遺構番号の後ろに古いものを「A期」、新しいものに「B期」・「C期」を付している。なお、本報告書では発掘調査時の遺構番号を踏襲しているが、発掘調査・整理作業の過程で変更・欠番になった番号もある。

4. 遺構実測図中の方位及び座標値は、全て世界測地系に基づいている。

5. 遺構実測図中の縮尺率は各図にスケールで示したが、原則として次の通りである。また、遺構全体図・配置図等は必要に応じて縮尺率を変えている。

掘立柱建物・掘立柱塀・竪穴住居・井戸・土坑・一部溝断面図：1/80

6. 遺物実測図の番号は、6区内出土遺物を全て通し番号で付している。

7. 遺物実測図の縮尺率は各図にスケールで示したが、原則として次の通りである。また、大型の遺物は必要に応じて縮尺率を変えている。

土器：1/4 金属製品：1/2 石製品・石器：1/1 一部石器：1/4

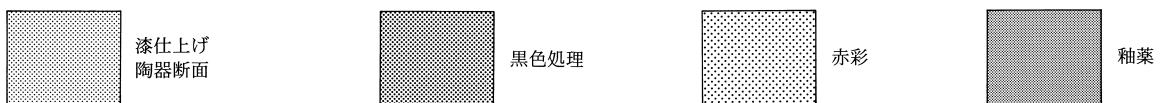
8. 遺物観察表の色調は、農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修『新版標準土色帖 2001年前期版』に従った。

9. 遺構・遺物実測図中に示したスクリーントーンは、以下の通りである。

遺構



遺物



目 次

序

例言・凡例 i・ii

目次・挿図目次・表目次・巻首図版目次・写真図版目次 iii～vi

第I章 調査の経緯

第1節 調査に至る経緯 1

第2節 調査の経過 1

第3節 調査の方法 2

第II章 遺跡の環境

第1節 地理的環境 4

第2節 歴史的環境 5

第III章 遺構本文

第1節 遺跡の概要 12

第2節 溝 12

第3節 掘立柱建物・掘立柱塀 14

第4節 壁穴住居 24

第5節 土坑 32

第6節 井戸 33

第IV章 遺構図版 35

第V章 出土遺物図版 82

第VI章 まとめ

第1節 遺構の変遷 96

第2節 銅製帶金具について 98

第3節 まとめ 99

挿図目次

第1図 一般国道293号鹿子畠バイパス路線図 1

第2図 グリッド配置図 3

第3図 栃木県の地形図 4

第4図 周辺の遺跡 6

第5図 森後遺跡6区遺構配置図 35・36

第6図 SD-4007・6001・6167・1400・6530・6520・6527実測図 37

第7図 SB-5043・5044A・B期・5045A・B期実測図 38

第8図 SB-5046A・B期・6150A・B期実測図 39・40

第9図 SB-6160・6170実測図 41・42

第10図 SB-6160・6170土層説明(1) 43

第11図 SB-6160・6170土層説明(2) 44

第12図 SB-5042A・B期・6200・SA-6469・6470・SD-6455実測図(1) 45・46

第13図 SB-5042A・B期・6200・SA-6469・6470・SD-6455実測図(2) 47

第14図 SB-5042A・B期・6200・SA-6469・6470・SD-6455実測図(3),土層説明(1) 48

第15図 SB-5042A・B期・6200・SA-6469・6470・SD-6455土層説明(2) 49

第16図 SB-5042A・B期・6200・SA-6469・6470・SD-6455土層説明(3) 50

第17図 SB-5042A・B期・6200・SA-6469・6470・SD-6455土層説明(4),SB-6300実測図 51

第18図 SB-6029実測図 52

第19図	SB-6083・6084実測図	53
第20図	SB-4165実測図	54
第21図	SB-6340・6350A・B期・6510A・B期・6515・SA-6525実測図(1)	55・56
第22図	SB-6340・6350A・B期・6510A・B期・6515・SA-6525実測図(2)	57
第23図	SB-6340・6350A・B期・6510A・B期・6515・SA-6525実測図(3)	58
第24図	SB-6340・6350A・B期・6510A・B期・6515・SA-6525土層説明(1)	59
第25図	SB-6340・6350A・B期・6510A・B期・6515・SA-6525土層説明(2)	60
第26図	SB-6340・6350A・B期・6510A・B期・6515・SA-6525土層説明(3)	61
第27図	SB-6340・6350A・B期・6510A・B期・6515・SA-6525土層説明(4)	62
第28図	SB-6532・6533実測図	63
第29図	SI-5033・6009実測図	64
第30図	SI-6034・6051実測図	65
第31図	SI-6147・6178実測図	66
第32図	SI-6190・6192実測図	67
第33図	SI-6235実測図	68
第34図	SI-6280実測図	69
第35図	SI-6280土層説明	70
第36図	SI-6322・6341・6342実測図	71
第37図	SI-6330実測図	72
第38図	SI-6330土層説明, SI-6528実測図	73
第39図	土坑実測図(1)	74
第40図	土坑実測図(2)	75
第41図	土坑実測図(3)	76
第42図	土坑実測図(4)	77
第43図	土坑実測図(5)	78
第44図	土坑実測図(6)	79
第45図	土坑土層説明(1)	80
第46図	土坑土層説明(2), SE-6113・7396実測図	81
第47図	出土遺物(1) SB-6200(1)・6350(2~4)・6510(5)・SI-5033(6~9)・6034(10・11)・6147(12・13)・6178(14~16)	82
第48図	出土遺物(2) SI-6192(17)・6235(18~29)・6280(30~47)	83
第49図	出土遺物(3) SI-6280(48~52)・6322(53~57)・6330(58~66)	84
第50図	出土遺物(4) SI-6330(67~85)	85
第51図	出土遺物(5) SI-6341(86~93)・6528(94)・SE-6113(95・96)・SK-6040(97)・6177(98)・6531(99・100)・SD-1400(101)・4007(102)・4011(103)	86
第52図	出土遺物(6) SD-6001(104~111)・6236(112~114)・6530(115~117)・遺構外(118~121)	87
第53図	出土遺物(7) 石製品 玉(122)・白玉(123), 石器 打製石斧(124)・石鎌(125)・有舌尖頭器(126), 鉄製品 刀子(127)・鎌(128)・釘(129), 銅製品 帯金具(130)	88
第54図	森後遺跡6区 遺構変遷図	97
第55図	木葉形(矢羽根形)帶金具(鈎尾)の類例	99

表目次

第1表	森後遺跡周辺の遺跡	9~11
第2表	掘立柱建物・掘立柱塀一覧表	23~24
第3表	土坑一覧表	32~33
第4表	出土遺物観察表	89~95

卷首図版目次

森後遺跡遠景(南上空より) 調査区中央掘立柱建物群全景(南上空より)

写真図版目次

図版一	森後遺跡航空写真	
	森後遺跡全景(東上空より) 6区調査区中央部・西半部全景(南上空より)	
図版二	森後遺跡(六区)遺構写真	
	6区調査区中央部掘立柱建物群全景(東上空より) SB-5043・5044A・B期・5045A・B期掘方完掘全景(東より)	
図版三	森後遺跡(六区)遺構写真	
	SB-5043・5044A・B期・5045A・B期掘方完掘全景(南より)	
	SB-5043・5044A・B期・5045A・B期北西隅柱土層断面(南より)	

	SB-5043・5044A・B期・5045A・B期北東隅柱土層断面(南より) SB-5046A・B期・6150A・B期全景(北西より) SB-5046A・B期・6150A・B期掘方完掘全景(西より) SB-5046A・B期北西隅柱土層断面(北より) SB-6150A・B期北西隅柱土層断面(東より) SB-6150A・B期北妻柱列棟持柱土層断面(東より)
図版四	森後遺跡(六区)遺構写真 SB-6160・6170全景(東より) SB-6160北西隅柱土層断面(南西より) SB-6160北側柱列東第10柱土層断面(東より) SB-6160間仕切り柱列南柱土層断面(東より) SB-6160・6170南側柱列東第7柱土層断面(東より) SB-6160・6170北側柱列東第8柱土層断面(南東より) SB-6170北西隅柱土層断面(南より) SB-6170間仕切り柱列東第3柱土層断面(東より)
図版五	森後遺跡(六区)遺構写真 SB-6200掘方完掘全景(東より) SB-6200掘方完掘全景(東より)
図版六	森後遺跡(六区)遺構写真 SB-6200南側柱列東第2柱土層断面(東より) SB-6200南側柱列東第10柱土層断面(南より) SB-6200北側柱列東第8柱土層断面(東より) SB-6200西妻柱列棟持柱土層断面(南より) SB-6200南西隅柱土層断面(南東より) SB-6200北西隅柱土層断面(南東より) SB-6200南側張り出し南第2列東第2柱土層断面(南東より) SB-6200南側張り出し南第1列東第2柱土層断面(東より)
図版七	森後遺跡(六区)遺構写真 SB-6200北側縁柱列東第5柱土層断面(東より) SB-6200東第4床東柱土層断面(東より) SB-6200南側柱列東第9柱・SB-5042A・B期北妻柱列棟持柱土層断面(南東より) SB-6200南西隅柱・SB-5042A・B期北西隅柱土層断面(南東より) SB-5042A・B期北西隅柱土層断面(東より) SA-6469東第2柱・SD-6455土層断面(東より) SA-6470東第1柱土層断面(東より) SA-6470東第2柱・SD-6455土層断面(南東より)
図版八	森後遺跡(六区)遺構写真 SB-6029全景(東より) SB-6029掘方完掘全景(東より) SB-6029南東隅柱土層断面(南より) SB-6029南妻柱列棟持柱土層断面(南西より) SB-6083掘方完掘全景(東より) SB-6083南柱列東第2柱土層断面(南より) SB-6084掘方完掘全景(東より) SB-6084北東隅柱土層断面(東より)
図版九	森後遺跡(六区)遺構写真 SB-4165全景(東より) SB-4165掘方完掘全景(南より) SB-4165北西隅柱土層断面(南より) SB-4165東柱列中央柱土層断面(南より)
図版十	森後遺跡(六区)遺構写真 SB-6340・6350A・B期・6510A・B期・6515・SA-6525掘方完掘全景(南東より) SB-6340掘方完掘全景(東より) SB-6340北東隅柱土層断面(南東より) SB-6340南東隅柱土層断面(東より) SB-6340南側柱列東第5柱土層断面(南より) SB-6510A・B期掘方完掘全景(東より) SB-6510A・B期北側柱列東第3柱土層断面(南より) SB-6510A・B期北東隅柱土層断面(南より) SB-6510A・B期棟持柱列東第4柱・SB-6350B期南東隅柱土層断面(南より)
図版十一	森後遺跡(六区)遺構写真 SB-6350A期北半部掘方完掘全景(北より) SB-6350B期掘方完掘全景(北より) SB-6350A期東側柱列北第2柱土層断面(東より) SB-6350B期西側柱列北第7柱土層断面(南より) SB-6350A期西側柱列北第4柱・B期東側柱列北第4柱土層断面(南より) SB-6350A期北西隅柱・B期北東隅柱土層断面(南より) SB-6515掘方完掘全景(南より) SA-6525北第1柱土層断面(南より)
図版十二	森後遺跡(六区)遺構写真 SI-5033完掘全景(南より) SI-5033竪断ち割り土層断面(西より) SI-6009完掘全景(東より) SI-6051完掘全景(南東より) SI-6034完掘全景(南より) SI-6034土層断面(南東より) SI-6034竪完掘全景(南より) SI-6034竪袖部断ち割り土層断面(南より)
図版十三	森後遺跡(六区)遺構写真 SI-6147竪断ち割り土層断面(南より) SI-6178完掘全景(南より) SI-6190完掘全景(南西より) SI-6190竪完掘全景(南西より) SI-6235土層断面(東より) SI-6235P2土層断面(南より) SI-6280完掘全景(南より) SI-6280竪断ち割り土層断面(南より)
図版十四	森後遺跡(六区)遺構写真 SI-6280P9土層断面(南より) SI-6280竪東側遺物出土状況(北西より) SI-6322完掘全景(南より) SI-6322P1土層断面(南より) SI-6341・6342完掘全景(西より) SI-6341竪完掘全景(北西より) SI-6528完掘全景(東より) SI-6528竪土層断面(南より)
図版十五	森後遺跡(六区)遺構写真 SI-6330完掘全景(東より) SI-6330土層断面(南東より) SI-6330竪完掘全景(南より) SI-6330竪土層断面(南東より) SD-1400土層断面(北東より) SD-1400土層断面(南より) SD-6530土層断面(西より) SD-4007土層断面(南より)

- 図版十六 森後遺跡(六区)遺構写真
SD-6001土層断面(東より) SD-6001土層断面(北東より) SE-6113土層断面(南より)
SK-6005完掘全景(南より) SK-6010土層断面(南より) SK-6011土層断面(南より)
SK-6013土層断面(南より) SK-6028土層断面(東より)
- 図版十七 森後遺跡(六区)遺構写真
SK-6030土層断面(南より) SK-6031完掘全景(南より) SK-6040完掘全景(南より)
SK-6042・6043土層断面(南より) SK-6044・6045土層断面(南より) SK-6046完掘全景(南より)
SK-6050土層断面(南より) SK-6052・6053完掘全景(南東より)
- 図版十八 森後遺跡(六区)遺構写真
SK-6107完掘全景(南より) SK-6129土層断面(南より) SK-6132完掘全景(東より)
SK-6166土層断面(南より) SK-6177土層断面(東より) SK-6187完掘全景(東より)
SK-6188・6189土層断面(南より) SK-6191完掘全景(西より)
- 図版十九 森後遺跡(六区)遺構写真
SK-6234完掘全景(南より) SK-6238・6239完掘全景(南より) SK-6241・6242・6451土層断面(東より)
SK-6243土層断面(西より) SK-6323完掘全景(東より) SK-6325土層断面(南より)
SK-6437・6438土層断面(南より) SK-6448完掘全景(東より)
- 図版二十 森後遺跡(六区)遺構写真
SK-6450土層断面(東より) SK-6456・6459・6461・6462・6473・6475・6486完掘全景(南より)
SK-6456・6459・6461・6464・6473・6475・6486完掘全景(東より) SK-6462・6463・6475土層断面(北より)
SK-6467土層断面(南より) SK-6468土層断面(南より) SK-4183土層断面(南より)
SK-4184土層断面(南より)
- 図版二十一 森後遺跡(六区)遺構写真
SK-6502・7713・7717完掘全景(東より) SK-8129完掘全景(西より) SK-8437完掘全景(西より)
SK-6513完掘全景(南より) SK-6518完掘全景(東より) SK-6519完掘全景(東より)
SK-6521土層断面(南より) SK-6522・6523完掘全景(南より)
- 図版二十二 森後遺跡(六区)遺物写真
3(SB-6350) 4(SB-6350) 6(SI-5033) 7(SI-5033) 8(SI-5033) 11(SI-6034) 13(SI-6147) 14(SI-6178)
17(SI-6192) 18(SI-6235) 20(SI-6235) 21(SI-6235) 32(SI-6280) 33(SI-6280) 36(SI-6280)
38(SI-6280) 39(SI-6280)
- 図版二十三 森後遺跡(六区)遺物写真
48(SI-6280) 49(SI-6280) 56(SI-6322) 57(SI-6322) 65(SI-6330) 66(SI-6330) 68(SI-6330)
71(SI-6330) 77(SI-6330) 86(SI-6341) 90(SI-6341)
- 図版二十四 森後遺跡(六区)遺物写真
97(SK-6040) 99(SK-6531) 100(SK-6531) 106(SD-6001) 110(SD-6001) 114(SD-6236) 118(遺構外)
121(遺構外)
- 図版二十五 森後遺跡(六区)遺物写真
122(SI-6280) 123(SI-6330) 124 125 126 127(SI-6330) 128(SI-6330) 129(SD-1400)
130(SB-6515)

第I章 調査の経緯

第1節 調査に至る経緯

一般国道 293 号は、茨城県日立市と栃木県足利市を結んだ幹線道路で、地域の交通を支える重要な路線である。このため、交通量が多く、大型車の通行も頻繁である。また、鹿子畠地区では集落を抜けていくが、歩道の幅も狭く危険な状況であった。そこで栃木県は、安全で円滑な交通を確保するために、鹿子畠集落の南側を迂回する一般国道 293 号鹿子畠バイパス（那須烏山市上川井からさくら市鹿子畠までの 0.9 km）の整備を計画し、江川南部 I 地区における圃場整備事業及び江川改修事業と一体となって実施されることとなった（第1図）。こうした状況の中で、平成 15 年度に栃木県土木部（以下「土木部」、現栃木県県土整備部）道路建設課から栃木県教育委員会事務局（以下、「県教委」）文化財課へ本事業の照会が行われ、同年「県教委」文化財課は所在調査を実施した。「県教委」文化財課は、平成 14 年度の県営圃場整備確認調査の結果と併せて、確認調査及び本調査が必要との回答を示した。さらに、平成 16 年度に、「土木部」河川砂防課の依頼を受け確認調査を行った。その後、平成 16 年度から平成 18 年度の「県教委」文化財課と「土木部」との協議の結果、平成 19 年度から記録保存を目的とした発掘調査を実施することとなった。

第2節 調査の経過

平成 19 年 4 月 2 日付け道整号外文書において、栃木県県土整備部（以下、「県土整備部」）部長より「県教委」教育長あてに「平成 19 年度埋蔵文化財の発掘調査について（依頼）」の発掘調査実施依頼があった。これを受け、平成 19 年 4 月 2 日付け文財号外文書において、「県教委」文化財課長より財団法人とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター（以下、「財団」）理事長あてに見積り依頼があり、同日付けとち埋文第 3 号文書で回答を行った。また、同日付け文財号外文書において「県教委」教育長より「財団」理事長あてに「平成 19 年度森後遺跡発掘調査の埋蔵文化財発掘調査委託契約の締結について」の実施依頼があり、同日付けとち埋文第 4 号文書において「財団」理事長より「県教委」教育長あてに契約締結の回答を行った。受託業務内容は「発掘調査・整理作業」とし、調査面積「4,300 m²」、受託期間は「平成 19 年 4 月 2 日から平成 20 年 3 月 28 日」までである。

また、平成 19 年度内に報告書刊行作業を行うこととなり、平成 19 年 7 月 2 日付け文財号外文書において、「県教委」文化財課長より「財団」理事長あてに再見積りの提出依頼があり、同日付けとち埋文第 103 号文書で回答を行った。また、同日付け文財第 202-1 号文書において「県教委」教育長より「財団」理事長あてに「平成 19 年度森後遺跡発掘調査の委託契約変更について」の変更契約依頼があり、同日付けとち埋文第 110 号



第1図 一般国道 293 号鹿子畠バイパス路線図

文書において「財団」理事長より「県教委」教育長あてに変更契約締結の回答を行った。変更契約書においての変更点は、受託業務内容が「発掘調査・整理作業・報告書作成」になったことである。

平成 19 年 11 月には、江川東側の川に架かる橋の橋脚設置工事範囲内において「県教委」文化財課による立ち会い調査が実施された。その結果、掘立柱建物など多数の遺構が確認されたことから、平成 19 年度内の調査を実施することとなった。「県土整備部」道路整備課と「県教委」文化財課との協議の結果、報告書作成を次年度の事業とし、契約額も変更しないことで調整が進められた。平成 19 年 12 月 12 日付け文財号外文書において、「県教委」文化財課長より「財団」理事長あてに第 2 回目の見積りの提出依頼があり、同日付けとち埋文第 199 号文書で回答を行った。また、平成 14 年 12 月 14 日付け文財第 431-1 号文書において「県教委」教育長より「財団」理事長あてに「平成 19 年度森後遺跡発掘調査の委託契約変更について」の変更契約依頼があり、同日付けとち埋文第 207 号文書において「財団」理事長より「県教委」教育長あてに変更契約締結の回答を行った。変更契約書においての変更点は、受託業務内容が「発掘調査・整理作業」になり、調査面積が「4,710 m²」になったことである。

平成 20 年度は、整理作業・報告書作成作業業務であり、平成 20 年 5 月 28 日付け道整号外文書において、「県土整備部」部長より「県教委」教育長あてに「平成 20 年度埋蔵文化財の発掘調査について（依頼）」の発掘調査実施依頼があった。これを受けて、平成 20 年 6 月 2 日付け文財号外文書において、「県教委」文化財課長より「財団」理事長あてに見積り依頼があり、同日付けとち埋文第 55 号文書で回答を行った。また、同日付け文財号外文書において「県教委」教育長より「財団」理事長あてに「平成 20 年度森後遺跡発掘調査の埋蔵文化財発掘調査委託契約の締結について」の実施依頼があり、同日付けとち埋文第 57 号文書において「財団」理事長より「県教委」教育長あてに契約締結の回答を行った。受託業務内容は「整理作業・報告書作成」とし、受託期間は「平成 20 年 6 月 2 日から平成 21 年 3 月 30 日」までである。

発掘調査は、平成 19 年度農政部調査区（4・5 区）の中央を横断する形で設定された調査区（6 区）を実施した。まず、平成 19 年 4 月 2 日から 10 月 31 日までの期間で、一般国道 293 号バイパスの路線となる部分の調査を行った。平成 19 年 9 月 30 日には、栃木県民を対象とした「森後遺跡発掘調査現地説明会」を実施し、150 名の参加者があった。次いで、平成 20 年 1 月 7 日から 1 月 31 日の期間において、江川に架かる橋の橋脚設置工事部分の追加調査を実施した。発掘調査は、平成 20 年 1 月 31 日で終了した。

整理・報告書作成作業は、平成 19 年 10 月 1 日から開始し、遺物実測作業、遺物トレース作業、遺構図修正作業、遺構図トレース作業、遺跡全体図作成、遺物観察表作成、原稿執筆、遺構・遺物の挿図版作成、遺物写真撮影、遺構図トレース作業、写真図版作成、編集、校正等を行った。

本報告書は平成 21 年 3 月 27 日に刊行し、全ての業務は平成 21 年 3 月 30 日に終了となる。

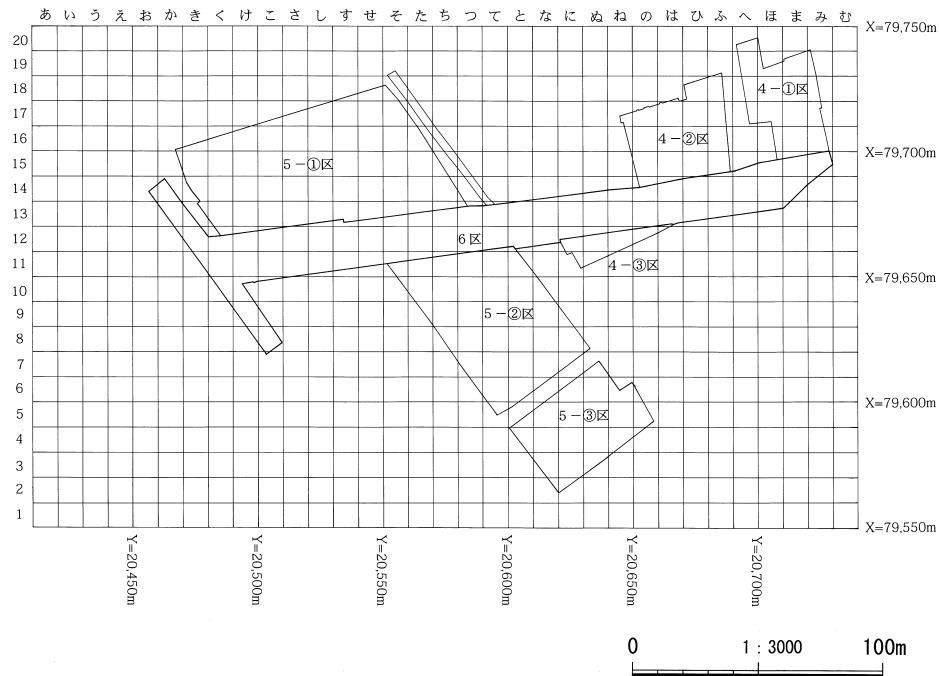
第3節 調査の方法

発掘調査（第 2 図）

調査区のグリッドは、平成 17 年度から実施した農政部の調査区（1～3 区）において設定されており、県土整備部の調査区（6 区）もそれを踏襲している。調査区を世界測地系に基づいて、東西 10 m × 南北 10 m のグリッドを設定した。調査区の南西端である X 座標 79,550m・Y 座標 20,410m を基点として、東西軸は西からひらがなの「あ」～「ん」、南北軸は南から算用数字の「1」～「43」を用いた。よって、各グリッドの名称は、グリッドの南西座標を用いており、基点である南西端のグリッド名は「あ-1」であり、北西端のグリッド名は「あ-43」グリッドとなり、南東端のグリッド名は「ん-1」グリッドとなる。このグリッ

ド名は、発掘調査時における遺物取り上げにも使用している。

遺構番号は、発掘調査業務において遺構の種類・時期に関係なく、調査年度順（平成17年度農政部調査区1～3区から）に確認した遺構から付している。また、本報告書では発掘調査時の遺構番号を踏襲しているが、発掘調査・整理作業の過程で変更・欠番になった番号もある。



第2図 グリッド配置図

整理作業・報告書作成

整理作業の内、遺物については水洗、注記、接合・復元、実測、実測図トレース、挿図版作成の順番で行った。遺構については、図面修正、第2原図作成、遺構図面トレース、挿図版作成の順番で行った。報告書作成は、遺物観察表作成、原稿執筆等を行った。

以上の作業の後、遺物・遺構図版挿図、遺物・遺構写真、原稿の全体割付を行い、校正を含めた製本・印刷作業を実施し本報告書を作成した。

第Ⅱ章 遺跡の環境

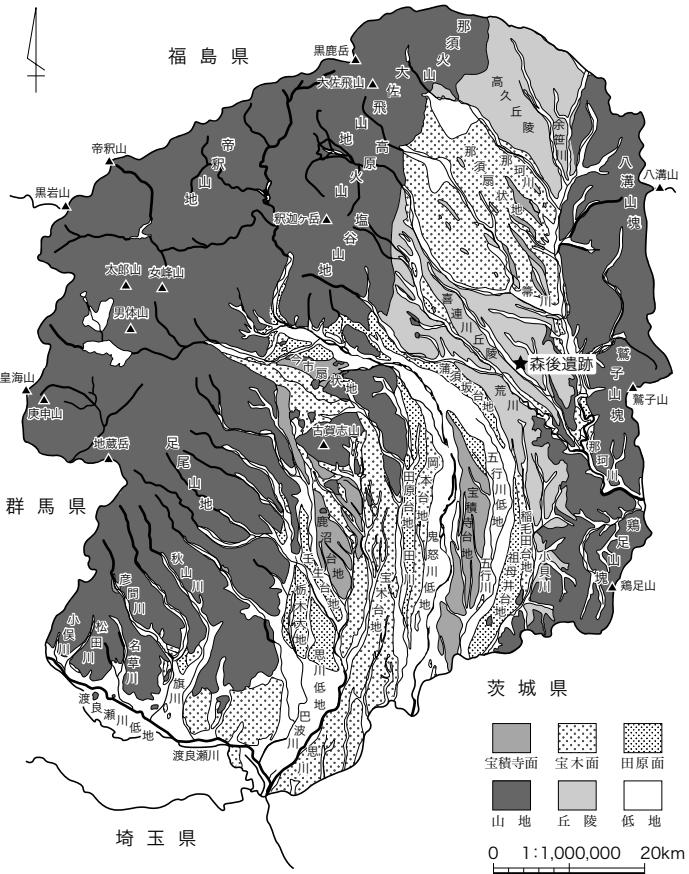
第1節 地理的環境（第3図）

栃木県は、関東平野の北部に位置し、北に福島県、南に埼玉県、西に群馬県、東に茨城県と接している内陸県である。県域の三方には山地が連なり、地形別に東部山地・西部山地・中央部平地の地形区に大別することができる。

東部山地は、福島県・茨城県との県境を南北に連なり、北部から八溝山塊・鷺子山塊・鶴足山塊に分かれ、八溝山地とも呼ばれる。西部山地は、三地形区の最大面積を有し、福島県・茨城県との県境を北東から南東に向かい連なっている。那須・高原・日光・白根の火山、北西部の帝釈・大佐飛・塩谷の三山地、南西部の足尾山地・古賀志山山地・今市盆地に区分できる。中央部平地は、上記の山地に挟まれた平地であり、高久丘陵・那須野が原・喜連川丘陵・県中央部の台地・低地に区分できる。

森後遺跡は、さくら市（旧喜連川町）鹿子畠地内に所在する。旧喜連川町は、栃木県のほぼ中央東部、宇都宮市の北東約25kmに位置する。地形的には、中央部平地の東側を占める喜連川丘陵のほぼ中央に位置する。喜連川丘陵は塩那丘陵とも呼ばれ、北西方向から南東方向に延びている。標高は南に向かって低くなっている。旧喜連川町内での標高は約200mである。丘陵の頂上には、平坦な部分が連続している。丘陵内を、那珂川水系に属する荒川・内川・江川・岩川が北西から南東方向に流れ、両岸にはそれらの河川によって開拓された小規模な河岸段丘が形成されている。

本遺跡は、喜連川丘陵内を流れる江川左岸の低位河岸段丘上に立地している。



第3図 栃木県の地形図

参考文献

喜連川町史編さん委員会 2003『喜連川町史 第1巻 資料編I 考古』喜連川町

栃木県企画部資源対策課 1991『土地分類基本調査 喜連川・大子』

第2節 歴史的環境（第4図、第1表）

森後遺跡（1）が所在するさくら市の旧喜連川町域では、旧石器時代から中・近世までの多くの遺跡が確認されている。特に縄文時代の遺跡の豊富さは周知されている所である。ここでは、森後遺跡に関連する古墳時代前期から中世についての周辺遺跡を概観する。また、森後遺跡が所在するさくら市東部域（旧喜連川町）を中心として、那珂川町西部域（旧小川町）及び那須烏山市西部域（旧南那須町）の遺跡を併せて概観することとした。

古墳時代前期

森後遺跡の西側を南流する江川の流域では、江川左岸丘陵上に前方後方墳の可能性も指摘される高山古墳（2）が所在する。森後遺跡からは、東方0.5kmと近接しており関連性が推測される。また、江川右岸の上金枝II・III遺跡（25）では、堅穴住居が2軒確認されており、小規模な集落が展開していると考えられる。この他のさくら市域内の集落としては、江川左岸に軍沢遺跡（23）、岩川左岸に萱場遺跡（27）、荒川左岸の広島遺跡（29）、大日下I遺跡（32）が確認されている。一方、那珂川町域の那珂川流域では、この時期における県内でも有数の古墳密集地域である。特に、前方後方墳と方墳で古墳群が形成される特徴を有する。那珂川と那珂川支流の権津川合流地点では、前方後方墳である駒形大塚古墳（88）、及び前方後方墳の吉田温泉神社古墳と20基の方墳からなる吉田温泉神社古墳群（92）、前方後方墳の那須八幡塚古墳と方墳の吉田富士山古墳からなる那須八幡塚古墳群（93）が相次いで造営される。さらに、三輪仲町遺跡（98）においても方墳が8基確認されている。

古墳時代中期

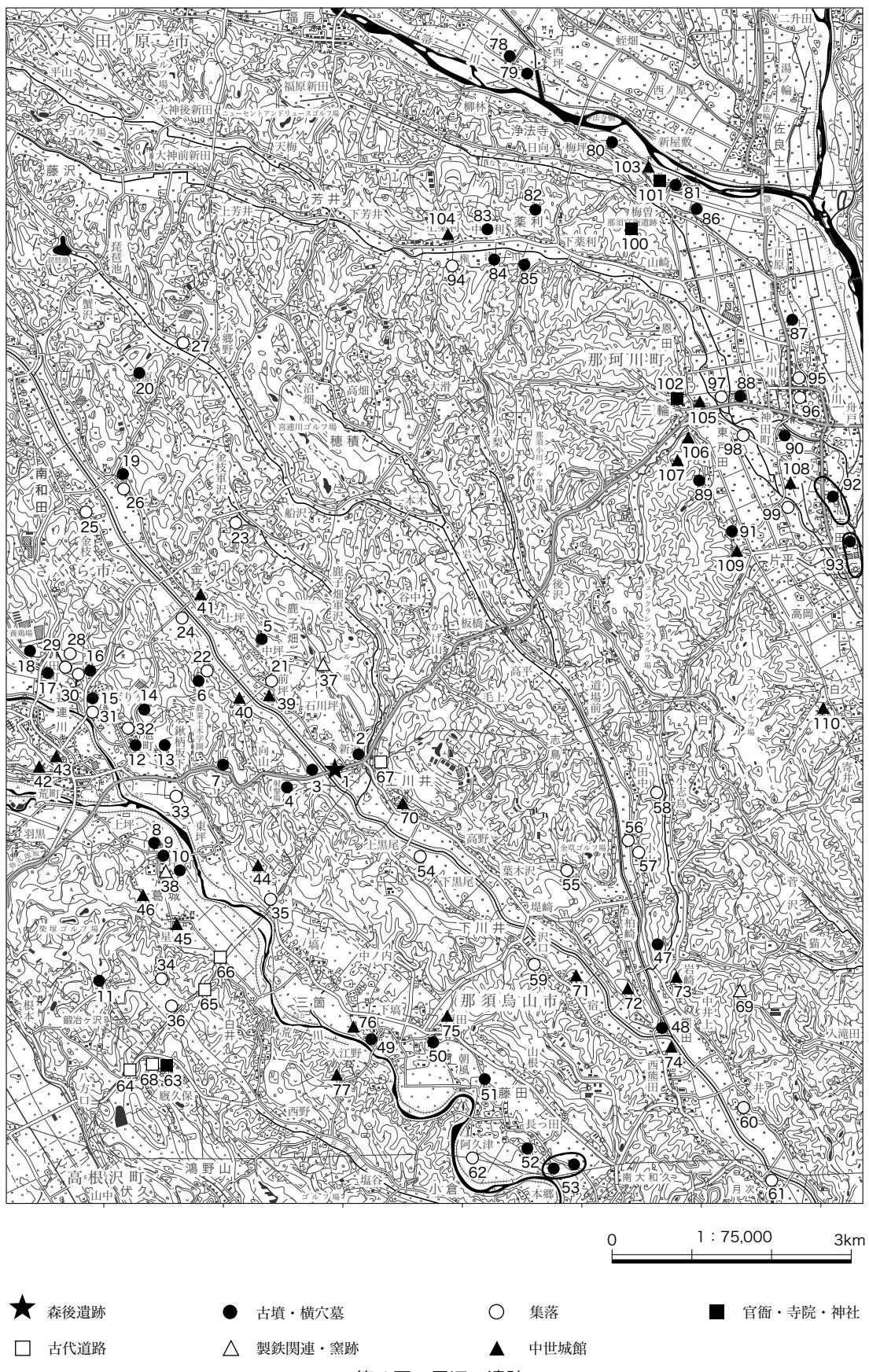
この時期の遺跡は極端に少ない。江川流域では、百姓原遺跡（26）と黒尾原A遺跡（54）において、集落に関連すると推測される土坑や溝が確認されているに過ぎない。

古墳時代後期・終末期

この時期には、中期とは対照的に喜連川丘陵上に多くの古墳が造営され、荒川・江川流域には多くの集落が営まわれる。また、終末期には喜連川丘陵断崖に横穴墓が多く造られており、県内でも屈指の横穴墓密集地域である。

当概期の古墳としては、次の遺跡が確認されている。江川流域には石関平古墳群（3）、古屋敷古墳群（6）、東山古墳（20）が所在し、特に石関平古墳群は森後遺跡に近接し、江川を挟んで対岸に位置する。荒川流域のさくら市域では、畠中古墳（10）、大日下古墳群（12）、大日山古墳群（14）、行人塚古墳（15）、田町古墳（17）、夜打内古墳群（18）が所在し、那須烏山市域では、戸田古墳群（50）、久保前古墳（52）、大和久古墳群（53）が所在している。那珂川・篠川流域では、蛭田富士山古墳群（79）、新屋敷古墳（80）、荒屋古墳（82）、梅曾大塚古墳（86）、首長原古墳（90）が造営されている。横穴墓は、さくら市域の荒川流域には、総数35基を数える葛城横穴墓群（8）が造られている。下流の那須烏山市域では、古館横穴墓群（49）が造営されている。那須烏山市の江川と岩川の合流地点付近には、小志鳥横穴墓群（47）と山崎横穴墓群（48）が造られている。那珂川・権津川流域では、観音堂横穴墓群（81）や岩谷内横穴墓群（91）が造営されている。

この時期、多くの集落が形成され始め、その殆どが奈良・平安時代まで継続していく。さくら市域の江川流域には、小鍋内遺跡（22）、山の神遺跡（24）、百姓原遺跡（26）が形成される。那須烏山市域では、江川・岩川流域に黒尾原A遺跡（54）、金草遺跡（55）、鳥の子沢遺跡（58）、宮前遺跡（59）、後俵遺跡（60）、町田遺跡（61）が営まわれる。荒川流域では、さくら市域の大日下I遺跡（32）、三角遺跡（33）、星の宮I遺跡（34）が、那須烏山市域では三百目遺跡（62）が概期の遺跡と確認されている。那珂川・権津川流域では、



第4図 周辺の遺跡

概期以降の大規模集落である三輪仲町遺跡（98）や藤柄遺跡（94）が形成される。

奈良・平安時代

下野国は、『和名類聚抄』によると、足利郡・梁田郡・安蘇郡・都賀郡・寒川郡・河内郡・芳賀郡・塩屋郡・那須郡の九郡ありと記されている。森後遺跡が所在するさくら市（旧喜連川町）は、荒川以東が那須郡、以西が塩屋郡と推測される（荒川と内川の合流点以北は内川が境界か）。ただ、森後遺跡の南方に川井（那須烏山市上川井・下川井）という地名が残っている事から、森後遺跡周辺を塩屋郡河會郷に比定する考え方もある。

律令国家による地方支配の拠点として、各地に官衙が設置され、国の行政施設としては国府が置かれる。下野国府は都賀郡に設置され、発掘調査によって栃木市田村町に所在することが明らかになっている。各郡には郡衙（郡家）が置かれ、那須郡衙は那珂川町（旧小川町）所在の那須官衙遺跡（100）である。森後遺跡の南西約4.5kmには長者ヶ平遺跡（63）が位置する。平成13年度～平成17年度の発掘調査によって、「コの字」型配置の政庁や多くの倉庫で構成される倉院などが確認され、長者ヶ平遺跡が官衙遺跡と判明した。この官衙は、古代の芳賀郡に属していることから、「芳賀郡衙出先機関」や「芳賀郡内に置かれた東山道駅路の新田駅家」、または「芳賀郡衙出先機関と新田駅家を複合した官衙施設」と想定されている。官衙の整備に相前後して郡寺も設置され、那須郡では那須官衙遺跡の北約400mに淨法寺廃寺跡（101）が置かれた。また、那須官衙遺跡の南方約3kmには延喜式内社の三和神社（102）が設置されている。さらに、那須官衙遺跡周辺からは、那須郡衙に関連する施設も確認されている。上宿遺跡（95）からは、備品台帳の草案を記したと推測される漆紙文書が出土しており、漆関連の工房跡と推測されている。上の台遺跡（96）からは、赤色顔料工房跡が確認されている。駒形6号墳周辺遺跡（97）からは、平安時代の堅穴住居から「南曹司」と書かれた墨書き土器が出土しており、官衙関連施設の存在も示唆できる。

国家体制が整うと、全国的な道路網（官道）が整備され、下野国には東山道（駅路）が作道される。さくら市と那須烏山市境には將軍道と呼ばれる古道が残り、昭和63年度栃木県教育委員会により厩久保遺跡（64）の発掘調査が行われ、この古道が東山道の可能性が高い事が判明している。この將軍道は保存状況がよく、平成15年度～平成18年度に長者ヶ平遺跡と併せた史跡整備事業のための発掘調査が那須烏山市教育委員会により実施された。厩久保遺跡（64）・助治久保遺跡（65）・清水畠遺跡（66）の三遺跡において、7地点の調査が行われた。また、森後遺跡の東方約0.5kmに位置する新道平遺跡（67）や那須官衙遺跡（100）においても、東山道の可能性が高い道路遺構が確認されている。森後遺跡の発掘調査では、東山道と推測される道路遺構は確認出来なかったことから、東山道は森後遺跡の南方を通過していたと考えられる。さらに、東山道以外の道路遺構も確認されている。長者ヶ平遺跡の西隣を南北に通る通称タツ街道（68）は、発掘調査の結果、古代まで遡る道路遺構と判明し、長者ヶ平遺跡の北側で東山道と交差する事も明らかになった。芳賀郡衙と塩屋郡衙を結ぶ、郡衙間連絡道（伝路）の可能性も考えられる。

8世紀には那須郡においても窯業生産が開始され、8世紀後葉には喜連川丘陵上にも須恵器窯の中山窯跡（那須烏山市中山）が作られ、9世紀前半には銭神窯跡群（69）に受け継がれる。また、那須郡では古代から中世にかけて製鉄が盛んに行われており、製鉄関連遺跡も多く確認されている。大多坊遺跡（37）や畠中遺跡（38）からは、鉄滓が表採されており、製鉄遺跡の分布範囲が西に広がる可能性が示唆できる。

奈良時代（8世紀）の集落は、古墳時代後期に形成された集落が継続して営まわれている。江川流域には小鍋内遺跡（22）、山の神遺跡（24）、百姓原遺跡（26）、黒尾原A遺跡（54）、宮前遺跡（59）、後俵遺跡（60）が、荒川流域には星の宮I遺跡（34）、三百目遺跡（62）が、那珂川支流権津川流域には三輪仲町遺跡（98）が、古墳時代後期からの継続集落である。新たに形成されたと推測される集落としては、荒川・内川流域に大沼

臺遺跡（30）、行人塚Ⅰ遺跡（31）が形成される。大沼臺遺跡からは、瓦塔が出土しており集落内の仏堂の存在も示唆できる。また、整備された東山道沿線にも新たに將軍道Ⅰ遺跡（35）や外山Ⅰ遺跡（36）等の集落が形成される。東山道に関連した集落と考えられる。平安時代（9世紀以降）になると、律令制下の集落は解体傾向にあり、丘陵上や沖積地への小規模集落（散居的集落）が形成される。切上遺跡（21）、上金枝Ⅱ遺跡（25）、田町Ⅱ北遺跡（28）、古沢遺跡（57）からは、少數の竪穴住居が確認されている。

中世

森後遺跡が所在する鹿子畠・金枝地区には、那須氏の支配する地として、鹿子畠館跡（39）、古屋敷遺跡（40）、金枝城跡（41）が築かれ、江川以西を領地としていた宇都宮氏一族の塩谷氏と対峙していた。荒川両岸には、塩谷氏の城館として、喜連川城跡（42）、喜連川館跡（43）、中畠Ⅰ遺跡（44）、葛城城跡（45）、葛城竜貝城跡（46）が築城された。また、那須烏山市の荒川や那珂川町の那珂川・権津川流域の崖線には、那須氏一族の居城として多くの城館が築かれた（70～77、103～110）。また、江川流域の山の神Ⅱ遺跡（24）、上金枝Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ遺跡（25）、黒尾原A遺跡（54）、岩川流域の古沢遺跡（57）、権津川流域の三輪仲町遺跡（98）からは、中世以降の溝や墓穴・竪穴遺構などが確認されている。森後遺跡5区（農政部調査区）で確認した溝による方形区画は、中世の館もしくは宗教的な施設の可能性も考慮に入れなければならないだろう。

参考文献

- 宇都宮市教育委員会 2005 『栃木の城シリーズ① 宇都宮氏一族の城』 とびやま歴史体験館第1回企画展
- 小川町教育委員会 1985 『小川町遺跡分布調査報告書』
- 小川町教育委員会 1991 『増補改訂 小川町の遺跡』
- 小川町教育委員会 1997 『栃木県小川町 三輪仲町遺跡』 小川町埋蔵文化財調査報告第11冊
- 小川町教育委員会 1999 『那須吉田新宿古墳群』 小川町埋蔵文化財調査報告第12冊
- 喜連川町史編さん委員会 2003 『喜連川町史 第1巻 資料編I 考古』 喜連川町
- 喜連川町教育委員会 1990 『栃木県喜連川町 田町Ⅱ北遺跡』
- (財) とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター 2007 『埋蔵文化財センター年報』 第17号 (平成19年度版)
- (財) とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター 2008 『埋蔵文化財センター年報』 第18号 (平成20年度版)
- (財) 栃木県文化振興事業団 1983 『栃木県の中世城館跡』
- 栃木県教育委員会 1997 『栃木県埋蔵文化財地図』
- 栃木県教育委員会 2004 『栃木県埋蔵文化財保護行政年報26 平成14年度(2002)』 栃木県埋蔵文化財調査報告第278集
- 栃木県教育委員会 2005 『栃木県埋蔵文化財保護行政年報27 平成15年度(2003)』 栃木県埋蔵文化財調査報告第285集
- 栃木県教育委員会 2006 『栃木県埋蔵文化財保護行政年報28 平成16年度(2004)』 栃木県埋蔵文化財調査報告第298集
- 栃木県教育委員会 2007 『栃木県埋蔵文化財保護行政年報29 平成17年度(2005)』 栃木県埋蔵文化財調査報告第306集
- 栃木県教育委員会 2008 『栃木県埋蔵文化財保護行政年報30 平成18年度(2006)』 栃木県埋蔵文化財調査報告第315集
- 栃木県教育委員会・(財) 栃木県文化振興事業団 1994 『三輪仲町遺跡』 栃木県埋蔵文化財調査報告第143集
- 栃木県教育委員会・(財) 栃木県文化振興事業団 1994 『三百目遺跡』 栃木県埋蔵文化財調査報告第146集
- 栃木県教育委員会・(財) 栃木県文化振興事業団 2000 『那須官衙関連遺跡発掘調査報告II』 栃木県埋蔵文化財調査報告第235集
- 栃木県教育委員会・(財) とちぎ生涯学習文化財団 2001 『那須官衙関連遺跡VII』 栃木県埋蔵文化財調査報告第249集
- 栃木県教育委員会・(財) とちぎ生涯学習文化財団 2007 『長者ヶ平遺跡』 栃木県埋蔵文化財調査報告第300集

栃木県教育委員会・栃木県立なす風土記の丘資料館 2005『平成17年企画展 那須与一とその時代』栃木県立なす風土記の丘資料館展示図録第14冊

栃木県教育委員会・栃木県立なす風土記の丘資料館 2006『平成18年企画展 東山道 あづまのやまのみち』栃木県立なす風土記の丘資料館展示図録第15冊

栃木県那須烏山市教育委員会 2007『東山道駅路発掘調査報告書』那須烏山市埋蔵文化財報告第1集

南那須町教育委員会 1987『大和久古墳群』

南那須町教育委員会 1991『南那須町の遺跡』南那須町文化財調査報告第6集

南那須町教育委員会 1992『古沢遺跡』南那須町文化財調査報告第8集

南那須町教育委員会 1992『銭神塚跡群』南那須町文化財調査報告第9集

南那須町教育委員会 1994『古沢遺跡(2)』南那須町文化財調査報告第11集

南那須町教育委員会 2000『黒尾原A遺跡』南那須町文化財調査報告第15集

南那須町史編さん委員会 1993『南那須町史史料編』南那須町

南那須町史編さん委員会 2000『南那須町史通史編』南那須町

橋本澄朗 1989『荒川・内川流域における古墳出現期の問題-矢板市堂山遺跡出土土器の理解を中心として-』『栃木県立博物館研究紀要第6号』栃木県立博物館

吉田東伍 1903『大日本地名辞典第六巻坂東』富山房

第1表 森後遺跡周辺の遺跡

番号	遺跡名	所在地	種別	時期	備考
1	森後遺跡	さくら市鹿子畠	集落・官衙	古墳前期～近世	本報告(国道293号鹿子畠バイパス部分)。南側の那須烏山市藤五郎遺跡と同一遺跡か。
2	高山古墳	さくら市鹿子畠	古墳	古墳	墳長約30m。前方後方墳の可能性あり。
3	石闕平古墳群	さくら市鹿子畠	古墳	古墳後期	円墳5基。
4	鍋コロバシ古墳	さくら市鹿子畠	古墳	古墳	円墳。墳長11.5m。
5	後山古墳	さくら市鹿子畠	古墳	古墳中期か	円墳。
6	古屋敷古墳群	さくら市鹿子畠	古墳	古墳後期	円墳8基。
7	外久保古墳	さくら市葛城	横穴墓	古墳	円墳。墳長約16m。
8	葛城横穴墓群	さくら市葛城	古墳	古墳後期	35基中現在確認できるのは6基。昭和28年東京大学の調査。平成14年町史編纂事業に伴う石室調査が実施。
9	阿久津古墳	さくら市葛城	古墳	古墳	円墳。墳長9m。
10	畠中古墳	さくら市葛城	古墳	古墳後期	円墳。墳長東西9.8m、南北10.2m。
11	大仏古墳	さくら市葛城	古墳	古墳	方墳。墳長約9m。近世の供養塚の可能性あり。
12	大日下古墳群	さくら市喜連川	古墳	古墳終末期(7世紀初頭)	円墳2基が喜連川高校政策時に消滅。
13	薬師山古墳	さくら市喜連川	古墳	古墳	方墳。東西15～16m、南北13～16m。
14	大日山古墳群	さくら市喜連川	古墳	古墳後期	円墳5基、近世塚4基。1号墳墳長5m。2号墳墳長6m。3号墳墳長4m。4号墳墳長4.5m。5号墳墳長5m。
15	行人塚古墳	さくら市喜連川	古墳	古墳後期	墳丘はすべて削平、横穴式石室も消失。
16	大沼臺古墳群	さくら市喜連川	古墳	古墳前期か	
17	田町古墳(鷦鷯現古墳)	さくら市喜連川	古墳	古墳終末期(7世紀初頭か)	前方後円墳。墳長53.4m。平成14年度町史編纂事業に伴う調査実施。
18	夜打内古墳群	さくら市喜連川	古墳	古墳後期	円墳2基。1号墳墳長推定15m。2号墳墳長12m。
19	愛宕山古墳	さくら市南和田	古墳	古墳	円墳。墳長7m。経塚の可能性あり。
20	東山古墳	さくら市南和田	古墳	古墳後期～終末期	円墳。墳長17.5m。
21	切上遺跡	さくら市鹿子畠	集落	奈良・平安	平成14年度県営圃場整備確認調査で奈良・平安時代の堅穴住居1軒確認。
22	小鍋内I・II遺跡	さくら市鹿子畠	集落	古墳・奈良・平安	平成15年度県営圃場整備確認調査が小鍋内I・II遺跡と欠ノ上I・II遺跡を併せて実施、古墳～奈良時代の堅穴住居5軒・土坑が確認。平成20年度本調査。
23	軍沢遺跡	さくら市金枝	集落	古墳前期	古墳時代前期の土師器壺が表採。
24	山の神II遺跡	さくら市金枝	集落	古墳後期～中世	平成19・20年度調査。平成19年度調査区内から、堅穴住居37軒(古墳時代後期2軒、奈良・平安時代35軒)、掘立柱建物7棟(奈良・平安時代1棟、中世6棟)、中世の堀跡1条・方形堅穴遺構1基が確認。

25	上金枝 I・II・III遺跡	さくら市金枝	集落	古墳前期・平安・中世・近世	平成 18 年度調査。I 遺跡(中近世の溝 8 条・井戸 7 本・土坑多数)、II 遺跡(古墳時代前期の竪穴住居 1 軒、平安時代の竪穴住居 2 軒、中近世の溝 1 条・井戸 3 本・土坑)、III 遺跡(古墳時代前期の竪穴住居 1 軒、中近世の溝 3 条・井戸 3 本・土坑)。
26	百姓原遺跡	さくら市南和田	集落	古墳・奈良・平安	平成 16 年度県営圃場整備確認調査で古墳時代中期の土坑確認。
27	萱場遺跡	さくら市穗積	集落	古墳前期	
28	田町 II 北遺跡	さくら市喜連川	集落	平安	平成 2 年度調査。平安時代の竪穴住居 1 軒。散居的集落か。
29	広島遺跡	さくら市喜連川	集落	古墳前期	
30	大沼臺遺跡(田町 II 遺跡)	さくら市喜連川	集落	奈良・平安	8 世紀から 9 世紀の大規模集落か。瓦塔の出土から仏堂の存在も示唆。
31	行人塚 I 遺跡	さくら市喜連川	集落	奈良・平安	奈良平安時代の拠点的な集落か。
32	大日下 I 遺跡	さくら市喜連川	集落	古墳前期～後期	
33	三角遺跡	さくら市葛城	集落	古墳後期	
34	星の宮 I 遺跡(内山遺跡)	さくら市葛城	集落	古墳後期～奈良・平安	
35	將軍道 I 遺跡	さくら市葛城	集落	奈良・平安	東山道駅路に関連した集落か。
36	外山 I 遺跡	さくら市葛城	集落	奈良・平安	周間に小規模遺跡群が展開。東山道駅路に関連した集落か。
37	大多坊遺跡	さくら市鹿子畠	製鉄関連遺跡	古代	
38	畠中遺跡	さくら市葛城	製鉄関連遺跡	古代	
39	鹿子畠館跡(前坪遺跡)	さくら市鹿子畠	城館	中世	土豪鹿子畠氏築城。天文 11(1542) 年廃す。
40	古屋敷遺跡	さくら市鹿子畠	城館か	古墳～奈良・平安・中世	鹿子畠館跡移転前の館跡か。
41	金枝城跡(普濟寺周辺遺跡)	さくら市金枝	城館	中世	複郭の山城。正平年間(1346～1350)、那須資藤四男隆経築城。
42	喜連川城跡(倉ヶ崎城跡、塩谷氏城跡)	さくら市喜連川	城館	中世	連郭式山城。文治 2(1186) 年、塩谷惟弘築城か。天昇 8(1590) 年廃城。喜連川塩谷氏 17 代の城。
43	喜連川館跡(足利氏館跡)	さくら市喜連川	城館	中世	近世には足利氏館跡。
44	中畠 I 遺跡	さくら市葛城	城館か	中世末	
45	葛城城跡(星ノ宮遺跡)	さくら市葛城	城館	中世	山城。長禄元(1457) 年、塩谷安房守惟延築城か。大永 4(1524) 年廃城か。
46	葛城竜貝城跡	さくら市葛城	城跡	中世	山城。
47	小志鳥横穴墓群	那須烏山市志鳥	横穴墓	古墳	41 基確認。
48	山崎横穴墓群	那須烏山市熊田	横穴墓	古墳	3 基確認。
49	古館横穴墓群	那須烏山市三箇	横穴墓	古墳	7 基確認。
50	戸田古墳群	那須烏山市三箇	古墳	古墳後期	前方後円墳 1 基(1 号墳)・円墳 2 基(2・3 号墳)。1 号墳墳長 25 m。2・3 号墳墳長 10 m 前後。
51	原後古墳群	那須烏山市藤田	古墳	古墳	円墳 3 基現存。墳長 10 m 以下。
52	久保前古墳	那須烏山市藤田	古墳	古墳後期	円墳。墳長東西 25 m・南北 27 m。
53	大和久古墳群	那須烏山市南大和久	古墳	古墳後期	昭和 34・60 年調査。寺田・原の前・林先の 3 支群に分かれ、30 基以上存在していた可能性がある。林先支群の 5 基現存。寺田支群は 7 基の円墳を調査。林先支群は前方後円墳 2 基・円墳 3 基が現存。
54	黒尾原 A 遺跡	那須烏山市上川井	集落	古墳中期～中世	平成 8 年調査。古墳時代後期の竪穴住居 2 軒・中期の溝 1 条、奈良・平安の溝 4 条、中世の土坑 2 基・溝 1 条。
55	金草遺跡	那須烏山市志鳥	集落	古墳後期	
56	宮田遺跡	那須烏山市志鳥	集落	平安	
57	古沢遺跡	那須烏山市志鳥	集落	奈良・平安・中世	平成 3・5 年調査。平安時代の竪穴住居 2 軒。中世以降の竪穴状遺構 2 基・土坑 13 基・井戸 5 本・溝 5 条。
58	鳥の子沢遺跡	那須烏山市志鳥	集落	古墳後期	
59	宮前遺跡	那須烏山市下川井	集落	古墳後期～奈良・平安	この地域の拠点集落か。
60	後俵遺跡	那須烏山市熊田	集落	古墳後期～奈良・平安	
61	町田遺跡	那須烏山市月次	集落	古墳後期	
62	三百目遺跡	那須烏山市藤田	集落	古墳後期～奈良・平安	昭和 60 年度調査。竪穴住居 9 軒、掘立柱建物 4 棟、溝 1 条。
63	長者ヶ平遺跡	那須烏山市鴻野山	官衙	奈良・平安	範囲は南北 220 m、東西 350 m 以上。5 ブロックを形成(中央・西・東・南東・北)。中央ブロックは大型掘立柱建物(正殿・脇殿)が「コ」の字型に配置(政庁)。西ブロックは総柱式掘立柱建物と礎石建物を中心とし東西方向に並列(倉院)。東ブロックにも倉庫が建てられる。南東ブロックには竪穴住居や小型掘立柱建物が建てられていた。北ブロックには特殊な楼風な建物が建てられていた。大きく 3 時期(I ・ II ・ III 期)に変遷。新田駅家と芳賀郡衙正倉別院の複合官衙か。
64	廐久保遺跡	那須烏山市鴻野山	古代道路	奈良・平安	昭和 63 年度の調査において県内で初めて東山道駅路と確認。平成 15・16 年度調査。東山道駅路。
65	助治久保遺跡	那須烏山市小白井	古代道路	奈良・平安	平成 16・17 年度調査。東山道駅路。
66	清水畠遺跡	那須烏山市小白井	古代道路	奈良・平安	平成 18 年度調査。東山道駅路。
67	新道平遺跡	那須烏山市上川井	古代道路	奈良・平安	平成 5・18～20 年度調査。東山道駅路。
68	タツ街道	那須烏山市鴻野山	古代道路	奈良～中世	平成 15・16 年度調査。芳賀郡衙と塙屋郡衙を結ぶ連絡道(伝路)か。

69	銭神窯跡群	那須烏山市熊田	須恵器窯跡群	平安	平成元年調査。4基の窯跡。
70	上川井城跡（小堀館跡）	那須烏山市上川井	城館	中世	单郭の平城。那須友家築城か。大永元（1521）年落城。
71	堀之内館跡	那須烏山市下川井	城館	中世	平地の居館。
72	下川井城跡	那須烏山市下川井	城館	中世	連郭式山城。那須友家築城か。川井氏累代の城。天正18（1590）年廃城。
73	小志烏城跡	那須烏山市志烏	城館	中世	山城。
74	熊田城跡（熊田館跡）	那須烏山市熊田	城館	中世	貞応年間（1222・1223）に那須光保築城。天正18（1590）年廃城。
75	戸田館跡	那須烏山市三箇	城館	中世	单郭の居館。
76	塙古館跡	那須烏山市三箇	城館	中世	複郭の居館。
77	入江野城跡	那須烏山市三箇	城館	中世	連郭式山城。永禄6（1563）年佐久山泰秀築城。天正14（1586）年廃城。
78	蛭田富士山古墳	大田原市蛭田	古墳	古墳	前方後円墳。墳長40m。
79	蛭田富士山古墳群	大田原市蛭田	古墳	古墳中・後期	昭和50年調査。円墳4基、箱式石棺・竪穴式石室など8基、古墳時代中期の竪穴住居2軒。
80	新屋敷古墳	那珂川町淨法寺	古墳	古墳後期	円墳。墳長約15m。横穴式石室。
81	観音堂横穴墓群	那珂川町淨法寺	横穴墓	古墳後期	2基確認。
82	荒屋古墳	那珂川町葉利	古墳	古墳後期	円墳（消滅）。
83	中打古墳	那珂川町葉利	古墳	古墳	円墳（消滅）。
84	稲荷古墳	那珂川町葉利	古墳	古墳	円墳（消滅）。
85	塙原古墳群	那珂川町葉利	古墳	古墳	前方後円墳1基と円墳1基（消滅）。
86	梅曾大塚古墳	那珂川町小川	古墳	古墳終末期	昭和39年調査。前方後円墳。墳長50m。横穴式石室2基。
87	上の原古墳	那珂川町小川	古墳	古墳	円墳（消滅）。
88	駒形大塚古墳	那珂川町小川	古墳	古墳前期	国指定史跡。昭和49年調査。前方後方墳。墳長60.5m。木炭櫛。
89	升ノ内古墳	那珂川町片平	古墳	古墳	通称熊野神社古墳。前方後円墳か。
90	首長原古墳	那珂川町三輪	古墳	古墳後期	平成4年調査。前方後円墳か。川原石小口積み横穴式石室。
91	岩谷内横穴墓群	那珂川町片平	横穴墓	古墳後期	
92	吉田温泉神社古墳群	那珂川町吉田	古墳	古墳前期	国指定史跡。核である前方後方墳の吉田温泉神社古墳と方墳2基（観音堂古墳等）からなる古墳群。那須八幡塙古墳群と併せて吉田新宿古墳群を形成。
93	那須八幡塙古墳群	那珂川町小川・吉田	古墳	古墳前期	国指定史跡。前方後方墳の那須八幡塙古墳（1号墳）と方墳の吉田富士山古墳（2号墳）からなる古墳群。吉田温泉神社古墳群と併せて吉田新宿古墳群を形成。
94	藤柄遺跡	那珂川町芳井	集落	古墳後期	昭和55年調査。竪穴住居3軒。
95	上宿遺跡	那珂川町小川	集落	奈良・平安	役所や寺院などで作成された備品台帳の草案と考えられる漆紙文書出土。漆関連工房か。
96	上の台遺跡	那珂川町小川	集落	古墳・奈良・平安	大型工房1棟。赤色顔料を用いた工房か。
97	駒形六号墳周辺遺跡	那珂川町小川	集落	古墳・平安	平安時代の竪穴住居3軒。墨書き土器「南曹司」出土。
98	三輪仲町遺跡	那珂川町三輪	集落	旧石器～中世	数度に渡る調査が実施。古墳から奈良・平安時代の竪穴住居130軒以上確認。大規模集落が展開。古墳時代前期の方墳8基。また奈良時代の竪穴住居の上を2条の溝跡が走行（道路跡）。
99	神田南遺跡	那珂川町三輪	集落	古墳中期	昭和42年調査。竪穴住居5軒。
100	那須官衙遺跡	那珂川町梅曾	官衙	奈良・平安	国指定史跡。那須郡衙。東西600m・南北200mの範囲内に、溝で区画された4つのブロックを形成（西・中央・東・南東）。西ブロックは「正倉院」、東ブロックは「曹司」、南東ブロックは「館・厨家」と考えられる。西ブロックと中央ブロックの間は東山道駿路が通る。
101	淨法寺廃寺跡	那珂川町淨法寺	寺院	飛鳥（7世紀後葉か）	淨法寺館跡により壊されている可能性が高い。
102	三和神社	那珂川町三輪	神社	古代	延喜式内社。
103	淨法寺館跡	那珂川町淨法寺	城館	中世	昭和59年～60年調査。中世以後の遺構は、井戸2本、方形竪穴・土坑25基、溝1条、内堀、外堀。那須氏支家淨法寺氏築城。文禄・慶長（1592～1615）年間に廃止。
104	苅田城跡	那珂川町芳井	城館	中世	山城。
105	三輪御城跡（三輪館跡）	那珂川町三輪	城館	中世	片平氏築城か。昭和57年調査。中世以降の遺構は、中世の方形竪穴4基、掘立柱建物7棟、井戸11本。
106	後城館跡	那珂川町三輪	城館	中世	方形单郭の居館。
107	戸田城跡	那珂川町東戸田	城館	中世	連郭式山城。
108	那須神田城跡	那珂川町三輪	城館	中世	国指定史跡。昭和42年調査。单郭式長方形プランの居館。12世紀半ば那須貞信築城か。那須氏初期累代の本拠地。
109	片平城跡	那珂川町片平	城館	中世	連郭式山城。
110	大久保城跡	那珂川町白久	城館	中世	山城。

第III章 遺構本文

第1節 遺跡の概要（第5図、図版一・二）

平成19年度調査の森後遺跡6区（一般国道293号鹿子畠バイパス調査区）内からは、古墳時代前期の竪穴住居3軒、古墳時代中期の竪穴住居1軒、古墳時代終末期の竪穴住居9軒・土坑2基、奈良・平安時代の竪穴住居1軒・掘立柱建物20棟・掘立柱塀3列・溝4条・井戸1本、中・近世の方形竪穴遺構1基・溝3条・土坑1基・井戸1本、時期不明の竪穴状遺構1基・溝8条・土坑89基を確認した。平成18・19年度調査の4・5区（県営圃場整備事業調査区）内からは、古墳時代前期から奈良・平安時代までの竪穴住居42軒（6区と1軒重複）、奈良・平安時代の掘立柱建物57棟（6区と6棟重複）・掘立柱塀12列・大溝2条（6区と1条重複）、中世の方形竪穴遺構4基・地下式坑1基・方形区画溝1条・掘立柱塀1列などを確認している。特に、5-②区及び6区中央部では、大型の掘立柱建物17棟が企画性をもって整然と建ち並び、その南側には人工河川（運河か）が東西に引かれている。さらに、5-①区及び6区西端においては、大溝に区画された内側に南北長軸の大型建物を中心とした16棟が配置されている。この大溝は3区まで延びて西に折れており、北辺溝を北側に移動し区画の拡張を行っている。

また、平成17年度に調査を実施した1～3区（県営圃場整備事業調査区）内からは、古墳時代から奈良・平安時代の竪穴住居76軒、奈良・平安時代の掘立柱建物88棟・掘立柱塀3列（区画施設含む）などを確認した。特筆すべきは、1区で確認した掘立柱塀に囲まれた区画施設である。区画施設の内側には、竪穴住居と掘立柱建物を企画性を持って配置している。区画塀の南東隅には、大型の井戸（貯水坑から造り替え）を配して、その排水を区画施設外に設けられた排水溝に排出している。

第2節 溝

6区内では15条の溝を確認したが、近現代の暗渠や農地改良に伴う地割り溝（SD-4009～4012）などを除く遺構の一部を記載することとする。遺構断面図は記載していないが、SD-6236からは18世紀代の遺物（No.113・114）が出土している。掲載した遺物の中で、SD-4011・SD-6236から出土した須恵器破片（No.103・112）は、遺構内への混入遺物である。なお、SD-6455はSB-6200の付属施設であるため、第3節で記載することとする。

SD-4007（第6・51図、図版十五）

概要 調査区東端で確認した南北溝で、北側の4-①区から繋がる。6区内で東西に分岐し、4-①区内では東方向に溝が曲がることから、方形に区画した溝と言える。SK-6003・SD-6001と重複し、本遺構はSK-6003より古く、SD-6001より新しい。

位置 ほ・ま-14・15グリッドに位置し、確認面標高は144.4mである。

規模 上面幅は最大1.8mで、断面形は皿状を呈する。確認面から底面までの深さは0.25m前後で、底面標高は144.15m前後である。

覆土 自然堆積である。

出土遺物 上面から須恵器甕破片（No.102）が出土しているが、溝内への混入遺物と考えられる。

時期 不明。

S D-6001 (第6・52図、図版十六)

概要 調査区東南端で確認した東西溝である。溝の西端は、4-②区北側より南北に開析していたと推測される谷に繋がっている。底面及びその直上に砂が多量に堆積していた状況から、溝ではなく遺跡南に広がる低地の北端落ち際の可能性も考えられる。

位置 ま-14・15・み-15 グリッドに位置し、確認面標高は 144.0 mである。

規模 上面幅は南北最大 7.5 m以上である。北端から南約 5.5 m付近までは浅く、確認面から底面までの最大の深さは 0.5 mで、底面標高は 143.5 mである。それより南はさらに深くなっているが、調査区外付近となっているため底面までは掘り下げていない。

覆土 自然堆積で、底面直上（10 層）は砂層であることから流水していた可能性が高い。

出土遺物 図化・掲載した遺物は、須恵器壺 2 点 (No.104・105)・甕破片 1 点 (No.107)、灰釉陶器瓶破片 3 点 (No.106・108・109)、土師器鉢破片 1 点 (No.110)、土製品（支脚か）1 点 (No.111) の 8 点である。No.110 の土師器鉢体部外面二箇所には墨書が記されており、その内一箇所は「×□（宅カ）」とも判読出来る。

時期 奈良・平安時代に機能していた溝（低地の一部）である。

S D-6167 (第6図)

概要 調査区中央で確認した南北溝で、調査区北端で Y 字状に分岐する。南側の 5-②区に延び、S D-5358 に繋がる可能性もある。S K-6166・6241・6242・6451 と重複し、本遺構が古い。

位置 つ-13・て-11～13 グリッドに位置し、確認面標高は 144.3 mである。

規模 上面幅 1.4 mで、断面形は皿状を呈する。確認面から底面までの深さは 0.1 mで、底面標高は 144.2 mである。

覆土 自然堆積である。

出土遺物 なし。

時期 中・近世か。

S D-1400 (第6・51・53図、図版十五)

概要 調査区西寄りで確認した南北溝で、3 区・5-①区から連続する区画溝である。東西溝 S D-6530 と接続する可能性が高い。5-①区内溝の断面観察から、二時期（A・B 期）あることが判明している。5-①区との調査区境から南 13.4 mで南西方向にクランクするが、この部分は A 期では溝が途切れて入り口部分となっていたと考えられ、B 期掘り直し時にクランク状に掘削して接続されたと推測される。よってクランク部分の溝は、S D-1400 B 期のみが存在したことになる。S K-6437・6438 と重複し、本遺構が古い。

位置 さ-10～13 グリッドに位置し、確認面標高は 143.7～143.9 mである。

規模 上面幅 3.8～4.5 m・底面幅 2.0～2.3 mで、断面形は逆台形を呈する。確認面から底面までの深さは 0.6～0.8 mで、底面標高は 143.1 m前後である。

覆土 自然堆積である。

出土遺物 6 区部分では遺物は少量であり、図化・掲載できた遺物は須恵器甕破片 1 点 (No.101) と鉄製品釘（か）1 点 (No.129) である。ただ、3 区や 5-①区部分の B 期覆土中から灰釉陶器も出土しており、この溝の最終年代を示す遺物である。

時期 奈良・平安時代に機能していた大溝である。

S D-6530 (第6・52図、図版十五)

概要 調査区南西端で確認した東西溝である。掘り直しを一度行っており、掘り直し前をA期、掘り直し後をB期とする。B期溝は、S D-1400 B期と接続する可能性が高い。

位置 こ-8・9・け-8グリッドに位置し、確認面標高は142.65mである。

規模 B期は断面形が皿状を呈し、上面幅4.0m・確認面から底面までの深さは0.2mで、底面標高は142.4m前後である。A期は断面形が逆台形を呈し、底面幅は2.2mで、確認面から底面までの深さは0.8mで、底面標高は141.8m前後である。溝は埋没谷を掘り込んでおり、底面は白色粘土層まで至る。

覆土 A・B期ともに自然堆積であるが、底面には黄色の砂が堆積しており、流水の可能性も推測できる。

出土遺物 図化・掲載した遺物は、最上層より出土した須恵器甕破片3点(No.115～117)である。

時期 奈良・平安時代に機能していた大溝である。

S D-6520 (第6図)

概要 調査区西端で確認した南北溝である。S B-6350 B期と重複するが新旧は不明である。建物に伴う可能性もある。

位置 く-11・12グリッドに位置し、確認面標高は143.8mである。

規模 全長4m・上面幅0.5m・底面幅0.3mで、断面形は逆台形を呈する。確認面から底面までの深さは0.15mで、底面標高は143.65mである。

覆土 自然堆積である。

出土遺物 なし。 **時期** 不明。

S D-6527 (第6図)

概要 調査区南西端で確認した東西溝である。

位置 け-9グリッドに位置し、確認面標高は142.8mである。

規模 上面幅0.7m・底面幅0.6mで、断面形は箱形を呈する。確認面から底面までの深さは0.15mで、底面標高は142.65mである。

覆土 自然堆積である。

出土遺物 なし。 **時期** 不明。

第3節 挖立柱建物・挖立柱塀

6区内では、20棟(5区と6棟重複)の挖立柱建物と3列の挖立柱塀を確認している。遺構の重複関係や出土遺物・建物の南北方位などから、挖立柱建物と挖立柱塀は全て奈良・平安時代の遺構と判断した。挖立柱建物は、調査区中央と西端の二箇所で建物群を形成して配置されており、各々の建物群の範囲は5区内にも広がっている。

S B-5043・5044 A・B期・5045 A・B期 (第7図、図版二・三)

S B-5043・5044・5045は、6区中央から5-②区にかけて広がる挖立柱建物群内の建物である。3棟いずれも5-②区に跨り、6区内には北妻柱列のみが入っているが、建物全体の規模は判明しているので、本報告においても柱間寸法を記載することとする。S B-5044とS B-5045はそれぞれ一度の建て替えを行つ

ており、古い建物をA期、新しい建物をB期とする。建物はそれぞれ重複しており、新旧関係は古い順にSB-5043、SB-5045 A・B期、SB-5044 A・B期となる。

SB-5043

概要 桁行5間×梁行2間の側柱式南北棟建物である。北妻柱列以外は5-②区に入る。本建物は、SB-5045 A・B期・SB-5044 A・B期より古く、SB-5352（5-②区内）より新しい。南北方位はN-0°である。

位置 6区内では、つ・て-11・12グリッドに位置し、確認面標高は144.0～144.3mである。

規模・柱間寸法 桁行総長は12.3mで、柱間寸法は東側柱列が南から2.7m+2.4m+2.4m+2.1m+2.7mで、西側柱列が南から2.4m+2.4m+2.4m+2.4m+2.7mである。梁行総長は6.0mで、柱間寸法は南妻柱列が3.0m等間で、北妻柱列は東から2.4m+3.6mである。面積は、73.8m²である。

掘方 柱穴掘方は、一辺0.7～1.0mの方形である。確認面からの深さは、0.3～0.5m（底面標高143.7～143.9m）である。北西・南西隅柱・西側柱列南第2～4柱は柱を抜き取っているが、他の柱穴には柱痕跡が残っており、柱の太さは25～30cmである。

出土遺物 本報告では掲載しないが、6区外（5-②区）の柱穴からは須恵器蓋が出土している。

SB-5044 A・B期

概要 桁行5間×梁行2間の側柱式南北棟建物である。北妻柱列以外は5-②区に入る。本建物は、SB-5043・SB-5045 A・B期・SB-5352より新しい。南北方位はN-4°-Wである。

位置 6区内では、つ・て-11・12グリッドに位置し、確認面標高は144.0～144.3mである。

規模・柱間寸法 桁行総長は12.3mで、柱間寸法は東側柱列が南から2.4m+2.4m+2.7m+2.4m+2.4mで、西側柱列が南から2.4m+2.4m+2.4m+2.4m+2.7mである。梁行総長は5.7mで、柱間寸法は2.85m等間である。面積は、70.11m²である。

掘方 柱穴掘方は、長径1.1～1.5m・短径0.9～1.0mの長方形か、一辺1.0～1.3mの方形である。確認面からの深さは、0.4～0.8m（底面標高143.4～143.7m）である。B期柱穴掘方は、大きさ・深さ共にSB-5043・5045 A・B期より大規模である。B期の柱穴全てに柱痕跡が残っており、柱の太さは30～50cmと太い。

出土遺物 本報告では掲載しないが、6区外（5-②区）のB期柱穴柱痕跡内からは、内面黒色処理を施したロクロ土師器杯や蓋、須恵器杯などが出土している。

SB-5045 A・B期

概要 A期桁行6間×梁行2間、B期桁行5間×梁行2間の側柱式南北棟建物である。B期に、南北柱間を1間縮小し、南北妻柱列を0.3m縮めて建て替えている。北妻柱列以外は5-②区に入る。本建物は、SB-5044 A・B期より古く、SB-5043・SB-5352より新しい。南北方位は、A期N-4°-W・B期N-3°-Wである。

位置 6区内では、つ・て-11・12グリッドに位置し、確認面標高は144.0～144.3mである。

規模・柱間寸法 A期は、桁行総長が14.4mで、柱間寸法は南から2.4m+2.4m+2.4m+2.7m+2.1m+2.4m、梁行総長は5.1mで、柱間寸法は2.55m等間である。B期は、桁行総長が12.0mで柱間寸法は南から2.4m+2.1m+2.7m+2.4m+2.4m、梁行総長は4.8mで、柱間寸法は2.4m等間である。面積は、A期が73.44m²で、B期が57.6m²である。

掘方 柱穴掘方は、長径1.0～1.6m・短径0.7～1.2mの長方形か、一辺1.0～1.2mの方形である。確認面からの深さは、0.25～0.6m（底面標高143.7～143.9m）で、B期柱穴掘方がやや深い。A期は南

妻柱列棟持柱・西側柱列南第5柱で柱痕跡が残り、B期は西側柱列南第3柱で柱痕跡が残っており、A・B期共に柱の太さは25cmである。

出土遺物 土師器甕等の破片が少量出土しているが、建物周辺の堅穴住居からの流入である。

S B-5046 A・B期・6150 A・B期（第8図、図版三）

S B-5046・6150は、6区中央から5-②区にかけて広がる掘立柱建物群内の建物である。S B-5046は5-②区に跨り、6区内では北西隅柱と北妻柱列棟持柱を確認している。建物全体の規模は判明しているので、本報告においても柱間寸法を記載することとする。S B-5046とS B-6150はそれぞれ一度同位置での建て替えを行っており、古い建物をA期、新しい建物をB期とする。建物は重複しているが、新旧関係は不明である。S B-5046は、5-②区内でS B-5350・S B-5351と重複しており、本建物が新しい。

S B-5046 A・B期

概要 桁行6間×梁行2間の側柱式南北棟建物である。南北方位はN-0°である。

位置 6区では、と・な-12グリッドに位置し、確認面標高は144.2mである。

規模・柱間寸法 桁行総長は14.4mで、柱間寸法は2.4m等間である。梁行総長は6.0mで、柱間寸法は3.0m等間である。面積は、86.4m²である。

掘方 柱穴掘方は、一辺0.9～1.3mの方形である。確認面からの深さは、0.25～0.55m（底面標高143.65～143.95m）である。確認した柱穴では、北妻柱列棟持柱以外の柱穴で柱痕跡が残っており、柱の太さは30～40cmと太い。

出土遺物 小破片のため図化・掲載しないが、A期北西隅柱掘方埋土中から土師器甕口縁部破片、B期北西隅柱掘方埋土中から土師器甕胴部破片が出土している。

S B-6150 A・B期

概要 桁行1間以上×梁行2間の側柱式南北棟建物である。北妻柱列の柱穴3基のみを確認した。他の柱穴は、調査区外に跨る。南北方位はN-6.5°-Wである。

位置 6区内では、な-12グリッドに位置し、確認面標高は144.2mである。

規模・柱間寸法 梁行総長は6.0mで、柱間寸法は3.0m等間である。

掘方 A期柱穴掘方は、長径1.1m前後・短径0.8m前後の長方形である。B期柱穴掘方は、長径0.9～1.25m・短径0.7～0.85mの長方形である。確認面からの深さは、0.15～0.2m（底面標高144.0～144.05m）とやや浅い。確認した柱穴では、B期柱穴は全て柱を抜き取っている。A期柱穴も北西隅柱において柱抜き取り痕跡を確認できる。

出土遺物 なし。

S B-6160・6170（第9～11図、図版四）

S B-6160・6170は、6区中央から5-②区にかけて広がる掘立柱建物群内の建物である。建物はそれぞれ重複しており、S B-6170が古い。両建物共に、南側柱列東第3柱を確認することが出来なかつたが、柱穴が無かつたのではなく、柱穴掘方が浅く掘平されてしまったと考えられる。また、両建物の北側柱列東第7柱は、S K-6166に壊されている。

S B-6160

概要 桁行10間×梁行2間の側柱式東西棟建物である。西から2間目に間仕切り柱穴を2基伴う。S B-

6170より新しく、SK-6129・SK-6166・SK-6450・SD-6167より古い。南北方位はN-3.5°-Wである。

位置 つ・て・と-12・13グリッドに位置し、確認面標高は144.4mである。

規模・柱間寸法 桁行総長は18.0mで、柱間寸法は1.8m等間である。梁行総長は5.1mで、柱間寸法は東妻柱列が南から2.7m+2.4mで、西妻柱列は南から3.0m+2.1mである。面積は、91.8m²である。

掘方 柱穴掘方は、長径0.3～0.8m・短径0.3～0.5mの隅丸長方形か、一辺0.4mの隅丸方形である。確認面からの深さは、0.1～0.2m(底面標高144.2～144.3m)である。全ての柱穴に柱痕跡が残っており、柱の太さは10～20cmである。

出土遺物 なし。

S B-6170

概要 桁行10間×梁行2間の側柱式東西棟建物である。西から2・3間目及び6間目において、間仕切りか床束の柱穴を確認した。重複するSB-6160・SK-6129・SK-6166・SK-6450・SD-6167より古い。南北方位はN-11.5°-Wである。

位置 つ・て・と-12・13グリッドに位置し、確認面標高は144.4mである。

規模・柱間寸法 桁行総長は18.0mであり、柱間寸法は南側柱列が東から1.8m+1.8m+1.8m+1.8m+2.1m+1.8m+1.2m+1.8m+1.8m+2.1mで、北側柱列が東から1.8m+1.8m+1.8m+1.8m+1.5m+1.8m+1.8m+1.8m+1.8m+2.1mである。梁行総長は5.1mで、柱間寸法は東妻柱列が南から2.7m+2.4mで、西妻柱列は南から3.6m+1.5mである。面積は、91.8m²である。

掘方 柱穴掘方は、長径0.4～0.8m・短径0.25～0.55mの隅丸長方形か、一辺0.5m前後の隅丸方形である。確認面からの深さは、0.1～0.2m(底面標高144.2～144.3m)である。全ての柱穴に柱痕跡が残っており、柱の太さは10～20cmである。

出土遺物 なし。

S B-5042 A・B期・6200・SA-6469・6470・SD-6455(第12～17・47図、図版五～七)

SB-5042・6200は、6区中央から5-②区にかけて広がる掘立柱建物群内の建物である。SB-5042は5-②区に跨り、6区内には建物の北約1/4が入っている。建物全体の規模は判明しているので、本報告においても柱間寸法を記載することとする。SB-5042は一度の建て替えを行っており、古い建物をA期、新しい建物をB期とする。SB-5042 A・B期とSB-6200は重複しており、SB-6200が古い。

S B-5042 A・B期

概要 桁行5間×梁行2間の側柱式南北棟建物である。建物の南3/4が5-②区に跨る。本建物は、SK-5345より古く、SB-5354・SB-6200・SI-5030・SI-5031より新しい。南北方位はN-1°-Wである。

位置 6区内では、た・ち-11・12グリッドに位置し、確認面標高は144.1mである。

規模・柱間寸法 桁行総長は12.0mで、柱間寸法は東側柱列が南から2.7m+1.8m+2.7m+2.4m+2.4mで、西側柱列が南から2.4m+2.7m+2.1m+2.4m+2.4mである。梁行総長は5.4mで、柱間寸法は2.7m等間である。面積は、64.8m²である。

掘方 B期柱穴掘方は、長径0.9～1.4m・短径0.8～1.3mの長方形である。確認面からの深さは、0.45～0.85m(底面標高143.25～143.65m)である。全ての柱穴に柱痕跡が残っており、柱の太さは25～

40 cmである。

出土遺物 本報告では掲載しないが、6区外（5-②区）の柱穴からは須恵器瓶や甕が出土している。

S B-6200・S D-6455

概要 桁行10間×梁行2間の側柱式東西棟建物で、建物内に床束を伴う。建物の北側には縁を有し、南側の中央には南北2間×東西2間の舞台状の張り出しを有する。北側縁のさらに北側には雨落ち溝が掘られている（S D-6455）。本建物は、S B-5042・S A-6469・S A-6470・S K-6177・S K-6187～6189・S K-6191より古く、S I-6178・S I-6190・S I-6192より新しい。南北方位はN-10.5°-Wである。

位置 た・ち-11・12・つ-12グリッドに位置し、確認面標高は144.0～144.2 mである。

規模・柱間寸法 身舎の桁行総長は18.6 mで、柱間寸法は東から2.1 m+1.8 m+1.8 m+1.8 m+1.8 m+1.8 m+1.8 m+2.1 mである。身舎の梁行総長は5.4 mで、柱間寸法は南から3.3 m+2.1 mである。北側縁の東西総長は身舎同様18.6 mで、柱間寸法も身舎と同じである。身舎からの出は1.2 mである。南側舞台状張り出しは、東西が総長3.6 m（柱間寸法1.8 m等間）で、南北が3.3 m（柱間寸法南から1.8 m+1.5 m）である。面積は、身舎が100.44 m²、北側縁が22.32 m²、南側張り出しが11.88 m²となり、建物総面積は134.64 m²である。

掘方 身舎の柱穴掘方は、長径0.6～1.2 m・短径0.5～0.8 mの長方形（隅丸長方形）か、一辺0.5～0.8 mの隅丸方形である。身舎床束の柱穴掘方は、長径0.5 m前後・短径0.35 m前後の楕円形か、一辺0.5 m前後の隅丸方形である。北側縁の柱穴掘方は、長径0.5 m前後・短径0.3～0.5 mの隅丸長方形か、一辺0.4 mの隅丸方形である。南側張り出しの柱穴掘方は、長径0.5～0.7 m・短径0.3～0.55 mの楕円形か、直径0.65 mの円形である。確認面からの深さは、身舎主柱穴が0.3～0.7 m（底面標高143.5～143.8 m）、身舎床束柱穴が0.1～0.5 m（底面標高143.9～144.0 m）、北側縁柱穴が0.1～0.2 m（底面標高143.9～144.0 m）、南側張り出し柱穴が0.25～0.45 m（底面標高143.6～143.8 m）である。全ての柱穴に柱痕跡が残っており、柱の太さは身舎主柱穴が15～25 cm、床束が15 cm、北側縁が10～20 cm、南側張り出しが10～20 cmである。

雨落ち溝（S D-6455） 北側縁から溝幅中央までが1～1.2 mの距離に位置する。溝のほぼ中央部で溝が立ち上がり、東西の溝に分かれる。溝の東西全長は約17 mで、東溝は約9 m・西溝は約8 mであり、南北幅は0.6～0.9 mである。確認面からの深さは0.2～0.3 mで、部分的に底面をロームブロックが多く混じる黄褐色土で人為的に埋め戻している。

出土遺物 南側柱列東第7柱掘方埋土中出土の土師器甕（No. 1）を図化・掲載しているが、下層のS I-6190からの混入遺物と考えられる。

S A-6469・6470

概要 S A-6469は東西3間、S A-6470は東西4間の掘立柱塀である。それぞれS D-6455と重複し、S D-6455より新しい。東西塀と直交する南北方位は、S A-6469がN-6°-Wで、S A-6470がN-3°-Wである。

位置 S A-6469は、た-12グリッドに位置し、S A-6470は、ち・つ-12・13グリッドに位置する。確認面標高は144.2 mである。

規模・柱間寸法 S A-6469の東西総長は5.1 mで、柱間寸法は東から1.5 m+1.8 m+1.8 mである。S A-6470の東西総長は8.1 mで、柱間寸法は東から1.5 m+2.1 m+2.1 m+2.4 mである。

掘方 S A-6469の柱穴掘方は、長径0.6 m前後・短径0.45～0.55 mの楕円形か、直径0.3～0.5 mの円形である。確認面からの深さは、0.1～0.3 m（底面標高144.1～144.3 m）である。全ての柱穴に柱痕

跡が残っており、柱の太さは 15 cm 前後である。S A-6470 の柱穴掘方は、長径 0.7 ~ 0.85 m・短径 0.45 ~ 0.55 m の楕円形か、直径 0.45 m の円形である。確認面からの深さは、0.2 ~ 0.5 m (底面標高 144.0 ~ 143.7 m) である。東第 1 柱のみ柱痕跡が残っており、柱の太さは 20 cm である。

出土遺物 なし。

S B-6300 (第 17 図)

概要 桁行 2 間 × 梁行 2 間 (南妻柱列は 3 間) の側柱式南北棟建物である。建物の南東部分の一部が 5-② 区に跨る。南北方位は N-20°-E である。

位置 そ-11 グリッドに位置し、確認面標高は 143.9 m である。

規模・柱間寸法 桁行総長は 3.6 m で、柱間寸法は東側柱列が南から 1.5 m +2.1 m で、西側柱列が 1.8 m 等間である。梁行総長は 2.7 m で、柱間寸法は南妻柱列が 0.9 m 等間で、北妻柱列が東から 1.8 m +0.9 m である。面積は、9.72 m² である。

掘方 柱穴掘方は、長径 0.5 m 前後・短径 0.35 m の楕円形か、直径 0.2 ~ 0.4 m の円形である。確認面からの深さは、0.15 ~ 0.45 m (底面標高 143.45 ~ 143.75 m) である。柱痕跡は不明である。

出土遺物 なし。

S B-6029 (第 18 図、図版八)

概要 桁行 3 間 × 梁行 2 間 の側柱式南北棟建物である。北妻柱列を確認することは出来なかつたが、柱穴が浅く削平されたと推測する。南北方位は N-16°-W である。

位置 ね-13・14 グリッドに位置し、確認面標高は 144.15 m である。

規模・柱間寸法 桁行総長は 5.1 m で、柱間寸法は南から 1.65 m +1.8 m +1.65 m である。梁行総長は 3.6 m で、柱間寸法は 1.8 m 等間である。面積は、18.36 m² である。

掘方 柱穴掘方は、長径 0.2 ~ 0.4 m・短径 0.2 ~ 0.3 m の楕円形か、直径 0.2 ~ 0.4 m の円形である。確認面からの深さは、0.1 ~ 0.35 m (底面標高 143.8 ~ 144.05 m) である。確認した柱穴全てに柱痕跡が残り、柱の太さは 10 ~ 20 cm と細い。

出土遺物 なし。

S B-6083 (第 19 図、図版八)

概要 南北 1 間 × 東西 2 間 (か) の側柱式建物 (南北棟か) である。建物西半は攪乱により壊されている。S I-6051 より新しいか。南北方位は N-8.5°-E である。

位置 な-13 グリッドに位置し、確認面標高は 144.5 m である。

規模・柱間寸法 南北 3.0 m で、東西は南柱列で東から 1.2 m である。

掘方 柱穴掘方は、長径 0.35 m 前後・短径 0.25 m 前後の楕円形か、直径 0.3 m の円形である。確認面からの深さは、0.15 ~ 0.35 m (底面標高 144.15 ~ 144.35 m) である。確認した柱穴全てに柱痕跡が残り、柱の太さは 15 cm 前後である。

出土遺物 なし。

S B-6084 (第19図、図版八)

概要 桁行2間×梁行1間の側柱式南北棟建物である。南北方位はN-13°-Wである。

位置 な-13グリッドに位置し、確認面標高は144.4mである。

規模・柱間寸法 桁行総長は3.6mで、柱間寸法は南から1.65m+1.95mである。梁行の柱間寸法は2.1mである。面積は、7.875m²である。

掘方 柱穴掘方は、長径0.3～0.5m・短径0.2～0.3mの橢円形か、直径0.2mの円形である。確認面からの深さは、0.2～0.4m（底面標高144.0～144.2m）である。断ち割りを行った柱穴では柱痕跡が確認でき、柱の太さは10～25cmである。

出土遺物 なし。

S B-4165 (第20図、図版九)

概要 南北2間×東西2間の平面形方形を呈する側柱式建物である。建物の南半は4-③区に跨るが、本報告で建物全体を記載することとした。SK-4166と重複し、本建物が古い。建物内側にはSK-6075があるが新旧関係は不明。南北方位はN-14.5°-Wである。

位置 に-12グリッドに位置し、確認面標高は144.3～144.4mである。

規模・柱間寸法 南北柱列・東西柱列共に、総長4.8mで柱間寸法は2.4m等間である。面積は、23.04m²である。確認面からの深さは、0.2～0.4m（底面標高144.1m前後）である。

掘方 柱穴掘方は、長径0.5m前後・短径0.4m前後の隅丸長方形か、一辺0.4mの隅丸方形である。全ての柱穴に柱痕跡が残っており、柱の太さは20cm前後である。

出土遺物 なし。

S B-6340・6350 A・B期・6510 A・B期・6515・S A-6525 (第21～27・47・53図、図版九～十一)

調査区の西端で確認した掘立柱建物群で、3区から南に連続する区画大溝（SD-1400等）内に位置し、範囲は5-②区に広がる。それぞれの建物が重複しており、新旧関係は古い順にS B-6340・S B-6510 A期、S B-6510 B期、S B-6350 A期、S B-6350 B期、S B-6515となる。ただ、S A-6525と掘立柱建物群の新旧関係は不明である。

S B-6340

概要 桁行5間×梁行2間の側柱式東西棟建物である。S B-6350・SK-6462等より古く、S I-6330より新しい。東西の妻柱列の柱筋が、南に隣接するS B-6510 A期と揃う。南北方位はN-4°-Wである。

位置 く・け-11グリッドに位置し、確認面標高は143.6～144.0mである。

規模・柱間寸法 桁行総長は15.0mで、柱間寸法は3.0m等間である。梁行総長は6.0mで、柱間寸法は東妻柱列が南から3.6m+2.4mで、西妻柱列は南から2.4m+3.6mである。面積は、90.0m²である。

掘方 柱穴掘方は、長径1.0～1.4m・短径0.65～1.0mの長（隅丸長）方形か、一辺1.25mの方形である。確認面からの深さは、0.2～0.5m（底面標高143.1～143.5m）である。北側柱列東第2柱と南側柱列東第5柱に柱痕跡が残っており、柱の太さは20～30cmである。

出土遺物 小破片のため図化・掲載しないが、柱穴抜き取り痕跡から土師器壺・甕破片が出土している。ただ、建物下層のS I-6330の遺物の可能性が高い。

S B-6510 A・B期

概要 桁行5間×梁行2間の棟持柱を伴う側柱式東西棟建物である。南西隅柱と西妻柱列棟持柱は江川河川改修工事の際に掘削され、南東隅柱は調査区範囲外である。棟持柱は、東・西妻柱列棟持柱を通した柱列に3本設置されており、東西位置は南・北側柱列の各柱間中央を通した延長上にある。B期建物は、建て替えの際に建物方位を北で西に振り、桁行総長を0.6m縮小している。S B-6350より古く、S I-6330より新しい。S A-6525とも重複するが新旧関係は不明である。A期建物の東西妻柱列の柱筋が、北に隣接するS B-6340と揃う。南北方位はA期がN-4°-Wで、B期がN-9°-Wである。

位置 く・け-10・11グリッドに位置し、確認面標高は143.4～143.8mである。

規模・柱間寸法 A期は、桁行総長が15.0mで、柱間寸法は3.0m等間である。B期は、桁行総長が14.4mで、柱間寸法は南側柱列が東から3.0m+3.0m+2.7m+2.7m+3.0mで、北側柱列が東から2.7m+2.7m+3.0m+3.0m+3.0mである。梁行総長はA・B期共に6.6mで、柱間寸法は3.3m等間である。面積は、A期が99.0m²、B期が95.04m²である。

掘方 A期柱穴掘方は、長径1.0～1.4m・短径0.7～1.0mの長(隅丸長)方形である。確認面からの深さは、0.3～0.5m(底面標高143.1～143.8m)である。A期柱穴は、柱を全て抜き取っていると考えられる。B期柱穴掘方は、長径0.8～1.2m・短径0.7～0.9mの長(隅丸長)方形である。確認面からの深さは、0.3～0.8m(底面標高142.4～143.4m)である。南側柱列東第3・4柱と北側柱列東第5柱及び棟持柱列東第3柱に柱痕跡が残っており、柱の太さは20～30cmである。

出土遺物 B期東妻柱列棟持柱掘方埋土中出土の須恵器甕頸部破片(No.5)を図化・掲載した。また、不掲載遺物の中には、土師器壺や鉢等の小破片も含まれている。ただ、柱穴内から出土した遺物は、本建物下層に位置するS I-6330の遺物である可能性が高いと思われる。

S B-6350 A・B期

概要 A期桁行10間×梁行1間、B期桁行12間×梁行1間の側柱式南北棟建物である。A期は平面形台形を呈する。B期の北西隅柱は確認できなかったが、B期西側柱列は全体的に柱穴掘方が浅い事から削平されていると推測される。南西隅柱は、江川河川改修工事時に壊されている。B期建て替えの際に、南北規模を南に2間拡大し、A期西側柱列の柱穴と同位置にB期東側柱列の柱穴を掘り直している。S B-6340・S I-6330より新しく、S K-6462等より古い。A期の南北方位は東側柱列でN-7°-E、西側柱列でN-3°-Eである。B期の南北方位はN-5°-Eである。

位置 く・け-10・11・12グリッドに位置し、確認面標高は143.4～144.1mである。

規模・柱間寸法 A期の桁行総長は、東側柱列が18.6mで柱間寸法は南から2.1m+1.8m+1.8m+1.8m+1.8m+1.8m+1.8m+2.1m+2.1m+1.5mで、西側柱列が18.75mで、柱穴寸法は南から2.25m+1.8m+1.8m+1.8m+1.8m+1.8m+1.8m+2.1m+1.5m+2.1mである。A期の梁行柱間寸法は南妻柱列が4.2mで、北妻柱列が5.4mである。B期の桁行総長は22.5mで、東側柱列の柱間寸法は南から2.4m+1.8m+1.8m+2.1m+1.8m+1.5m+2.1m+1.8m+1.8m+1.8m+1.8m+1.8m+1.8m+1.8m+1.8m+2.1m+1.2mである。B期の梁行柱間寸法は5.1mである。面積は、A期が89.28m²、B期が114.75m²である。

掘方 A期柱穴掘方は、長径0.8～1.25m・短径0.6～1.0mの長(隅丸長)方形か、一辺1.0m前後の正(隅丸)方形である。確認面からの深さは、0.1～0.4m(底面標高143.4～143.7m)である。確認した柱穴では全てに柱痕跡が残っており、柱の太さは20～30cmである。B期柱穴掘方は、長径0.6～1.0m・

短径 0.4 ~ 1.1 m の長 (隅丸長) 方形か、一辺 0.7 m 前後の隅丸方形である。確認面からの深さは、0.1 ~ 0.5 m (底面標高 143.1 ~ 143.5 m) である。確認した柱穴全てに柱痕跡が残っており、柱の太さは 20 ~ 30 cm である。

出土遺物 図化・掲載した遺物は、A 期南西隅柱掘方埋土中出土の須恵器甕肩部破片 (No. 2) と B 期東側柱列北第 4 柱掘方埋土中出土の手捏ね土器 2 点 (No. 3・4) である。

S B - 6515

概要 柱行 3 間 × 梁行 1 間の側柱式東西棟建物である。平面形は台形を呈する。S B - 6340・S B - 6350 A・B 期・S I - 6330 より新しい。南北方位は N - 8° - W である。

位置 く・け - 11 グリッドに位置し、確認面標高は 143.6 m 前後である。

規模・柱間寸法 柱行総長は 6.0 m で、柱間寸法は南側柱列が東から 2.4 m + 1.8 m + 1.8 m で、北側柱列が東から 2.1 m + 1.5 m + 2.4 m である。梁行の柱間寸法は、東妻柱列が 2.4 m で、西妻柱列が 3.15 m である。面積は、16.65 m² である。

掘方 柱穴掘方は、長径 0.6 m 前後・短径 0.5 m 前後の長 (隅丸長) 方形か、一辺 0.5 m 前後の隅丸方形である。確認面からの深さは、0.2 ~ 0.4 m (底面標高 143.2 ~ 144.4 m) である。北東隅柱は断面観察出来なかったが、全ての柱穴に柱痕跡が残っていたと推測され、確認した柱穴から柱の太さは 25 cm 前後である。

出土遺物 南西隅柱掘方埋土中から銅製品帶金具 (鉈尾) が出土している (No. 130)。

S A - 6525

概要 南北 1 間以上の掘立柱塀で、北第 1・2 柱のみを確認した。S B - 6510 と重複するが、新旧関係は不明である。南北方位は、N - 15° - W である。

位置 け - 10・11 グリッドに位置し、確認面標高は 143.5 ~ 143.8 m である。

規模・柱間寸法 柱間寸法は北から 3.0 m である。

掘方 柱穴掘方は、長径 0.8 m・短径 0.65 m 前後の隅丸長方形である。確認面からの深さは、0.6 ~ 0.7 m (底面標高 143.2 m) である。両柱穴とも柱は抜き取られている。

出土遺物 なし。

S B - 6532 (第 28 図)

概要 南北 2 間以上 × 東西 1 間以上の側柱式建物である。建物の北東部分のみを確認した。南北方位は N - 5° - E である。

位置 き - 11 グリッドに位置し、確認面標高は 143.7 m である。

規模・柱間寸法 柱間寸法は、東柱列が北から 1.8 m + 2.1 m で、北柱列が東から 3.0 m である。

掘方 柱穴掘方は、長径 0.3 ~ 0.6 m・短径 0.3 ~ 0.45 m の楕円形か、直径 0.3 ~ 0.5 m の円形である。確認面からの深さは、0.1 ~ 0.5 m (底面標高 143.2 m 前後) である。柱痕跡は不明である。

出土遺物 なし。

S B - 6533 (第 28 図)

概要 南北 2 間以上 × 東西 1 間以上の側柱式建物である。建物の北東部分のみを確認した。南北方位は N - 2° - W である。

位置 か - 13 グリッドに位置し、確認面標高は 143.6 m である。

規模・柱間寸法 柱間寸法は、東柱列が北から 1.5 m +2.1 m である。

掘方 柱穴掘方は、長径 0.5 ~ 0.8 m・短径 0.5 m 前後の楕円形である。確認面からの深さは、0.35 ~ 0.5 m (底面標高 143.1 ~ 143.25 m) である。柱痕跡は不明である。

出土遺物 なし。

第2表 挖立柱建物・掘立柱塀一覧表

遺構番号	建物	棟方向	方位	桁行×梁行	桁行寸法(m)	梁行寸法(m)	建物面積(m ²)	備考
SB-4165	側柱式	正方形	N-14.5°-W	2×2間	南北4.8(2.4×2)	東西4.8(2.4×2)	23.04	
SB-5042	側柱式	南北棟	N-1°-W	5×2間	12.0(東側柱列南から2.7+1.8+2.7+2.4+2.4,西側柱列南から2.4+2.7+2.1+2.4+2.4)	5.4(2.7×2)	64.8	2時期(A・B期),南3/4が5-②区に跨る
SB-5043	側柱式	南北棟	N-0°	5×2間	12.3(東側柱列南から2.7+2.4+2.4+2.1+2.7,西側柱列南から2.4+2.4+2.4+2.4+2.4+2.7)	6.0(南妻柱列3.0×2,北妻柱列東から2.4+3.6)	73.8	5-②区に跨り北妻柱列のみ6区内に入る
SB-5044	側柱式	南北棟	N-4°-W	5×2間	12.3(東側柱列南から2.4+2.4+2.7+2.4+2.4,西側柱列南から2.4+2.4+2.4+2.7)	5.7(2.85×2)	70.11	2時期(A・B期),5区-②に跨り北妻柱列のみ6区内に入る
SB-5045	側柱式	南北棟	A期N-4°-W,B期N-3°-W	A期6×2間,B期5×2間	A期14.4(南から2.4+2.4+2.4+2.7+2.1+2.4),B期12.0(南から2.4+2.1+2.7+2.4+2.4)	A期5.1(2.55×2),B期4.8(2.4×2)	A期73.44,B期57.6	2時期(A・B期),B期57.6 5-②区に跨り北妻柱列のみ6区内に入る
SB-5046	側柱式	南北棟	N-0°	6×2間	14.4(2.4×6)	6.0(3.0×2)	86.4	2時期(A・B期),5-②区に跨る
SB-6029	側柱式	南北棟	N-16°-W	3×2間カ	5.1(南から1.65+1.8+1.65)	3.6(1.8×2)	18.36	北妻柱列棟持柱は掘削か
SB-6083	側柱式	南北棟	N-8.5°-E	1×2間カ	3.0	南柱列東から1.2		
SB-6084	側柱式	南北棟	N-13°-W	2×1間	3.6(南から1.65+1.95)	2.1	7.875	
SB-6150	側柱式	南北棟	N-6.5°-W	1以上×2間		6.0(3.0×2)		2時期(A・B期),北妻柱列を確認
SB-6160	側柱式	東西棟	N-3.5°-W	10×2間	18.0(1.8×10)	5.1(東妻柱列南から2.7+2.4,西妻柱列南から3.0+2.1)	91.8	間仕切り柱を持つ
SB-6170	側柱式	東西棟	N-11.5°-W	10×2間	18.0(南側柱列東から1.8+1.8+1.8+2.1+1.8+2.1+1.8+1.2+1.8+1.8+1.8+2.1,北側柱列東から1.8+1.8+1.8+1.8+1.8+1.5+1.8+1.8+1.8+1.8+2.1)	5.1(東妻柱列南から2.7+2.4,西妻柱列南から3.6+1.5)	91.8	間仕切り柱を持つ
SB-6200	側柱式	東西棟	N-10.5°-W	10×2間	身舎18.6(東から2.1+1.8+1.8+1.8+1.8+1.8+1.8+1.8+1.8+1.8+2.1),北側縁18.6(東から2.1+1.8+1.8+1.8+1.8+1.8+1.8+1.8+1.8+1.8+2.1),南北3.3(南から1.8+1.5)	身舎5.4(南から3.3+2.1),北側縁22.32,南北3.3(南から1.8+1.5)	身舎100.44,11.88,134.64	床束を持つ,北側に縁を伴う,南北2間×東西2間の張り出しを持つ(舞台状のもの),北側縁の北側には雨落ち溝が掘られる(SD-6455)
SB-6300	側柱式	南北棟	N-20°-E	2×2間カ	3.6(東側柱列南から1.5+2.1,西側柱列1.8×2)	2.7(南妻柱列0.9×3,北妻柱列東から1.8+0.9)	9.72	南妻柱列は3間
SB-6340	側柱式	東西棟	N-4°-W	5×2間	15.0(3.0×5)	6.0(東妻柱列南から3.6+2.4,西妻柱列南から2.4+3.6)	90.0	

SB-6350	側柱式	南北棟	A期東側柱 列でN-7° -E,西側柱 列でN-3° -E,B期N-5 °-E	A期10×1 間,B期12× 1間	A期東側柱列18.6(南から2.1+1.8 +1.8+1.8+1.8+1.8+2.1+2.1 +1.5),A期西側柱列18.75(南から 2.25+1.8+1.8+1.8+1.8+1.8 +2.1+1.5+2.1),B期22.5(東側 柱列南から2.4+1.8+1.8+2.1+1.8 +1.5+2.1+1.8+1.8+1.8+1.8, 西側柱列南から2.7+1.8+1.8+1.8 +1.8+2.1+1.8+1.8+1.8+2.1 +1.2)	A期南妻柱列4.2,A期 北妻柱列5.4,B期5.1	A期89.28 B期114.75	B期はA期東側 柱列を西側柱列 としてほぼ同位 置で柱穴を掘り 込む,A期は平 面形台形を呈す
SB-6510	側柱式	東西棟	A期N-4° -W,B期N-9 °-W	5×2間	A期15.0(3.0×5),B期14.4(南側柱 列東から3.0+3.0+2.7+2.7+3.0, 北側柱列東から2.7+2.7+3.0+3.0 +3.0)	A・B期6.6(3.3×2)	A期99.0 B期95.04	棟持柱を持つ
SB-6515	側柱式	東西棟	N-8°-W	3×1間	6.0(南側柱列東から2.4+1.8+1.8, 北側柱列東から2.1+1.5+2.4)	東妻柱列2.4,西妻柱列 3.15	16.65	平面形台形を呈 す
SB-6532	側柱式		N-5°-E	南北2以上 ×東西1間 以上	南北 北から1.8+2.1	東西 東から3.0		
SB-6533	側柱式		N-2°-W	南北2以上 ×東西1間 以上	南北 北から1.5+2.1			
SA-6469			直交する 方位N-6° -W	東西3間	5.1(東から1.5+1.8+1.8)			
SA-6470			直交する 方位N-3° -W	東西4間	8.1(東から1.5+2.1+2.1+2.4)			
SA-6525			N-15°-W	南北1間以 上	南北 北から3.0			

第4節 壁穴住居

6区調査区内からは、古墳時代前期の壁穴住居が3軒、古墳時代中期の壁穴住居1軒、古墳時代後期（終末期）の壁穴住居9軒（1軒5-②区内に跨る）、奈良・平穴時代の壁穴住居1軒を確認した。また、時期不明の壁穴状遺構も1基確認しており、併せて記載することとする。

S I - 5033（第29・47図、図版十二）

概要 調査区ほぼ中央で確認した、やや南北に長い平面形隅丸方形の壁穴住居である。住居の南半は5-②区に跨る。S I - 6178より新しく、S I - 5032（5-②区内）より古い。南壁に直交する南北方位は、N-11.5°-Wである。

位置 ち・つ-11・12グリッドに位置する。確認面標高は、144.2 mである。

規模 長軸南北3.6 m、短軸東西3.2 mである。確認面から床面までの深さは最大0.2 mで、床面標高は144.0 mである。

覆土 自然堆積である（1層）。

床面・掘方 床面は概して平坦である。住居を全体的にローム層まで掘り込み、褐色土を埋め戻して貼床している（2層）。住居の四隅は、やや深く掘り下げている。掘方の深さは、最大0.15 m（掘方底面標高143.95 m）である。

柱穴 床面にはない。

壁溝・貯蔵穴・入り口ピット なし。

竈 東辺中央に付設している。遺存状況は悪く、燃焼部の掘方と袖部下端部がわずかに残るのみである。

出土遺物 図化・掲載した遺物は、須恵器瓶1点（No. 6）と土師器壺2点（No. 7・8）・塊1点（No. 9）で、No. 6・7・9は掘方埋土（2層）中出土である。

時期 本住居は、出土遺物から古墳時代終末期（7世紀前葉～後葉）と推測される。

S I - 6009 (第29図、図版十二)

概要 調査区東側の谷地に向かう落ち際にある、平面形が長方形を呈する竪穴状遺構である。竈や炉はない。南壁に直交する南北方位は、N-24°-Wである。

位置 は-14グリッドに位置する。確認面標高は、144.2～144.35mである。

規模 長軸南北5.1m、短軸東西3.2mである。確認面から床面までの深さは最大0.15mで、床面標高は144.2mである。

覆土 自然堆積か。

床面・掘方 掘方ではなく、ローム面を床面としている。床面は概して平坦である。

柱穴 床面に小ピットを数基確認したが、明確な柱穴はない。

壁溝・貯蔵穴・入り口ピット なし。

出土遺物 なし。時期 不明。

S I - 6034 (第30・47図、図版十二)

概要 調査区中央やや東寄りで確認した、平面形が東西に長い隅丸長方形を呈する竪穴住居である。南壁に直交する南北方位は、N-13°-Wである。

位置 ぬ・ね-12・13グリッドに位置する。確認面標高は、144.2mである。

規模 長軸東西5.2m、短軸南北3.4mである。確認面から床面までの深さは最大0.2mで、床面標高は144.0mである。

覆土 自然堆積である。

床面・掘方 ハードローム面をそのまま床面としている。床面は平坦である。

柱穴 住居床面にはない。

壁溝 西辺中央と竈付設部分を除き、住居壁に沿って巡る。

貯蔵穴・入り口ピット なし。

竈 北辺中央やや東寄りに付設している。灰色粘土で構築した袖部が遺存している。竈袖の芯材として、灰白色凝灰岩の板が使用されている。

出土遺物 図化・掲載した遺物は2点で、竈東袖部内からは土師器球胴甕（No.10）が出土しており、竈東袖部東側の床面直上からは土師器長胴甕（No.11）が出土している。

時期 出土遺物により、古墳時代後期～終末期（6～7世紀）と思われる。

S I - 6051 (第30図、図版十二)

概要 調査区中央やや東寄りで確認した竪穴住居である。平面形は隅丸方形を呈すると考えられる。住居

の北半は調査区外である。南壁に直交する南北方位は、N-22°-Wである。

位置 な-13・14 グリッドに位置する。確認面標高は、144.5 mである。

規模 東西長 5.2 mである。

覆土 覆土は、現耕作等の搅乱により残っておらず、遺構確認面が掘方埋土中であった。

床面・掘方 掘方はハードローム層を掘り込み、黒褐色土を埋め戻し貼床としている。残存する掘方の深さは、最大 0.1 mである（掘方底面標高 144.4 m）。

柱穴 確認できなかった。

壁溝・貯蔵穴・入り口ピット 住居南半部分では確認できなかった。

竈 東・西・南壁には無かったことから、北壁に付設していたと推測される。

出土遺物 遺物は掘方埋土中より、古墳時代後期と推測できる微細な土師器片が数個出土している。

時期 古墳時代後期～終末期かと推測される。

S I - 6147 (第 31・47 図、図版十三)

概要 調査区中央で確認した、平面形隅丸方形の竪穴住居である。竈の造り替えを一度行っている。住居の北東隅には、住居より古い掘り込み（土坑か）がある。南壁に直交する南北方位は、N-15°-Wである。

位置 て・と-12 グリッドに位置する。確認面標高は、144.3 mである。

規模 長軸東西 4.3 m、短軸南北 4.2 mである。

覆土 覆土は、現耕作等の搅乱により残っていない。

床面・掘方 掘方は、壁際をローム層まで掘り込み、黒褐色土等で埋め戻し貼床としている（1・2層）。

残存する掘方の深さは、最大 0.15 mである（掘方底面標高 144.2 m）。

柱穴 主柱穴は 4 基（P 1～P 4）で、柱穴掘方は平面形円形である。規模は、直径 0.2～0.3 m・掘方底面からの深さ 0.3～0.45 mである。

壁溝・貯蔵穴 なし。

入り口ピット 南壁際中央に 2 基（P 6・7）確認した。

竈 東壁中央（A 期竈）から北壁やや東寄り（B 期竈）への付け替えが行われている。A 期竈は、竈構築粘土の一部と掘方が残るのみである。B 期竈も残存状況は悪く、燃焼部の掘方と袖部の基部がわずかに残るのみである。

出土遺物 図化・掲載した遺物は、須恵器甕胴部破片（No.12）と土師器坏（No.13）の 2 点である。

時期 出土遺物から、古墳時代終末期（7 世紀前葉～後葉）と考えられる。

S I - 6178 (第 31・47 図、図版十三)

概要 調査区中央で確認した、平面形隅丸方形の竪穴住居である。S B - 6200・S I - 5033・S K - 6177 より古い。南壁に直交する南北方位は、N-40°-Wである。

位置 つ-12 グリッドに位置する。確認面標高は、144.2 mである。

規模 長軸東西 4.1 m、短軸南北 3.9 mである。

覆土 覆土は、現耕作等の搅乱により残っておらず、確認面が床面である（床面標高 144.2 m）。

床面・掘方 床面は概して平坦で、掘方はハードローム層まで掘り込み、黒褐色土・褐色土（1・2 層）を埋め戻し貼床としている。掘方の深さは、最大 0.2 m（掘方底面標高 144.0 m）である。

柱穴 住居の四隅に4基掘られている（P1～P4）。柱穴掘方の規模は、直径0.4m・床面からの深さ0.2～0.3mの円形である。

壁溝・貯蔵穴・入り口ピット なし。

炉 確認できなかった。

出土遺物 図化・掲載した遺物は、土師器甕2点（No.14・15）と埴1点（No.16）である。

時期 出土遺物から、古墳時代前期（4世紀後半）と考えられる。

S I-6190（第32図、図版十三）

概要 調査区中央やや西寄りで確認した、平面形隅丸方形の壓穴住居である。SB-6200・SK-6187・K-6188・SK-6189より古い。南壁に直交する南北方位は、N-20.5°-Wである。

位置 ち-12グリッドに位置する。確認面標高は、144.2mである。

規模 一辺4.0m前後である。確認面から床面までの深さは0.1mで、床面標高は144.1mである。

覆土 自然堆積である（1層）。

床面・掘方 床面は平坦でしまっている。掘方はハードローム層まで掘り込み、黒褐色土を貼床埋土としている（2層）。掘方の深さは、最大0.2m（掘方底面標高143.9m）である。

柱穴 床面上で小ピットを数個確認したが、明確な主柱穴は確認できなかった。

壁溝 東竈反対壁の西壁際中央の一部に確認できた。

貯蔵穴 確認できなかった。

入り口ピット 東竈の反対側床面に小ピットが2基あるが、これらが入り口ピットに関連する可能性がある（P1・2）。

竈 東壁ほぼ中央に付設されている。南・北袖部が遺存している。住居貼床上面に構築されていることから、貼床を設置した後に竈が構築されたことが分かる。火床や燃焼部内側が非常に焼けていることから、一定期間使用されたことが伺える。

出土遺物 図化・掲載していないが、竈付近から土師器小片が数点出土している。

時期 出土遺物から、本住居は古墳時代後期～終末期である可能性がある。

S I-6192（第32・48図）

概要 調査区中央やや西寄りで確認した、やや東西に長い隅丸方形の壓穴住居である。SB-6200・SD-6455・SK-6188・SK-6189・SK-6191・SK-6476より古い。南壁に直交する南北方位は、N-45°-Wである。

位置 た・ち-12グリッドに位置する。確認面標高は、144.1mである。

規模 長軸東西4.8m、短軸南北3.7mである。

覆土 覆土は、現耕作による搅乱により確認されず、確認面が貼床埋土中であった。

床面・掘方 床面は残っておらず、掘方はハードローム層まで掘り込み、黒褐色土を埋め戻し貼床としている。残存した掘方の深さは、0.15mである（掘方底面標高143.95m）。

柱穴 住居範囲内から小ピットを数基確認したが、明確な柱穴は確認出来なかった。

壁溝 確認できなかった。

貯蔵穴・入り口ピット 西壁際にP1を確認したが、掘方に関連する掘り込みの可能性が高い。

炉 確認出来なかつた。

出土遺物 図化・掲載した遺物は、土師器甕1点（No.17）である。

時期 出土遺物から、本住居は古墳時代前期（4世紀後半）の可能性がある。

S I - 6235（第33・48図、図版十三）

概要 調査区やや西寄りで確認した、南北にやや長い隅丸長方形を呈する竪穴住居である。S D - 6236・S D - 6237・S D - 7364・S K - 6234・S K - 6449・S K - 6501より古い。南壁に直交する南北方位は、N - 35° - Wである。

位置 そ・た-12・13グリッドに位置する。確認面標高は、144.15mである。

規模 長軸南北7.4m、短軸東西6.2mである。確認面から床面までの深さは0.25mで、床面標高は143.9mである。

覆土 自然堆積（1・3～5層）であるが、南西隅床面付近に焼土ブロックが多量に堆積していることから、本住居は火災に遭つたと考えられる。

床面・掘方 床面は概して平坦でややしまる。掘方はハードローム層を掘り込み、黄褐色土を埋め戻し貼床としている（7層）。掘方の深さは、最大0.3m（掘方底面標高143.6m）である。

柱穴 主柱穴は4基（P1～P4）で、柱穴掘方は平面形隅丸方形である。規模は、直径0.8～1.1m・掘方底面からの深さ0.55～0.7mである。柱を抜き取つたP3以外の柱穴において柱痕跡が残こり、柱の太さは20cm前後である。

壁溝・貯蔵穴・入り口ピット なし。

炉 床面中央にあり、掘方の平面形は南北を長軸にした橢円形である。貼床後に床を掘り込み構築されている（2a・b層）。掘方の規模は、長径0.9m・短径0.3m・確認面から火床（2b層上面）までの深さ0.1mである。

出土遺物 図化・掲載した遺物は、土師器蓋（摘みか）1点（No.18）・高壺2点（No.19・20）・器台1点（No.21）・壺2点（No.22・23）・甕6点（No.24～29）である。

時期 本住居は、出土遺物から古墳時代前期（4世紀後半）である。

S I - 6280（第34・35・48・49・53図、図版十三・十四）

概要 調査区西側で確認した、平面形隅丸方形を呈するやや大型の竪穴住居である。住居の拡張・建て替えを一度行っており、拡張・建て替え前の住居をA期、拡張・建て替え後の住居をB期とする。柱穴・竈・貯蔵穴・入り口ピットは、拡張・建て替え時に位置をずらして設置されている。南壁に直交する南北方位は、N - 20° - Wである。

位置 し・す-11・12グリッドに位置する。確認面標高は、143.9mである。

規模 住居南半は現在の田地改修により掘方まで掘削されているが、入り口ピット等の付属施設により南北規模を推定した。B期住居の規模は、長軸東西8.7m・短軸南北推定7.9mである。確認面から床面までの深さは最大0.1mで、床面標高は143.8mである。

覆土 自然堆積か（3～6層）。

床面・掘方 B期の床面は概して平坦で、部分的にハードローム面を床面としている。B期の住居掘方はハードローム層まで掘り込み、黒褐色土・黄褐色土を埋め戻し貼床としている（7・8層）。掘方の深さは、最大0.2

m (掘方底面標高 143.6 m) である。

柱穴 B期住居に伴う主柱穴は4基(P 1～P 4)で、P 1・4間中央にはやや小さい補助的な柱穴がある(P 13)。また、西柱列(P 3・P 4)の南延長にも補助的な柱穴を確認している(P 11)。B期主柱穴掘方は平面形円形で、規模は直径0.4～0.5 m・床面からの深さ0.55～0.9 mである。主柱穴いずれも柱痕跡が残っており、柱の太さは15～20 cmである。2基の補助柱は、直径0.2～0.3 m・床面からの深さ0.25～0.35 mの円形である。いずれも柱痕跡が残っており、柱の太さは15 cmである。A期の柱穴は、B期住居の貼床により埋め戻されており、いずれも貼床下で確認した。A期住居の主柱穴も4基(P 5～P 8)で、東・西柱列中央には、柱列から外側にずれた補助的な柱穴がある(P 9・P 12)。A期主柱穴掘方は、平面形隅丸方形で、規模は一辺0.3～0.6 m・床面からの深さ0.35～0.65 mで、B期柱穴より浅く小さい。主柱穴いずれも柱痕跡が残っており、柱の太さは15～20 cmである。2基の補助柱は、直径0.3～0.4 m・床面からの深さ0.35～0.5 mの円形である。いずれも柱痕跡が残っており、柱の太さは10 cmである。

壁溝 住居拡張・建て替えの際に、壁溝も掘り直されている。床面が残存している住居北半では、A・B期共に壁際を巡っていることから、住居の壁際を周囲していたと推測される。

貯蔵穴 A・B期共に竈の東側に設置している。B期貯蔵穴は、一辺0.7 m・床面からの深さ0.35 mの隅丸方形を呈する。A期貯蔵穴は、B期住居拡張・建て替えの際に、A期竈焼土で埋め戻され、その上層をB期住居の貼床を行っている。A期貯蔵穴は、東西1.0 m・南北0.7 m・床面からの深さ0.35 mの長方形を呈する。

入り口ピット A・B期共に住居南壁際中央にあり、B期入り口ピットはやや北側にずらしている。B期入り口ピットの規模は、長径0.6 m・短径0.3 m・残存の深さ0.3 mの南北に長い楕円形である。A期入り口ピットは、B期に北半を壊されている。

竈 B期竈は北壁中央に付設され、袖部下端の一部が遺存するのみである。袖部の芯材として、土師器の甕を使用している。A期竈は、B期住居拡張・建て替えの際に壊されており、燃焼部の窪みが残るのみである。

出土遺物 図化・掲載した遺物は、須恵器壺1点(No.30)・瓶1点(No.31)・長頸壺1点(No.32)、土師器壺6点(No.33～38)・塊3点(No.39・40・42)・鉢1点(No.41)・甕10点(No.43～52)、琥珀製棗玉1点(No.122)、打製石斧1点(124)である。

時期 出土遺物から、本住居は7世紀中葉頃と推測される。

S I - 6322 (第36・49図、図版十四)

概要 調査区西側で確認した、平面形方形を呈する堅穴住居である。南壁中央に張り出しピットを伴う。SK-6323と重複し、これより古い。南壁に直交する南北方位は、N-14°-Wである。

位置 こ-10・11グリッドに位置する。確認面標高は、143.75 mである。

規模 長軸東西5.8 m、短軸南北5.5 mである。

覆土 覆土は、現耕作による搅乱により確認されず、確認面が貼床埋土中であった。

床面・掘方 掘方は、ハードローム層まで掘り込み、暗褐色土を埋め戻し貼床としている。残存した掘方の深さは、最大0.15 m (掘方底面標高143.6 m) である。

柱穴 主柱穴は4基(P 1～P 4)で、掘方は直径0.4 m・残存深さ0.25 m前後の規模の円形である。P 1・2で柱痕跡が残っており、柱の太さは20 cmである。

炉 床面削平により確認されなかった。

張り出しピット 住居南壁中央外側に設置されている。南半は調査区外であるため南北長は不明だが、東西幅 0.9 m・深さ 0.5 m の規模の平面形隅丸長方形を呈する。

出土遺物 図化・掲載した遺物は、土師器壺 2 点 (No.53・54)・壺 3 点 (No.55～57) である。

時期 出土遺物及び住居構造から、本住居は古墳時代中期（5世紀代）と推測される。

S I - 6341 (第 36・51 図、図版十四)

概要 調査区西側で確認した、平面形隅丸方形を呈する竪穴住居である。S I - 6342 より新しく、西側の S K - 6264・6458 等の土坑群より古い。南壁に直交する南北方位は、N - 0.5° - W である。

位置 け・こ - 12 グリッドに位置する。確認面標高は、144.0 m である。

規模 長軸東西推定 5.9 m、短軸南北 4.8 m である。確認面から床面までの深さは 0.2 m で、床面標高は 143.8 m である。

覆土 自然堆積である（1～3 層）。

床面・掘方 床面は、住居の中央部分はローム面を床面とし、概して平坦で硬くしまる。掘方は、住居の中央部分を除いてハードローム層まで掘り込み、黄褐色土を埋め戻し貼床としている。掘方の深さは、最大 0.2 m（掘方底面標高 143.6 m）である。

柱穴 住居床面に小ピットを数基確認したが、主柱穴は確認できなかった。

壁溝・貯蔵穴・入り口ピット なし。

竪 東壁南寄りに付設している。切り石の凝灰岩を袖部と焚口の芯材にしており、焚口の芯材が他の竪構築材と共に、住居廃棄後住居内側（西）に向かって崩壊している。

出土遺物 図化・掲載した遺物は、灰釉陶器皿（か）1 点 (No.86)、須恵器高台付壺 1 点 (No.87)・盤状壺 1 点 (No.88)・甕 3 点 (No.89～91)、土師器壺 2 点 (No.92・93) である。

時期 出土遺物から、本住居は奈良時代（8世紀代）と推測される。

S I - 6342 (第 36 図、図版十四)

概要 調査区西側で確認した竪穴住居である。S I - 6341 に住居の大半を切られており、住居北東部分の一部が残るのみである。

位置 け・こ - 12 グリッドに位置する。確認面標高は、144.0 m である。

規模 不明。

覆土 自然堆積か。

床面・掘方 床面は確認されず不明。

柱穴・竪・壁溝・貯蔵穴・入り口ピット 不明。

出土遺物 なし。

時期 出土遺物が皆無で詳細な年代は不明だが、S I - 6341 より古いことや周辺の状況から、古墳時代（後期～終末期か）の住居と考えたい。

S I - 6330 (第 37・38・49・50・53 図、図版十五)

概要 調査区西側で確認した、方形を呈する竪穴住居である。北・西・東壁を拡張し住居の建て替えを行っており、拡張・建て替え前の住居を A 期、拡張・建て替え後の住居を B 期とする。S B - 6340・S B -

6350A・B期・S B-6510A・B期・S B-6515・S K-6468・S K-6477・S K-6522・S K-6523と重複し、これらより古い。南壁に直交する南北方位は、A・B期共にN-6°-Wである。

位置 く・け-10・11グリッドに位置する。確認面標高は、143.6～143.75mである。

規模 B期住居の規模は、長軸南北8.2m・短軸東西8.1mである。確認面から床面までの深さは最大0.3mで、床面標高は143.45mである。A期住居は、東西・南北共に7.5mの規模である。

覆土 B期住居の覆土は、自然堆積である（6～8層）。

床面・掘方 床面は概して平坦で硬くしまり、B期住居床面はA期住居床面を踏襲している。床面は、中央部分ではローム面を床面としている。掘方（A期）は、住居壁際をハードローム層まで掘り込み、ロームブロック主体の黄褐色土を埋め戻し貼床としている（9層）。住居の四隅はさらに深く掘り込んでいる。B期の北東・北西隅部は、A期竈を壊した際の焼土や炭化物が埋め戻されていた。A期住居掘方の深さは、0.1m（掘方底面標高143.35m）である。

柱穴 B期住居に伴う主柱穴は4基（P1～P4）で、北東・南東・南西の柱には、掘方埋土状況から、角材が使用されている可能性が高い。A期住居の柱穴が確認出来なかたことから、B期住居拡張・建て替えの際には、柱はA期住居の柱をそのまま踏襲して使用したと推測される。また、住居の外側には、主柱穴の柱筋に揃って補助的な柱穴が見られる。

壁溝 A・B期共になし。

貯蔵穴 A・B期共に竈東側に設置している。A期貯蔵穴（P8）は、東西に長くやや丸みを帯びた長方形を呈する。B期貯蔵穴（P7）は、南北に長い長方形を呈している。

入り口ピット 南壁際中央に位置するP6が入り口ピットに関連する可能性もある。

竈 B期竈は、北壁中央に付設されている。A期竈は、B期竈に壊されていると考えられる。B期竈は、A期住居を拡張し貼床を貼った後、竈を作成しており、燃焼部は貼床を掘り窪め壁・床に粘土を貼り、灰白色の凝灰岩の切り石を竈の袖部や焚口天井部などに芯材として使用されていた。煙道は住居壁を切らず、壁に貼られた粘土部分から立ち上がり、北辺は直線に確認された。

出土遺物 図化・掲載した遺物は、須恵器龜（か）1点（No.58）・甕5点（No.59～63）・土師器壺7点（No.64～70）・壺3点（No.71～73）・甕11点（No.74～84）・甑1点（No.85）・滑石片岩製白玉1点（No.123）・石鏃1点（No.125）・鉄製品刀子1点（No.127）・鎌（か）1点（No.128）である。

時期 出土遺物から、本住居は古墳時代終末期（7世紀中葉頃）と推測される。

S I - 6528（第38・51図、図版十四）

概要 調査区南西端で確認した、方形を呈する小型の壘穴住居である。南壁に直交する南北方位は、N-26°-Wである。

位置 け・こ-9グリッドに位置する。確認面標高は、142.8mである。

規模 長軸東西3.5m・短軸南北3.3mであり、確認面から床面までの深さは0.3mで、床面標高は143.5mである。

覆土 自然堆積である（1・2層）。

床面・掘方 床面は、地山である粘土層をそのまま利用しており、平坦でしまる。

柱穴・壁溝・貯蔵穴・入り口ピット なし。

竈 北壁中央に付設している。東西袖部の下端が遺存している。

出土遺物 図化・掲載した遺物は、土師器杯1点（No.94）である。

時期 出土遺物から、本住居は古墳時代終末期（7世紀中葉頃）と推測される。

第5節 土坑（第39～46・51図 第3表 図版十六～二十一）

6区調査区内からは、93基の土坑（方形豎穴遺構を含む）を確認しているが、ほとんどは近現代か時期不明の遺構である。時期が判明した土坑は、古墳時代後期の土坑2基（SK-6040・6531）、中世の方形豎穴遺構1基（SK-6323）、中・近世の土坑1基（SK-6462）である。

第3表 土坑一覧表

番号	遺構番号	位置(グリッド)	平面形	規模(cm)()= 残存			出土遺物	備考
				長軸	短軸	深さ		
1	SK-6003	ま-15	楕円形	(37)	42	11		SD-4007より新
2	SK-6004	ほ-14・15	長方形	(465)	88	8	土師器片1点	
3	SK-6005	ひ-14	長方形	198	50	20	土師器片4点	
4	SK-6010	は-14	円形	115	—	30-43	土師器片1点	
5	SK-6011	は-14	隅丸方形	76	69	10		
6	SK-6013	は-13	円形	115	—	15		底面に樹皮が残る横木を敷く、近現代の田耕作に伴う暗渠排水枠と考えられる
7	SK-6014	は-13	長方形	186	71	6		SK-6015より古、SD-4012Aより新
8	SK-6015	は-13	長方形	245	107	4		SD-4012A・B・SK-6014より新
9	SK-6028	ね・の-13	長方形	230	60	16		
10	SK-6030	ね-13	不整形	234	120	25-54		
11	SK-6031	ね-13	円形	138	—	46		底面に樹皮が残る横木を敷く、近現代の田耕作に伴う暗渠排水枠と考えられる
12	SK-6040	ぬ-13	隅丸方形	57	54	10	土師器片1点(No.97)	古墳時代終末期
13	SK-6042	ぬ-13	長方形	158	70	14		SK-6043より古
14	SK-6043	ぬ-13	長方形	171	60	12		SK-6042より新
15	SK-6044	ぬ-12・13	長方形	225	(63)	24		SK-6045より古
16	SK-6045	ぬ-12・13	長方形	148	60	27		SK-6044を切る
17	SK-6046	ぬ-13・14	長方形	217	57	12		
18	SK-6049	に-13	隅丸方形	72	73	8		
19	SK-6050	ぬ-12	隅丸方形	84	83	35		
20	SK-6052	な-13	長方形	378	85	32	土師器片2点	SK-6053より古
21	SK-6053	な-13	長方形	238	100	10		SK-6052より新
22	SK-6075	に-12	円形	58	—	9		
23	SK-6107	と・な-12	不整形	350	180	7-32	土師器片23点	
24	SK-6129	と-13	長方形	178	104	42	近代磁器片1点	SB-6160より新
25	SK-6132	と-13	楕円形	102	85	11		
26	SK-6166	て-12・13	長方形	374	70	25		SD-6167より新
27	SK-6174A	つ・て-12	長方形か	(95)	54	10		SK-6174Bより古
28	SK-6174B	つ・て-12	長方形	244	56	20		SK-6174Aより新
29	SK-6175	つ-12	長方形	344	64	7	土師器片1点	
30	SK-6177	つ-12	長方形	210	82	38	土師器片1点(No.98)	SB-6200より新、遺物は下層のSI-6178から流入
31	SK-6187	ち-12	長方形	210	70	16	土師器片5点、須恵器片1点	
32	SK-6188	ち-12	長方形	328	102	22	土師器片3点	SK-6189より新
33	SK-6189	ち-12	長方形	256	100	11		SK-6188より古
34	SK-6191	ち-12	長方形	280	62	7-12	土師器片1点	
35	SK-6210	た-13	長方形	117	50	7		SK-6211より新
36	SK-6211	た-13	長方形	168	60	34		SK-6210より古
37	SK-6234	そ-12	長方形	243	110	26		
38	SK-6238	せ・そ-12	長方形	158	65	10		SK-6239より新
39	SK-6239	せ・そ-12	長方形	327	87	10		SK-6238より古
40	SK-6240	そ-12	長方形	180	56	14		
41	SK-6241	て-12	長方形	300	110	38	土師器片1点	SK-6242より新
42	SK-6242	て-12	長方形	(170)	85	28		SK-6241より古、SK-6451より新
43	SK-6451	て-12	長方形	180	(68)	18	土師器片1点	SK-6242より古
44	SK-6243	て-12	長方形	280	85	48		SK-6503より新
45	SK-6503	て-12	不明	(65)	70	10		SK-6243・SK-6504より古
46	SK-6504	て-11・12	長方形	130	72	32		SK-6503・SK-6505より新
47	SK-6505	て-11	不整形	(162)	67	8-17		SK-6504より古

48	SK-6323	こ-10・11	長方形	310	280	28	土師器片24点,須恵器片2点	SI-6332より新,中世の方形堅穴遺構,南北壁際及び底面中央に床束を伴う
49	SK-6325	こ-11・12	長方形	210	120	30		
50	SK-6437	こ・さ-11	長方形	190	78	30		SK-6438より新
51	SK-6438	さ-11	長方形	(120)	110	34		SK-6437より古
52	SK-6448	つ-12	長方形	298	72	30	土師器片3点	
53	SK-6449	そ・た-13	長方形	288	74	12		
54	SK-6450	て-13	長方形	192	88	22	陶器片2点	
55	SK-6467	け-11・12	長方形	100	90	29	土師器片1点	
56	SK-6456	け-11・12	不整形	158	—	30		SK-6457～6459より古,SK-6462・6473より新
57	SK-6457	け-11・12	不整形	120	(85)	45		SK-6458より古,SK-6456より新
58	SK-6458	け-11・12	長方形	560	73	33		SK-6459より古,SK-6457より新
59	SK-6459	け-11・12	長方形	368	90	46		SK-6458・6462・6473・SB-6350より新
60	SK-6461	け-11・12	長方形	106	76	56		SK-6486より古,SK-6462より新
61	SK-6462	け-11・12	長方形	475	290	44	周辺も含め土師器片28点,須恵器片5点	SK-6456・6459・6461・6463より古,SK-6473～6475より新,中・近世
62	SK-6463	け-11・12	長方形	282	90	50	土師器片2点	SK-6462・6464・6474・6475より新
63	SK-6464	け-11・12	長方形	(110)	89	10-22		SK-6463より古,SK-6462より新
64	SK-6473	け-11・12	長方形	162	105	72		SK-6459・6462より古,SK-6474・6475より新
65	SK-6474	け-11・12	長方形	(175)	(150)	56		SK-6459・6462・6463・6473・6486より古,SK-6475より新
66	SK-6475	け-11・12	不整形	(110)	(70)	47		SK-6462・6463・6473・6474より古
67	SK-6486	け-11・12	楕円形	(200)	185	38	土師器片28点,須恵器片1点,陶器片1点	SK-6461・6462・6474より新
68	SK-6468	け-11・12	長方形	104	84	36		
69	SK-6476	た-12	不整形	62	50	54	土師器片1点	SI-6192より新
70	SK-6477	け-11	楕円形	130	57	62		SI-6330より古
71	SK-6479	け-11	長方形	(77)	(44)	38		SB-6540より新
72	SK-6501	そ・た-13	不整形	194	114	18-40		SI-6235より古
73	SK-4183	ね-12	円形	138	—	46		底面に樹皮が残る横木を敷く,近現代の田耕作に伴う暗渠排水枡と考えられる
74	SK-4184	ね-12	長方形	173	80	24		
75	SK-6502	し-12・13	長方形	870	112	18		
76	SK-7713	し-12・13	長方形	507	94	30		SK-6502・7713より古
77	SK-7717	し-12・13	長方形	594	90	36		SK-6502・7713・8482より新
78	SK-8482	し-12	長方形	305	140	26		SK-7713より古,SK-6502より新
79	SK-8129	こ・さ-12・13	長方形	(310)	74	22		SB-5041より新
80	SK-8437	く・け-12	長方形	376	64	40		SB-6350より新
81	SK-6512	き-13	長方形	118	62	8		
82	SK-6513	き-12・13	長方形	248	90	14		
83	SK-6514	き-12	長方形	345	74	20		
84	SK-6516	き-12	長方形	136	50	6		
85	SK-6517	き-11	長方形	410	74	36		
86	SK-6518	く-11	長方形	135	78	28		SK-6519より古
87	SK-6519	き・く-11	長方形	(200)	106	20		SK-6518より新
88	SK-6521	く-11・12	楕円形	102	88	32		
89	SK-6522	け-11	長方形	(250)	68	23		SK-6523・SB-6350より新
90	SK-6523	け-11	長方形	309	88	20		SK-6522・SB-6340・6350より古
91	SK-6524	く-10	長方形	226	85	40		
92	SK-6529	く-11	円形	93	—	10		
93	SK-6531	か-13	円形	32	—	24	土師器坏2点(No.99・100)	柱穴状小ピット,古墳時代終末期(7世紀中葉頃)

第6節 井戸

6区内からは、2本の素掘りの井戸を確認した。井戸は、発掘作業上の安全面を考慮し、底面までは掘り下げていない。

S E - 6113 (第46・51図、図版十六)

概要 調査区中央で確認した、平面形がやや東西に長い楕円形を呈する素掘りの井戸である。

位置 と-12 グリッドに位置する。確認面標高は、144.2 mである。

規模 長軸東西 1.9 m・短軸南北 1.7 mで、確認面からの深さは、0.6 m以上である。

覆土 2層に河原石が多量に混入することから、人為的に埋め戻されたと考えられる。

出土遺物 図化・掲載した遺物は、須恵器甕1点（No.95）、灰釉陶器瓶1点（No.96）である。

時期 出土遺物から、奈良時代（8世紀後葉か）の井戸と考えられる。

S E - 7396 (第46図)

概要 調査区西寄りで確認した、平面形がやや南北に長い楕円形を呈する大型の素掘りの井戸である。5-①区に跨る。

位置 せ-13 グリッドに位置する。確認面標高は、144.1 mである。

規模 長軸南北 2.5 m・短軸東西 2.4 mで、確認面からの深さは、1.2 m以上である。

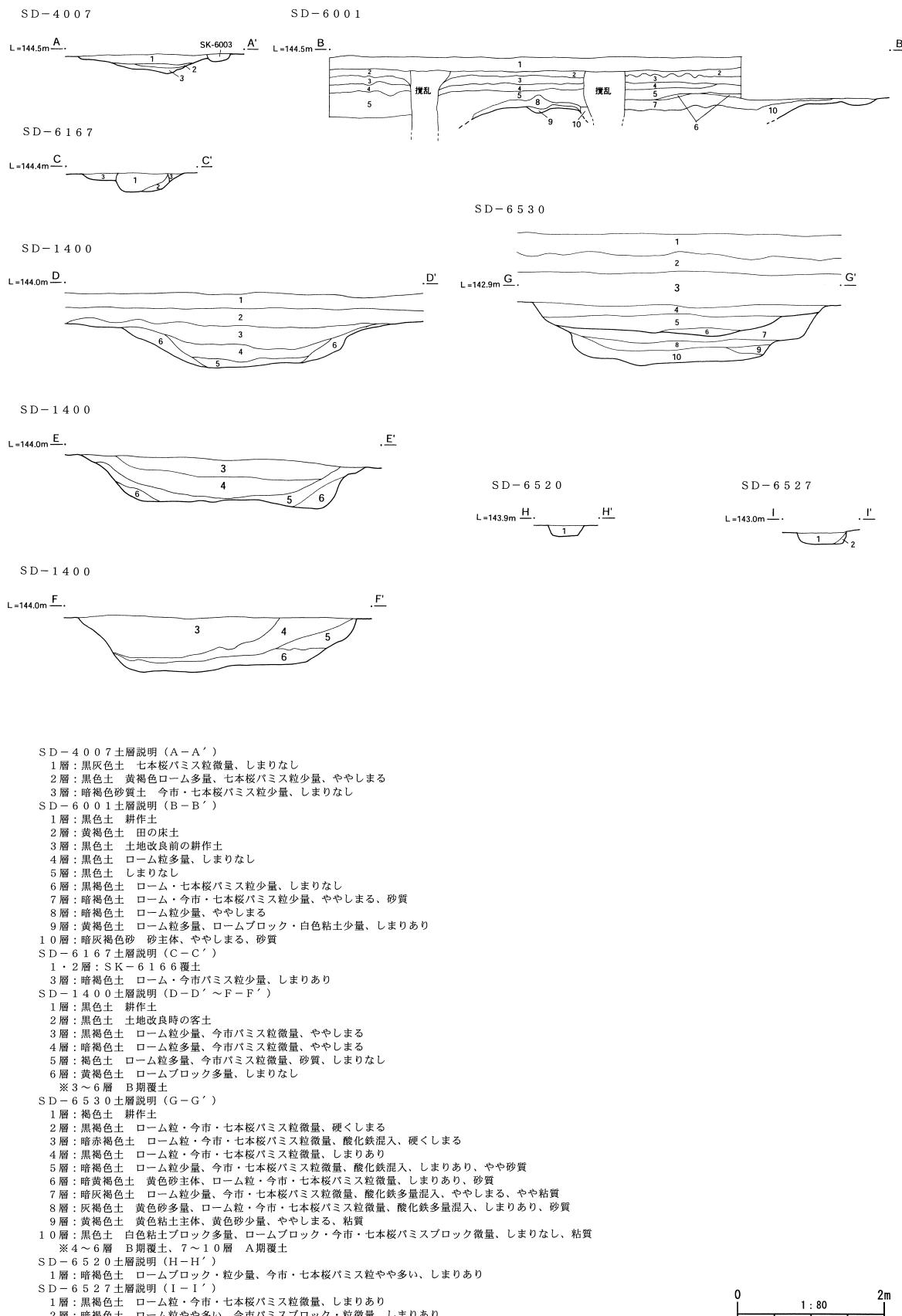
覆土 人為的な埋め戻しと推測される。

出土遺物 なし。

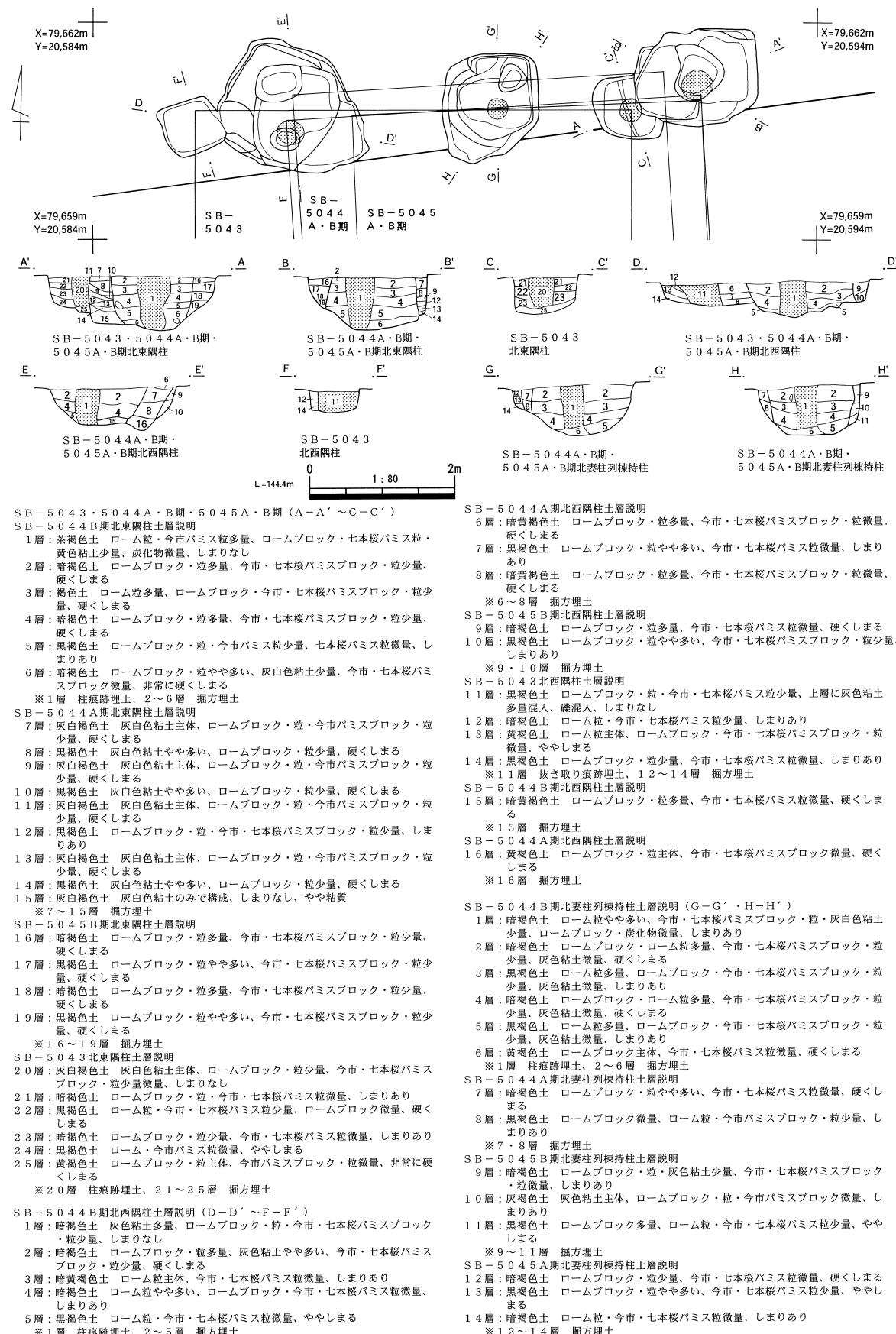
時期 遺物は出土していないが、5-①区内で確認した中・近世の井戸との類似性から、本井戸も中・近世の井戸と判断した。



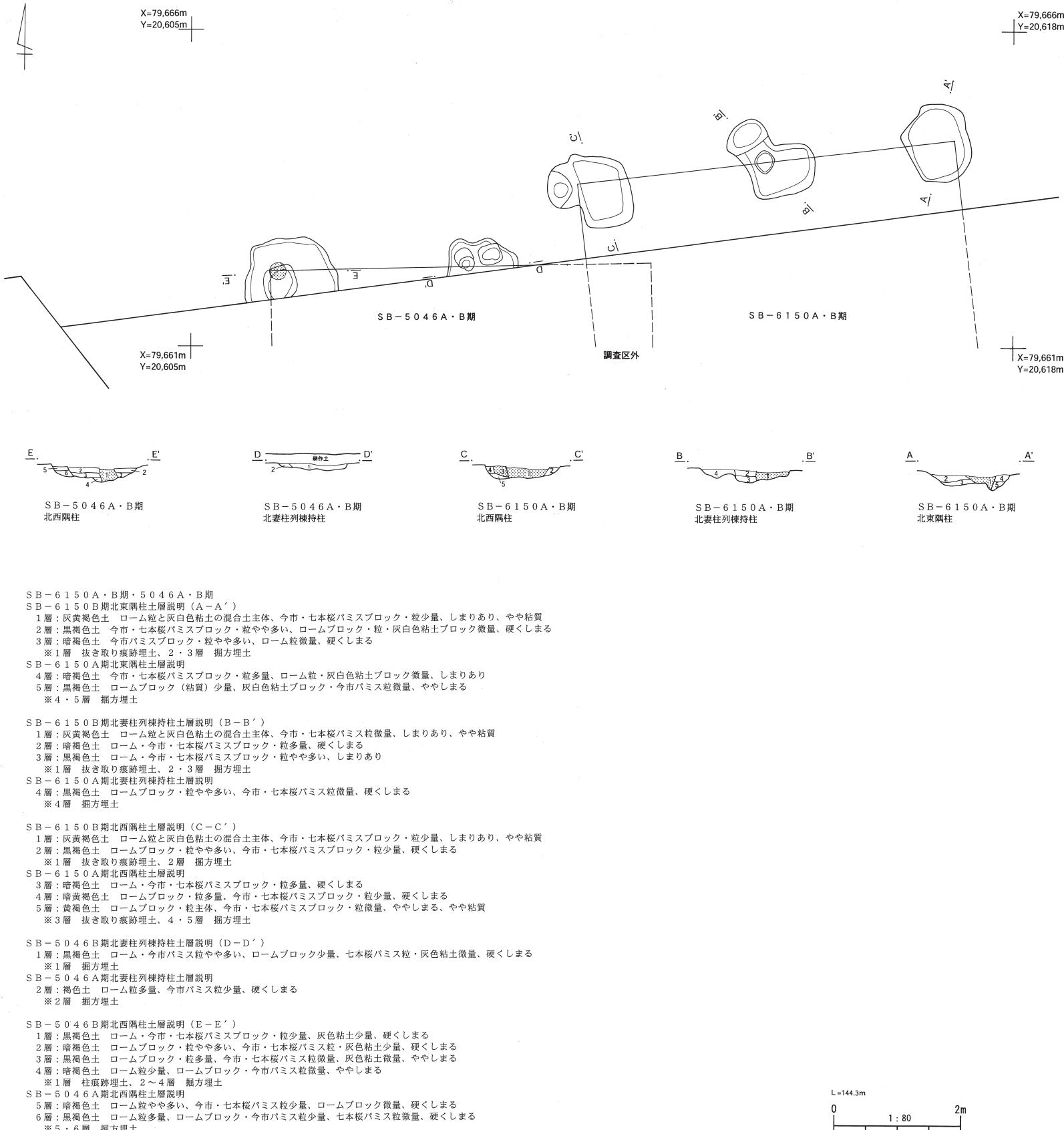
6区遺構配置図



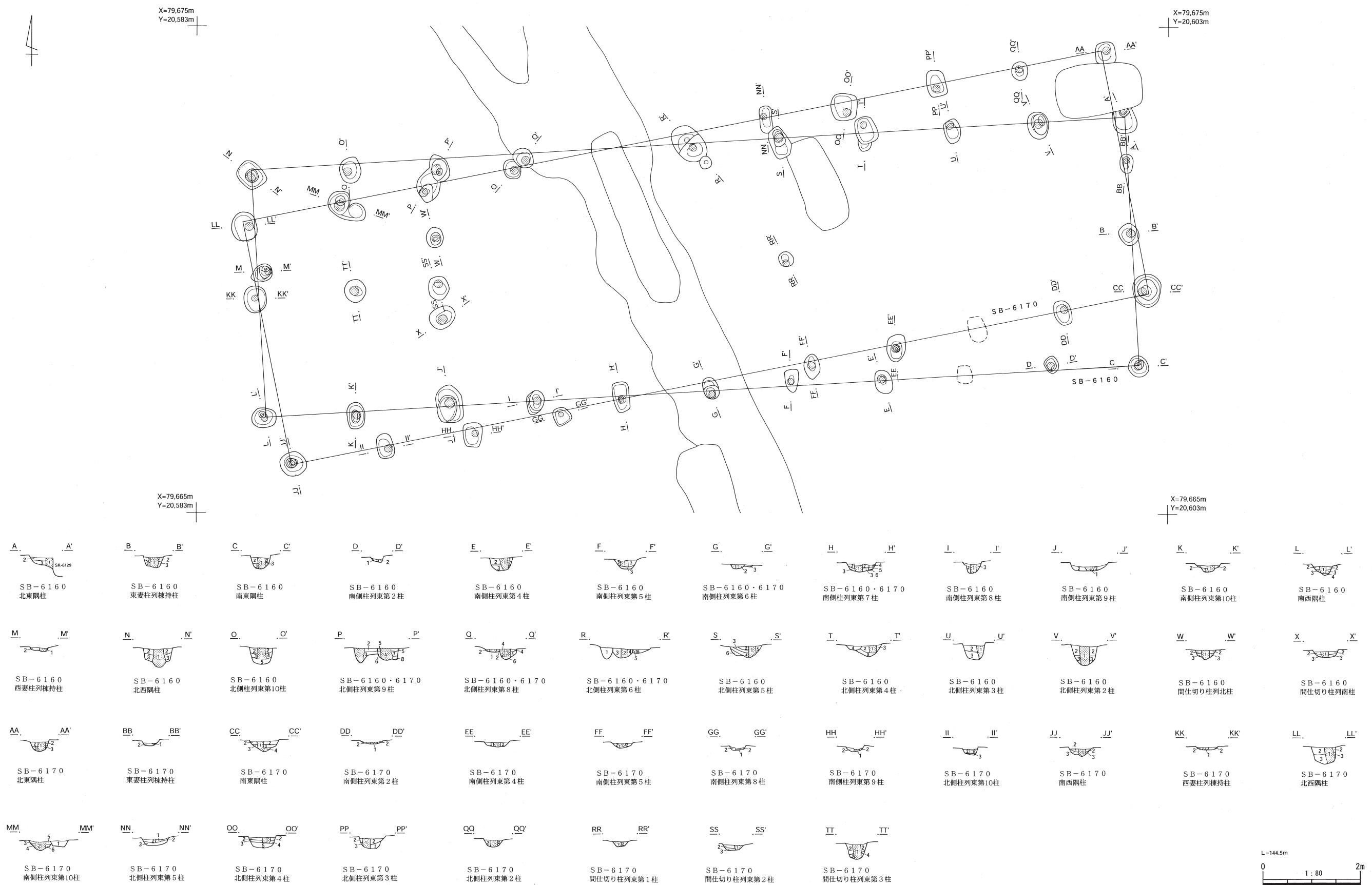
第6図 SD-4007・6001・6167・1400・6530・6520・6527 実測図



第7図 SB-5043・5044A・B期・5045A・B期実測図



第8図 SB-5046 A・B期・6150 A・B期実測図



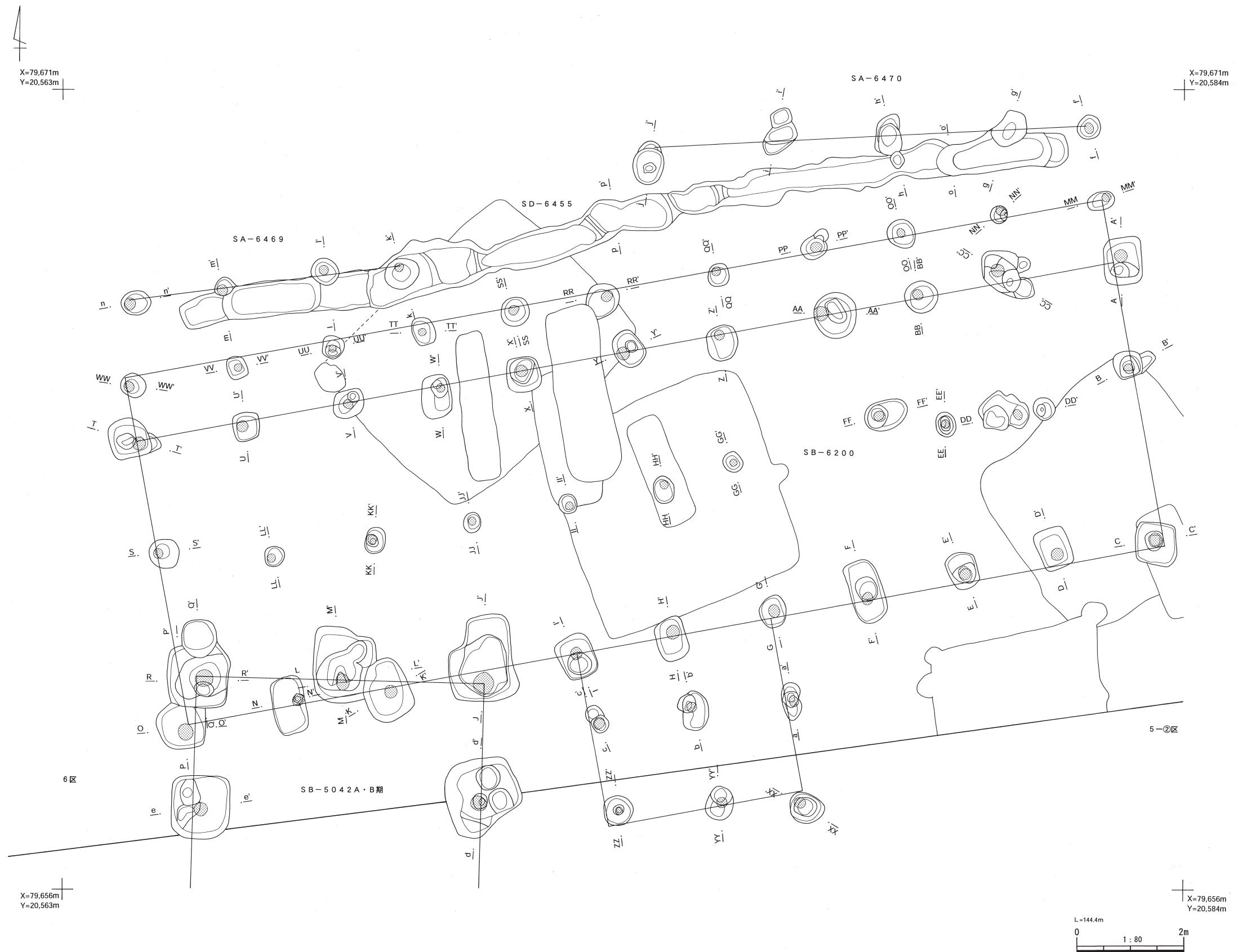
第9図 SB-6160・6170 実測図

SB-6 1 6 0 · 6 1 7 0	SB-6 1 6 0 北東隅柱土層説明 (A-A')
S B - 6 1 6 0 北東隅柱土層説明 (A-A')	1層: 黒褐色土 ローム・今市パミス粒微量、ややしまる 2層: 暗褐色土 ローム粒少量、七本桜パミス粒微量、しまりあり 3層: 暗褐色土 ローム粒少量、ロームブロック・今市パミス粒微量、しまりあり ※ 1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
S B - 6 1 6 0 東妻柱列持柱土層説明 (B-B')	1層: 黒褐色土 ローム・今市パミス粒微量、しまりあり 2層: 暗褐色土 今市パミスブロック少量、七本桜パミス粒微量、しまりあり 3層: 暗褐色土 ロームブロックや多い、今市パミスブロック少量、七本桜パミス粒微量、しまりあり ※ 1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
S B - 6 1 6 0 南東隅柱土層説明 (C-C')	1層: 黒褐色土 今市・七本桜パミスブロック多量、しまりなし 2層: 暗褐色土 今市パミス粒微量、しまりあり 3層: 暗褐色土 今市パミスブロックやや多量、しまりあり ※ 1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
S B - 6 1 6 0 南側柱列第2柱土層説明 (D-D')	1層: 黒褐色土 今市パミス粒微量、しまりなし 2層: 暗褐色土 ロームブロック多量、しまりあり 3層: 暗褐色土 ロームブロック多量、ローム粒少量、しまりあり ※ 1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
S B - 6 1 6 0 南側柱列第4柱土層説明 (E-E')	1層: 黒褐色土 ローム粒少量、しまりなし 2層: 暗褐色土 ロームブロック少量、しまりあり 3層: 暗褐色土 ロームブロック多量、ローム粒少量、しまりあり ※ 1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
S B - 6 1 6 0 南側柱列第5柱土層説明 (F-F')	1層: 黒褐色土 ロームブロック少量、七本桜パミス粒微量、しまりなし 2層: 暗褐色土 ローム粒微量、しまりあり 3層: 黄褐色土 ロームブロック主体、暗褐色土少量、硬くしまる ※ 1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
S B - 6 1 6 0 南側柱列第6柱土層説明 (G-G')	1層: 黒褐色土 ロームブロック少量、七本桜パミス粒微量、しまりなし 2層: 黑褐色土 ローム粒少量、しまりあり ※ 1層 柱痕跡埋土、2層 挖方埋土
S B - 6 1 7 0 南側柱列第6柱土層説明	3層: 暗褐色土 ローム粒や多い、ロームブロック少量、しまりあり ※ 3層 挖方埋土
S B - 6 1 6 0 南側柱列第7柱土層説明 (H-H')	1層: 黒褐色土 ロームブロックや多い、今市パミス粒少量、しまりなし 2層: 暗褐色土 ロームブロック少量、ローム粒少量、しまりあり 3層: 暗褐色土 ロームブロック多量、今市パミス粒微量、しまりあり ※ 1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
S B - 6 1 7 0 南側柱列第7柱土層説明	4層: 黑褐色土 ローム粒や多い、しまりあり 5層: 黄褐色土 ロームブロック主体、しまりあり 6層: 黑褐色土 ロームブロック多い、しまりあり ※ 4~6層 挖方埋土
S B - 6 1 6 0 南側柱列第8柱土層説明 (I-I')	1層: 黒褐色土 ローム・今市パミスブロック多量、七本桜パミス粒少量、ややしまる 2層: 黄褐色土 ロームブロック主体、しまりなし 3層: 黑褐色土 ロームブロック多い、ややしまる ※ 1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
S B - 6 1 6 0 南側柱列第9柱土層説明 (J-J')	1層: 黑褐色土 ローム粒少量、今市・七本桜パミス粒微量、しまりあり 2層: 暗褐色土 七本桜パミス粒や多い、今市パミス粒少量、しまりあり ※ 1層 柱痕跡埋土、2層 挖方埋土
S B - 6 1 6 0 南側柱列第10柱土層説明 (K-K')	1層: 黑褐色土 今市・七本桜パミスブロック少量、しまりなし 2層: 暗褐色土 七本桜パミスブロック少量、今市パミスブロック微量、しまりあり 3層: 暗褐色土 今市パミスブロックや多い、七本桜パミス粒微量、しまりあり ※ 1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
S B - 6 1 6 0 南西隅柱土層説明 (L-L')	1層: 黑褐色土 ローム粒少量、しまりなし 2層: 暗褐色土 ロームブロックや多い、しまりあり 3層: 暗褐色土 ローム粒少量、しまりあり 4層: 暗褐色土 ロームブロック多量、今市パミスブロックや多い、硬くしまる ※ 1層 柱痕跡埋土、2~4層 挖方埋土
S B - 6 1 6 0 西妻柱列持柱土層説明 (M-M')	1層: 黑褐色土 ローム粒少量、今市パミス粒微量、しまりなし 2層: 暗褐色土 今市パミス粒少量、しまりあり ※ 1層 柱痕跡埋土、2層 挖方埋土
SB-6 1 6 0 北側柱列東第10柱土層説明 (N-N')	1層: 暗褐色土 ローム粒やや多い、今市パミス粒少量、ややしまる 2層: 黑褐色土 ローム粒少量、今市パミス粒・七本桜パミスブロック微量、しまりあり 3層: 黑褐色土 ローム・今市パミスブロック多量、しまりあり ※ 1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
SB-6 1 6 0 北側柱列東第10柱土層説明 (O-O')	1層: 黑褐色土 ロームブロック少量、今市・七本桜パミス粒微量、しまりなし 2層: 黑褐色土 ローム粒少量、今市・七本桜パミス粒微量、しまりあり 3層: 黑褐色土 ロームブロックやや多い、ローム・今市パミス粒少量、しまりあり 4層: 黑褐色土 ロームブロックやや多い、しまりあり 5層: 暗褐色土 ロームブロック多量、ローム粒やや多い、今市パミスブロック少量、硬くしまる ※ 1層 柱痕跡埋土、2~5層 挖方埋土
SB-6 1 6 0 北側柱列第9柱土層説明 (P-P')	1層: 黑褐色土 ローム粒やや多い、ロームブロック・今市パミス粒少量、しまりなし 2層: 暗褐色土 ローム・今市・七本桜パミス粒少量、ロームブロック微量、しまりあり 3層: 暗褐色土 ローム・今市パミス粒少量、しまりあり ※ 1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
SB-6 1 7 0 北側柱列東第9柱土層説明	4層: 黑褐色土 今市パミス粒少量、ローム・七本桜パミス粒微量、しまりなし 5層: 暗褐色土 今市・七本桜パミス粒少量、しまりなし 6層: 黑褐色土 ロームブロック・今市パミス粒少量、しまりあり 7層: 黑褐色土 今市パミス粒少量、しまりあり 8層: 暗褐色土 ロームブロック多量、ややしまる ※ 4層 柱痕跡埋土、5~8層 挖方埋土
SB-6 1 6 0 北側柱列東第8柱土層説明 (Q-Q')	1層: 黑褐色土 ローム粒少量、しまりなし 2層: 暗褐色土 今市パミス粒少量、七本桜パミス粒微量、しまりあり ※ 1層 柱痕跡埋土、2層 挖方埋土
SB-6 1 7 0 北側柱列東第8柱土層説明	S B - 6 1 7 0 北側柱列東第8柱土層説明 3層: 黑褐色土 ロームブロックやや多い、今市パミス粒・七本桜パミスブロック少量、ややしまる 4層: 暗褐色土 今市パミス粒・七本桜パミスブロック少量、ややしまる 5層: 暗褐色土 ロームブロック多量、しまりあり 6層: 茶褐色土 ロームブロック多量、硬くしまる ※ 3層 柱痕跡埋土、4~6層 挖方埋土
SB-6 1 6 0 北側柱列東第6柱土層説明 (R-R')	S B - 6 1 6 0 北側柱列東第6柱土層説明 (R-R') 1層: 黑褐色土 今市パミスブロックやや多い、七本桜パミスブロック少量、ややしまる 2層: 黑褐色土 今市パミスブロック少量、七本桜パミスブロック微量、しまりなし 3層: 暗褐色土 今市パミスブロックやや多い、七本桜パミス粒少量、しまりあり 4層: 暗褐色土 今市パミス粒やや多い、しまりあり ※ 1層 新しい小ビット、2層 柱痕跡埋土、3・4層 挖方埋土
SB-6 1 7 0 北側柱列東第6柱土層説明	S B - 6 1 7 0 北側柱列東第6柱土層説明 5層: 黑褐色土 今市・七本桜パミス粒微量、しまりなし 6層: 暗褐色土 七本桜パミス粒少量、しまりあり ※ 5層 柱痕跡埋土、6層 挖方埋土
SB-6 1 6 0 北側柱列東第5柱土層説明 (S-S')	S B - 6 1 6 0 北側柱列東第5柱土層説明 (S-S') 1層: 黑褐色土 今市・七本桜パミス粒少量、ロームブロック微量、しまりなし 2層: 暗褐色土 今市パミス粒少量、七本桜パミス粒微量、しまりあり 3層: 暗褐色土 今市パミスブロックやや多い、七本桜パミス粒微量、しまりあり 4層: 暗褐色土 今市パミス粒やや多い、しまりあり 5層: 暗褐色土 今市パミス粒少量、七本桜パミス粒微量、しまりあり 6層: 暗褐色土 ロームブロック多量、今市パミスブロック少量、七本桜パミス粒微量、しまりあり ※ 1層 柱痕跡埋土、2~6層 挖方埋土
SB-6 1 6 0 北側柱列東第4柱土層説明 (T-T')	S B - 6 1 6 0 北側柱列東第4柱土層説明 (T-T') 1層: 黑褐色土 ローム・今市・七本桜パミス粒少量、しまりなし 2層: 暗褐色土 今市パミス粒少量、七本桜パミス粒微量、しまりあり 3層: 暗褐色土 七本桜パミス粒微量、しまりあり 4層: 暗褐色土 今市パミスブロック・七本桜パミス粒少量、しまりあり 5層: 暗褐色土 今市パミスブロック多い、今市パミス粒少量、しまりあり ※ 1層 柱痕跡埋土、2~5層 挖方埋土
SB-6 1 6 0 北側柱列東第3柱土層説明 (U-U')	S B - 6 1 6 0 北側柱列東第3柱土層説明 (U-U') 1層: 黑褐色土 ロームブロック多量、七本桜パミス粒少量、今市パミス粒微量、ややしまる 2層: 暗褐色土 ロームブロック・今市パミス粒少量、しまりあり 3層: 暗褐色土 ロームブロックやや多い、今市パミス粒微量、しまりあり ※ 1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
SB-6 1 6 0 北側柱列東第2柱土層説明 (V-V')	S B - 6 1 6 0 北側柱列東第2柱土層説明 (V-V') 1層: 黑褐色土 ロームブロック・七本桜パミス粒少量、今市パミス粒微量、しまりなし 2層: 暗褐色土 今市パミス粒微量、七本桜パミス粒少量、しまりあり 3層: 暗褐色土 ロームブロックやや多い、今市パミス粒少量、しまりあり ※ 1層 柱痕跡埋土、2~5層 挖方埋土

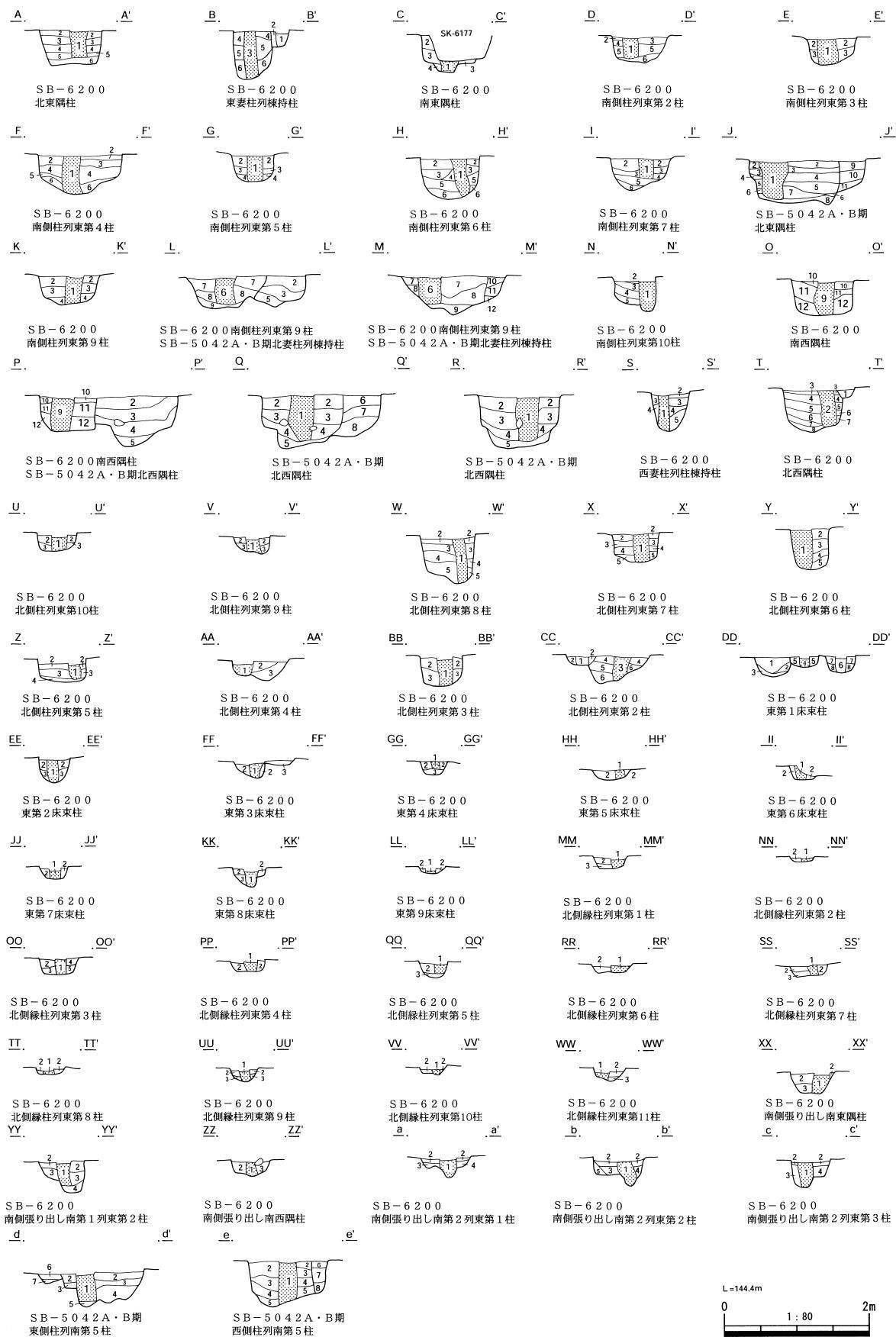
第10図 SB-6160・6170 土層説明 (1)

- SB-6160間仕切柱列北柱土層説明 (W-W')
- 1層: 黒褐色土 今市バミスブロック少量、ロームブロック・七本桜バミス粒微量、ややしまる
- 2層: 暗褐色土 今市バミスブロック・七本桜バミス粒微量、しまりあり
- 3層: 暗褐色土 今市バミスブロックやや多量、七本桜バミス粒微量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
- SB-6160間仕切柱列南柱土層説明 (X-X')
- 1層: 黒褐色土 今市・七本桜バミス粒少量、しまりなし
- 2層: 暗褐色土 今市バミス粒少量、七本桜バミス粒微量、しまりあり
- 3層: 暗褐色土 今市バミス粒少量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
- SB-6170北東隅柱土層説明 (AA-AA')
- 1層: 黒褐色土 今市バミスブロック・七本桜バミス粒微量、ややしまる
- 2層: 暗褐色土 今市バミス粒少量、しまりあり
- 3層: 暗褐色土 七本桜バミス粒少量、今市バミス粒微量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
- SB-6170東妻柱列棟柱土層説明 (BB-BB')
- 1層: 暗褐色土 七本桜バミス粒微量、しまりなし
- 2層: 暗褐色土 今市バミス粒微量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2層 挖方埋土
- SB-6170南東隅柱土層説明 (CC-CC')
- 1層: 黒褐色土 ロームブロックやや多い、今市バミス粒少量、しまりなし
- 2層: 黒褐色土 ロームブロック少量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
- 3層: 黒褐色土 ロームブロックやや多い、今市バミスブロック微量、しまりあり
- 4層: 黒褐色土 ローム粒少量、今市バミス粒微量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2~4層 挖方埋土
- SB-6170南側柱列東第2柱土層説明 (DD-DD')
- 1層: 暗褐色土 ローム粒少量、今市バミス粒微量、しまりなし
- 2層: 暗褐色土 ローム粒やや多い、今市バミス粒微量、ややしまる
※ 1層 柱痕跡埋土、2層 挖方埋土
- SB-6170南側柱列東第4柱土層説明 (EE-EE')
- 1層: 黒褐色土 ロームブロック少量、今市バミス粒微量、しまりなし
- 2層: 暗褐色土 今市バミス粒少量、七本桜バミス粒微量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2層 挖方埋土
- SB-6170南側柱列東第5柱土層説明 (FF-FF')
- 1層: 黒褐色土 今市・七本桜バミス粒微量、しまりなし
- 2層: 黒褐色土 ローム・今市バミス粒微量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2層 挖方埋土
- SB-6170南側柱列東第8柱土層説明 (GG-GG')
- 1層: 暗褐色土 今市バミス粒微量、ややしまる
- 2層: 暗褐色土 今市バミス粒少量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2層 挖方埋土
- SB-6170南側柱列東第9柱土層説明 (HH-HH')
- 1層: 黒褐色土 七本桜バミス粒少量、しまりなし
- 2層: 暗褐色土 七本桜バミス粒少量、今市バミス粒微量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2層 挖方埋土
- SB-6170南側柱列東第10柱土層説明 (II-II')
- 1層: 黒褐色土 今市バミス粒少量、七本桜バミス粒微量、しまりなし
- 2層: 暗褐色土 今市バミス粒少量、しまりあり
- 3層: 暗褐色土 ロームブロック多量、今市バミス粒やや多い、硬くしまる
※ 1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
- SB-6170南西隅柱土層説明 (JJ-JJ')
- 1層: 黒褐色土 ローム粒少量、今市バミス粒微量、しまりなし
- 2層: 暗褐色土 ロームブロックやや多い、今市バミス粒微量、しまりあり
- 3層: 暗褐色土 ロームブロック多量、今市バミス粒微量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
- SB-6170西妻柱列棟柱土層説明 (KK-KK')
- 1層: 黒褐色土 ローム粒微量、しまりなし
- 2層: 暗褐色土 ロームブロック少量、七本桜バミス粒微量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2層 挖方埋土
- SB-6170北西隅柱土層説明 (LL-L'L')
- 1層: 黒褐色土 ローム・今市バミスブロック少量、ローム粒少量、しまりなし
- 2層: 黒褐色土 ローム粒やや多い、今市バミス粒少量、しまりあり
- 3層: 黒褐色土 ローム粒少量、今市バミス粒微量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
- SB-6170北側柱列東第10柱土層説明 (MM-MM')
- 1層: 黒褐色土 今市バミスブロック・七本桜バミス粒やや多い、しまりあり
- 2層: 黒褐色土 今市・七本桜バミスブロック少量、しまりなし
- 3層: 暗褐色土 七本桜バミス粒少量、今市バミス粒微量、しまりあり
- 4層: 暗褐色土 七本桜バミス粒少量、しまりあり
- 5層: 黒褐色土 今市バミス粒・七本桜バミスブロック少量、しまりあり
- 6層: 黒褐色土 七本桜バミス粒微量、しまりあり
※ 1層 新しい小ビット、2層 柱痕跡埋土、3~6層 挖方埋土
- SB-6170北側柱列東第5柱土層説明 (NN-NN')
- 1層: 黒褐色土 今市バミスブロック少量、しまりなし
- 2層: 暗褐色土 七本桜バミス粒少量、今市バミスブロック微量、しまりあり
- 3層: 暗褐色土 ロームブロック多量、今市バミスブロック少量、硬くしまる
※ 1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
- SB-6170北側柱列東第4柱土層説明 (OO-OO')
- 1層: 黒褐色土 今市バミス粒少量、七本桜バミス粒微量、しまりなし
- 2層: 暗褐色土 ローム粒やや多い、ロームブロック・七本桜バミス粒少量、しまりあり
- 3層: 暗褐色土 ロームブロック少量、七本桜バミス粒微量、しまりあり
- 4層: 黄褐色土 ロームブロック主体、七本桜バミス粒微量、しまりあり
- 5層: 暗褐色土 ロームブロック多量、今市バミスブロック少量、七本桜バミス粒微量、硬くしまる
※ 1層 柱痕跡埋土、2~5層 挖方埋土
- SB-6170北側柱列東第3柱土層説明 (PP-PP')
- 1層: 黒褐色土 ローム粒少量、七本桜バミス粒微量、しまりなし
- 2層: 暗褐色土 ローム粒少量、ロームブロック・七本桜バミス粒微量、しまりあり
- 3層: 暗褐色土 ローム粒多量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
- SB-6170北側柱列東第2柱土層説明 (QQ-QQ')
- 1層: 黒褐色土 今市バミス粒少量、しまりなし
- 2層: 暗褐色土 今市・七本桜バミス粒少量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2層 挖方埋土
- SB-6170間仕切り柱列東第1柱土層説明 (RR-RR')
- 1層: 黒褐色土 ロームブロック少量、しまりなし
- 2層: 暗褐色土 今市バミス粒少量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2層 挖方埋土
- SB-6170間仕切り柱列東第2柱土層説明 (SS-SS')
- 1層: 黒褐色土 今市バミス粒少量、七本桜バミス粒微量、しまりなし
- 2層: 暗褐色土 今市・七本桜バミス粒少量、しまりあり
- 3層: 暗褐色土 今市バミス粒少量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
- SB-6170間仕切り柱列東第3柱土層説明 (TT-TT')
- 1層: 黒褐色土 七本桜バミス粒少量、今市バミス粒微量、しまりなし
- 2層: 暗褐色土 今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
- 3層: 暗褐色土 ローム粒多量、ややしまる
- 4層: 暗褐色土 今市バミス粒少量、七本桜バミス粒微量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2~4層 挖方埋土

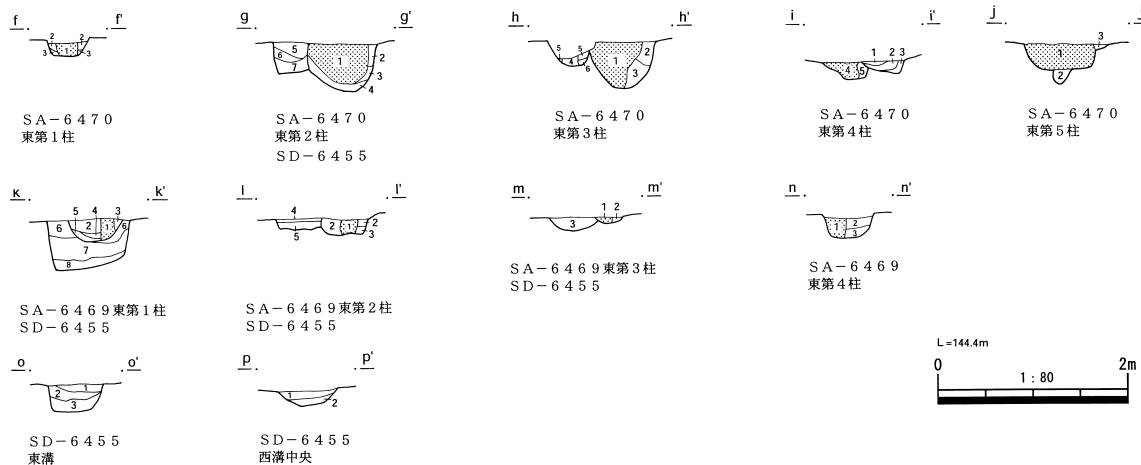
第11図 SB-6160・6170土層説明 (2)



第12図 SB-5042 A・B期・6200・SA-6469・6470・SD-6455 実測図(1)



第13図 SB-5042A・B期・6200・SA-6469・6470・SD-6455 実測図(2)



SB-6200・5042A・B期・SA-6469・6470・SD-6455
SB-6200北東隅柱土層説明 (A-A')
1層: 暗褐色土 ローム・今市バミスブロック・粒少量、ややしまる
2層: 黒褐色土 ローム粒・今市・七本桜バミスブロック・粒少量、硬くしまる
3層: 暗褐色土 ロームブロック・粒や多い、今市・七本桜バミスブロック・粒少
量、しまりあり
4層: 黒褐色土 ローム粒・今市・七本桜バミスブロック・粒少量、硬くしまる
5層: 暗褐色土 ロームブロック・粒や多い、今市・七本桜バミスブロック・粒少
量、しまりあり
6層: 黄褐色土 ロームブロック主体、今市バミスブロック少量、ややしまる
※ 1層 柱痕跡埋土、2~6層 挖方埋土

SB-6200東妻柱列持柱土層説明 (B-B')
1層: 黒褐色土 今市・七本桜バミス粒微量、ややしまる
2層: 暗褐色土 今市バミス粒や多い、七本桜バミス粒微量、しまりあり
3層: 黑褐色土 ローム粒や多量、今市バミス粒微量、下部に粘質土あり、しま
りなし
4層: 暗褐色土 ロームブロックやや多い、今市バミス粒微量、七本桜バミス粒微量、
しまりあり
5層: 黑褐色土 ロームブロック主体、今市バミス粒少量、しまりあり
6層: 黑褐色粘土 ローム粒少量、ややしまる
※ 1~2層 新しい小ビット、3層 柱痕跡埋土、4~6層 挖方埋土

SB-6200南東隅柱土層説明 (C-C')
1層: 黑褐色土 ローム粒少量、ロームブロック・今市・七本桜バミス粒微量、しま
りなし
2層: 暗褐色土 ロームブロックやや多い、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
3層: 暗褐色土 ロームブロックやや多い、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
4層: 黑褐色土 ローム粒少量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2~4層 挖方埋土

SB-6200南側柱列第2柱土層説明 (D-D')
1層: 黑褐色土 ローム・七本桜バミス粒少量、しまりなし
2層: 暗褐色土 七本桜バミス粒少量、しまりあり
3層: 暗褐色土 ロームブロック多量、今市・七本桜バミス粒少量、しまりあり
4層: 暗褐色土 ロームブロック・今市バミス粒微量、しまりあり
5層: 暗褐色土 ロームブロック・今市・七本桜バミス粒少量、しまりあり
6層: 暗褐色土 ロームブロック多量、今市バミスブロック微量、硬くしまる
※ 1層 柱痕跡埋土、2~6層 挖方埋土

SB-6200南側柱列第3柱土層説明 (E-E')
1層: 黑褐色土 ロームブロック・今市・七本桜バミス粒少量、しまりなし
2層: 暗褐色土 今市バミス粒や多い、七本桜バミス粒少量、しまりあり
3層: 暗褐色粘土 今市バミスブロック少量、七本桜バミスブロック微量、しま
りあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2~3層 挖方埋土

SB-6200南側柱列第4柱土層説明 (F-F')
1層: 黑褐色土 ローム粒少量、ロームブロック・今市・七本桜バミス粒微量、しま
りなし
2層: 暗褐色土 ローム粒やや多い、ロームブロック少量、今市・七本桜バミス粒微
量、しまりあり
3層: 暗褐色土 ロームブロック多量、今市バミスブロックやや多い、七本桜バミ
ス粒少量、しまりあり
4層: 暗褐色土 ロームブロックやや多い、ローム粒少量、今市・七本桜バミス粒少
量、しまりあり
5層: 暗褐色土 ロームブロック少量、しまりあり
6層: 暗褐色土 ロームブロックやや多い、ローム粒少量、今市・七本桜バミス粒少
量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2~6層 挖方埋土

SB-6200南側柱列第5柱土層説明 (G-G')
1層: 黑褐色土 ローム粒少量、今市バミス粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ローム粒少量、ローム・今市バミスブロック微量、しまりあり
3層: 黄褐色土 ロームブロック主体、今市バミス粒微量、しまりあり
4層: 暗褐色土 ローム粒少量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2~4層 挖方埋土

SB-6200南側柱列第6柱土層説明 (H-H')
1層: 黑褐色土 ローム粒少量、今市バミス粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ロームブロックやや多量、今市バミス粒少量、しまりあり
3層: 黄褐色土 ロームブロック主体、今市バミス粒少量、しまりあり
4層: 暗褐色土 ローム粒少量、今市バミス粒微量、しまりあり
5層: 黑褐色土 ロームブロック少量、今市バミス粒微量、粘質、しまりあり
6層: 黑褐色土 ローム粒少量、粘質、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2~6層 挖方埋土

SB-6200南側柱列第7柱土層説明 (I-I')
1層: 黑褐色土 ローム粒少量、今市バミス粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ロームブロック少量、今市バミス粒微量、しまりあり
3層: 黄褐色土 ロームブロックやや多い、今市バミス粒微量、しまりあり
4層: 暗褐色土 ロームブロック多量、今市バミスブロック少量、しまりあり
5層: 黑褐色土 4層に類似、硬くしまる
6層: 黑褐色土 ロームブロックやや多量、今市バミス粒少量、硬くしまる
※ 1層 柱痕跡埋土、2~6層 挖方埋土

SB-5042B期北東隅柱土層説明 (J-J')
1層: 暗褐色土 ローム・今市・七本桜バミスブロック・粒少量、ローム・灰褐色
粘土ブロック・炭化物微量、ややしまる
2層: 黑褐色土 ロームブロック・粒・今市バミスブロック・粒やや多い、七本桜バ
ミスブロック粒微量、硬くしまる
3層: 黄褐色土 ロームブロック・粒主体、今市バミスブロック少量、硬くしま
る
4層: 暗褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミスブロック粒多量、硬くし
まる
5層: 黑褐色土 ロームブロック・粒・今市バミスブロック・粒やや多い、七本桜バ
ミスブロック粒微量、硬くしまる
6層: 黄褐色土 ロームブロック・粒・今市バミスブロック少量、硬くしまる
7層: 黑褐色土 ローム粒微量、ややしまる
8層: 黑褐色土 ロームブロック・粒・今市バミスブロックやや多い、七本桜バミス
ブロック微量、かたくしまる
※ 1層 柱痕跡埋土、2~8層 挖方埋土

SB-5042A期北東隅柱土層説明
9層: 黑褐色土 ローム・今市バミスブロック・粒やや多い、七本桜バミス粒・灰褐色
粘土ブロック微量、硬くしまる
10層: 黄褐色土 ロームブロック・粒・今市バミスブロック微量、硬くしまる
11層: 黑褐色土 ローム・今市バミスブロック・粒やや多い、七本桜バミス粒・灰褐
色粘土ブロック微量、硬くしまる
※ 9~11層 挖方埋土

SB-6200南側柱列第9柱土層説明 (K-K' ~ M-M')
1層: 暗褐色土 ローム・今市・七本桜バミス粒少量、ややしまる
2層: 黑褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミス粒少量、硬くしまる
3層: 暗褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミスブロック・粒少
量、しまりあり
4層: 暗褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市・七本桜バミス粒微量、ややし
まる
5層: 黄褐色土 ロームブロック主体、今市・七本桜バミスブロック微量、硬くし
まる
※ 1層 柱痕跡埋土、2~5層 挖方埋土

SB-5042B期北妻柱列持柱土層説明
6層: 暗褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミスブロック粒微量、
しまりなし
7層: 黑褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市・七本桜バミスブロック・粒少
量、硬くしまる
8層: 暗褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミスブロック粒少量、
硬くしまる
9層: 黑褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市・七本桜バミスブロック・粒微
量、硬くしまる
※ 6層 柱痕跡埋土、7~9層 挖方埋土

SB-5042A期北妻柱列持柱土層説明
10層: 暗褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市・七本桜バミスブロック・粒少
量、硬くしまる
11層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、硬くしま
る
12層: 暗褐色土 ロームブロック・粒微量、ややしまる
※ 10~12層 挖方埋土

第14図 SB-5042 A・B期・6200・SA-6469・6470・SD-6455 実測図 (3)、土層説明 (1)

- S B - 6 2 0 0 南側柱列東第 1 0 柱土層説明 (N - N')
- 1層: 黒褐色土 ローム粒少量、今市バミス粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 今市バミス粒少量、七本桜バミス粒微量、ややしまる
3層: 暗褐色土 今市バミス粒やや多い、今市バミスブロック少量、七本桜バミス粒微量、ややしまる
4層: 暗褐色土 ロームブロックやや多い、今市バミスブロック少量、しまりあり
5層: 暗褐色土 ロームブロック多量、今市バミスブロック微量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2~5層 挖方埋土
- S B - 5 0 4 2 B 期北西隅柱土層説明 (O - O' ~ R - R')
- 1層: 暗褐色土 ローム粒少量、今市バミスブロック・粒微量、ややしまる
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒、今市バミスブロック・粒多量、七本桜バミス粒・灰褐色粘土ブロック・粒多量、硬くしまる
3層: 暗褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、灰褐色粘土ブロック・粒多量、硬くしまる
4層: 黑褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、硬くしまる
5層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミスブロック・粒微量、非常に硬くしまる
※ 1層 柱痕跡埋土、2~5層 挖方埋土
- S B - 5 0 4 2 A 期北西隅柱土層説明
- 6層: 暗褐色土 ロームブロック・粒多量、今市バミスブロック・粒少量、七本桜バミス粒・灰褐色粘土ブロック微量、しまりあり
7層: 黑褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市バミスブロック・粒少量、灰褐色粘土ブロック微量、硬くしまる
8層: 黄褐色土 ロームブロック主体、今市バミスブロック微量、硬くしまる
※ 6~8層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 南西隅柱土層説明
- 9層: 黑褐色土 ロームブロック・粒、今市・七本桜バミスブロック粒少量、しまりなし
10層: 黄褐色土 ロームブロック・粒主体、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、硬くしまる
11層: 黑褐色土 ロームブロック・粒、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
12層: 黄褐色土 ロームブロック・粒主体、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、硬くしまる
※ 9層 柱痕跡埋土、10~12層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 西妻柱列棟持柱土層説明 (S - S')
- 1層: 黑褐色土 ロームブロック少量、七本桜バミス粒微量、しまりなし
2層: 黄褐色土 ロームブロック主体、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
3層: 暗褐色土 ローム粒・今市バミス粒微量、しまりあり
4層: 暗褐色土 ロームブロックやや多い、今市バミス粒微量、しまりあり
5層: 暗褐色土 ローム粒微量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2~5層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 北西隅柱土層説明 (T - T')
- 1層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量、今市バミス粒微量、しまりあり
2層: 暗褐色土 ローム粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりなし
3層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
4層: 暗褐色土 ローム粒微量、ややしまる
5層: 黑褐色土 ローム粒多量、ロームブロック少量、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、しまりあり
6層: 暗黄褐色土 ロームブロック・粒主体、今市・七本桜バミス粒微量、硬くしまる
7層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量、ややしまる
8層: 暗黄褐色土 ロームブロック・粒主体、今市・七本桜バミス粒微量、硬くしまる
※ 1層 新しい小ビット、2層 柱痕跡埋土、3~8層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 北側柱列東第 1 0 柱土層説明 (U - U')
- 1層: 暗褐色土 ローム粒・今市バミス粒微量、しまりなし
2層: 黑褐色土 ロームブロック・粒、今市・七本桜バミスブロック多量、しまりあり
3層: 黑褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、ややしまる
※ 1層 柱痕跡埋土、2~3層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 北側柱列東第 9 柱土層説明 (V - V')
- 1層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒微量、しまりあり
3層: 黑褐色土 ロームブロック・粒やや多い、ややしまる
※ 1層 柱痕跡埋土、2~3層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 北側柱列東第 8 柱土層説明 (W - W')
- 1層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりなし
2層: 暗黄褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミスブロック・粒やや多い、七本桜バミス粒微量、しまりあり
3層: 黑褐色土 ロームブロック・粒・やや多い、今市バミスブロック・粒少量、七本桜バミス粒微量、しまりあり
4層: 暗黄褐色土 ロームブロック・粒・今市バミスブロック・粒やや多い、七本桜バミス粒微量、しまりあり
5層: 黑褐色土 ロームブロック・粒・今市バミスブロック・粒微量、しまりなし
※ 1層 柱痕跡埋土、2~5層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 北側柱列東第 7 柱土層説明 (X - X')
- 1層: 黑褐色土 ローム粒少量、今市バミス粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミス粒微量、硬くしまる
3層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、ややしまる
4層: 暗褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミス粒微量、硬くしまる
5層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、ややしまる
※ 1層 柱痕跡埋土、2~5層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 北側柱列東第 6 柱土層説明 (Y - Y')
- 1層: 黑褐色土 ローム粒・今市バミス粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
3層: 黑褐色土 ローム粒・今市・七本桜バミス粒微量、ややしまる
4層: 黑褐色土 ローム粒・今市・七本桜バミス粒微量、ややしまる
5層: 暗黄褐色土 ロームブロック・粒多量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2~5層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 北側柱列東第 6 柱土層説明 (Z - Z')
- 1層: 黑褐色土 ローム粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりなし
2層: 黑褐色土 ローム粒・今市・七本桜バミス粒少量、しまりあり
3層: 暗褐色土 ローム粒少量、ロームブロック・今市バミスブロック・粒微量、しまりあり
4層: 黑褐色土 ロームブロック少量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2~4層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 北側柱列東第 4 柱土層説明 (A A - A A')
- 1層: 黑褐色土 ローム粒少量、今市バミスブロック・粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ローム粒・今市・七本桜バミス粒微量、ややしまる
3層: 黑褐色土 ロームブロック主体、今市バミスブロック微量、硬くしまる
※ 1層 柱痕跡埋土、2~3層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 北側柱列東第 3 柱土層説明 (B B - B B')
- 1層: 暗褐色土 ローム粒・今市・七本桜バミス粒微量、しまりなし
2層: 黑褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、硬くしまる
3層: 暗褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミスブロック・粒やや多い、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2~3層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 北側柱列東第 2 柱土層説明 (C C - C C')
- 1層: 黑褐色土 ローム粒・今市バミス粒微量、ややしまる
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒少量、今市バミス粒微量、しまりあり
3層: 暗褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市バミスブロック・粒微量、ややしまる
4層: 暗褐色土 ロームブロック・粒少量、今市バミスブロック・粒微量、しまりあり
5層: 暗褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市バミスブロック・粒微量、ややしまる
※ 1~2層 新しい小ビット、3層 柱痕跡埋土、4~6層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 東第 1 東床柱土層説明 (D D - D D')
- 1層: 暗褐色土 ロームブロック・粒・炭化材少量、今市・七本桜バミス粒微量、ややしまる
2層: 暗褐色土 ローム粒やや多い、今市バミス粒少量、ややしまる
3層: 黑褐色土 ロームブロック主体、今市バミス粒少量、硬くしまる
4層: 暗褐色土 今市バミス粒少量、七本桜バミス粒微量、ややしまる
5層: 暗褐色土 ロームブロック少量、今市・七本桜バミスブロック微量、しまりあり
6層: 黑褐色土 ローム粒少量、今市バミス粒微量、しまりなし
7層: 暗褐色土 ローム粒やや多い、今市バミス粒微量、しまりあり
8層: 暗褐色土 ローム粒多量、今市バミス粒微量、しまりあり
※ 1~3層 古いビット、4層 柱痕跡埋土、5層 挖方埋土、6~8層 新しい小ビット
- S B - 6 2 0 0 東第 2 東床柱土層説明 (E E - E E')
- 1層: 暗褐色土 ローム粒少量、ロームブロック・今市・七本桜バミス・炭化粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ロームブロック少量、今市・七本桜バミス・炭化粒微量、しまりあり
3層: 暗褐色土 ロームブロック多量、今市バミス粒微量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2~3層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 東第 3 東床柱土層説明 (F F - F F')
- 1層: 暗褐色土 ロームブロックやや多い、今市バミス粒少量、七本桜バミス粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ローム粒多量、ややしまる
3層: 暗褐色土 今市バミスブロックやや多い、七本桜バミス微量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2層 新しいビット
- S B - 6 2 0 0 東第 4 東床柱土層説明 (G G - G G')
- 1層: 暗褐色土 今市バミス粒少量、七本桜バミス粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ローム粒少量、今市バミス粒微量、しまりあり
3層: 黑褐色土 ロームブロックやや多い、今市バミス粒少量、硬くしまる
※ 1層 柱痕跡埋土、2~3層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 東第 5 東床柱土層説明 (H H - H H')
- 1層: 黑褐色土 今市・七本桜バミス粒少量、ロームブロック微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ロームブロックやや多い、今市バミス粒少量、七本桜バミス粒微量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 東第 6 東床柱土層説明 (I I - I I')
- 1層: 黑褐色土 ロームブロック微量、しまりなし
2層: 黑褐色土 今市バミスブロック少量、七本桜バミスブロック微量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 東第 7 東床柱土層説明 (J J - J J')
- 1層: 黑褐色土 今市バミス粒少量、七本桜バミス粒微量、ややしまる
2層: 黑褐色土 今市バミス粒少量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 東第 8 床東柱土層説明 (K K - K K')
- 1層: 黑褐色土 七本桜バミス粒少量、今市バミス粒微量、ややしまる
2層: 黑褐色土 今市バミス粒少量、七本桜バミス粒微量、しまりあり
3層: 黑褐色土 七本桜バミス粒少量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2~3層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 東第 9 床東柱土層説明 (L L - L L')
- 1層: 黑褐色土 ローム・今市バミス粒少量、しまりなし
2層: 黑褐色土 今市バミス粒少量、七本桜バミス粒微量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 北側柱列東第 1 柱土層説明 (M M - M M')
- 1層: 黑褐色土 ロームブロック少量、今市バミス粒微量、しまりなし
2層: 黑褐色土 ロームブロック微量、しまりあり
3層: 黑褐色土 ローム粒微量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2~3層 挖方埋土

第 15 図 S B - 5042 A・B 期・6200・S A - 6469・6470・S D - 6455 土層説明 (2)

- S B - 6 2 0 0 北側縁柱列東第2柱土層説明 (N N - N N')
- 1層: 暗褐色土 今市・七本桜バミスブロック多量、ややしまる
2層: 暗褐色土 今市バミスブロック多量、七本桜バミス粒少量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 北側縁柱列東第3柱土層説明 (O O - O O')
- 1層: 黒褐色土 七本桜バミス粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 今市バミス粒微量、しまりあり
3層: 暗褐色土 今市バミス粒少量、しまりあり
4層: 暗褐色土 今市バミスブロックやや多い、しまりあり
5層: 暗褐色土 今市バミス粒多量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2~5層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 北側縁柱列東第4柱土層説明 (P P - P P')
- 1層: 黒褐色土 七本桜バミスブロック微量、しまりなし
2層: 黑褐色土 七本桜バミスブロック少量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 北側縁柱列東第5柱土層説明 (Q Q - Q Q')
- 1層: 黒褐色土 七本桜バミス粒少量、今市バミス粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
3層: 黑褐色土 今市バミスブロックやや多い、七本桜バミスブロック少量、硬くしまる
※ 1層 柱痕跡埋土、2~3層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 北側縁柱列東第6柱土層説明 (R R - R R')
- 1層: 黒褐色土 今市バミス粒やや多い、七本桜バミス粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 今市バミスブロック・七本桜バミス粒少量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 北側縁柱列東第7柱土層説明 (S S - S S')
- 1層: 黒褐色土 ロームブロックやや多い、今市バミスブロック少量、しまりあり
2層: 暗褐色土 ロームブロック多量、七本桜バミスブロック少量、しまりあり
3層: 暗褐色土 ロームブロック多量、今市・七本桜バミスブロック少量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2~3層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 北側縁柱列東第8柱土層説明 (T T - T T')
- 1層: 暗褐色土 今市バミス粒少量、七本桜バミス粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 今市バミスブロック少量、七本桜バミス粒微量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 北側縁柱列東第9柱土層説明 (U U - U U')
- 1層: 暗褐色土 ロームブロックやや多い、今市バミス粒少量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ロームブロック少量、しまりあり
3層: ローム粒少量、今市バミス粒微量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2~3層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 北側縁柱列東第10柱土層説明 (V V - V V')
- 1層: 暗褐色土 七本桜バミス粒少量、ローム粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ロームブロックやや多い、七本桜バミス粒少量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 北側縁柱列東第11柱土層説明 (W W - W W')
- 1層: 黒褐色土 ローム粒少量、今市バミス粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ロームブロック少量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
3層: 暗褐色土 ローム粒少量、今市バミス粒微量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2~3層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 南側張り出し南東隅柱土層説明 (X X - X X')
- 1層: 暗褐色土 ロームブロックやや多い、今市バミス粒少量、炭化粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ロームブロック少量、今市バミス粒少量、炭化粒微量、しまりあり
3層: 暗褐色土 ロームブロック・今市バミス粒多量、今市バミス粒少量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2~3層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 南側張り出し南第1列東第2柱土層説明 (Y Y - Y Y')
- 1層: 黒褐色土 ローム粒少量、今市バミス・炭化粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ローム・今市バミス粒少量、炭化粒微量、しまりあり
3層: 暗褐色土 ロームブロックやや多い、今市バミス・炭化粒微量、しまりあり
4層: 黄褐色土 ロームブロック主体、今市バミス粒微量、硬くしまる
※ 1層 柱痕跡埋土、2~4層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 南側張り出し南西隅柱土層説明 (Z Z - Z Z')
- 1層: 黑褐色土 ローム・今市バミス粒少量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ロームブロック少量、ローム・今市バミス粒微量、しまりあり
3層: 暗褐色土 ローム粒多量、今市バミス粒少量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2~3層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 南側張り出し南第2列東第1柱土層説明 (a - a')
- 1層: 黑褐色土 ローム粒やや多い、炭化粒少量、ややしまる
2層: 黑褐色土 ロームブロック少量、炭化粒少量、しまりあり
3層: 黑褐色土 ロームブロックやや多い、今市バミス粒少量、しまりあり
4層: 黑褐色土 ローム粒微量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2~4層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 南側張り出し南第2列東第2柱土層説明 (b - b')
- 1層: 暗褐色土 ロームブロック少量、ローム・今市バミス粒少量、ややしまる
2層: 黑褐色土 ローム粒、今市バミス粒少量、ややしまる
3層: 暗褐色土 今市バミスブロック多量、七本桜バミス粒少量、しまりあり
4層: 黄褐色土 ロームブロック主体、硬くしまる
5層: 暗褐色土 今市バミスブロック多量、七本桜バミス粒微量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2~5層 挖方埋土
- S B - 6 2 0 0 南側張り出し南第2列東第3柱土層説明 (c - c')
- 1層: 黒褐色土 ローム・今市バミス粒少量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ロームブロック少量、今市バミス粒微量、しまりあり
3層: 暗褐色土 ロームブロック・粒多い、しまりあり
4層: 暗褐色土 ロームブロックやや多い、今市バミス粒少量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2~4層 挖方埋土
- S B - 5 0 4 2 B 期東側柱列南第5柱土層説明 (d - d')
- 1層: 暗褐色土 ローム・今市・七本桜バミス粒少量、ローム・白色粘土ブロック微量、ややしまる
2層: 暗褐色土 ローム・今市バミスブロック・粒やや多い、七本桜バミス・白色粘土粒微量、しまりあり
3層: 黑褐色土 ローム粒・今市バミスブロック・粒少量、ロームブロック・七本桜バミス粒・白色粘土粒微量、しまりあり
4層: 暗黃褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、硬くしまる
5層: 黑褐色土 ロームブロック粒やや多い、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、非常に硬くしまる
※ 1層 柱痕跡埋土、2~5層 挖方埋土
- S B - 5 0 4 2 A 期東側柱列南第5柱土層説明
- 6層: 暗褐褐色土 灰褐色粘土(沙質)主体、ローム・今市・七本桜バミス粒少量、しまりあり
7層: 黑褐色土 ロームブロック・粒やや多い、ややしまる
※ 6~7層 挖方埋土
- S B - 5 0 4 2 B 期西側柱列南第5柱土層説明 (e - e')
- 1層: 暗褐褐色土 灰白色粘土粒多量、ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミスブロック・粒微量、しまりあり
2層: 暗灰褐色土 灰白色粘土ブロック多量、ロームブロック粒やや多い、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、硬くしまる
3層: 暗褐褐色土 灰白色粘土ブロックやや多い、ローム・今市・七本桜バミスブロック・粒・粒少量、硬くしまる
4層: 黑褐色土 ローム・今市・七本桜バミスブロック・粒多量、灰褐色粘土粒少量、硬くしまる
5層: 暗黃褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、硬くしまる
※ 1層 柱痕跡埋土、2~5層 挖方埋土
- S B - 5 0 4 2 A 期西側柱列南第5柱土層説明
- 6層: 暗褐褐色土 ロームブロック・粒、今市・七本桜バミス粒やや多い、硬くしまる
7層: 暗褐褐色土 今市バミスブロック・粒多量、ローム粒・七本桜バミスブロック・粒少量、硬くしまる
8層: 暗黃褐色土 ロームブロック・粒多量、今市バミス粒少量、ややしまる
※ 6~8層 挖方埋土
- S A - 6 4 7 0 東第1柱土層説明 (f - f')
- 1層: 黑褐色土 ローム・今市バミス粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ローム粒少量、今市バミス粒微量、しまりあり
3層: 黑褐色土 ローム粒微量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2~3層 挖方埋土
- S A - 6 4 7 0 東第2柱土層説明 (g - g')
- 1層: 暗褐褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミスブロック・粒微量、炭化物微量、しまりなし
2層: 褐色土 ローム・今市バミスブロック・粒多量、七本桜バミス粒微量、しまりあり
3層: 暗褐褐色土 ロームブロック・粒、今市バミス粒少量、ややしまる
4層: 暗黃褐色土 ロームブロック・粒・主体、今市バミスブロック・粒少量、七本桜バミス粒微量、硬くしまる
※ 1層 抜き取り痕跡埋土、2~4層 挖方埋土
- S D - 6 4 5 5 土層説明
- 5層: 黑褐色土 ローム・今市バミス粒微量、しまりあり
6層: 暗褐褐色土 ロームブロック・粒少量、今市バミス粒微量、しまりなし
7層: 暗黄褐色土 ローム・今市・七本桜バミスブロック・粒多量、ややしまる
- S A - 6 4 7 0 東第3柱土層説明 (h - h')
- 1層: 暗褐褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市・七本桜バミスブロック・粒微量、礫を含む
2層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量、今市バミス粒微量、しまりあり
3層: 暗褐褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市バミス粒微量、ややしまる
4層: 暗褐褐色土 ロームブロック少量、ローム粒やや多い、しまりなし
5層: 暗褐褐色土 ローム粒少量、ややしまる
6層: 暗褐褐色土 ローム粒多量、ややしまる
※ 1層 抜き取り痕跡埋土、2~3層 挖方埋土
- S A - 6 4 7 0 東第4柱土層説明 (i - i')
- 1層: 暗褐褐色土 七本桜バミス粒少量、今市バミス粒微量、しまりあり
2層: 暗黄褐色土 ローム主体、今市バミス粒少量、しまりあり
3層: 暗褐褐色土 ローム・今市バミス混合ブロック多量、七本桜バミス粒少量、しまりあり
4層: 暗褐褐色土 ローム・今市・七本桜バミスブロック少量、ローム粒微量、炭化物微量、ややしまる
5層: 暗黄褐色土 ロームブロック主体、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
※ 1~3層 小ビット、4層 柱痕跡埋土、5層 挖方埋土
- S A - 6 4 7 0 東第5柱土層説明 (j - j')
- 1層: 暗褐褐色土 ローム粒多量、ロームブロック少量、今市バミス粒少量、炭化物微量、ややしまる
2層: 暗褐褐色土 ロームブロック多量、しまりなし
3層: 暗褐褐色土 ロームブロックやや多い、今市バミス粒微量、ややしまる
※ 1層 抜き取り痕跡埋土、2~3層 挖方埋土

第16図 S B - 5042 A・B期・6200・S A - 6469・6470・S D - 6455 土層説明 (3)

S A - 6 4 6 9 東第 1 柱土層説明 (k - k')
 1 層：暗褐色土 ローム粒少量、ロームブロック・今市バミス粒微量、しまりなし
 2 層：暗褐色土 灰色粘土やや多い、ロームブロック・今市バミス粒微量、しまりあり
 3 層：暗褐色土 ローム粒少量、ロームブロック微量、ややしまる
 4 層：暗褐色土 ローム粒少量、ややしまる
 5 層：黒褐色土 ローム粒微量、ややしまる
 ※ 1 層 柱痕跡埋土、2 ~ 5 層 挖方埋土

S D 6 4 5 5 土層説明
6 層：黒褐色土 七本桜バミス粒少量、今市バミス粒微量、ややしまる
7 層：暗褐色土 ロームブロックや多い、今市バミス粒少量、七本桜バミス粒微量
8 層：暗黄褐色土 ロームブロック主体、今市バミス粒少量、ややしまる

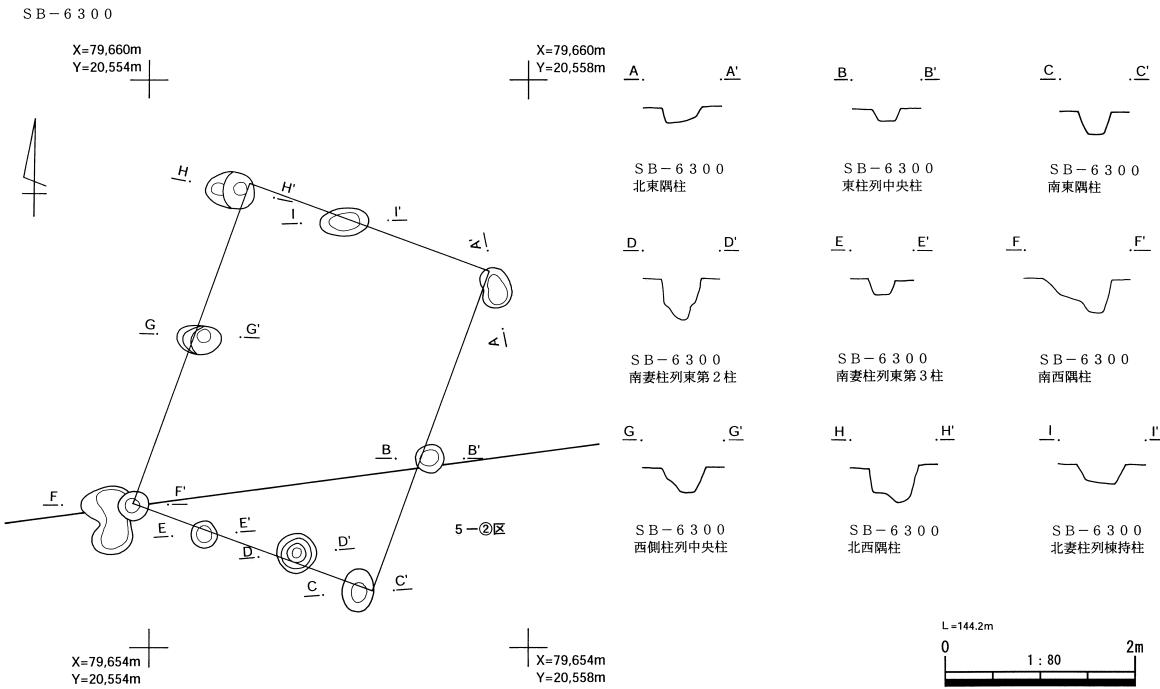
S A - 6 4 6 9 東第2柱土層説明 (1-1')
1層: 黒褐色土 ローム粒少量、今市バミス粒微量、しまりなし
2層: 黒褐色土 ローム粒少量、今市バミス粒微量、しまりあり
3層: 黄褐色土 ローム主体、黒褐色土少量、しまりあり
※1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
S D - 6 4 5 5 土層説明
4層: 黒褐色土 灰色粘土や多い、七本桜バミス粒少量、今市バミス粒微量、しまりなし
5層: 黄褐色土 ロームブロックや多い、今市バミス粒少量、七本桜バミス粒微量

S A - 6 4 6 9 東第3柱土層説明 (m-m')
1層: 黒褐色土 ローム粒や多い、しまりなし
2層: 暗褐色土 ローム粒少量、ややしまる
※ 1層 柱痕跡埋土、2層 掘方埋土
S D - 6 4 5 5 土層説明
3層: 暗黃褐色土 ロームブロックや多い、今市バミス少量、七本桜バミス粒微量、しまりあり

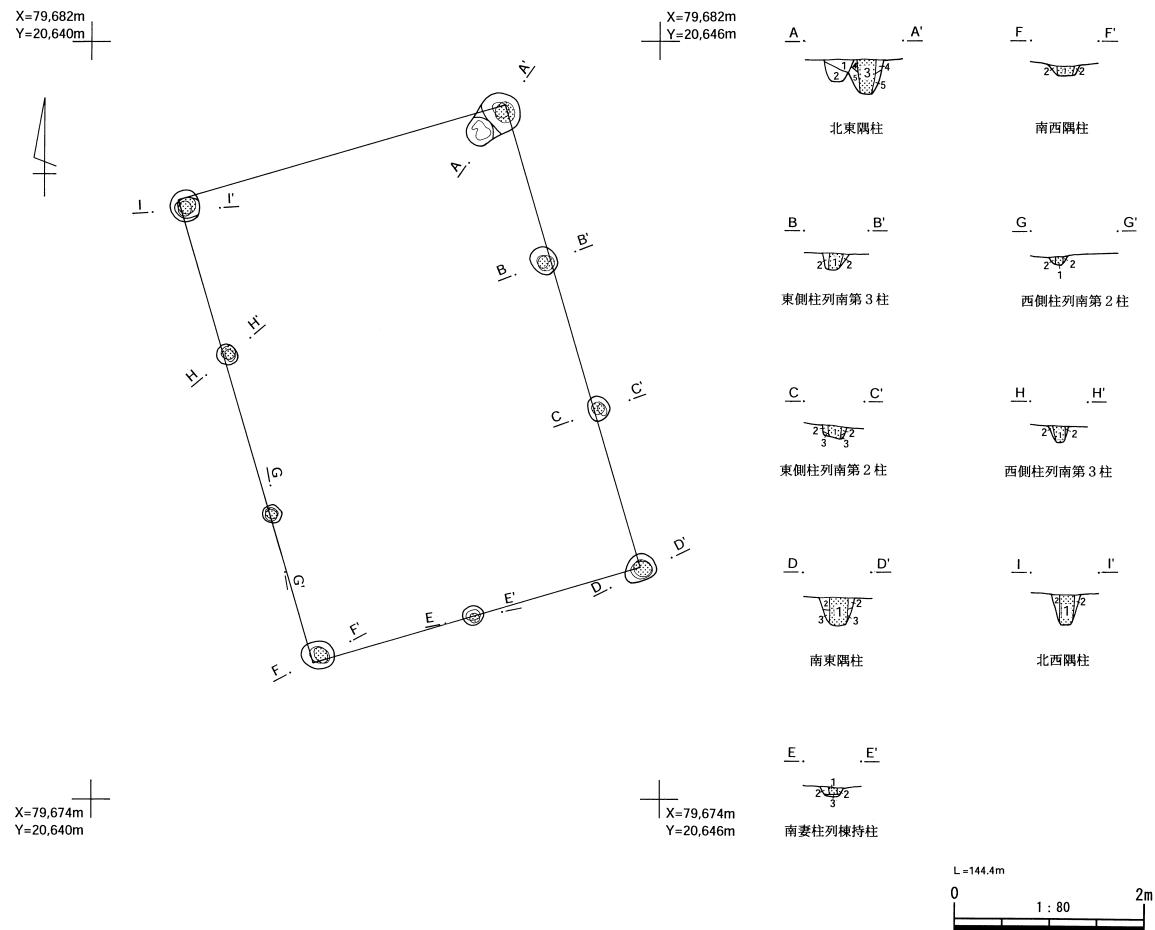
S A 6 4 6 9 東第4柱土壠型 (n-1')
1層: 黒褐色土 ロームブロック・今市バニス粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 今市バニス粒や多い、七本桜バニス粒少量、しまりあり
3層: 暗黃褐色土 今市バニスブロック多量、しまりあり
※ 1層 柱根跡埋土、2・3層 捱方土埋

S D - 6 4 5 5 東溝土層説明 (○ - ○ -)
1層: 黒褐色土 石七本バミス粒少量、今市バミス粒微量、ややしまる
2層: 暗褐色土 ローム粒多量、ロームブロック少量、今市・七本桜バミス粒微量、
しまりあり
3層: 暗黄褐色土 ロームブロックやや多い、今市バミス粒少量、七本桜バミス粒微量、
しまりあり

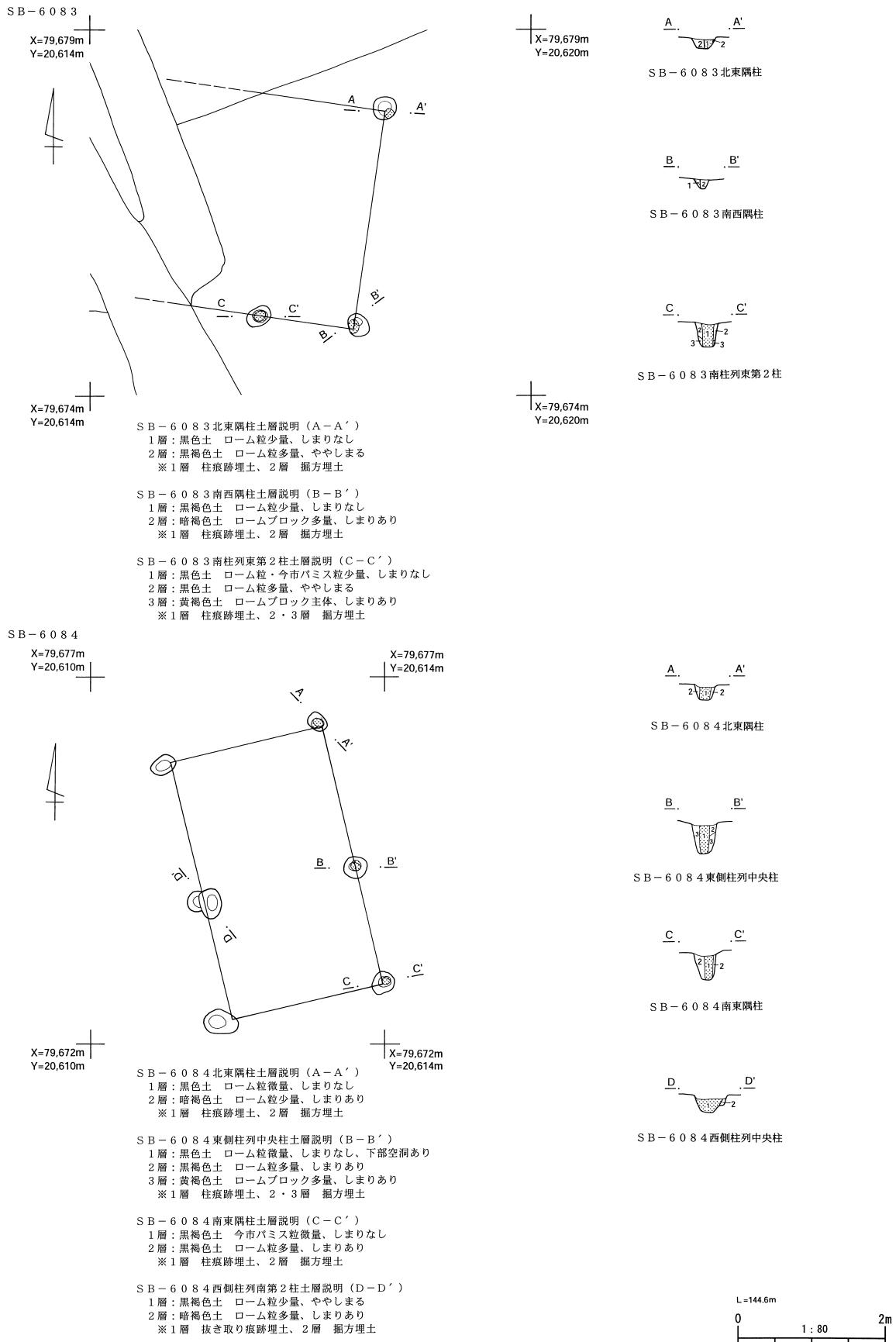
SD-6455西溝中央土層説明 (p-p')
1層: 黒褐色土 ロームブロック・粒少量、今市バミス粒微量、ややしまる
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市バミス粒微量、しまりあり



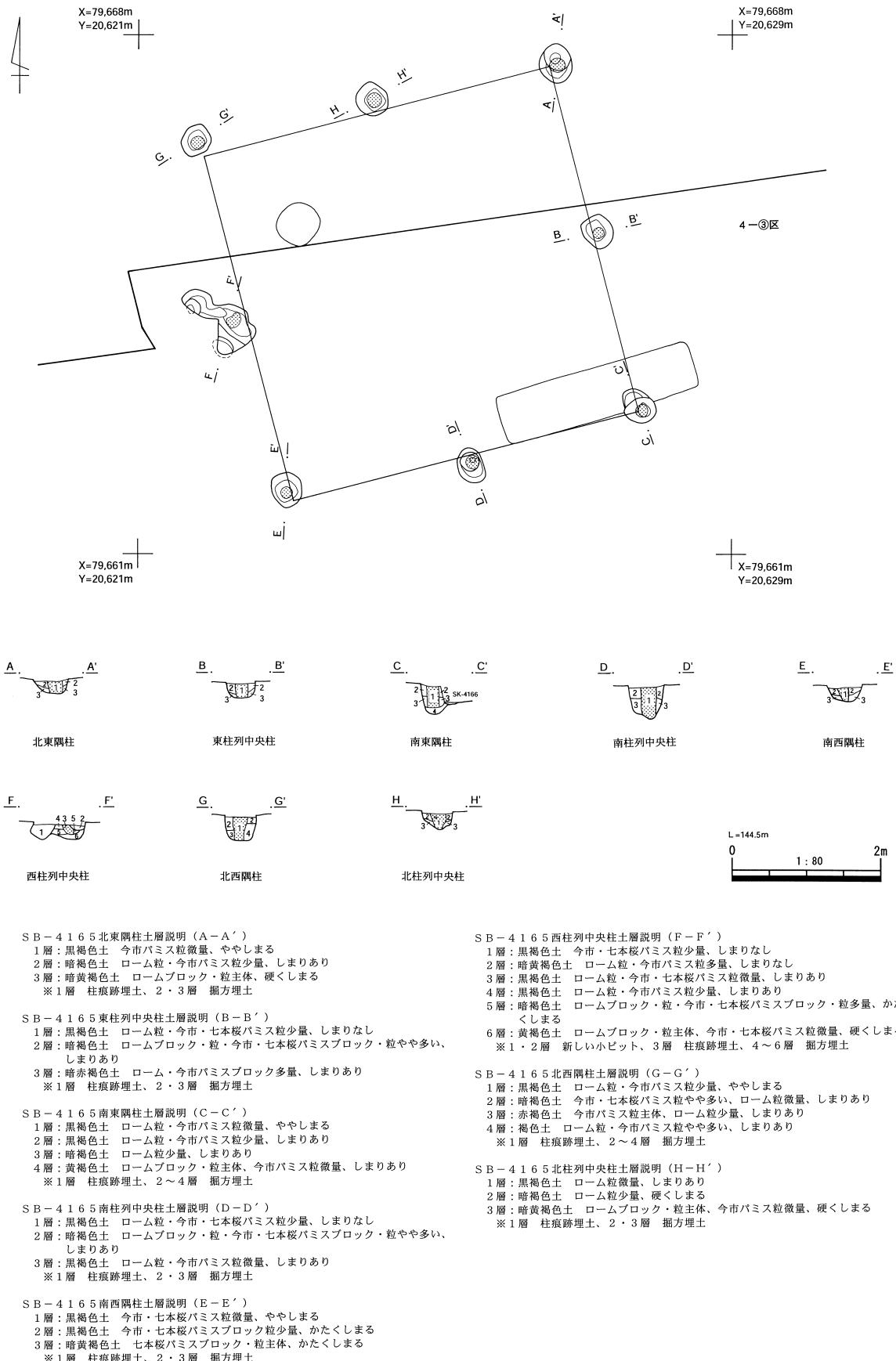
第17図 SB-5042 A・B期・6200・SA-6469・6470・SD-6455 土層説明 (4)、SB-6300 実測図



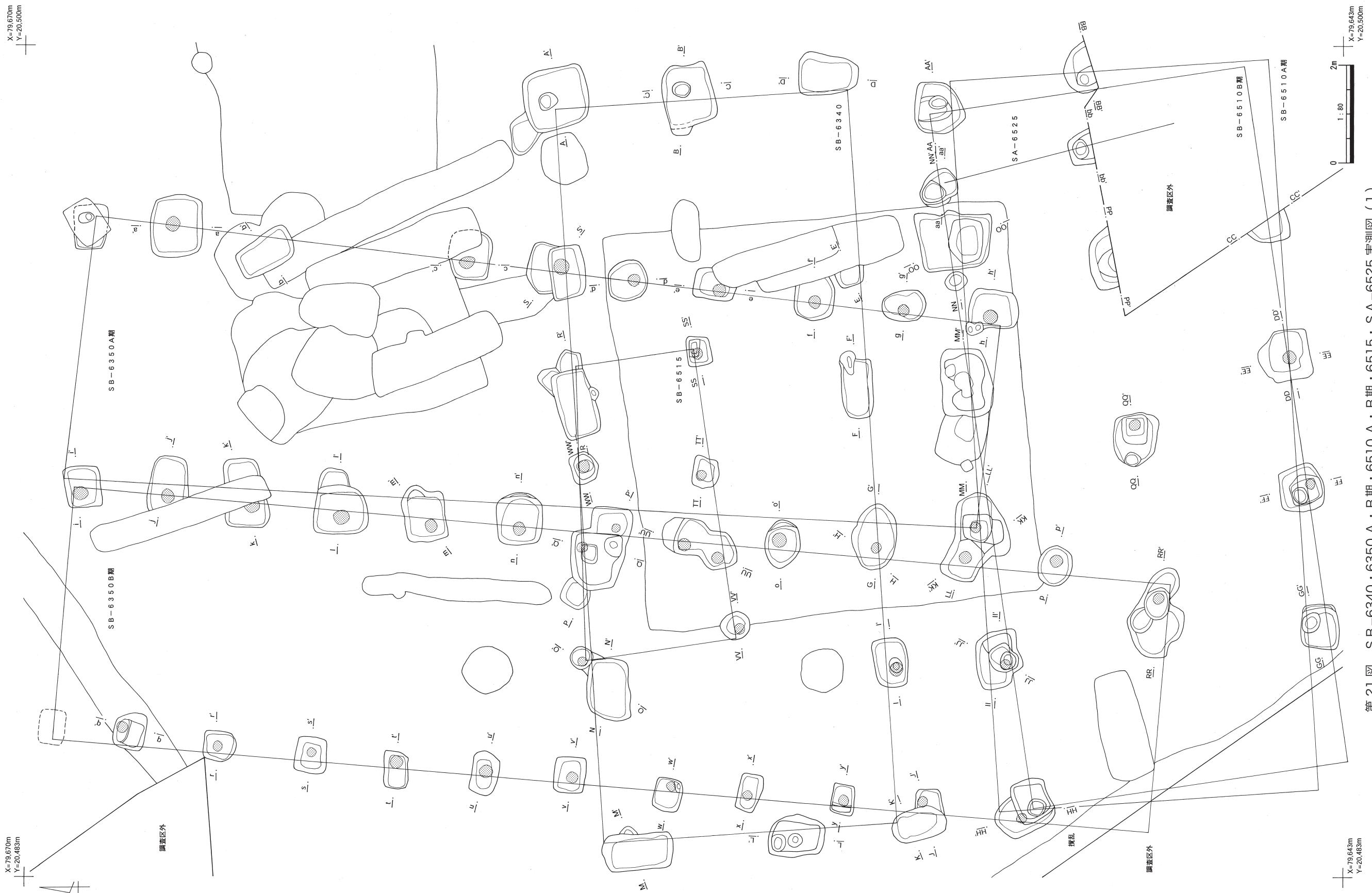
第18図 SB-6029 実測図



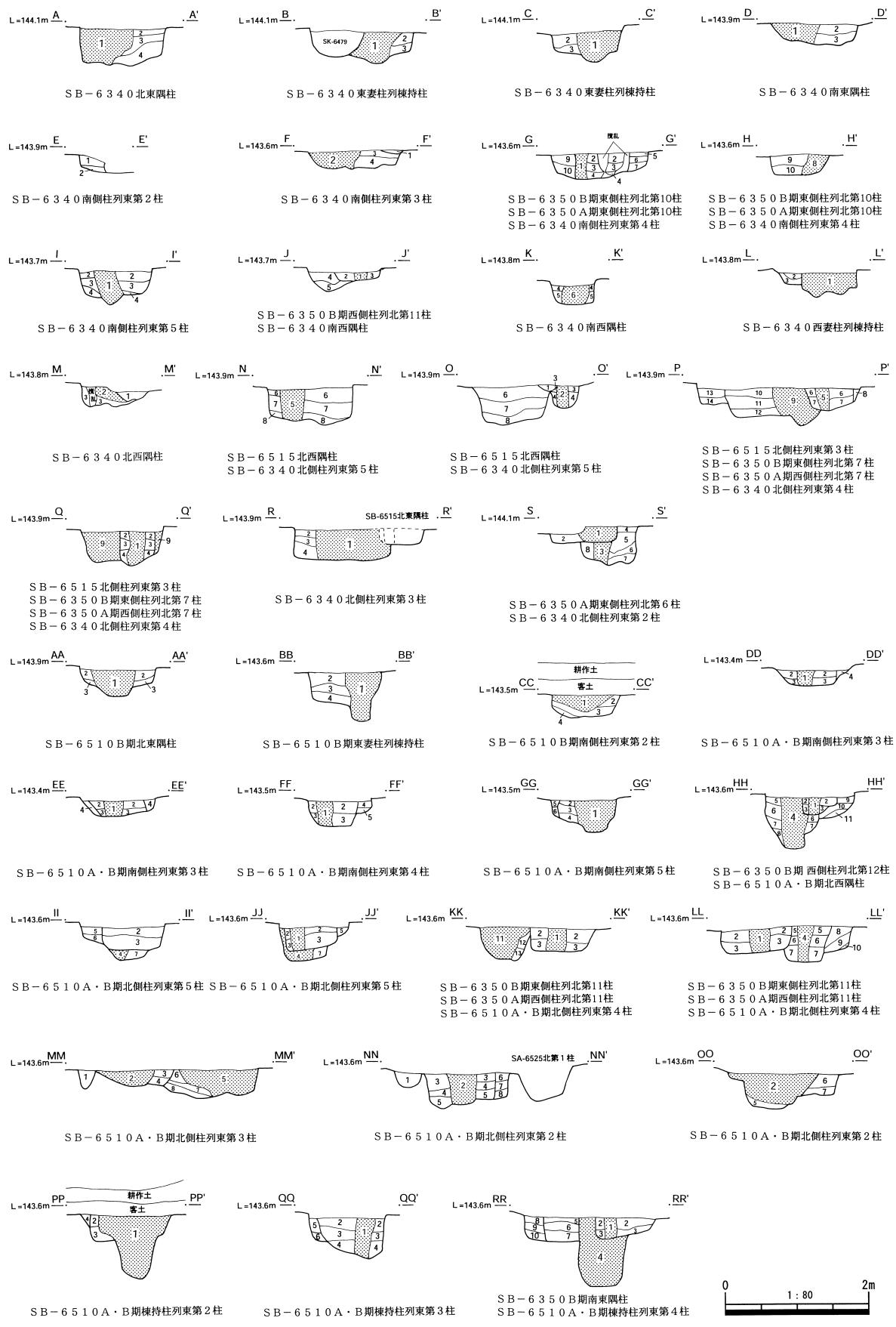
第19図 SB-6083・6084 実測図



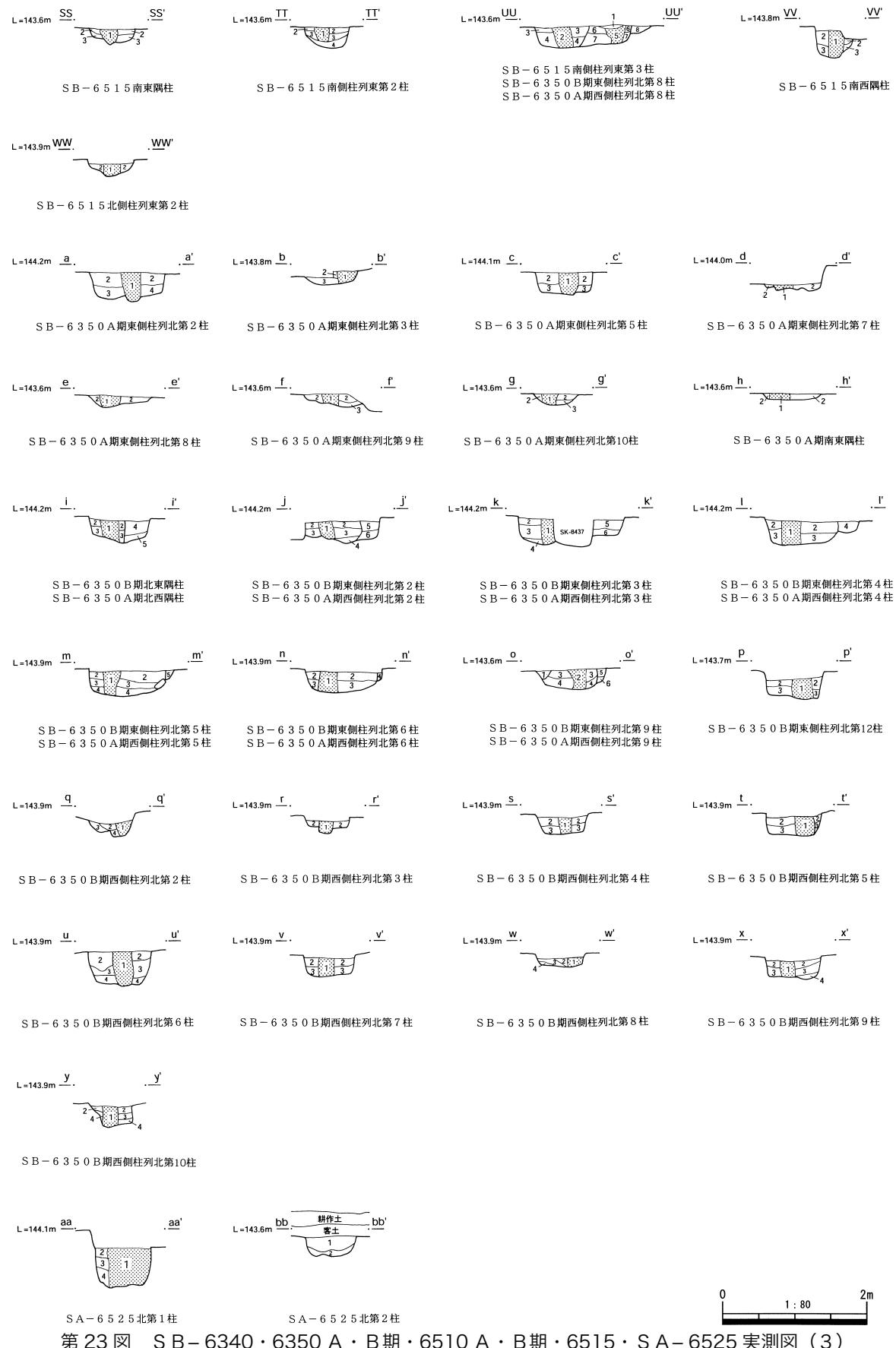
第20図 SB-4165 実測図



第21図 SB-6340・6350A・B期・6510A・B期・SA-6525実測図(1)



第22図 SB-6340・6350A・B期・6510A・B期・6515・SA-6525実測図(2)



第23図 SB-6340・6350 A・B期・6510 A・B期・6515・SA-6525 実測図(3)

S B - 6 3 4 0 · 6 3 5 0 A · B 期 · 6 5 1 0 A · B 期 · 6 5 1 5 · S A - 6 5 2 5	S B - 6 5 1 5 北西隅柱土層説明 (N - N' · O - O')
S B - 6 3 4 0 北東隅柱土層説明 (A - A')	1層: 暗褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミスブロック・粒やや多い、しまりあり
1層: 暗褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミスブロック・粒やや多い、しまりあり	2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミスブロック・粒多量、硬くしまる
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミスブロック・粒多量、硬くしまる	3層: 黒褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミスブロック・粒微量、しまりあり
3層: 黒褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミスブロック・粒微量、しまりあり	4層: 黄褐色土 ロームブロック・粒主体、今市・七本桜バミスブロック・粒微量、ややしまる
4層: 黄褐色土 ロームブロック・粒主体、今市・七本桜バミスブロック・粒微量、ややしまる	※ 1層 抜き取り痕跡埋土、2 ~ 4層 掘方埋土
S B - 6 3 4 0 東妻柱列棟持柱土層説明 (B - B' · C - C')	S B - 6 5 1 5 北西隅柱土層説明 (N - N' · O - O')
1層: 暗褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミスブロック・粒多量、ややしまる	1層: 暗褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミスブロック・粒少量、しまりあり
2層: 茶褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミスブロック・粒少量、硬くしまる	2層: 黒褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミスブロック・粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、硬くしまる
3層: 黑褐色土 ローム粒やや多い、ロームブロック・今市・七本桜バミス粒少量、硬くしまる	4層: 増茶褐色土 ローム粒やや多い、今市・七本桜バミス粒微量、ややしまる
※ 1層 抜き取り痕跡埋土、2 ~ 3層 掘方埋土	※ 1層 新しい小ビット、2層 柱痕跡埋土、3 ~ 4層 掘方埋土
S B - 6 3 4 0 南東隅柱土層説明 (D - D')	S B - 6 5 1 5 北側柱列第3柱土層説明 (P - P' · Q - Q')
1層: 黑褐色土 ローム粒やや多い、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、ロームブロック微量、ややしまる	1層: 黒褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、硬くしまる	2層: 黑褐色土 ロームブロック少量、ローム粒やや多い、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、粒少量、しまりあり
3層: 黑褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミスブロック・粒微量、硬くしまる	3層: 暗褐色土 ロームブロック少量、ローム粒多量、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、しまりあり
※ 1層 抜き取り痕跡埋土、2 ~ 3層 掘方埋土	4層: 黑褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、しまりあり
S B - 6 3 4 0 南側柱列東第2柱土層説明 (E - E')	※ 1層 柱痕跡埋土、2 ~ 4層 掘方埋土
1層: 黑褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市・七本桜バミス粒微量、硬くしまる	S B - 6 3 5 0 B 期東側柱列北第7柱土層説明
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり	5層: 暗褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、ややしまる
※ 1 ~ 2層 掘方埋土	6層: 黑褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市・七本桜バミス粒少量、しまりあり
S B - 6 3 4 0 南側柱列東第3柱土層説明 (F - F')	7層: 暗褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、硬くしまる
1層: 暗褐色土 ローム粒・今市バミス粒少量、七本桜バミス粒微量、しまりなし	※ 5層 柱痕跡埋土、6 ~ 7層 掘方埋土
2層: 茶褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミス粒少量、しまりなし	S B - 6 3 5 0 A 期東側柱列北第7柱土層説明
3層: 暗褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市・七本桜バミス粒少量、硬くしまる	8層: 黑褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
4層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、硬くしまる	※ 8層 掘方埋土
※ 1層 新しい小ビット、2層 抜き取り痕跡埋土、3 ~ 4層 掘方埋土	S B - 6 3 4 0 北側柱列東第4柱土層説明
S B - 6 3 5 0 B 期東側柱列北第10柱土層説明 (G - G' · H - H')	9層: 黑褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、ややしまる
1層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりなし	10層: 暗褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市・七本桜バミス粒少量、しまりあり
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミスブロック・粒微量、しまりあり	11層: 黑褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、しまりあり
3層: 黑褐色土 ロームブロック微量、ローム粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、硬くしまる	12層: 暗褐色土 ロームブロック少量、ローム粒やや多い、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、しまりあり
4層: 黄褐色土 ロームブロック主体、ローム・今市バミス粒微量、硬くしまる	※ 9層 抜き取り痕跡埋土、10 ~ 12層 掘方埋土
※ 1層 柱痕跡埋土、2 ~ 4層 掘方埋土	13層: 暗褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミスブロック・粒多量、しまりあり
S B - 6 3 5 0 A 期東側柱列北第10柱土層説明	14層: 黑褐色土 ローム粒少量、今市・七本桜バミスブロック・粒やや多い、しまりあり
5層: 黑褐色土 ローム粒少量、ローム・今市バミス粒微量、硬くしまる	※ 1層 ~ 14層 S I - 6 3 3 0 関連ビットか
6層: 暗褐色土 ローム粒・今市バミス粒微量、しまりあり	S B - 6 3 4 0 北側柱列東第3柱土層説明 (R - R')
7層: 黑褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり	1層: 暗褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市・七本桜バミス粒微量、しまりなし
※ 5 ~ 7層 掘方埋土	2層: 黑褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、硬くしまる
S B - 6 3 4 0 南側柱列東第4柱土層説明	3層: 暗褐色土 ロームブロック微量、ローム粒やや多い、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
8層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりなし	4層: 黑褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、硬くしまる
9層: 暗褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり	※ 1層 抜き取り痕跡埋土、2 ~ 4層 掘方埋土
10層: 黄褐色土 ロームブロック・粒主体、今市・七本桜バミス粒微量、硬くしまる	S B - 6 3 5 0 A 期東側柱列北第6柱土層説明 (S - S')
※ 8層 抜き取り痕跡埋土、9 ~ 10層 掘方埋土	1層: 暗褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミスブロック・粒やや多い、ややしまる
S B - 6 3 4 0 南側柱列東第5柱土層説明 (I - I')	2層: 茶褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミスブロック・粒多量、しまりあり
1層: 暗褐色土 ロームブロック・粒少量、今市バミス粒微量、しまりなし	※ 1層 抜き取り痕跡埋土、2層 掘方埋土
2層: 黑褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、しまりあり	S B - 6 3 4 0 北柱列東第2柱土層説明
3層: 暗褐色土 ロームブロック少量、ローム粒多量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり	3層: 暗褐色土 ローム粒やや多い、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、
4層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、ややしまる	ロームブロック微量、ややしまる
※ 1層 柱痕跡埋土、2 ~ 4層 掘方埋土	4層: 茶褐色土 ローム粒・今市・七本桜バミス粒少量、硬くしまる
S B - 6 3 5 0 B 期西側柱列北第11柱土層説明 (J - J' · K - K')	5層: 暗褐色土 ローム粒やや多い、ロームブロック少量、今市・七本桜バミス粒微量、硬くしまる
1層: 黑褐色土 ロームブロック・粒微量、しまりなし	6層: 黑褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミスブロック・粒少量、しまりあり
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミスブロック・粒少量、しまりあり	7層: 暗褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミス粒少量、しまりあり
3層: 黄褐色土 ローム粒主体、ローム・今市バミスブロック微量、ややしまる	8層: 黄褐色土 ロームブロックのみで構成、硬くしまる
※ 1層 柱痕跡埋土、2 ~ 3層 掘方埋土	※ 3層 柱痕跡埋土、4 ~ 8層 掘方埋土
S B - 6 3 4 0 南西隅柱土層説明	S B - 6 5 1 0 B 期北東隅柱土層説明 (A - A')
4層: 暗褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミスブロック・粒やや多い、しまりあり	1層: 暗褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、ややしまる
5層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり	2層: 黑褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミス粒微量、硬くしまる
6層: 黑褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミス粒少量、しまりなし	3層: 暗褐色土 ローム粒多量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
※ 4 ~ 5層 掘方埋土、6層 抜き取り痕跡埋土	※ 1層 抜き取り痕跡埋土、2 ~ 3層 掘方埋土
S B - 6 3 4 0 西妻柱列棟持柱土層説明 (L - L')	S B - 6 5 1 0 B 期東妻柱列棟持柱土層説明 (B - B')
1層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりなし	1層: 黑褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、ややしまる
2層: 黄褐色土 ロームブロック・粒主体、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり	2層: 黑褐色土 ロームブロック・粒・今市バミスブロック・粒少量、七本桜バミスブロック微量、しまりあり
3層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり	3層: 暗褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミスブロック・粒微量、しまりあり
※ 1層 抜き取り痕跡埋土、2 ~ 3層 掘方埋土	4層: 増茶褐色土 ロームブロック・粒主体、今市バミス・小川スコリアブロック微量、硬くしまる
S B - 6 3 4 0 北西隅柱土層説明 (M - M')	※ 1層 抜き取り痕跡埋土、2 ~ 4層 掘方埋土
1層: 暗褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり	
2層: 暗褐色土 ロームブロック少量、ローム粒やや多い、今市・七本桜バミス粒微量、ややしまる	
3層: 黑褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、しまりあり	
4層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、ややしまる	
※ 1層 新しい小ビット、2層 抜き取り痕跡埋土、3層 掘方埋土	

第24図 S B - 6340 · 6350 A · B 期 · 6510 A · B 期 · 6515 · S A - 6525 土層説明 (1)

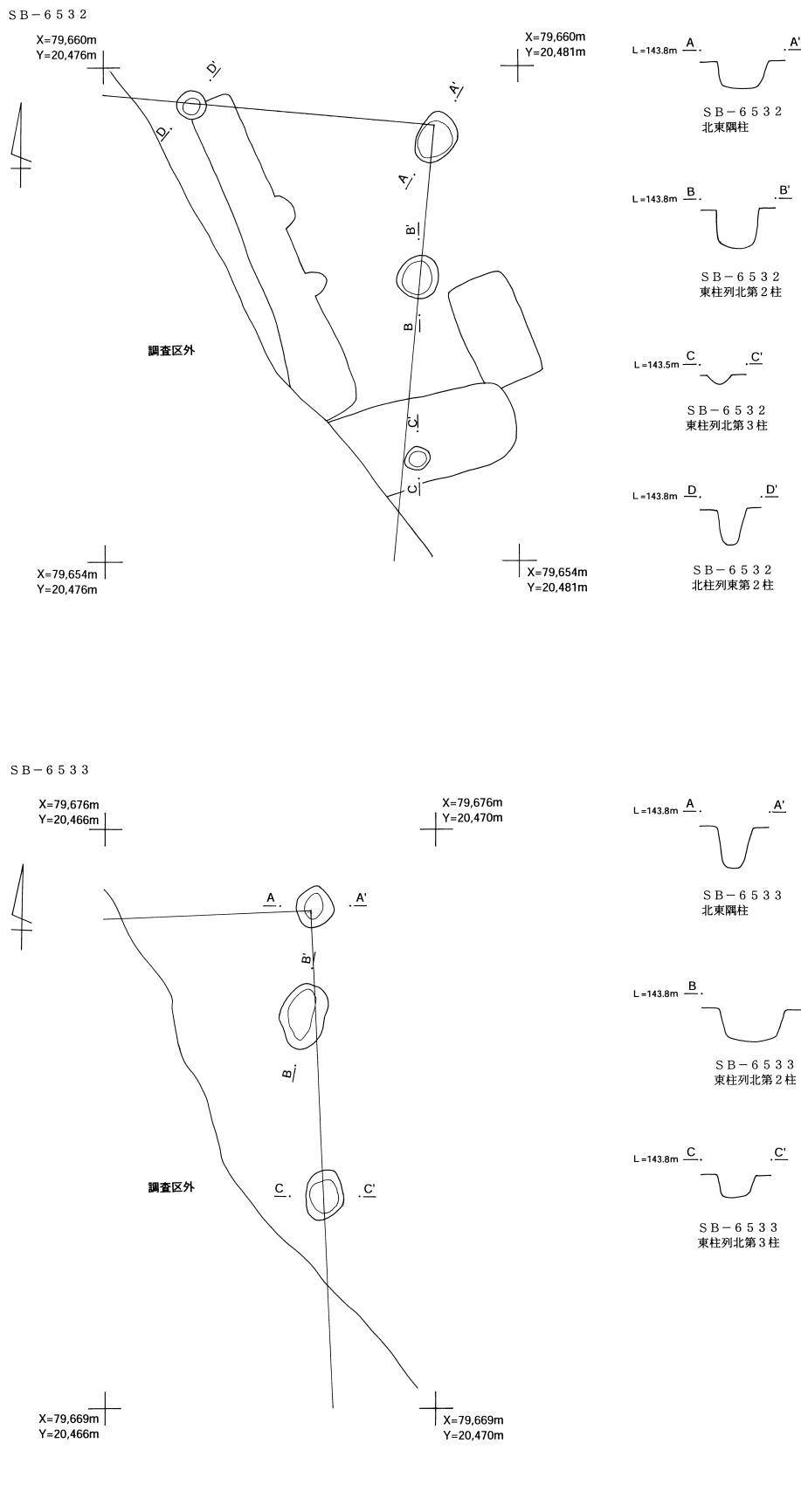
S B - 6 5 1 0 B 期南側柱列東第2柱土層説明 (C C - C C')	S B - 6 3 5 0 B 期東側柱列北第1柱土層説明 (K K - K K' · L L - L L')
1層: 暗茶褐色土 ロームブロック少量、ローム粒やや多い、今市・七本桜バミス粒微量、しまりなし	1層: 黒褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市・七本桜バミス粒微量、しまりなし
2層: 暗黃褐色土 ロームブロック少量、ローム粒多量、今市・七本桜バミス粒微量、硬くしまる	2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミス粒微量、硬くしまる
3層: 黑褐色土 ロームブロック・粒多量、今市バミス粒微量、硬くしまる	3層: 黑褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市・七本桜バミスブロック・粒微量、小川スコリアブロック微量、しまりあり
4層: 暗褐色土 ローム粒やや多い、今市バミス粒微量、硬くしまる	4層: 暗褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市バミス粒微量、硬くしまる
※ 1層 抜き取り痕跡埋土、2~4層 挖方埋土	※ 1層 柱痕跡埋土、2~3層 挖方埋土
S B - 6 5 1 0 B 期南側柱列東第3柱土層説明 (D D - D D' · E E - E E')	S B - 6 3 5 0 A 期西側柱列北第1柱土層説明
1層: 黑褐色土 ロームブロック・粒・小川スコリアブロック微量、しまりなし	4層: 暗褐色土 ロームブロック・粒・小川スコリアブロック少量、今市・七本桜粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市バミス粒・小川スコリアブロック微量、しまりあり	5層: 暗茶褐色土 ロームブロック・粒やや多い、小川スコリアブロック・今市バミス粒微量、硬くしまる
3層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量、今市バミス粒・小川スコリアブロック微量、ややしまる	6層: 黑褐色土 ロームブロック微量、ローム粒少量、今市バミス粒微量、炭化物微量、硬くしまる
※ 1層 柱痕跡埋土、2~3層 挖方埋土	7層: 黑褐色土 ロームブロック・粒やや多い、小川スコリアブロック・今市バミス粒微量、しまりあり
S B - 6 5 1 0 A 期南側柱列東第3柱土層説明	※ 1層 柱痕跡埋土、5~7層 挖方埋土
4層: 暗褐色土 ロームブロック・粒多量、今市バミス粒微量、しまりあり	S B - 6 5 1 0 B 期北側柱列東第4柱土層説明
※ 4層 挖方埋土	8層: 黑褐色土 ロームブロック微量、ローム粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
S B - 6 5 1 0 B 期南側柱列東第4柱土層説明 (F F - F F')	9層: 暗黃褐色土 ロームブロック・粒主体、今市バミスブロック・粒・小川スコリアブロック少量、ややしまる
1層: 黑褐色土 ローム粒・小川スコリアブロック少量、今市バミス粒微量、しまりなし	10層: 黑褐色土 ロームブロック・小川スコリアブロック微量、しまりあり
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒多量、今市バミス粒・小川スコリアブロック微量、しまりあり	※ 8~10層 挖方埋土
3層: 黑褐色土 ロームブロック・粒・今市バミスブロック・粒・小川スコリアブロック少量、しまりあり	S B - 6 5 1 0 A 期北側柱列東第4柱土層説明
※ 1層 柱痕跡埋土、2~3層 挖方埋土	11層: 暗茶褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市・七本桜バミス粒少量、褐色粘土ブロック少量、炭化物微量、ややしまる
S B - 6 5 1 0 A 期南側柱列東第4柱土層説明	12層: 暗黃褐色土 ロームブロック・粒多量、褐色粘土ブロックやや多い、小川スコリアブロック微量、しまりあり
4層: 暗褐色土 ロームブロック・粒少量、今市バミス粒微量、しまりあり	13層: 黑褐色土 ロームブロック微量、ローム粒少量、小川スコリアブロック微量、ややしまる
5層: 黑褐色土 ローム粒微量、ややしまる	※ 11層 抜き取り痕跡埋土、12~13層 挖方埋土
※ 4~5層 挖方埋土	S B - 6 5 1 0 B 期南側柱列東第5柱土層説明 (G G - G G')
S B - 6 5 1 0 B 期南側柱列東第5柱土層説明 (G G - G G')	1層: 黑褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市・七本桜バミス粒微量、しまりなし
1層: 暗茶褐色土 ローム粒・小川スコリア粒少量、今市バミス粒微量、しまりなし	2層: 黑褐色土 ロームブロック微量、ローム粒・今市・七本桜バミス粒少量、炭化物微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市バミス粒少量、七本桜バミス粒微量、硬くしまる	3層: 暗褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミスブロック・粒微量、しまりあり
3層: 黑褐色土 ローム粒・今市・七本桜バミス粒微量、硬くしまる	4層: 黑褐色土 ローム粒・今市バミス粒微量、しまりあり
4層: 黑褐色土 ロームブロック・粒多量、今市バミス粒・小川スコリアブロック微量、硬くしまる	※ 1層 小ビット、2層 抜き取り痕跡埋土、3~4層 挖方埋土
※ 1層 抜き取り痕跡埋土、2~4層 挖方埋土	S B - 6 5 1 0 A 期北側柱列東第5柱土層説明
S B - 6 5 1 0 A 期南側柱列東第5柱土層説明	5層: 暗茶褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、褐色粘土ブロック微量、炭化物微量、ややしまる
5層: 暗褐色土 ロームブロック少量、ローム粒やや多い、今市バミス粒微量、しまりあり	6層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
6層: 黑褐色土 ローム粒少量、ややしまる	7層: 暗褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
※ 5~6層 挖方埋土	8層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
S B - 6 3 5 0 B 期南側柱列東第5柱土層説明 (H H - H H')	※ 5層 抜き取り痕跡埋土、6~8層 挖方埋土
1層: 黑褐色土 ローム粒・今市・七本桜バミス粒・小川スコリア粒少量、しまりなし	S B - 6 5 1 0 B 期北側柱列東第2柱土層説明 (N N - N N' · O O - O O')
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市・七本桜バミス粒微量、小川スコリアブロック微量、硬くしまる	1層: 黑褐色土 ローム粒少量、今市バミス粒微量、しまりなし
3層: 暗黃褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミス粒微量、小川スコリアブロック微量、硬くしまる	2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミスブロック・粒少量、小川スコリアブロック微量、硬くしまる
※ 1層 柱痕跡埋土、2~3層 挖方埋土	3層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミスブロック・粒微量、小川スコリアブロック微量、硬くしまる
S B - 6 5 1 0 B 期北西隅柱土層説明	4層: 暗褐色土 ロームブロック少量、ローム粒やや多い、今市バミス粒微量、小川スコリアブロック微量、硬くしまる
4層: 黑褐色土 ロームブロック微量、ローム粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、小川スコリアブロック微量、しまりなし	5層: 暗黃褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミスブロック・粒少量、小川スコリアブロック微量、硬くしまる
5層: 暗褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜ブロック・粒やや多い、硬くしまる	※ 1層 小ビット、2層 抜き取り痕跡埋土、3~5層 挖方埋土
6層: 暗茶褐色土 ロームブロック・粒少量、今市バミス粒・小川スコリアブロック微量、しまりあり	S B - 6 5 1 0 A 期北側柱列東第2柱土層説明
7層: 暗褐色土 ロームブロック微量、しまりあり	6層: 暗褐色土 ロームブロック少量、ローム粒やや多い、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
8層: 黑褐色土 ローム粒少量、今市バミス粒微量、ややしまる	7層: 黑褐色土 ロームブロック微量、ローム粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
※ 4層 抜き取り痕跡埋土、5~8層 挖方埋土	8層: 黄褐色土 ロームブロック・粒・小川スコリアブロック多量、硬くしまる
S B - 6 5 1 0 A 期北西隅柱土層説明	※ 6~8層 挖方埋土
9層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり	S B - 6 5 1 0 B 期棟持柱列東第2柱土層説明 (P P - P P')
10層: 黄褐色土 ロームブロックのみで構成、硬くしまる	1層: 黑褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミス粒・小川スコリアブロックやや多い、ややしまる
11層: 黑褐色土 ロームブロック・粒微量、ややしまる	2層: 暗褐色土 ローム粒・今市バミス粒多量、七本桜バミス粒少量、ややしまる
※ 1層 11層 挖方埋土	3層: 暗黃褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミス粒微量、硬くしまる
S B - 6 5 1 0 B 期北側柱列東第5柱土層説明 (I I - I I' · J J - J J')	※ 1層 抜き取り痕跡埋土、2~3層 挖方埋土
1層: 暗茶褐色土 ローム粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりなし	S B - 6 5 1 0 A 期北側柱列東第2柱土層説明
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミスブロック・粒やや多い、しまりあり	4層: 黑褐色土 ローム粒微量、ややしまる
3層: 黑褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、しまりあり	※ 4層 挖方埋土か
※ 1層 痕跡埋土、2~3層 挖方埋土	S B - 6 5 1 0 B 期棟持柱列東第3柱土層説明 (Q Q - Q Q')
S B - 6 5 1 0 A 期北側柱列東第5柱土層説明	1層: 黑褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミスブロック・粒・小川スコリアブロック少量、しまりなし
4層: 黑褐色土 ロームブロック・粒やや多い、小川スコリアブロック少量、ややしまる	2層: 黑褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミスブロック・粒・小川スコリアブロック少量、硬くしまる
5層: 黑褐色土 ロームブロック微量、ローム粒やや多い、今市・七本桜ブロック・粒微量、硬くしまる	3層: 暗褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミスブロック・粒・小川スコリアブロック微量、しまりあり
6層: 暗黃褐色土 ロームブロック・粒主体、今市・七本桜バミス粒少量、しまりあり	4層: 黑褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市・七本桜バミスブロック・粒・小川スコリアブロック少量、硬くしまる
7層: 黑褐色土 ロームブロック・粒・小川スコリアブロックやや多い、今市・七本桜バミス粒微量、硬くしまる	※ 1層 柱痕跡埋土、2~4層 挖方埋土
※ 4層 抜き取り痕跡埋土、5~7層 挖方埋土	S B - 6 5 1 0 A 期棟持柱列東第3柱土層説明
S B - 6 5 1 0 B 期北側柱列東第5柱土層説明	5層: 暗褐色土 ロームブロック微量、ローム粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
1層: 暗茶褐色土 ローム粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりなし	6層: 黑褐色土 ロームブロック・粒やや多い、小川スコリアブロック少量、今市バミス粒微量、しまりあり
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミスブロック・粒やや多い、しまりあり	※ 5~6層 挖方埋土
3層: 黑褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、しまりあり	

第25図 S B - 6340・6350 A・B期・6510 A・B期・6515・S A - 6525 土層説明 (2)

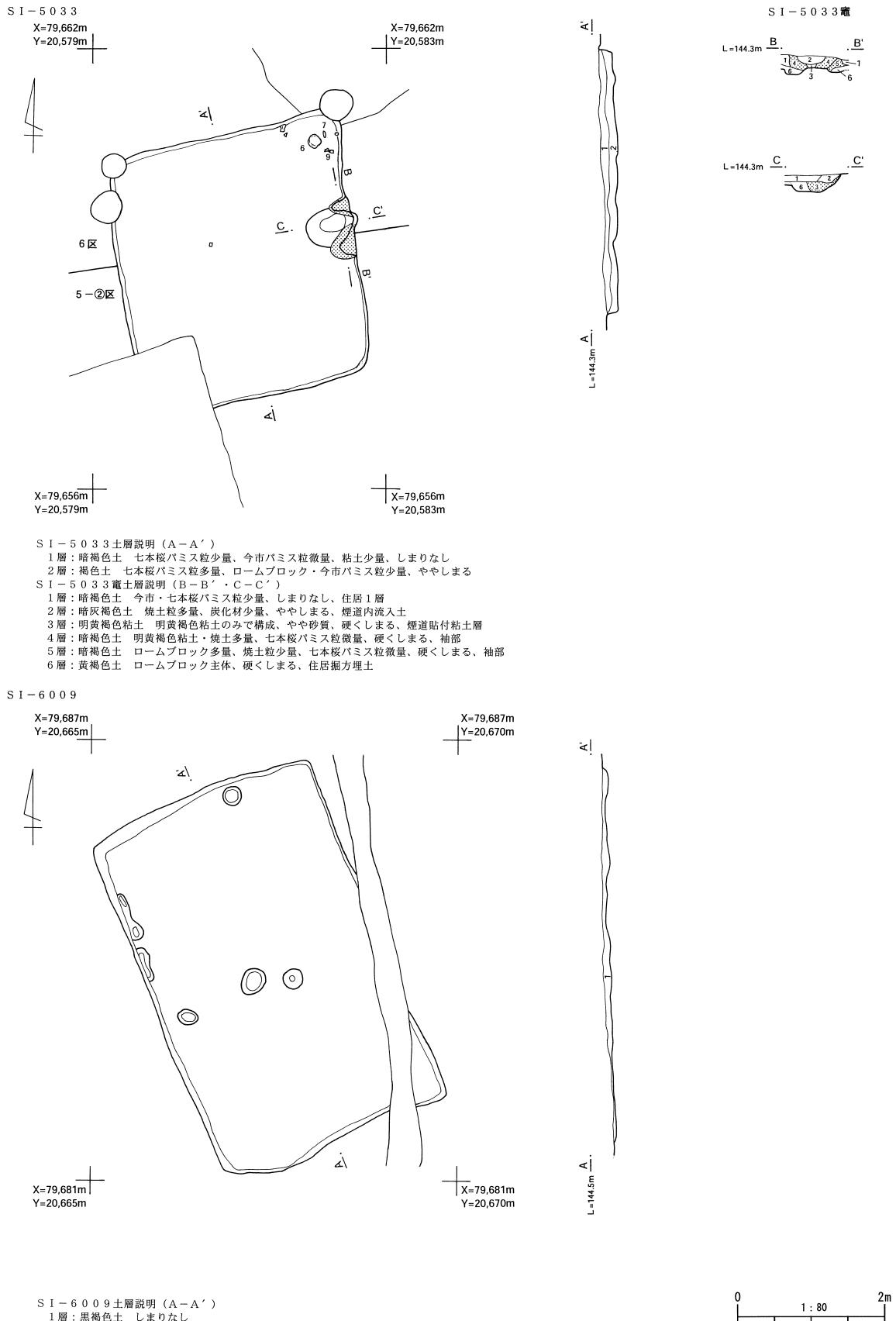
- SB-6350B期南東隅柱土層説明 (RR-RR')
- 1層: 黒褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミスブロック・粒・小川スコリアブロック微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒や多い、今市・七本桜バミスブロック・粒・小川スコリアブロック・粒少量、硬くしまる
3層: 黒褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミスブロック・小川スコリアブロック・粒少量、しまりなし
※1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
- SB-6510B期棟持柱列第4柱土層説明
- 4層: 暗褐色土 ロームブロック・粒多量、小川スコリアブロック・粒少量、今市・七本桜バミスブロック・粒微量、しまりなし
5層: 暗褐色土 ロームブロック少量、ローム粒多量、今市・七本桜バミスブロック・粒・小川スコリアブロック微量、しまりなし
6層: 黒褐色土 ロームブロック微量、ローム粒や多い、今市・七本桜バミスブロック・粒・小川スコリアブロック微量、硬くしまる
7層: 暗褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミスブロック・粒・小川スコリアブロック微量、しまりなし
※4層 抜き取り痕跡埋土、5~7層 挖方埋土
- SB-6510A期棟持柱列第4柱土層説明
- 8層: 暗褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミス粒・小川スコリアブロック微量、硬くしまる
9層: 黒褐色土 ロームブロック・粒や多い、今市・七本桜バミス粒・小川スコリアブロック微量、硬くしまる
10層: 暗褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミス粒・小川スコリアブロック微量、硬くしまる
※8~10層 挖方埋土
- SB-6515南東隅柱土層説明 (SS-SS')
- 1層: 黒褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒、今市・七本桜バミス粒や多い、七本桜バミス粒・小川スコリアブロック微量、硬くしまる
3層: 暗黄褐色土 ロームブロック・粒主体、今市・七本桜バミス粒微量、硬くしまる
※1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
- SB-6515南側柱列第2柱土層説明 (TT-TT')
- 1層: 黒褐色土 ロームブロック・粒や多い、今市・七本桜バミスブロック・粒微量、ややしまる
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒、今市・七本桜バミスブロック・粒や多い、硬くしまる
3層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミスブロック・粒微量、硬くしまる
4層: 暗黄褐色土 ロームブロック・粒主体、今市・七本桜バミス粒微量、硬くしまる
※1層 柱痕跡埋土、2~4層 挖方埋土
- SB-6515南側柱列第3柱土層説明 (UU-UU')
- 1層: 挖乱
2層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりなし
3層: 暗褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミスブロック・粒微量、しまりあり
4層: 暗黄褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
※2層 柱痕跡埋土、3・4層 挖方埋土
- SB-6350B期東側柱列第8柱土層説明
- 5層: 暗褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりなし
6層: 黑褐色土 ロームブロック・粒や多い、今市・七本桜バミスブロック・粒微量、硬くしまる
7層: 暗褐色土 ロームブロック少量、ローム粒多量、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、しまりあり
※5層 柱痕跡埋土、6・7層 挖方埋土
- SB-6350A期西側柱列第8柱土層説明
- 8層: 暗褐色土 ロームブロック・粒、今市・七本桜バミスブロック・粒多量、しまりあり
※8層 挖方埋土
- SB-6515南西隅柱土層説明 (VV-VV')
- 1層: 暗褐色土 ローム粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒や多い、今市・七本桜バミスブロック・粒微量、硬くしまる
3層: 暗黄褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミス粒微量、硬くしまる
※1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
- SB-6515北側柱列第2柱土層説明 (WW-WW')
- 1層: 黑褐色土 ロームブロック微量、ローム粒や多い、今市・七本桜粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜ブロック・粒少量、しまりあり
※1層 柱痕跡埋土、2層 挖方埋土
- SB-6350A期東側柱列第2柱土層説明 (a-a')
- 1層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミスブロック・粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒、今市・七本桜バミスブロック・粒や多い、硬くしまる
3層: 暗褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミスブロック・粒多量、しまりあり
4層: 黑褐色土 ローム粒・今市・七本桜バミス粒少量、しまりあり
※1層 柱痕跡埋土、2~4層 挖方埋土
- SB-6350A期東側柱列第2柱土層説明 (b-b')
- 1層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒や多い、今市・七本桜バミス粒少量、硬くしまる
3層: 暗褐色土 ロームブロック・粒主体、今市・七本桜バミス粒微量、硬くしまる
※1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
- SB-6350A期東側柱列第5柱土層説明 (c-c')
- 1層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミスブロック・粒微量、ややしまる
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、しまりあり
3層: 黑褐色土 ロームブロック・粒や多い、今市・七本桜バミスブロック・粒微量、しまりあり
※1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
- SB-6350A期東側柱列第7柱土層説明 (d-d')
- 1層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
※1層 柱痕跡埋土、2層 挖方埋土
- SB-6350A期東側柱列第8柱土層説明 (e-e')
- 1層: 暗褐色土 ロームブロック・粒や多い、今市・七本桜バミス粒微量、ややしまる
2層: 黑褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
※1層 柱痕跡埋土、2層 挖方埋土
- SB-6350A期東側柱列第9柱土層説明 (f-f')
- 1層: 黑褐色土 ロームブロック微量、ローム粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、ややしまる
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミスブロック・粒微量、しまりあり
3層: 暗黄褐色土 ロームブロック・粒主体、今市・七本桜バミスブロック・粒微量、しまりあり
※1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
- SB-6350A期東側柱列第10柱土層説明 (g-g')
- 1層: 暗褐色土 ローム粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、ややしまる
2層: 黑褐色土 ロームブロック・粒や多い、今市・七本桜バミスブロック・粒微量、硬くしまる
3層: 暗黄褐色土 ローム粒多量、今市・七本桜バミス粒微量、硬くしまる
※1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
- SB-6350A期南東隅柱土層説明 (h-h')
- 1層: 黑褐色土 ローム粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、ややしまる
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒や多い、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
3層: 暗黄褐色土 ローム粒多量、今市・七本桜バミス粒微量、硬くしまる
※1層 柱痕跡埋土、2層 挖方埋土
- SB-6350B期北東隅柱土層説明 (i-i')
- 1層: 暗褐色土 ロームブロック粒や多い、今市・七本桜バミスブロック・粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒、今市・七本桜バミス粒少量、硬くしまる
3層: 黑褐色土 ロームブロック・粒や多い、今市・七本桜バミス粒微量、硬くしまる
※1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
- SB-6350A期北西隅柱土層説明
- 4層: 暗褐色土 ロームブロック・粒や多い、今市・七本桜バミス粒微量、硬くしまる
5層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
※4・5層 挖方埋土
- SB-6350B期東側柱列第2柱土層説明 (j-j')
- 1層: 暗褐色土 ローム粒、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
2層: 暗褐色土 ローム粒、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、硬くしまる
3層: 黑褐色土 ローム粒、今市・七本桜バミス粒少量、硬くしまる
4層: 暗黄褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、硬くしまる
※1層 柱痕跡埋土、2~4層 挖方埋土
- SB-6350A期西側柱列第2柱土層説明
- 5層: 暗褐色土 今市・七本桜バミスブロック・粒や多い、ローム粒少量、しまりあり
6層: 黑褐色土 ロームブロック・粒、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、しまりあり
※5・6層 挖方埋土
- SB-6350B期東側柱列第3柱土層説明 (k-k')
- 1層: 黑褐色土 ローム粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒や多い、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、しまりあり
3層: 黑褐色土 ローム粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
4層: 暗黄褐色土 ローム粒多量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
※1層 柱痕跡埋土、2~4層 挖方埋土
- SB-6350A期西側柱列第3柱土層説明
- 5層: 暗褐色土 今市・七本桜バミスブロック・粒多量、しまりあり
6層: 黑褐色土 ローム粒・今市・七本桜バミスブロック・粒少量、しまりあり
※5・6層 挖方埋土

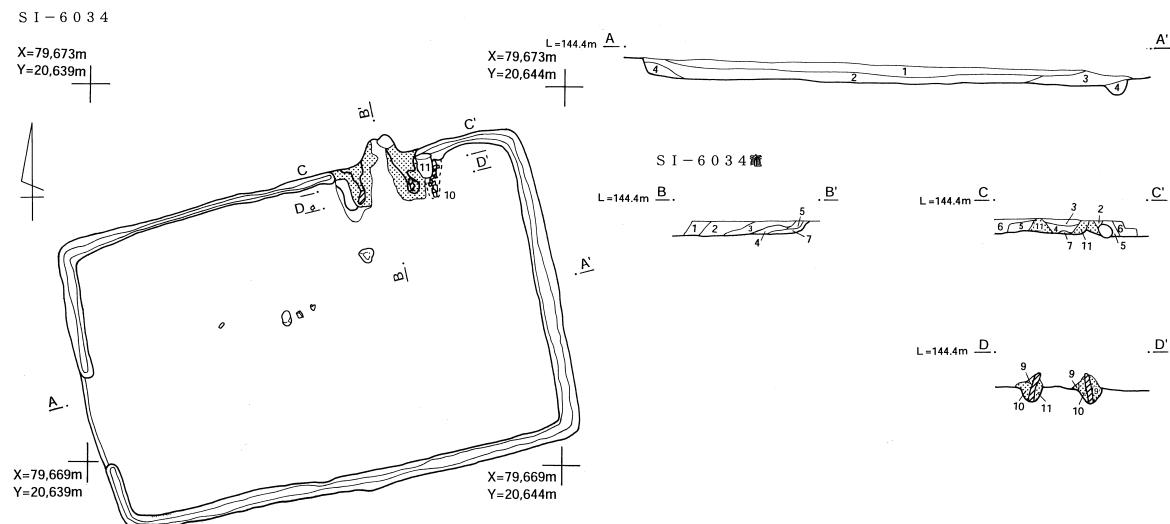
第26図 SB-6340・6350A・B期・6510A・B期・6515・SA-6525 土層説明 (3)

- S B - 6 3 5 0 B 期東側柱列北第4柱土層説明 (1 - 1')
- 1層: 暗褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミス粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒多量・今市・七本桜バミスブロック・粒少量、硬くしまる
3層: 黒褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミスブロック・粒少量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
- S B - 6 3 5 0 A 期西側柱列北第4柱土層説明
- 4層: 黒褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミスブロック・粒少量、しまりあり
※ 4層 挖方埋土
- S B - 6 3 5 0 B 期東側柱列北第5柱土層説明 (m - m')
- 1層: 黒褐色土 ローム粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒や多い、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、しまりあり
3層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミスブロック・粒微量、ややしまる
4層: 暗黃褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2～4層 挖方埋土
- S B - 6 3 5 0 A 期西側柱列北第5柱土層説明
- 5層: 黑褐色土 ローム粒・今市・七本桜バミス粒少量、しまりあり
※ 5層 挖方埋土
- S B - 6 3 5 0 B 期東側柱列北第6柱土層説明 (n - n')
- 1層: 黑褐色土 ロームブロック微量・ローム粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりなし
2層: 暗黃褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、しまりあり
3層: 黑褐色土 ロームブロック・粒や多い、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
- S B - 6 3 5 0 A 期西側柱列北第6柱土層説明
- 4層: 暗褐色土 ローム粒少量、ややしまる
※ 4層 挖方埋土
- S B - 6 3 5 0 B 期東側柱列北第9柱土層説明 (o - o')
- 1層: 黑褐色土 ローム粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりなし
2層: 黑褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミスブロック・粒少量、しまりなし
3層: 暗褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、硬くしまる
4層: 暗黃褐色土 ロームブロック・粒主体・今市・七本桜バミスブロック・粒微量、硬くしまる
※ 1層 新しい小ビット、2層 柱痕跡埋土、3・4層 挖方埋土
- S B - 6 3 5 0 A 期西側柱列北第9柱土層説明
- 5層: 黑褐色土 ロームブロック・粒や多い、今市・七本桜バミスブロック・粒微量、しまりあり
6層: 暗黃褐色土 ロームブロック・粒多量、今市バミス粒微量、しまりあり
※ 5・6層 挖方埋土
- S B - 6 3 5 0 B 期東側柱列北第12柱土層説明 (p - p')
- 1層: 黑褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミス粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒や多い、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
3層: 暗黃褐色土 ロームブロック・粒主体・今市・七本桜バミス粒微量、硬くしまる
※ 1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
- S B - 6 3 5 0 B 期西側柱列北第2柱土層説明 (q - q')
- 1層: 黑褐色土 ローム粒・今市・七本桜バミス粒少量、ややしまる
2層: 黑褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミスブロック・粒少量、小川スコリアブロック・粒微量、硬くしまる
3層: 暗黃褐色土 ロームブロック・粒・小川スコリアブロック・粒多量、今市バミスブロック・粒少量、硬くしまる
4層: 暗褐色土 ロームブロック・粒・今市バミスブロック・粒や多い、今市バミスブロック・粒微量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2～4層 挖方埋土
- S B - 6 3 5 0 B 期西側柱列北第3柱土層説明 (r - r')
- 1層: 暗褐色土 ロームブロック微量・ローム粒・今市バミスブロック・粒や多い、七本桜バミスブロック微量、しまりなし
2層: 黑褐色土 ロームブロック・粒・今市バミスブロック・粒多量・七本桜バミスブロック微量、硬くしまる
※ 1層 柱痕跡埋土、2層 挖方埋土
- S B - 6 3 5 0 B 期西側柱列北第4柱土層説明 (s - s')
- 1層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量・今市・七本桜バミス粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒多量・今市・七本桜バミス粒少量、しまりあり
3層: 黑褐色土 ロームブロック少量・ローム粒や多い、今市・七本桜バミス粒微量、硬くしまる
※ 1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
- S B - 6 3 5 0 B 期西側柱列北第5柱土層説明 (t - t')
- 1層: 黑褐色土 ロームブロック微量・ローム粒・今市バミス粒少量・七本桜バミス粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒多量・今市・七本桜バミスブロック・粒少量、硬くしまる
3層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量・今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
- S B - 6 3 5 0 B 期西側柱列北第6柱土層説明 (u - u')
- 1層: 暗褐色土 ロームブロック・粒や多い、今市・七本桜バミス粒微量、ややしまる
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、硬くしまる
3層: 黑褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、ややしまる
4層: 暗褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、硬くしまる
※ 1層 柱痕跡埋土、2～4層 挖方埋土
- S B - 6 3 5 0 B 期西側柱列北第7柱土層説明 (v - v')
- 1層: 暗褐色土 ロームブロック微量・ローム粒少量・今市・七本桜バミス粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ロームブロック少量・ローム粒や多い、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
3層: 黑褐色土 ロームブロック主体・今市・七本桜バミス粒微量、硬くしまる
4層: 黑褐色土 ローム粒・今市バミス粒微量、ややしまる
※ 1層 柱痕跡埋土、2・3層 挖方埋土
- S B - 6 3 5 0 B 期西側柱列北第8柱土層説明 (w - w')
- 1層: 黑褐色土 ローム粒・今市バミス粒微量、しまりなし
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒少量・今市・七本桜バミスブロック・粒微量、しまりあり
3層: 暗褐色土 ロームブロック・粒多量・今市・七本桜バミスブロック・粒少量、硬くしまる
4層: 暗黃褐色土 ロームブロック・粒主体・今市バミスブロック・粒微量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2～4層 挖方埋土
- S B - 6 3 5 0 B 期西側柱列北第9柱土層説明 (x - x')
- 1層: 暗褐色土 ロームブロック微量・ローム粒や多い、今市・七本桜バミス粒微量、しまりなし
2層: 黑褐色土 ロームブロック少量・ローム粒や多い、今市・七本桜バミスブロック・粒微量、硬くしまる
3層: 暗褐色土 ロームブロック・粒多量・今市・七本桜バミスブロック・粒少量、硬くしまる
4層: 暗黃褐色土 ロームブロック・粒主体・今市バミスブロック・粒微量、しまりあり
※ 1層 柱痕跡埋土、2～4層 挖方埋土
- S B - 6 3 5 0 B 期西側柱列北第10柱土層説明 (y - y')
- 1層: 暗褐色土 ローム粒少量・今市・七本桜バミス粒微量、しまりなし
2層: 黑褐色土 ロームブロック微量・ローム粒・今市・七本桜バミスブロック・粒少量、硬くしまる
3層: 黑褐色土 ローム粒・今市バミスブロック・粒や多い、七本桜バミス粒微量、しまりあり
4層: 褐色土 今市バミスブロック・粒主体・ローム粒・七本桜バミス粒少量、ややしまる
※ 1層 柱痕跡埋土、2～4層 挖方埋土
- S A - 6 5 2 5 北第1柱土層説明 (a - a')
- 1層: 暗褐色土 ロームブロック・粒多量・今市・七本桜バミス粒微量、ややしまる
2層: 黑褐色土 ローム粒多量・ロームブロック少量・今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
3層: 暗褐色土 ローム粒や多い、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
4層: 褐色土 ロームブロック・粒や多い、今市・七本桜バミス粒微量、ややしまる
※ 1層 抜き取り痕跡埋土、2～4層 挖方埋土
- S A - 6 5 2 5 北第2柱土層説明 (b - b')
- 1層: 黑褐色土 ロームブロック微量・ローム粒や多い、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
2層: 暗褐色土 ロームブロック・粒や多い、今市バミスブロック・粒微量、硬くしまる
※ 1・2層 挖方埋土



第28図 SB-6532・6533実測図





S I - 6 0 3 4 土層説明 (A-A')

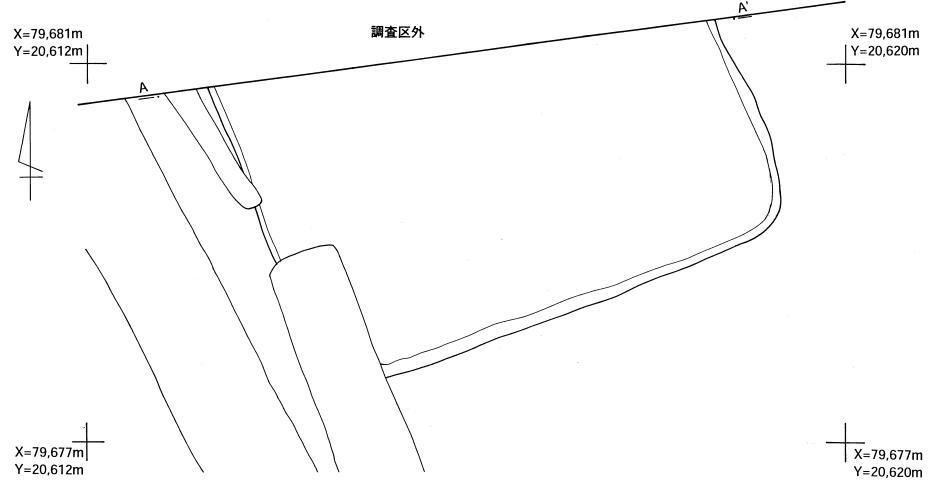
3層 黒褐色土色 4層 上工説明 (A) 5層

- 1層：黒褐色土色 ロームブロック少量、今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
- 2層：暗褐色土色 ロームブロック少量、今市・七本桜バミス粒少量、しまりあり
- 3層：褐褐色土色 ロームブロック少量、今市バミスブロック・七本桜バミス粒微量、しまりあり
- 4層：暗黒褐色土色 ローム・今市バミス粒微量、しまりなし

S I - 6 0 3 4 竪土層說明 (B - B' ~ D - D')

3層: 暗褐色土 灰色粘土粒少量、ロームブロック微量、しまりあり、住居覆土
1層: 暗褐色土 灰色粘土粒少量、ロームブロック微量、しまりあり、住居覆土
2層: 黒褐色土 今市・七本桜バニス粒微量、灰色粘土ブロック微量、しまりあり、天井部崩落土
3層: 褐色土 灰色粘土ブロック多量、今市・七本桜バニス粒微量、粘質、ややしまる、煙道内流入土か
4層: 灰褐色土 灰色粘土ブロック多量、焼土ブロック微量、粘質、しまりあり、天井部崩落土か
5層: 黑褐色土 灰色粘土ブロック多量、しまりあり、天井部崩落土か
6層: 暗黒褐色土 ローム・七本桜バニス粒微量、しまりあり、住居覆土
7層: 暗赤褐色土 燃土粒少量、炭化物極微量、粘質、ややしまる、煙道内流入土
8層: 暗灰褐色土 灰色粘土ブロック多量、焼土粒少量、非常に硬くしまる、天井内壁崩落土
9層: 暗褐色土 灰色粘土ブロックで構成、粘質、硬くしまる、袖部
10層: 暗灰褐色土 灰色粘土ブロック少量、今市バニス粒微量、粘質、硬くしまる、袖部構築材
11層: 暗褐色土 灰色粘土ブロック少量、粘質、硬くしまる、袖部
12層: 明赤褐色土 9層が被熱したのため赤変したの、やや粘質、硬くしまる、袖部

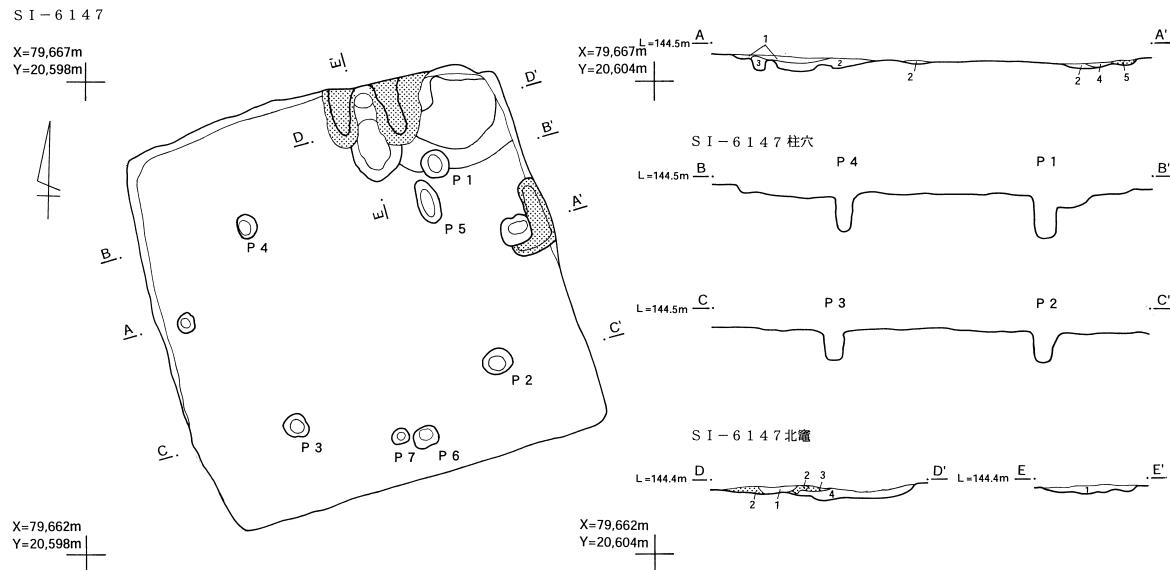
S I - 6 0 5 1



S I - 6 0 5 1 土層説明 (A - A')

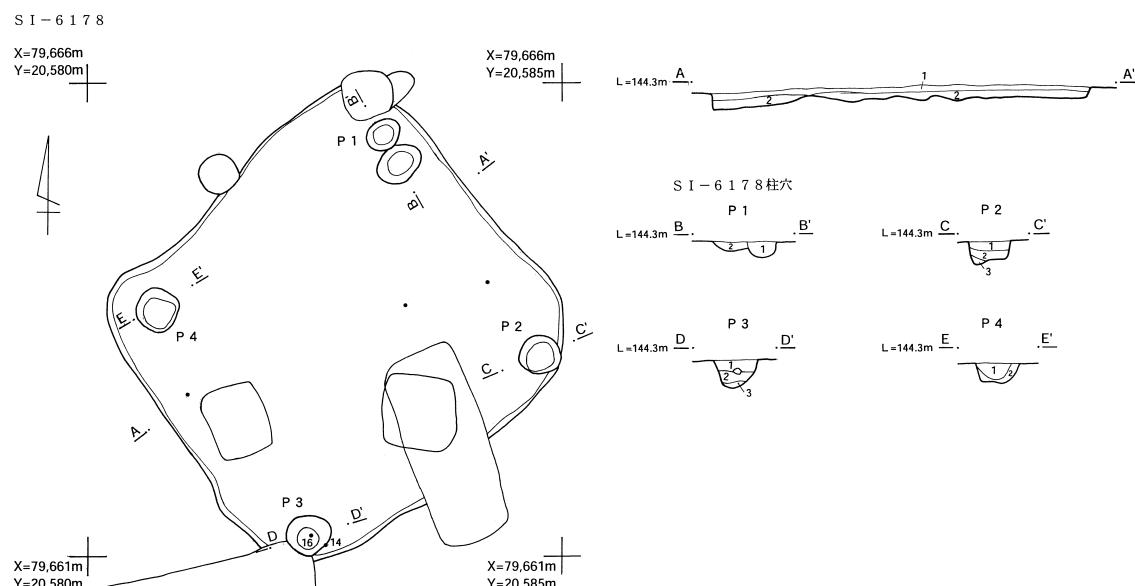
1層：黒褐色土 やや粘質、しまりなし

第30図 S I - 6034・6051 実測図



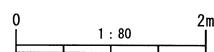
S I - 6 1 4 7 土層説明 (A-A')

- 1層: 暗黒褐色土 今市・七本桜バミス粒微量、ややしまる。掘方埋土
 - 2層: 黒褐色土 今市バミス粒少量、七本桜バミス粒微量、ややしまる。掘方埋土
 - 3層: 暗褐色土 今市・七本桜バミスブロック・粒微量混入、硬くしまる、住居よりも古いピットか
 - 4層: 黒褐色土 今市バミス粒少量、七本桜バミスブロック極微量、黒色土を混入、粘質、硬くしまる、東竈掘方か
 - 5層: 灰褐色土 粘土ブロック多量、ロームブロック微量、粘質、硬くしまる、東竈構築材か
- S I - 6 1 4 7 北竈土層説明 (D-D'・E-E')
- 1層: 暗赤褐色土 ローム粒・焼土ブロック少量、今市・七本桜バミス粒極微量、非常に硬くしまる、掘方埋土
 - 2層: 灰褐色土 灰色粘土多量、今市バミス粒少量、しまりあり、袖部材基部
 - 3層: 暗灰褐色土 灰色粘土多量、焼土、今市バミス粒少量、七本桜バミス粒微量、しまりあり、袖部材基部か
 - 4層: 黒褐色土 今市バミスブロック・七本桜バミス粒少量、ローム粒微量、埋め戻し土、しまりあり、住居以前の掘り込み



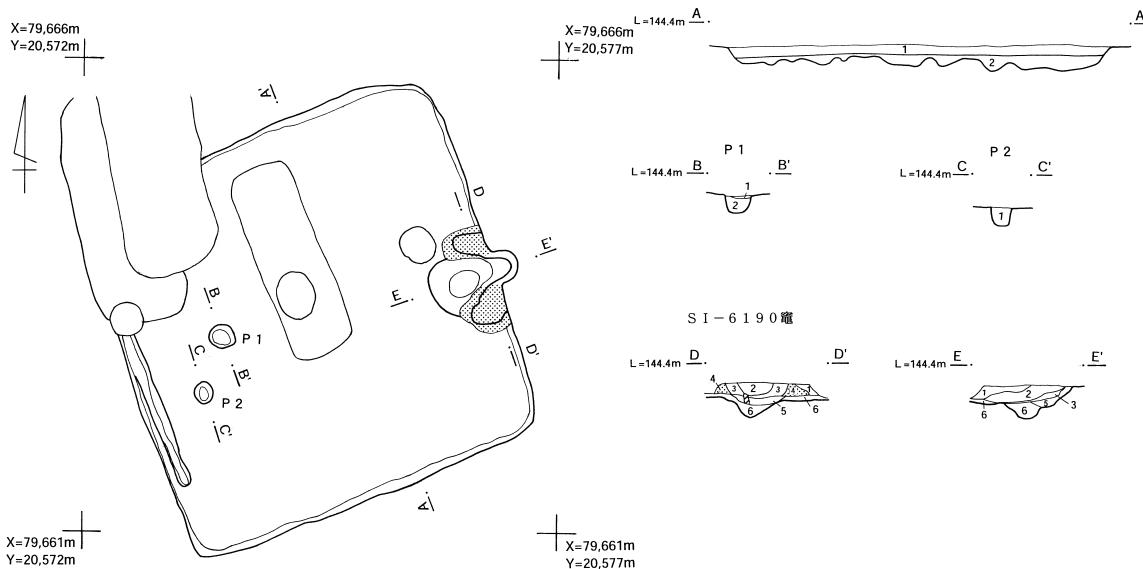
S I - 6 1 7 8 土層説明 (A-A')

- 1層: 黒褐色土 ロームブロック・七本桜バミス粒少量、今市バミス粒微量、ややしまる
 - 2層: 褐色土 ロームブロック・七本桜バミス粒多量、しまりあり
- S I - 6 1 7 8 柱穴 (P 1-P 4) 土層説明 (B-B' ~ E-E')
- 1層: 黒色土 ローム・今市バミス粒少量、しまりなし
 - 2層: 黒色土 七本桜バミス粒少量、しまりなし、1層に類似
 - 3層: 黄褐色土 ロームブロック主体、今市バミス粒少量、ややしまる
 - 4層: 黒色土 ローム粒多量、しまりなし
 - 5層: 黄褐色土 ロームブロック主体、しまりあり
 - 6層: 黑褐色土 ロームブロック極微量、今市・七本桜バミス粒少量、しまりなし

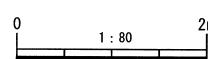
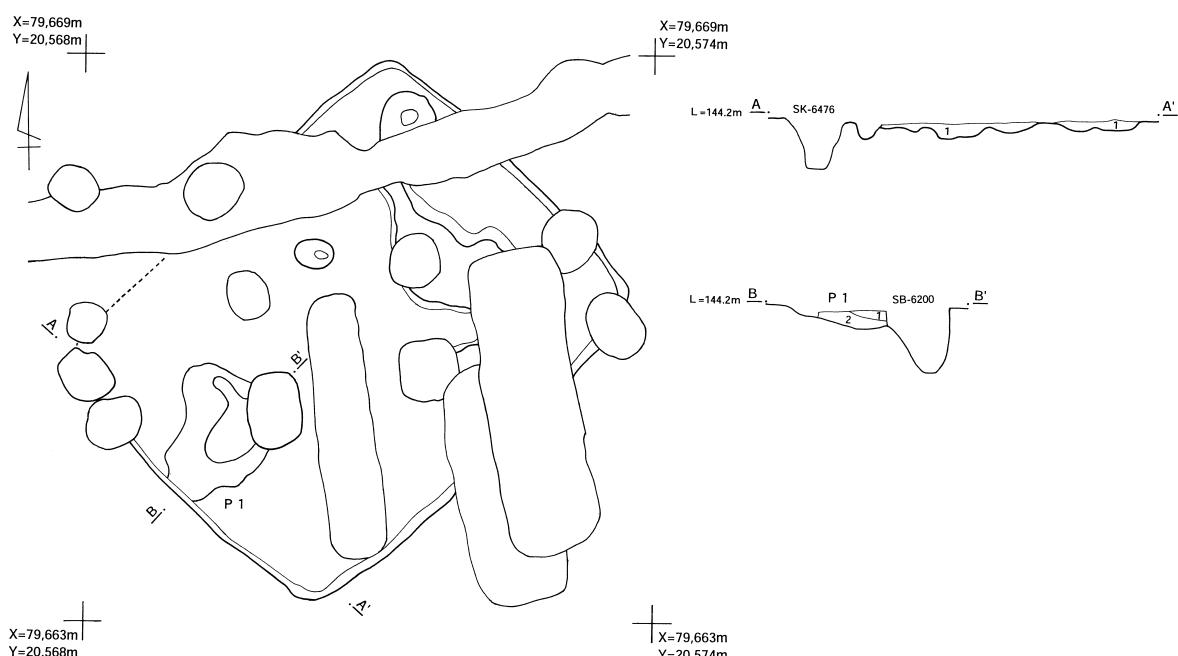


第31図 S I - 6147・6178 実測図

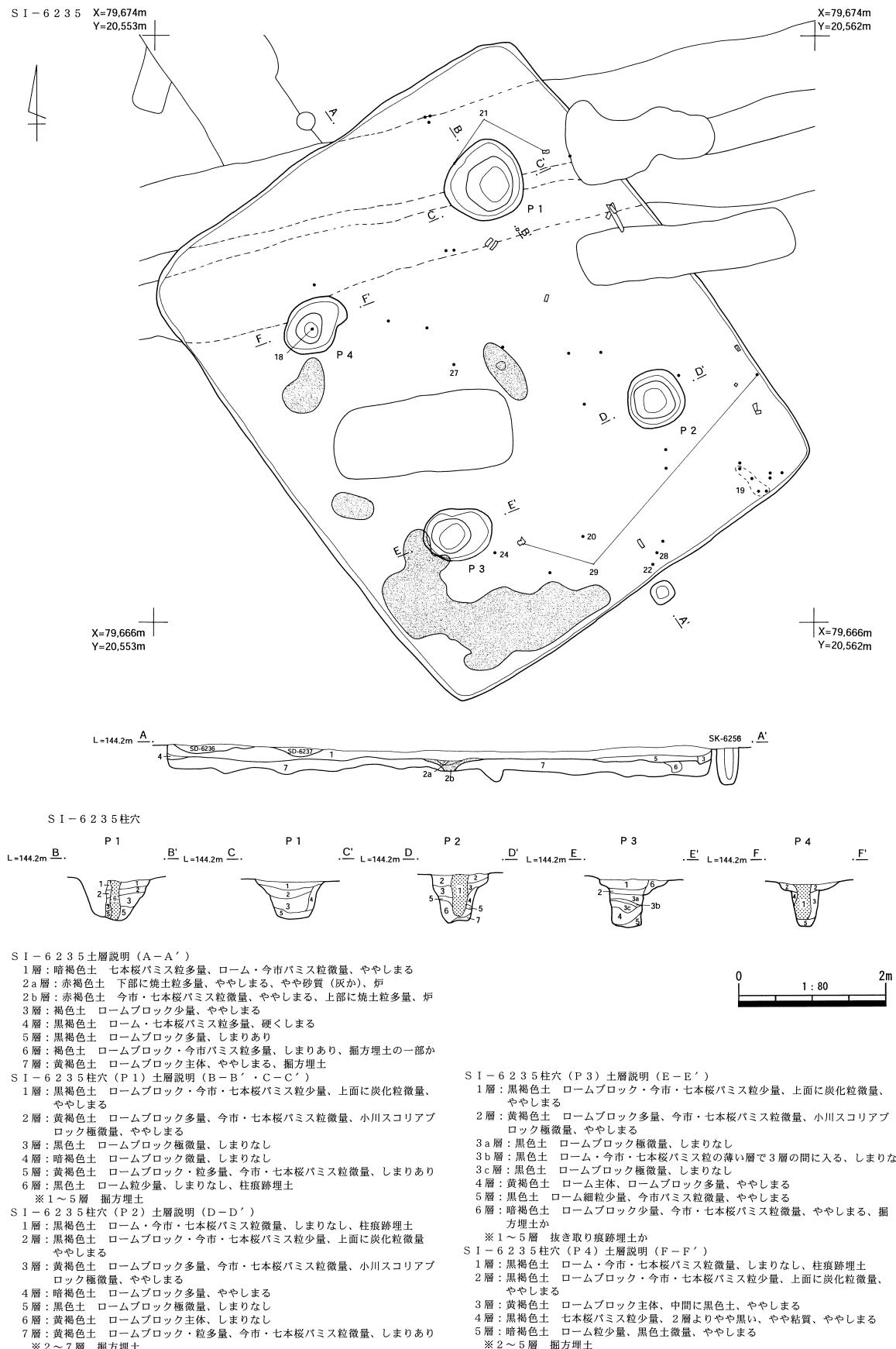
S I - 6190

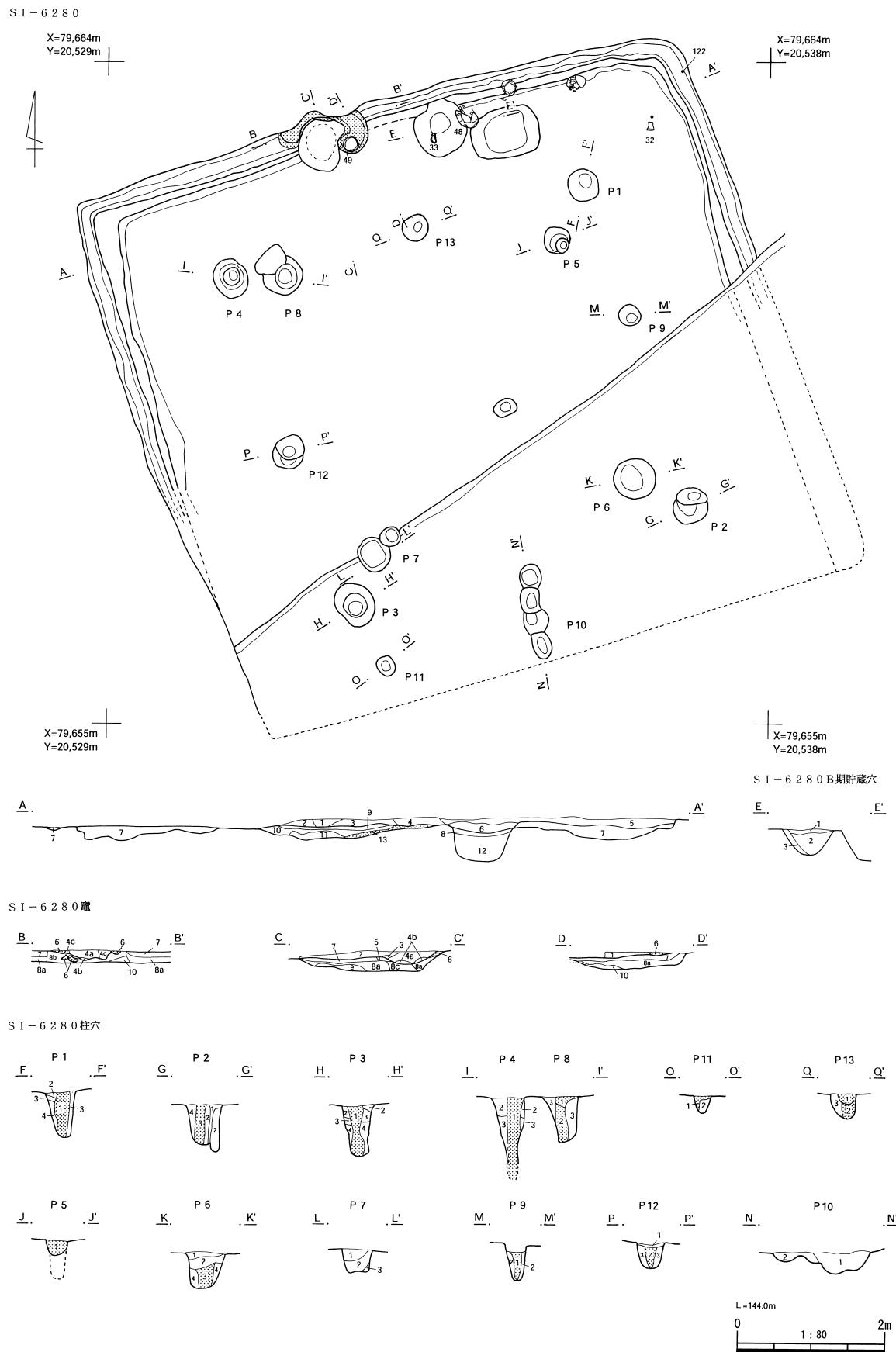


S I - 6192



第32図 SI-6190・6192実測図





第34図 SI-6280 実測図

S I - 6 2 8 0 土層説明 (A - A')

1層: 暗褐色土 今市・七本桜バミス粒少量、焼土粒微量、しまりなし、搅乱か
 2層: 灰褐色土 粘土粒多量、焼土・炭化粒少量、しまりなし、竪構築材などの崩れ
 3層: 褐色土 焼土・今市・七本桜バミス粒少量、しまりなし
 4層: 褐色土 ローム粒少量、焼土粒多量、しまりなし
 5層: 褐色土 ローム粒やや多い、焼土粒少量、しまりあり
 6層: 暗褐色土 焼土粒・炭少量、しまりあり
 7層: 黒褐色土 ロームブロック多量、ややしまる
 8層: 黄褐色土 ロームブロック多量、硬くしまる
 9層: 黄褐色土 黄色粘土主体、ロームブロック・今市バミス・焼土粒少量、硬くしまる、上面が床面
 10層: 暗褐色土 焼土・粘土粒多量、ややしまる
 11層: 暗黄褐色土 粘土主体、今市・七本桜バミス粒少量、ややしまる
 12層: 赤褐色土 焼土ブロック主体、粘土含む、ややしまる、A期貯蔵穴、B期建て替え時にA期竪焼土で埋め戻す
 13層: 灰赤褐色土 粘土・焼土主体、しまりなし
 ※ 3～6層 B期住居覆土、7・8層 B期掘方埋土 9～11層 B期竪焼土

S I - 6 2 8 0 竪層説明 (B - B' - D - D')

1層: 褐色土 焼土・今市・七本桜バミス粒少量、しまりなし
 2層: 灰褐色土 粘土粒多量、焼土・炭化粒少量、しまりなし
 3層: 黄褐色土 ロームブロック主体、しまりなし
 4a層: 赤褐色土 焼土主体、粘土少量、しまりなし
 4b層: 灰赤褐色土 焼土多量、ローム少量、しまりなし
 4c層: 暗赤褐色土 焼土主体、しまりなし
 5層: 暗灰褐色土 粘土粒多量、焼土・炭化粒少量、しまりなし
 6層: 黄褐色土 黄色粘土主体、やや砂質、しまりあり
 7層: 黄褐色土 粘土主体、ロームブロック・今市バミス・焼土粒少量、硬くしまる
 8a層: 暗褐色土 焼土・粘土粒多量、ややしまる
 8b層: 黒褐色土 焼土粒微量、ややしまる
 8c層: 黑灰色土 焼土粒少量、ややしまる
 9層: 暗黄褐色土 粘土主体、今市・七本桜バミス粒少量、ややしまる
 10層: 灰赤褐色土 焼土・粘土主体、硬くしまる、A期竪火床
 ※ 2・3層 B期竪天井部崩落土、4層 B期竪天井部・袖部内部剥落土、5・7～9層 B期竪焼土、6層 袖部及び煙道部貼付粘土

S I - 6 2 8 0 B期貯蔵穴土層説明 (E - E')

1層: 暗赤褐色土 焼土粒多量、しまりなし
 2層: 黑褐色土 焼土・今市・七本桜バミス粒少量、ややしまる
 3層: 明赤褐色土 焼土粒多量、粘土粒少量、しまりなし

B期柱穴

S I - 6 2 8 0 柱穴 (P 1) 土層説明 (F - F')

1層: 黑褐色土 ロームブロック少量、しまりなし、柱痕跡埋土
 2層: 黑褐色土 ロームブロックやや多い、しまりなし
 3層: 黄褐色土 ロームブロック多量、しまりあり
 4層: 黄褐色土 ロームブロック多量、今市バミス粒少量、しまりあり
 ※ 2～4層 掘方埋土

S I - 6 2 8 0 柱穴 (P 2) 土層説明 (G - G')

1層: 黑褐色土 ロームブロック少量、しまりなし、新しい小ビット
 2層: 黄褐色土 ロームブロックやや多い、しまりあり、新しい小ビット
 3層: 黑褐色土 ロームブロック少量、しまりなし、柱痕跡埋土
 4層: 黑褐色土 ロームブロックやや多い、しまりあり、掘方埋土

S I - 6 2 8 0 柱穴 (P 3) 土層説明 (H - H')

1層: 黑褐色土 ローム・今市バミスブロック微量、しまりなし、柱痕跡埋土
 2層: 黄褐色土 ロームブロック少量、しまりあり
 3層: 黄褐色土 ロームブロックやや多い、しまりあり
 4層: 黄褐色土 ロームブロック多量、硬くしまる
 ※ 2～4層 掘方埋土

S I - 6 2 8 0 柱穴 (P 4) 土層説明 (I - I')

1層: 黑褐色土 ロームブロック少量、今市バミス粒微量、しまりなし、柱痕跡埋土
 2層: 黄褐色土 ロームブロック・粒主体、今市バミスブロック少量、しまりあり
 3層: 黑褐色土 ロームブロック・今市バミス粒微量、ややしまる
 ※ 2・3層 掘方埋土

S I - 6 2 8 0 柱穴 (P 11) 土層説明 (O - O')

1層: 明褐色土 ローム粒多量、しまりなし
 2層: 黄褐色土 ロームブロック主体、しまりあり

S I - 6 2 8 0 柱穴 (P 13) 土層説明 (Q - Q')

1層: 褐色土 ローム粒微量、しまりなし、柱痕跡埋土
 2層: 褐色土 ローム粒少量、しまりなし、柱痕跡埋土
 3層: 黄褐色土 ローム主体、しまりあり、掘方埋土

A期柱穴

S I - 6 2 8 0 柱穴 (P 5) 土層説明 (J - J')

1層: 黄褐色土 ロームブロック・褐色土・今市バミス混入土、しまりなし、抜き取り痕跡埋土

S I - 6 2 8 0 柱穴 (P 6) 土層説明 (K - K')

1層: 黄褐色土 褐色土やや多い、しまりあり
 2層: 黄褐色土 ロームブロック主体、褐色土少量、しまりあり
 3層: 黄褐色土 ロームブロック・褐色土やや多い、しまりなし、柱痕跡埋土
 4層: 明黄褐色土 ロームブロック主体、褐色土微量、しまりあり、掘方埋土
 ※ 1・2層 B期住居建て替え時の埋め戻し土

S I - 6 2 8 0 柱穴 (P 7) 土層説明 (L - L')

1層: 黄褐色土 ロームブロック主体、褐色土少量、しまりあり、B期住居建て替え時の埋め戻し土
 2層: 暗黄褐色土 ロームブロックやや多い、黒色土多量、しまりあり
 3層: 明黄褐色土 ロームブロック主体、しまりあり
 ※ 2・3層 掘方埋土か

S I - 6 2 8 0 柱穴 (P 8) 土層説明 (I - I')

1層: 灰赤褐色土 焼土・粘土・炭化粒多量、しまりなし
 2層: 灰褐色土 焼土・粘土・炭化粒多量、しまりなし
 3層: 黄褐色土 ロームブロック主体、しまりあり、掘方埋土
 ※ 1・2層 柱抜き取り後A期竪焼土埋め戻し土

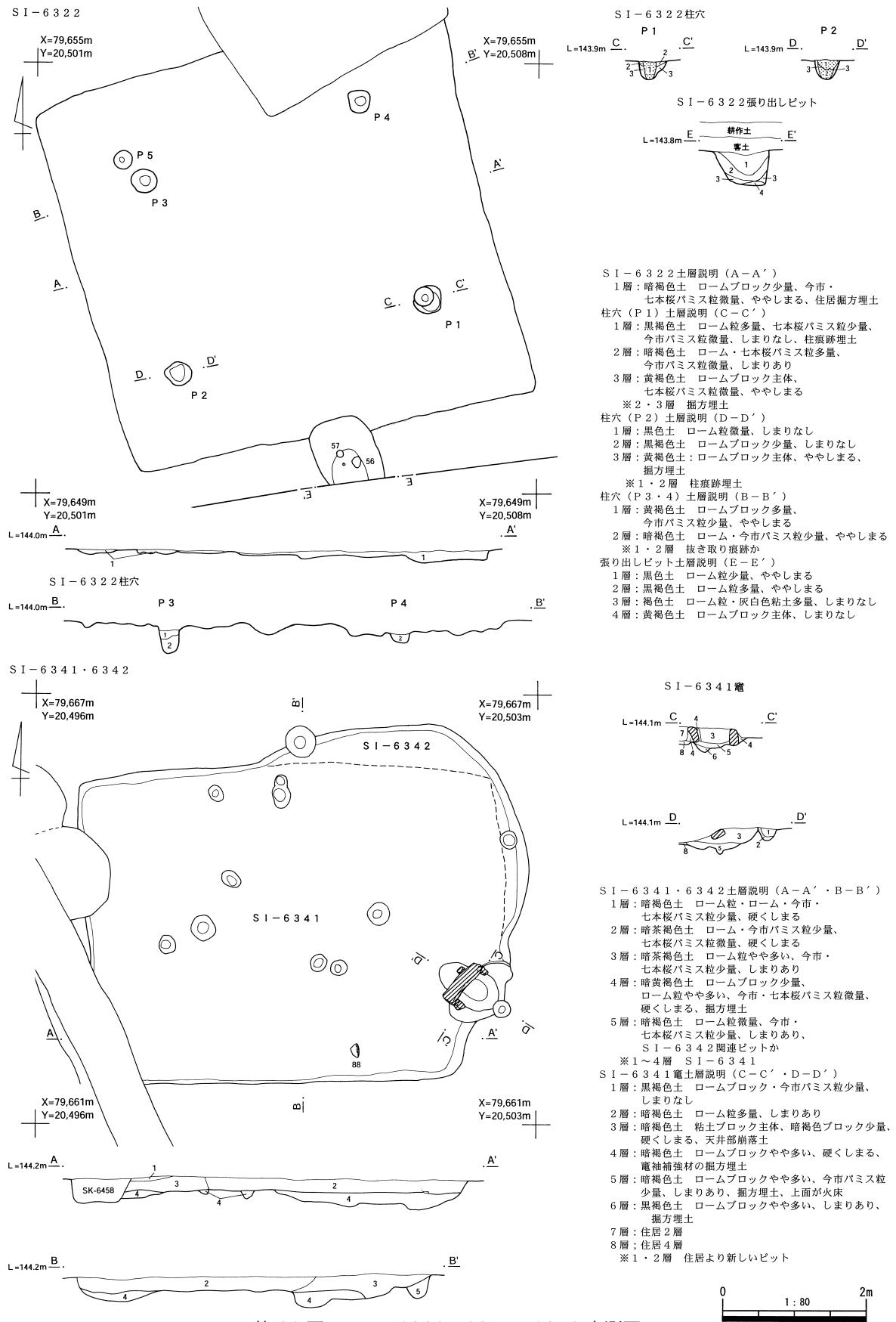
S I - 6 2 8 0 柱穴 (P 9) 土層説明 (M - M')

1層: 暗褐色土 ローム粒少量含む、しまりなし、柱痕跡埋土
 2層: 黄褐色土 ローム粒多量、ややしまる、掘方埋土

S I - 6 2 8 0 入り口ビット (P 10) 土層説明 (N - N')

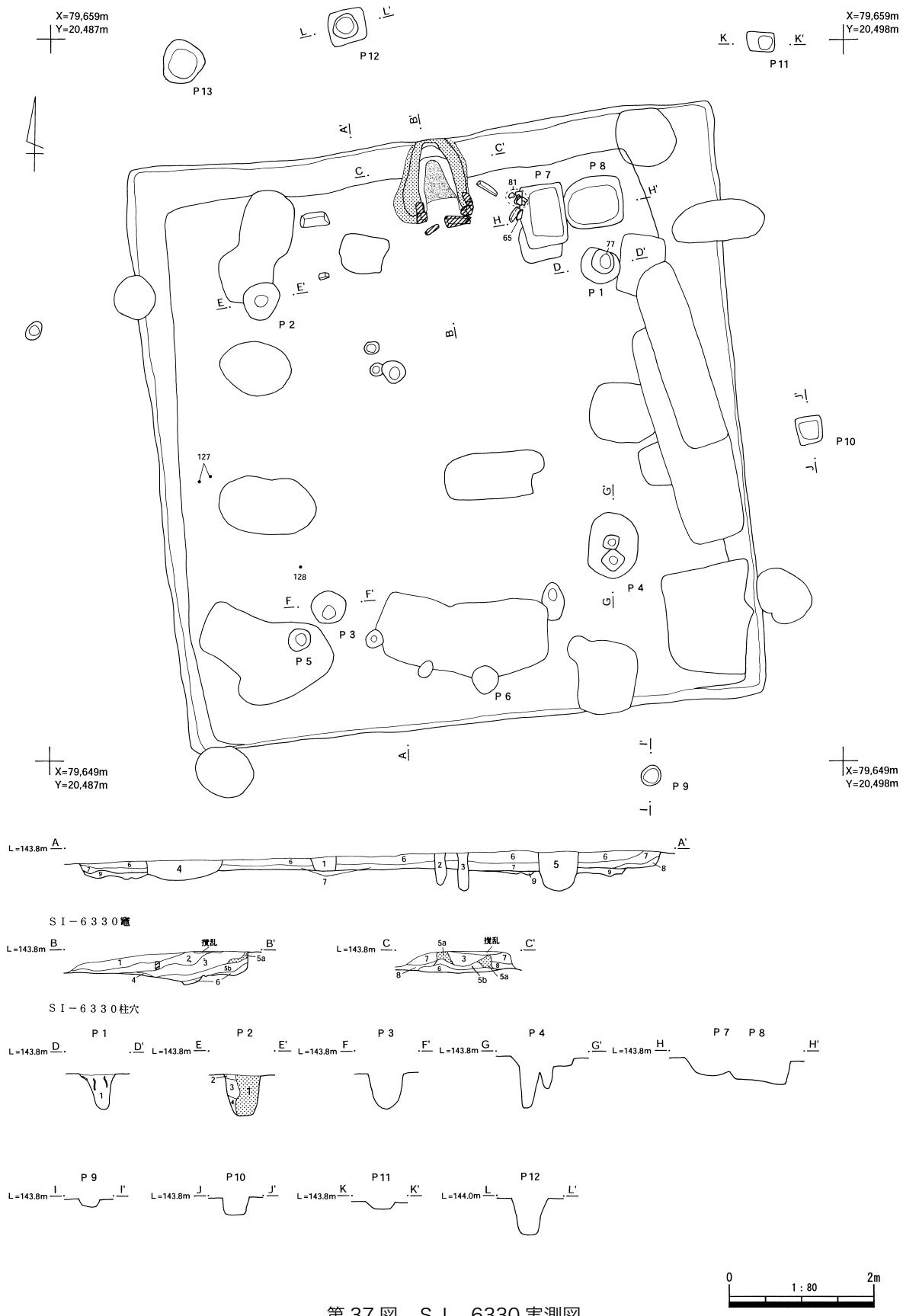
1層: 黄褐色土 ロームブロック多量、今市バミス少量、ややしまる、B期入り口ビット埋土
 2層: 褐色土 ロームブロックやや多い、しまりあり、A期入り口ビット埋土

第35図 S I - 6280 土層説明



第36図 S1-6322・6341・6342実測図

S I - 6 3 3 0



第37図 S I - 6330 実測図

S I - 6 3 3 0 土層説明 (A-A')

1層: 黒色土 ローム粒・今市バミス粒少量、しまりなし
 2層: 黒色土 ローム粒・今市バミス粒少量、しまりなし
 3層: 黒色土 ローム粒少量、しまりなし
 4層: S B - 6 5 1 0 北側柱列東第3柱
 5層: S B - 6 5 1 5 南側柱列東第2柱
 6層: 黒褐色土 今市バミス粒多量、七本桜粒・炭化物微量、ややしまる
 7層: 暗褐色土 ローム粒多量、今市バミス粒少量、七本桜粒・微量、ややしまる
 8層: 褐色土 ローム・今市・七本桜バミス粒多量、しまりあり
 9層: 暗黄褐色土 ロームブロック・粒主体、今市・七本桜バミス粒微量、硬くしまる
 ※ 6~8層 B期住居覆土、9層 A期住居掘方埋土

S I - 6 3 3 0 窟土層説明 (B-B'・C-C')

1層: 灰褐色土 灰色粘土ブロック・粒多量、炭化物・焼土粒少量、ややしまる、天井部崩落土
 2層: 黒褐色土 灰色粘土ブロック・粒・炭化物・焼土粒多量、しまりなし、窓内流入土
 3層: 暗赤褐色土 灰色粘土ブロック・粒・炭化物・焼土ブロック・粒多量、しまりなし、天井部・袖部内側剥落土
 4層: 黒灰色土 灰・炭化物主体 窟焚き口の灰堆積層
 5a層: 灰褐色土 灰色粘土主体、内側は焼けている、しまりあり、袖部
 5b層: 暗灰褐色土 灰色粘土主体、非常に硬くしまる、上面が火床
 6層: 灰褐色土 ロームブロック・粒多量、しまりあり、B期住居整地層
 7層: 住居1層
 8層: 住居2層

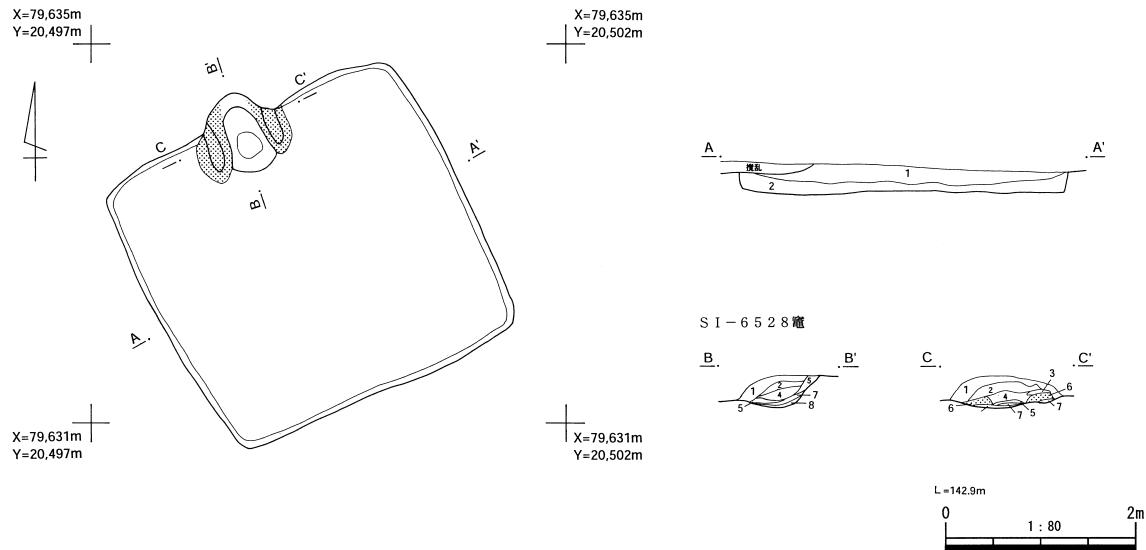
S I - 6 3 3 0 B期柱穴 (P 1) 土層説明 (D-D')

1層: 黒褐色土 ロームブロックや多い、ローム粒多量、しまりなし

S I - 6 3 3 0 B期柱穴 (P 2) 土層説明 (E-E')

1層: 黒褐色土 ロームブロック・粒や多い、今市・七本桜バミス粒少量、しまりなし、抜き取り痕跡埋土
 2層: 黒褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、硬くしまる
 3層: 暗黄褐色土 ロームブロック・粒主体、ロームブロック・粒微量、硬くしまる
 4層: 黄褐色土 ロームブロックのみで構成、硬くしまる
 ※ 2~4層 掘方埋土

S I - 6 5 2 8



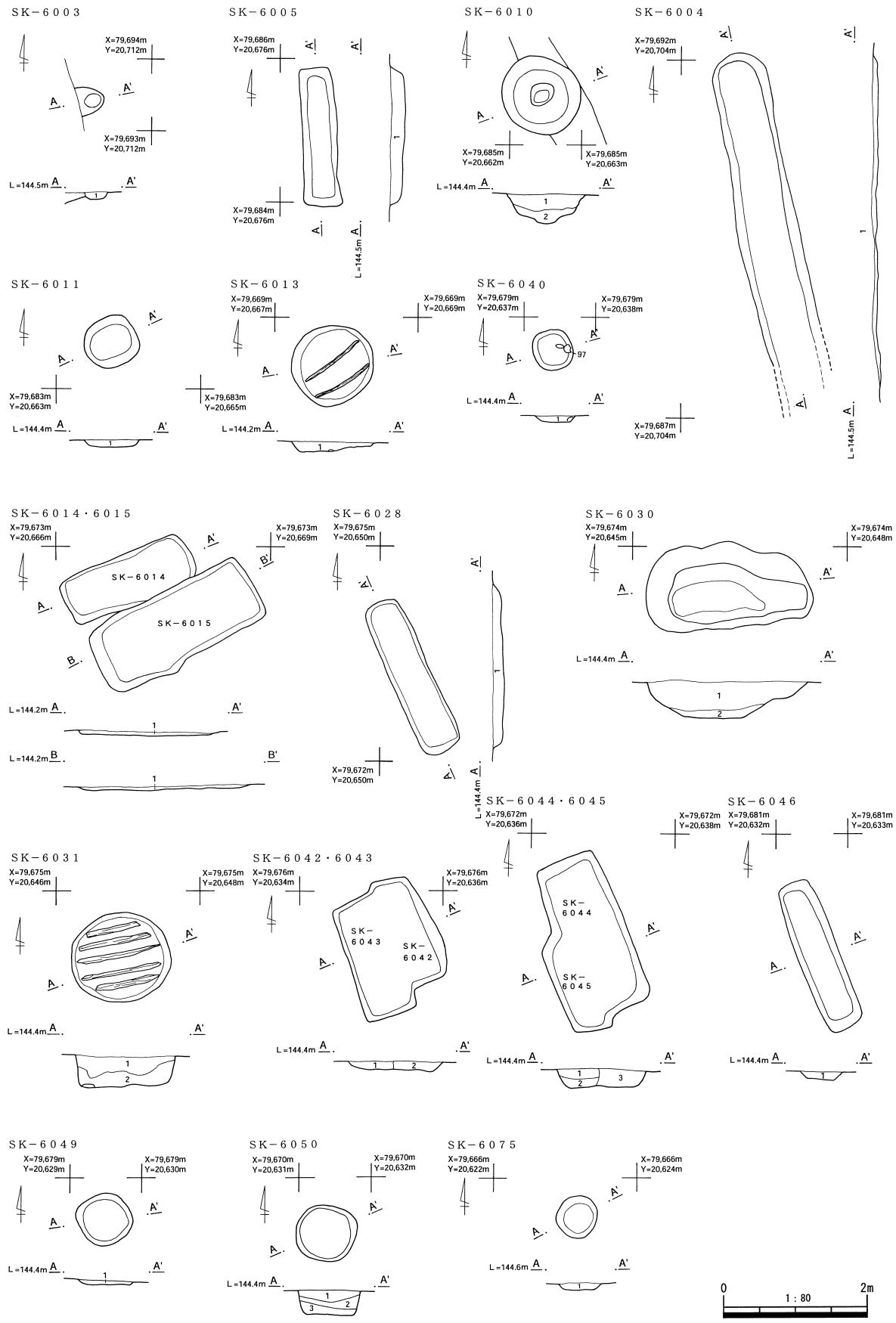
S I - 6 5 2 8 土層説明 (A-A')

1層: 暗褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミス粒少量、しまりあり
 2層: 黒褐色土 ロームブロック微量、ローム・今市・七本桜バミス粒少量、焼土ブロック・粒少量、白色粘土ブロック微量、ややしまる

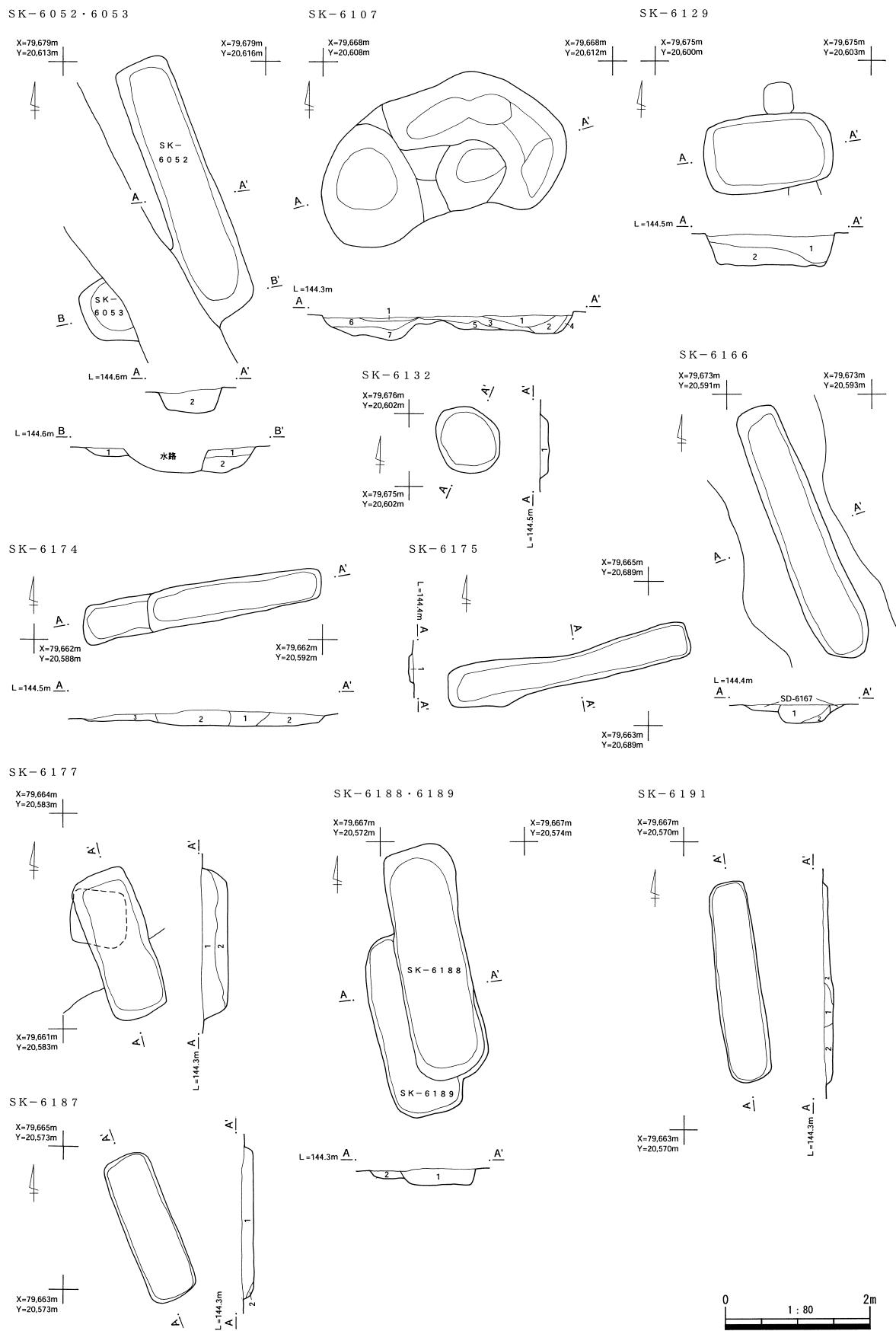
S I - 6 5 2 8 窟土層説明 (B-B'・C-C')

1層: 暗褐色土 ロームブロック・粒少量、白色粘土ブロック少量、焼土ブロック・粒や多い、ややしまる、住居覆土
 2層: 暗黄褐色土 ロームブロック・粒・白色粘土ブロック・粒多量、焼土ブロック・粒少量、ややしまる、粘質、天井部崩落土
 3層: 黒褐色土 ローム粒微量、しまりなし、擾乱か
 4層: 赤褐色土 焼土ブロック・粒主体、白色粘土ブロック少量、しまりなし、粘質、天井部・袖部内側剥落土
 5層: 黒褐色土 ローム粒・焼土粒微量、しまりなし、窓内流入土
 6層: 黄白褐色土 ロームブロック・白色粘土ブロック主体、しまりなし、粘質、袖部
 7層: 黄白褐色土 ロームブロック・白色粘土ブロック主体、しまりなし、粘質、窓面貼付粘土層、上面が火床
 8層: 黒褐色土 ローム・今市バミス粒微量、しまりなし、窓掘方埋土

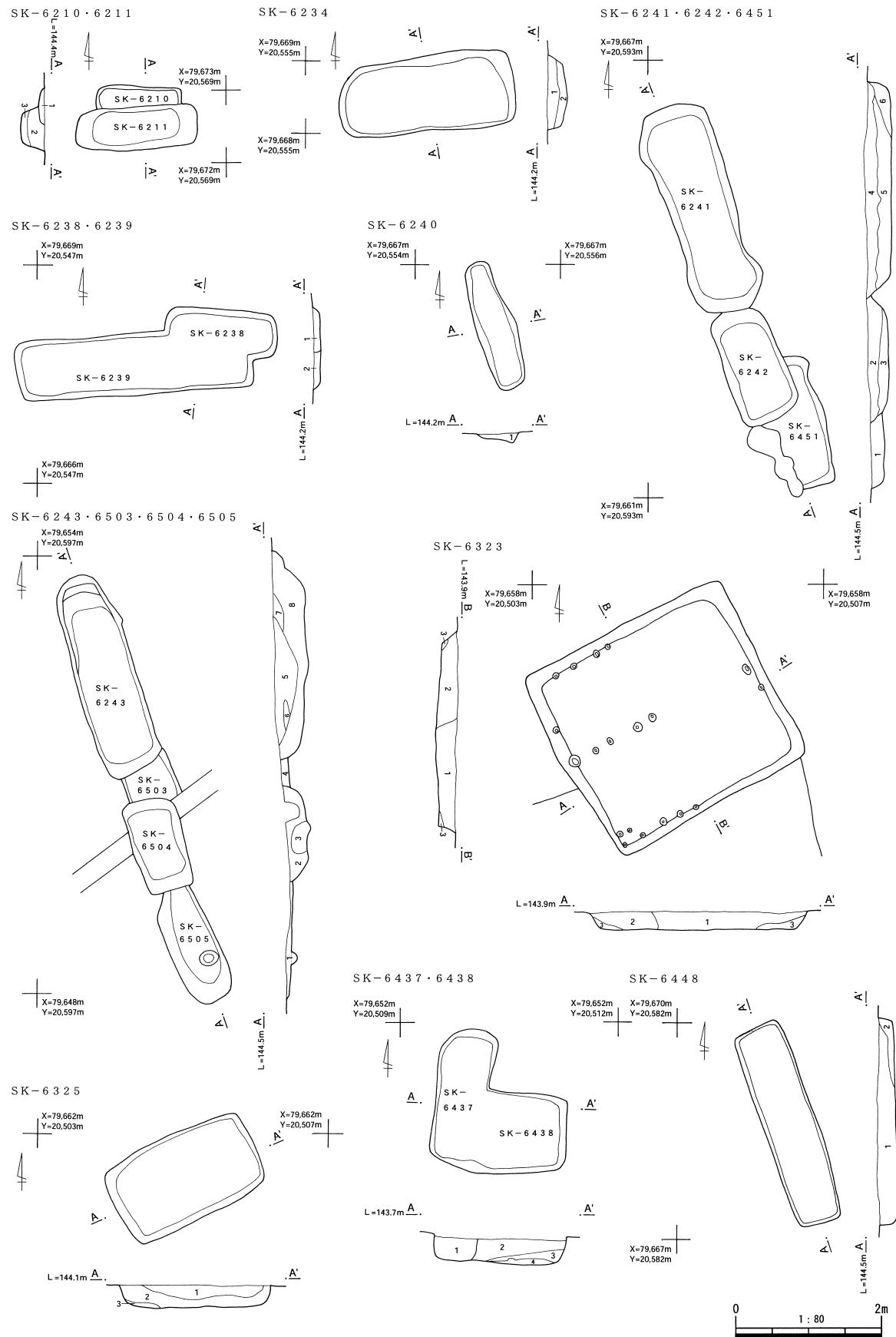
第38図 S I - 6330 土層説明、S I - 6528 実測図



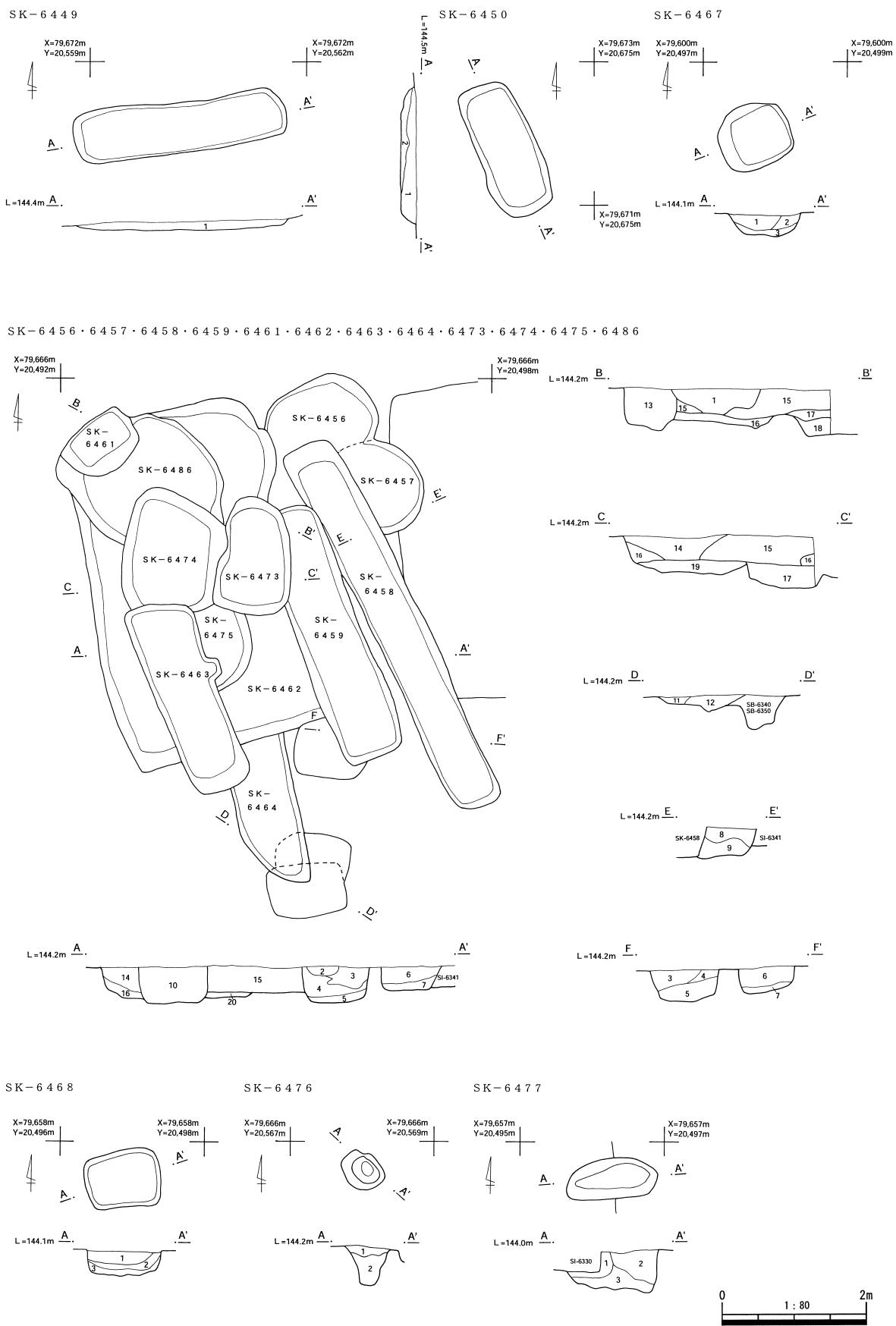
第39図 土坑実測図 (1)



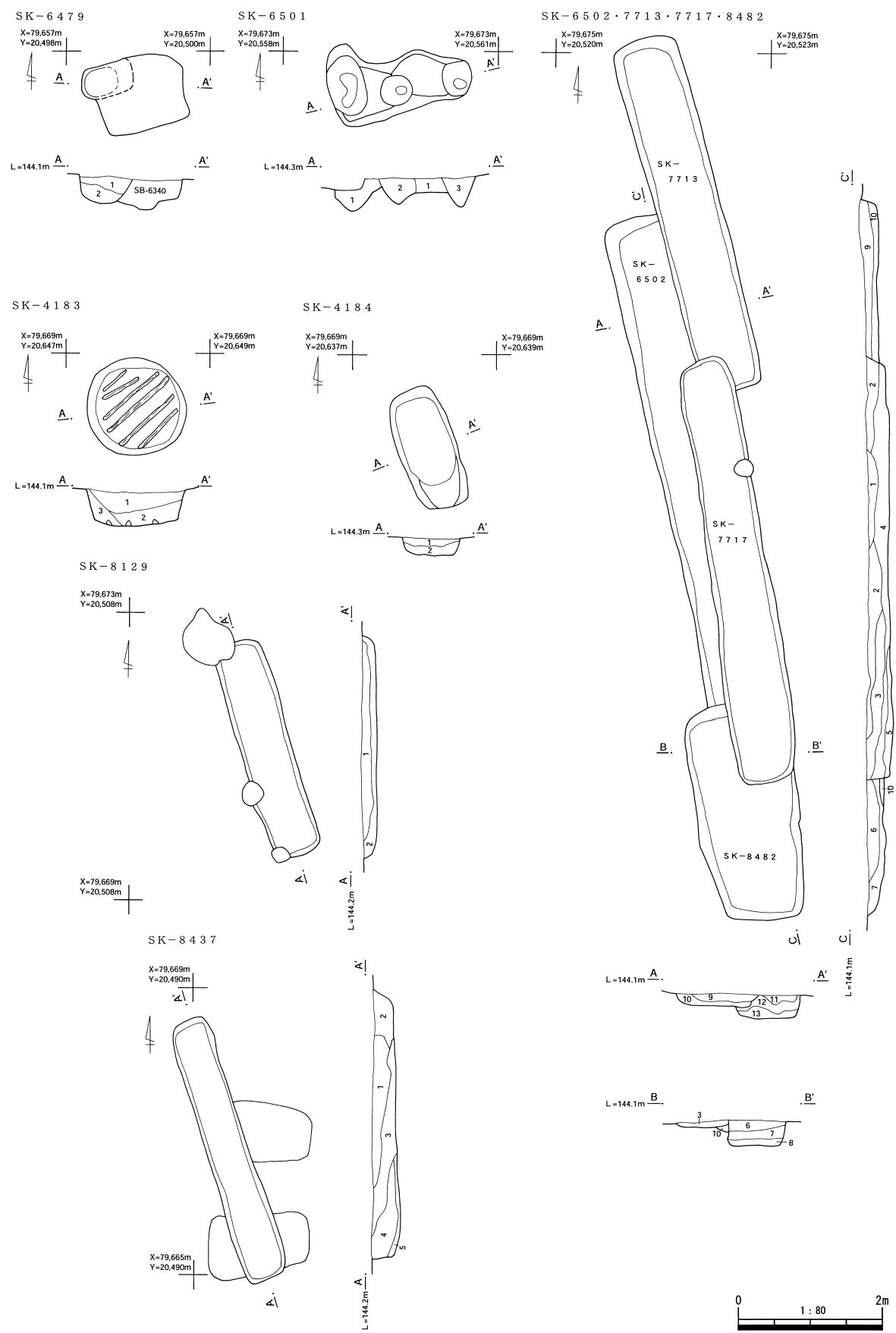
第40図 土坑実測図(2)



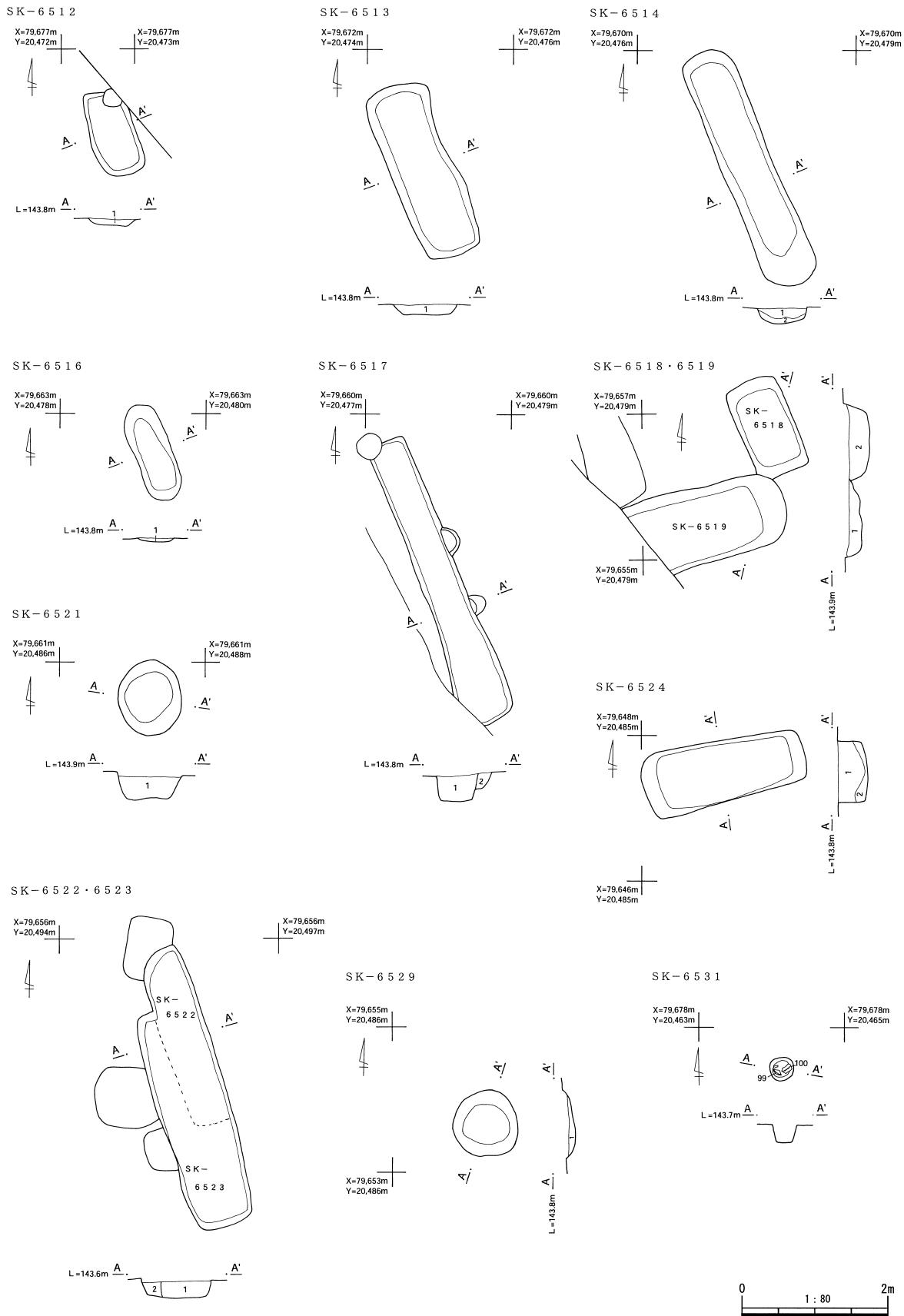
第41図 土坑実測図 (3)



第42図 土坑実測図(4)



第43図 土坑実測図 (5)



第44図 土坑実測図(6)

SK-6 0 0 3 土層説明
1層：黒褐色土 ローム粒少量、今市バミス粒微量、ロームブロック極微量、ややし
まる

SK-6 0 0 4 土層説明
1層：暗褐色土 ロームブロック多量、しまりなし

SK-6 0 0 5 土層説明
1層：黒色土 しまりなし

SK-6 0 1 0 土層説明
1層：黒褐色土 ロームブロック多量、しまりなし
2層：黒色土 ロームブロック少量、しまりなし

SK-6 0 1 1 土層説明
1層：黒色土 ローム粒少量、ややしまる

SK-6 0 1 3 土層説明
1層：黒色土 七本桜バミス粒少量、しまりなし

SK-6 1 4 土層説明
1層：黒色土 ローム粒微量、しまりなし

SK-6 0 1 5 土層説明
1層：黒色土 ローム粒微量、しまりなし

SK-6 0 2 8 土層説明
1層：黒色土 ロームブロック・今市バミス粒少量、ややしまる

SK-6 0 3 0 土層説明
1層：黒色土 七本桜バミス粒少量、しまりなし
2層：黒色土 ローム・七本桜バミス粒少量、しまりなし

SK-6 0 3 1 土層説明
1層：黒褐色土 ロームブロック少量、しまりなし
2層：暗褐色土 ロームブロック多量、しまりなし

SK-6 0 4 0 土層説明
1層：黒色土 ロームブロック微量、ややしまる

SK-6 0 4 2・6 0 4 3 土層説明
1層：黒色土 ローム粒多量、ロームブロック少量、しまりなし、SK-6 0 4 3
2層：黒色土 ロームブロック多量、しまりなし、SK-6 0 4 2

SK-6 0 4 4・6 0 4 5 土層説明
1層：黄褐色土 ローム粒多量、しまりなし
2層：暗褐色土 ローム粒多量、しまりなし
3層：黒色土 ローム粒多量、ロームブロック少量、ややしまる、SK-6 0 4 4
※1・2層 SK-6 0 4 5

SK-6 0 4 6 土層説明
1層：黒色土 ロームブロック多量、ややしまる

SK-6 0 4 9 土層説明
1層：黒色土 ローム粒多量、しまりなし

SK-6 0 5 0 土層説明
1層：黒色土 ローム粒多量、しまりあり
2層：黄褐色土 ロームブロック主体、ややしまる
3層：黒褐色土 ロームブロック多量、しまりなし

SK-6 0 7 5 土層説明
1層：黒色土 今市バミス粒多量、ややしまる

SK-6 0 5 2・6 0 5 3 土層説明
1層：褐色土 ロームブロック主体、しまりあり、SK-6 0 5 3
2層：黒色土 ロームブロック多量、ややしまる、SK-6 0 5 2

SK-6 1 0 7 土層説明
1層：黒灰色砂質土 砂細粒多量、今市・七本桜バミス粒少量、しまりなし
2層：黒色土 1層に類似、ローム粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、ややしまる
3層：黒褐色土 ローム粒多量、今市バミス粒微量、ロームブロック少量含む、
ややしまる

4層：黄褐色土 3層と類似、ロームブロック主体、ややしまる
5層：黒褐色土 ロームブロック多量、今市バミス粒微量、ややしまる
6層：黒色土 ローム粒少量、今市バミス粒微量、ややしまる
7層：黄褐色土 ロームブロック主体、今市バミス少量、ややしまる

SK-6 1 2 9 土層説明
1層：茶褐色土 ロームブロック・粒・今市バミス粒やや多い、七本桜バミス粒少量、
今市・七本桜バミスブロック微量、硬くしまる
2層：暗茶褐色土 ロームブロック・粒・今市バミス粒少量、七本桜バミス粒微量、
しまりあり

SK-6 1 3 2 土層説明
1層：黒褐色土 ロームブロック主体、しまりなし

SK-6 1 6 6 土層説明
1層：暗茶褐色土 ロームブロックやや多い、ローム粒微量、
ローム・今市バミス粒少量、しまりあり

2層：暗褐色土 ロームブロック・粒微量、しまりあり

SK-6 1 7 4 A・B 土層説明
1層：黒褐色土 ローム・今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
2層：暗褐色土 今市・七本桜バミス粒少量、ローム粒微量、しまりあり
3層：暗褐色土 七本桜バミス粒少量、ローム・今市バミス粒微量、ややしまる
※1・2層 SK-6 1 7 4 A期、3層 SK-6 1 7 4 A期

SK-6 1 7 5 土層説明
1層：暗褐色土 ローム・今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり

SK-6 1 7 7 土層説明
1層：暗茶褐色土 ローム粒・今市バミス粒少量、
ロームブロック・七本桜バミス粒微量、ややしまる
2層：暗褐色土 ローム・今市・七本桜バミス粒微量、ややしまる

SK-6 1 8 7 土層説明
1層：暗褐色土 今市・七本桜バミス粒少量、
ローム粒微量、ややしまる

SK-6 1 8 8・6 1 8 9 土層説明
1層：暗褐色土 ローム・今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり、SK-6 1 8 8
2層：暗褐色土 七本桜バミス粒少量、ローム粒微量、ややしまる、SK-6 1 8 9

SK-6 1 9 1 土層説明
1層：暗褐色土 今市・七本桜バミス粒少量、ローム粒微量、ややしまる
2層：暗褐色土 ローム・今市・七本桜バミス粒微量、ややしまる

SK-6 2 1 0・6 2 1 1 土層説明
1層：暗褐色土 今市・七本桜バミス粒少量、ローム粒・炭化粒微量、硬くしまる
2層：暗茶褐色土 今市・七本桜バミス粒やや多い、ローム粒・細粒少量、しまりあり
3層：暗褐色土 ローム粒やや多い、ローム・今市・七本桜バミス粒微量、ややしまる
※1層 SK-6 2 1 0、2・3層 SK-6 2 1 1

SK-6 2 3 4 土層説明
1層：黒褐色土 ロームブロック多量、しまりなし
2層：黒色土 ローム粒多量、しまりなし

SK-6 2 3 8・6 2 3 9 土層説明
1層：暗褐色土 今市バミス粒少量、ローム粒微量、しまりあり、SK-6 2 3 8
2層：暗褐色土 ローム・今市バミス粒微量、しまりあり、SK-6 2 3 9

SK-6 2 4 0 土層説明
1層：黒色土 ローム粒多量、しまりなし

SK-6 2 4 1・6 2 4 2・6 4 5 1 土層説明
1層：暗褐色土 ローム・今市バミス粒微量、しまりなし
2層：暗黄褐色土 ローム・今市バミス粒や多い、ローム・今市バミスブロック・
七本桜バミス粒少量、硬くしまる
3層：暗褐色土 ローム・今市バミス粒少量、ローム・今市バミスブロック・七本桜
バミス粒微量、ややしまる
4層：暗黄褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市・七本桜バミス粒少量、しま
りあり

5層：暗褐色土 ローム粒少量、ロームブロック・今市バミス粒微量、しまりあり
6層：茶褐色土 ローム粒少量、今市バミス粒微量、ややしまる
※1層 SK-6 4 5 1、2・3層 SK-6 2 4 1、4・6層 SK-6 2 4 1

SK-6 2 4 3・6 5 0 3・6 5 0 4・6 5 0 5 土層説明
1層：黒褐色土 ローム・今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
2層：黒褐色土 ローム・今市・七本桜バミス粒少量、硬くしまる
3層：暗褐色土 ローム粒やや多い、ロームブロック・今市・七本桜バミス粒少量、
しまりあり
4層：黒褐色土 ローム・今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
5層：暗黄褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市・七本桜バミス粒少量、硬く
しまる

6層：黒褐色土 ローム・今市バミス粒微量、ややしまる
7層：暗褐色土 ローム粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、ややしまる
8層：暗褐色土 ローム粒・今市・七本桜バミス粒微量、ややしまる
※1層 SK-6 5 0 5、2・3層 SK-6 5 0 4、
4層 SK-6 5 0 3、5・8層 SK-6 2 4 3

SK-6 3 2 3 土層説明
1層：暗茶褐色土 ロームブロック・粒多量、ローム・今市・七本桜バミス粒少量、
硬くしまる
2層：茶褐色土 ローム粒やや多い、ロームブロック・今市・七本桜バミス粒少量、
硬くしまる
3層：暗褐色土 ローム・今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり

SK-6 3 2 5 土層説明
1層：暗茶褐色土 ローム・今市バミス粒少量、ロームブロック・七本桜バミス粒
微量、ややしまる
2層：茶褐色土 ローム粒多量、今市バミス粒やや多い、ロームブロック・七本桜
バミス粒少量、ややしまる
3層：暗褐色土 ローム粒やや多い、今市・七本桜バミス粒微量、ややしまる

SK-6 4 3 7・6 4 3 8 土層説明
1層：暗褐色土 ローム・粒多量、しまりなし、SK-6 4 3 7
2層：褐色土 ローム・白色粘土粒多量、ややしまる
3層：黒色土 ローム粒少量、しまりなし
4層：黄褐色土 ロームブロック主体、しまりなし
※2～4層 SK-6 4 3 8

SK-6 4 4 8 土層説明
1層：暗茶褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミスブロック・粒少量、
ローム細粒微量、しまりあり
2層：暗褐色土 ローム細粒・七本桜バミス粒少量、今市バミスブロック微量、しま
りあり

SK-6 4 4 9 土層説明
1層：暗褐色土 ロームブロック・粒・今市バミス粒微量、ややしまる

SK-6 4 5 0 土層説明
1層：暗茶褐色土 ローム・七本桜バミス粒微量、七本桜
バミス粒微量、しまりあり
2層：暗褐色土 ロームブロック・粒・今市バミス粒微量、しまりあり
SK-6 4 5 6・6 4 5 7・6 4 5 8・6 4 5 9・6 4 6 1・6 4 6 2・6 4 6 3・
6 4 6 4・6 4 7 3・6 4 7 4・6 4 7 5・6 4 8 6 土層説明
SK-6 4 8 6
1層：暗褐色土 ローム・今市・七本桜バミス粒少量、ロームブロック微量、しま
りあり
SK-6 4 5 9
2層：暗褐色土 ロームブロック・粒・今市バミス粒微量、硬くしまる
3層：暗茶褐色土 ローム粒少量、ロームブロック・今市・七本桜バミス粒微量、
しまりあり
4層：暗褐色土 ロームブロック多量、ローム粒やや多い、今市バミス粒少量、七
本桜バミス粒微量、しまりあり
5層：暗褐色土 ローム・今市・七本桜バミス粒微量、硬くしまる

SK-6 4 5 8
6層：暗茶褐色土 ローム粒やや多い、ロームブロック・今市バミス粒少量、七本桜
バミス粒微量、硬くしまる
7層：暗褐色土 ローム・今市・七本桜バミス粒微量、硬くしまる

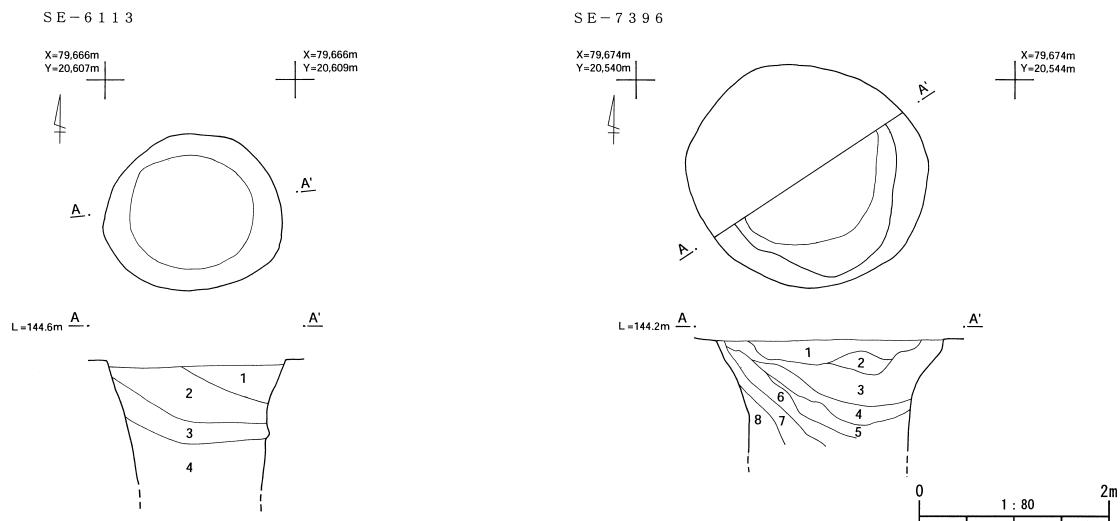
SK-6 4 5 7
8層：暗茶褐色土 ローム粒やや多い、今市・七本桜バミス粒少量、ややしまる
9層：褐色土 ロームブロック少量・ローム粒多量、今市バミス粒やや多い、七本桜
バミス粒微量、ややしまる

SK-6 4 6 3
1層：黒褐色土 ローム粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、底面に礫多量、しま
りあり
SK-6 4 6 4
1層：暗褐色土 ローム粒微量、今市・七本桜バミス粒少量、しまりあり
12層：茶褐色土 ローム粒やや多い、今市・七本桜バミス粒少量、しまりあり
SK-6 4 6 1
13層：茶褐色土 ロームブロックやや多い、ローム粒少量、今市・七本桜バミス粒少
量、しまりあり
SK-6 4 6 2
14層：暗褐色土 ローム粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、硬くしまる
15層：暗褐色土 ローム粒やや多い、今市・七本桜バミス粒微量、硬くしまる
16層：暗褐色土 ローム・今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
SK-6 4 7 3
17層：暗褐色土 ローム・七本桜バミス粒少量、今市バミス粒・炭化粒微量、しま
りあり
18層：暗茶褐色土 ローム粒多量、今市・七本桜バミス粒・炭化粒微量、硬くしまる
SK-6 4 7 4
19層：黑褐色土 ローム粒少量、今市・七本桜バミス粒・炭化粒微量、硬くしまる
SK-6 4 7 5
20層：暗褐色土 ローム・今市・七本桜バミス粒少量、しまりあり

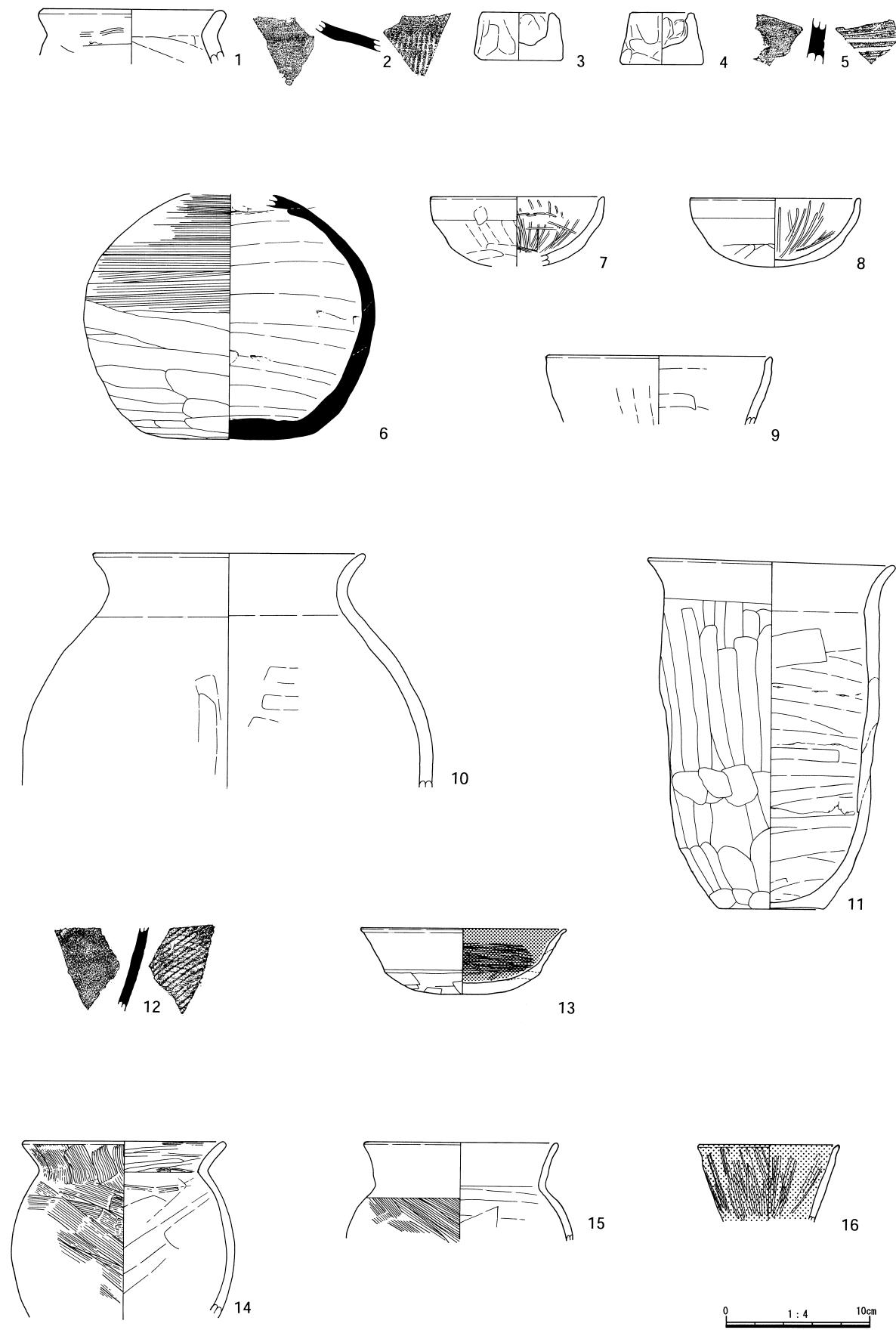
第45図 土坑土層説明 (1)

SK-6 4 6 7 土層説明
 1層：暗褐色土 今市・七本桜バミスブロック粒少量、ローム粒微量、しまりあり
 2層：黒褐色土 今市・七本桜バミスブロック・粒やや多い、しまりあり
 3層：褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミスブロック・粒多量、ややしまる
 SK-6 4 6 8 土層説明
 1層：暗褐色土 今市・七本桜バミスブロック・粒やや多い、ローム粒微量、しまりあり
 2層：黒褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミスブロック・粒少量、しまりあり
 3層：暗褐色土 今市・七本桜バミスブロック・粒やや多い、ロームブロック・粒少量、しまりあり
 SK-6 4 7 6 土層説明
 1層：黒褐色土 今市バミス粒少量、七本桜バミス粒微量、しまりあり
 2層：暗褐色土 ロームブロック微量、ローム・今市バミス粒少量、しまりあり
 SK-6 4 7 7 土層説明
 1層：S1-6 3 3 0 覆土
 2層：茶褐色土 ロームブロック・粒微量、今市・七本桜バミス粒少量、粘土ブロック・粒微量、しまりあり
 3層：褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミスブロック・粒少量、粘土ブロック・粒微量、しまりあり
 SK-6 4 7 9 土層説明
 1層：暗褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、しまりあり
 2層：茶褐色土 ロームブロック・粒多量、今市・七本桜バミスブロック・粒少量、しまりあり
 SK-6 5 0 1 土層説明
 1層：暗褐色土 ロームブロック多量、しまりなし
 2層：褐色土 ローム・七本桜バミス粒多量、ややしまる
 3層：褐色土 ローム・今市・七本桜バミス粒少量、ややしまる
 ※2・3層 新しいビット
 SK-6 4 1 8 3 土層説明
 1層：黒褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミスブロック・粒多量、しまりあり
 2層：暗褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミスブロック・粒多量、しまりなし
 3層：黄褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミス粒多量、しまりなし
 SK-4 1 8 4 土層説明
 1層：暗褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミスブロック・粒やや多い、しまりあり
 2層：黒褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミス粒微量、ややしまる
 SK-6 5 0 2・7 7 1 3・7 7 1 7・8 4 8 2 土層説明
 SK-7 7 1 7
 1層：黄褐色土 ロームブロック多量、七本桜バミスブロックやや多い、ローム・今市・七本桜バミス粒少量、硬くしまる
 2層：暗茶褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミス粒・炭化粒少量、七本桜バミスブロック微量、硬くしまる
 3層：茶褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市・七本桜バミス粒少量、今市バミス・七本桜バミスブロック微量、しまりあり
 4層：暗褐色土 ローム粒少量、ロームブロック・今市バミス粒微量、硬くしまる
 5層：黒褐色土 ローム粒微量、しまりあり
 SK-8 4 8 2
 6層：暗茶褐色土 ロームブロックやや多い、ローム・今市バミス粒・七本桜バミスブロック少量、今市バミスブロック・七本桜バミス粒微量、硬くしまる
 7層：暗褐色土 ローム・今市・七本桜バミス粒少量、しまりあり
 8層：黒褐色土 ローム・今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり

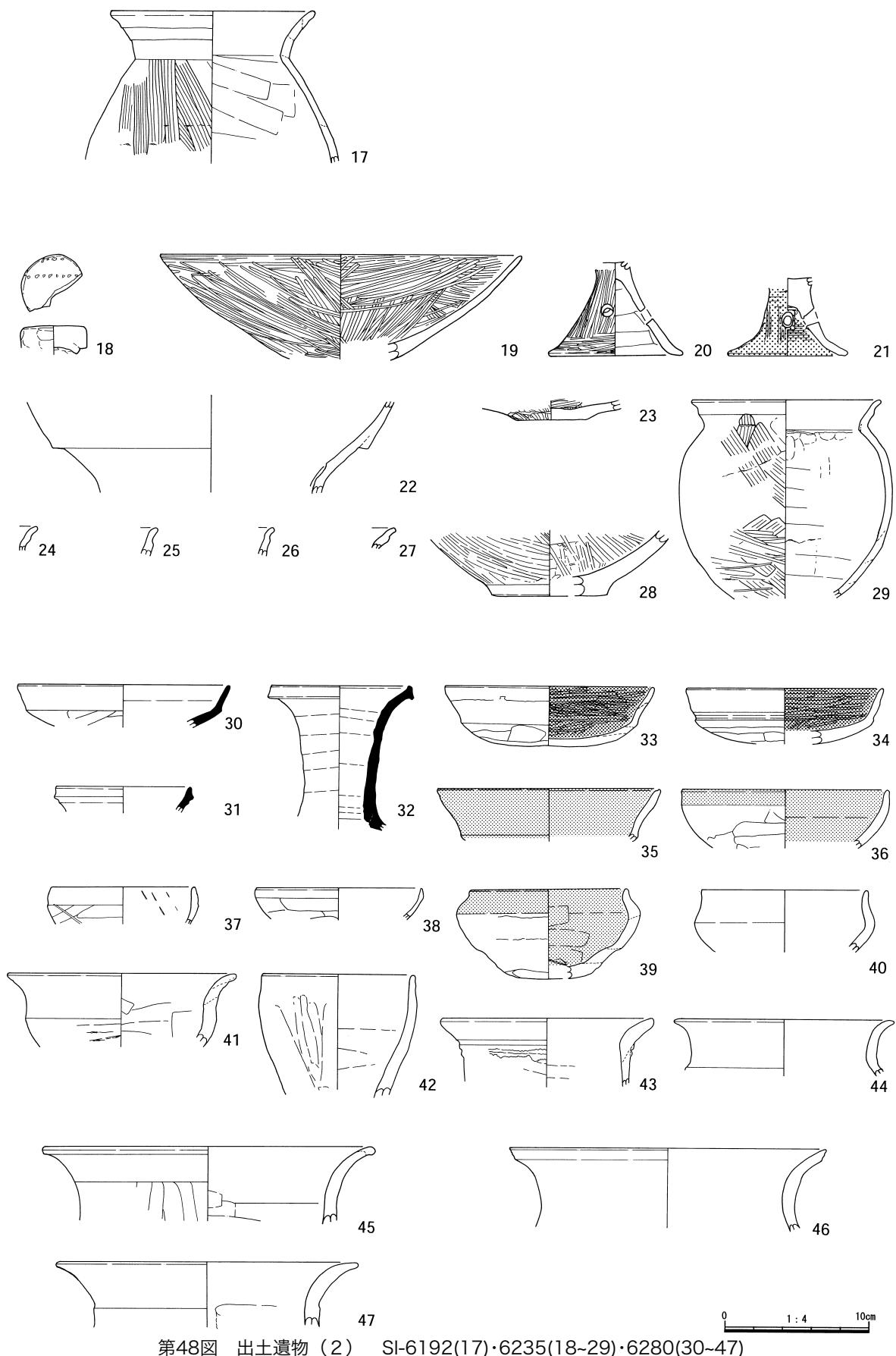
SK-6 5 0 2
 9層：茶褐色土 ローム粒やや多い、ロームブロック・今市バミス粒少量、今市・七本桜バミスブロック・粒微量、硬くしまる
 10層：暗褐色土 ローム粒少量、ロームブロック・今市バミス粒微量、硬くしまる
 SK-7 7 1 3
 11層：暗茶褐色土 ローム粒微量、今市・七本桜バミス粒少量、硬くしまる
 12層：黄褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市・七本桜バミス粒少量、硬くしまる
 13層：暗褐色土 ローム・今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
 SK-8 1 2 9 土層説明
 1層：暗褐色土 七本桜バミスやや多い、今市バミス粒少量、ローム粒微量、ややしまる
 2層：暗褐色土 ローム・今市・七本桜バミス粒微量、しまりあり
 SK-8 4 3 7 土層説明
 1層：茶褐色土 ロームブロック・粒やや多い、今市・七本桜バミス粒少量、今市・七本桜バミスブロック微量、硬くしまる
 2層：暗茶褐色土 ローム・今市・七本桜バミス粒少量、ロームブロック・細粒微量、しまりあり
 3層：暗茶褐色土 ロームブロック・粒少量、今市・七本桜バミスブロック・粒微量、しまりあり
 4層：茶褐色土 ロームブロック多量、ローム・今市・七本桜バミス粒やや多い、今市・七本桜バミスブロック少量、ややしまる
 5層：暗褐色土 ロームブロック・粒・今市バミス粒微量、硬くしまる
 SK-6 5 1 2 土層説明
 1層：黒色土 ローム粒微量、今市・七本桜バミス粒少量、しまりなし
 SK-6 5 1 3 土層説明
 1層：黒色土 七本桜バミス粒多量、今市バミス粒少量、ロームブロック微量、しまりなし
 2層：黒褐色土 今市バミス粒少量、ローム粒微量、ややしまる
 SK-6 5 1 6 土層説明
 1層：黒色土 今市・七本桜バミス粒少量、しまりなし
 SK-6 5 1 7 土層説明
 1層：暗褐色土 ロームブロック少量、しまりなし
 2層：黒褐色土 ローム粒微量、ややしまる 古い小ビット
 SK-6 5 1 8・6 5 1 9 土層説明
 1層：暗褐色土 ロームブロック・粒・今市バミスブロック・粒少量、ややしまる
 2層：黒褐色土 ロームブロック・粒・今市・七本桜バミス粒少量、ややしまる
 ※1層 SK-6 5 1 9、2層 SK-6 5 1 8
 SK-6 5 2 1 土層説明
 1層：暗褐色土 ロームブロック・粒・今市バミス粒多量、今市バミスブロック・七本桜バミス粒少量、しまりなし
 SK-6 5 2 2・6 5 2 3 土層説明
 1層：暗褐色土 ローム粒多量、ロームブロック微量、しまりなし、SK-6 5 2 2
 2層：黒褐色土 ロームブロック多量、ややしまる、SK-6 5 2 3
 SK-6 5 2 7
 1層：黒褐色土 ローム・今市・七本桜バミス粒微量、ややしまる
 2層：暗褐色土 ローム粒やや多い、今市バミスブロック・粒微量、しまりあり
 SK-6 5 2 9 土層説明
 1層：褐色土 ローム粒多量、ロームブロック少量、しまりなし



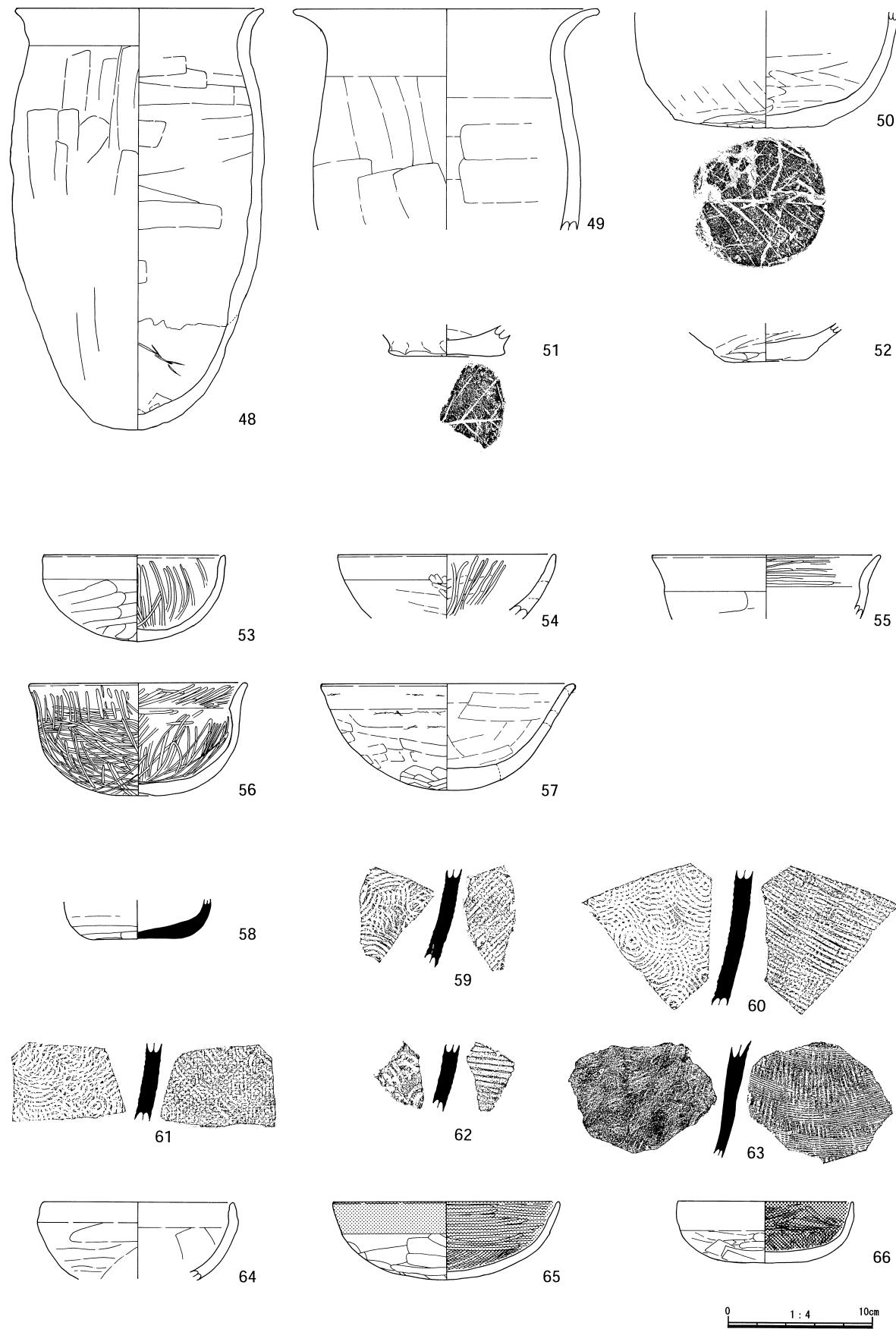
第46図 土坑土層説明(2)、SE-6113・7396実測図



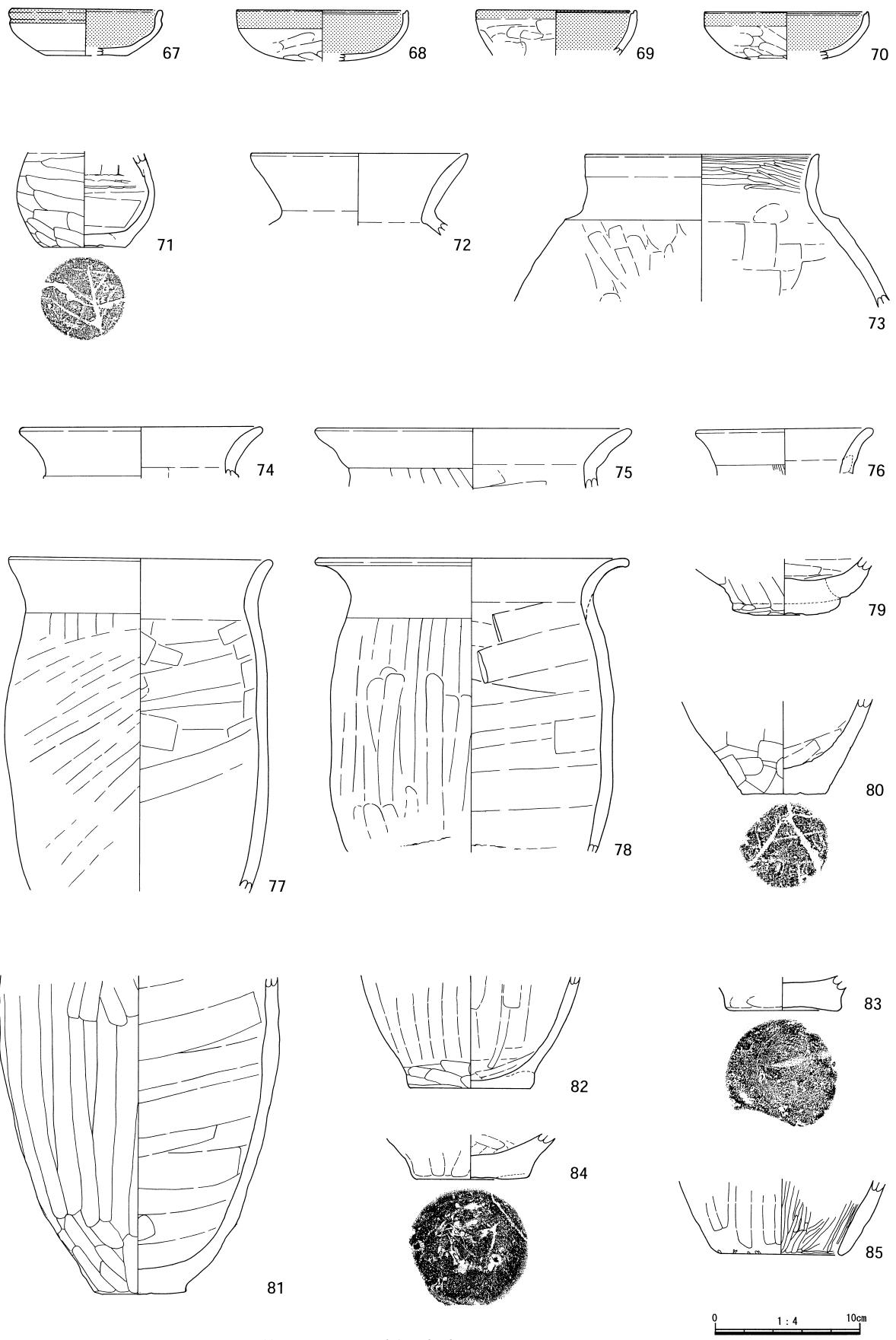
第47図 出土遺物 (1) SB-6200(1)・6350(2~4)・6510(5)・SI-5033(6~9)・6034(10・11)・6147(12・13)・6178(14・16)



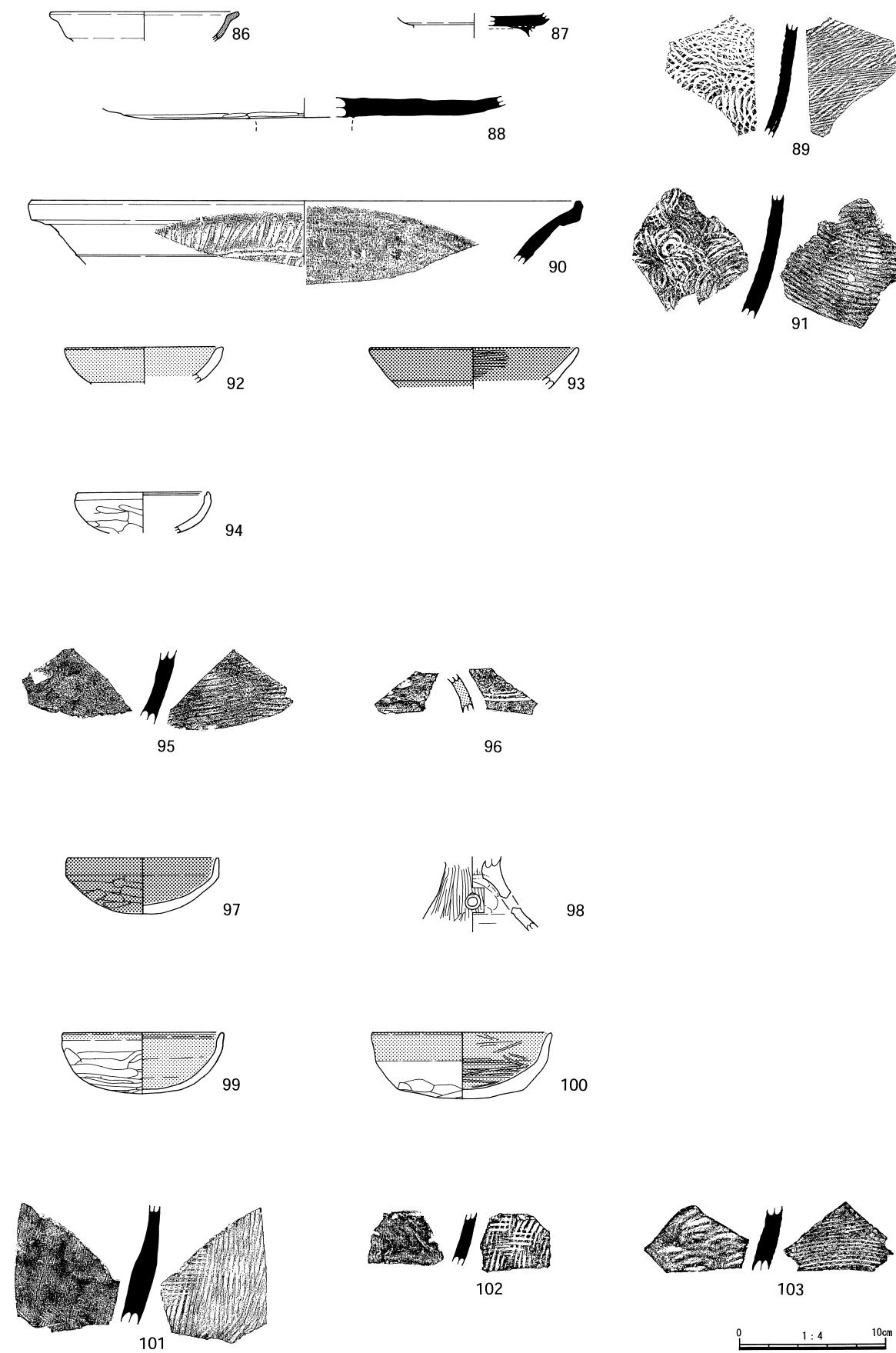
第48図 出土遺物 (2) SI-6192(17)・6235(18~29)・6280(30~47)



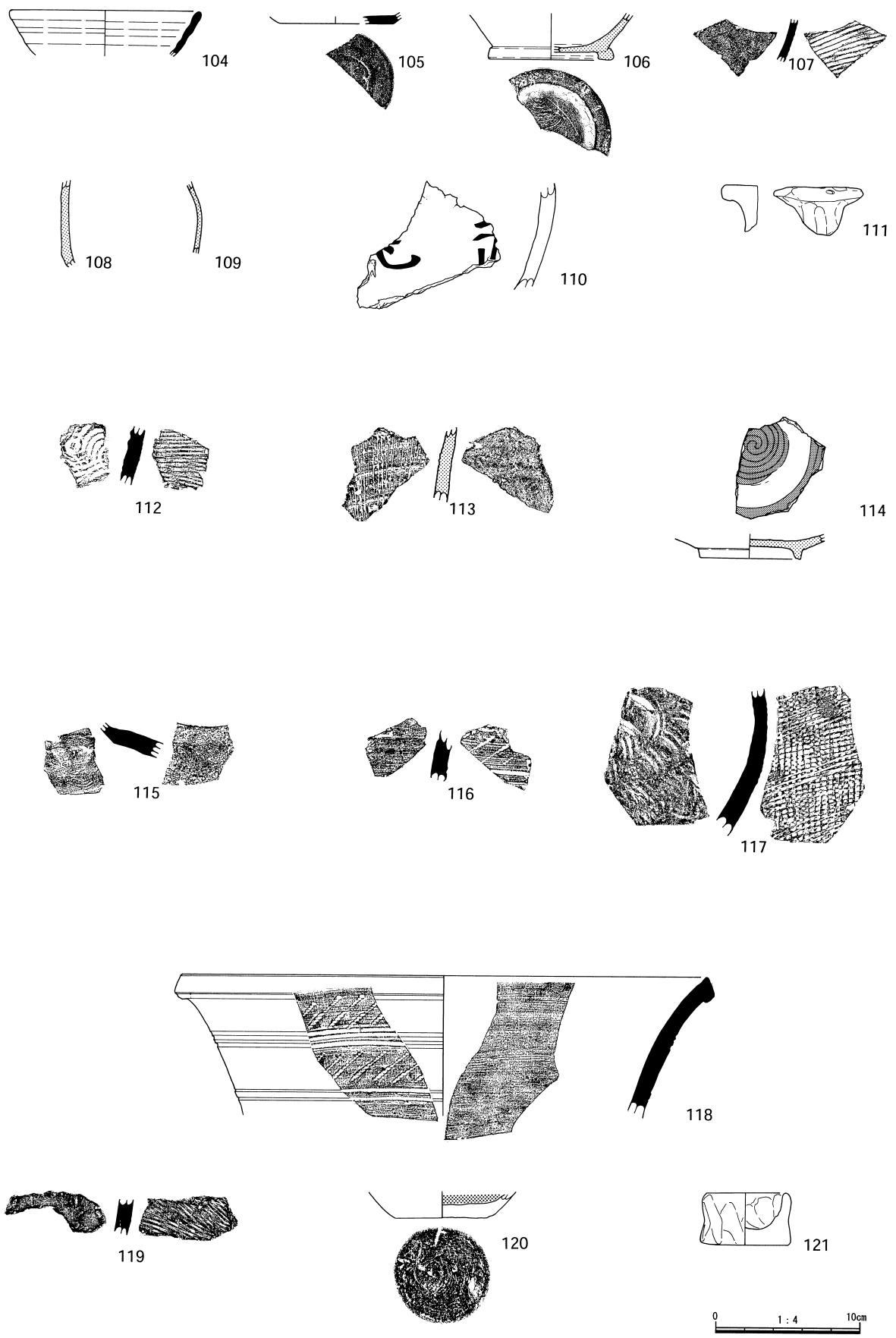
第49図 出土遺物 (3) SI-6280(48~52)・6322(53~57)・6330(58~66)



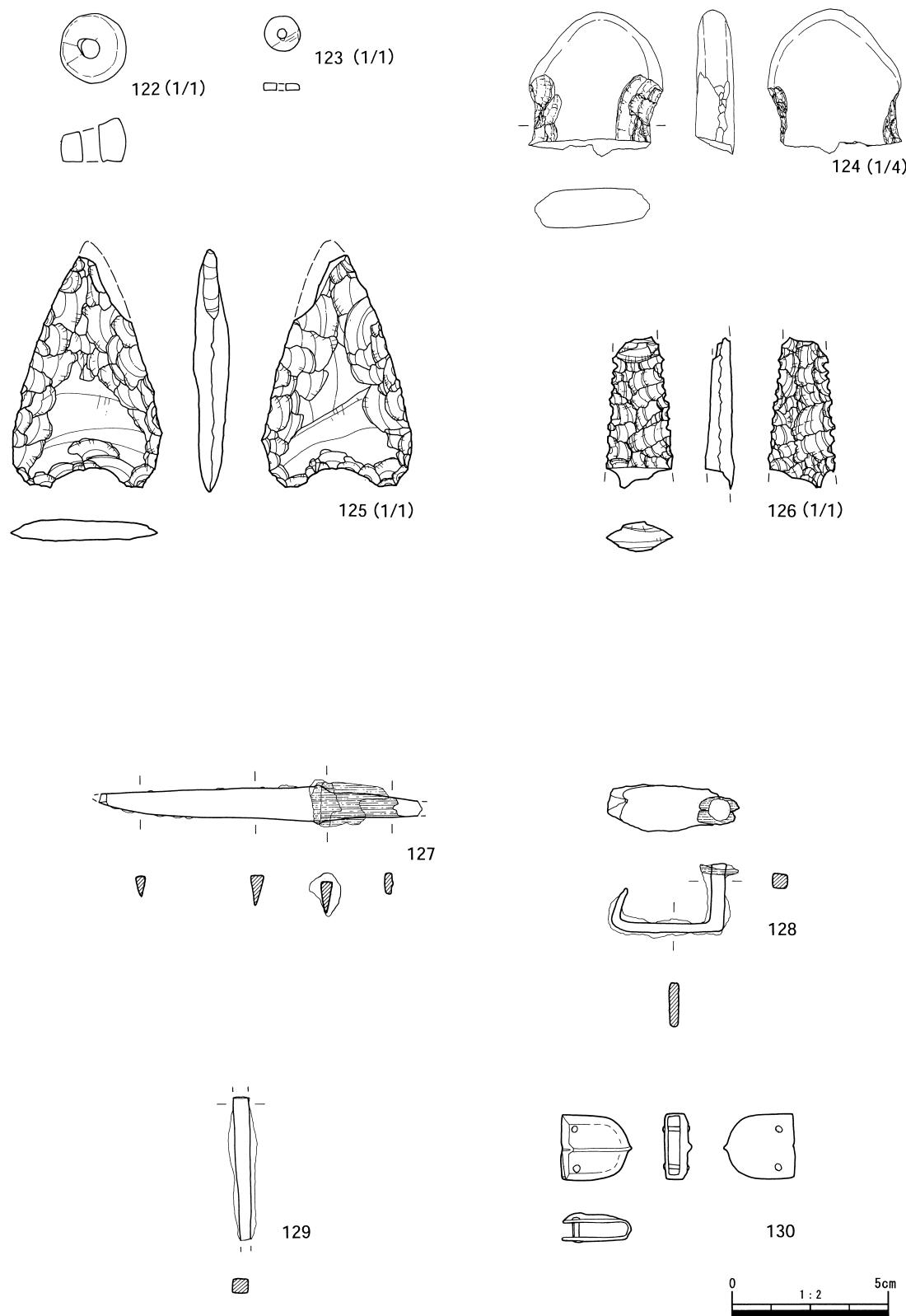
第50図 出土遺物 (4) SI-6330(67~85)



第51図 出土遺物(5) SI-6341(86~93)・6528(94)・SE-6113(95・96)・SK-6040(97)・6177(98)・
6531(99・100)・SD-1400(101)・4007(102)・4011(103)



第52図 出土遺物 (6) SD-6001(104~111)・6236(112~114)・6530(115~117)・遺構外(118~121)



第53図 出土遺物 (7) 石製品 粿玉(122)・臼玉(123)、石器 打製石斧(124)・石鎌(125)・有舌尖頭器(126)、鉄製品 刀子(127)・鎌か (128)・釘か (129)、銅製品 帯金具 (130)

第4表 出土遺物観察表

No.	出土遺構	器種	種別	出土位置(層位)	法量(cm, g)	残存率	特徴	成形・調整の特徴	胎土	焼成	色調	備考
1	SB-6200	甕	土師器	南側柱列東第7柱掘方埋土	口径:推定12.7 器高:残存3.7	口縁部約1/3	短い口縁部をくの字に外反, 内外面煤付着	口縁部外面ヨコナデ, 腹部外面ヘラケズリ, 腹部内面ヘラナデ	細砂粒・黒雲母	良好	内: 黒褐色 外: 黒褐-にぶい褐色	SI-6190の遺物か
2	SB-6350	甕	須恵器	A期南西隅柱掘方埋土		肩部破片		外面平行叩き, 内面ヨコナデ	細砂粒	良好	内: 黄灰色 外: 黄灰-灰オリーブ色	
3	SB-6350	壺か	土師器 (手捏ね土器)	B期東側柱列北第4柱掘方埋土	口径:4.8 器高:3.3 底径:6.2	ほぼ完形	粗製, 平底	外面指ナデ, 内面指頭圧痕	細砂粒・黒雲母・石英	良好	内: 黄灰色 外: 黄灰色	
4	SB-6350	壺か	土師器 (手捏ね土器)	B期東側柱列北第4柱掘方埋土	口径:推定4.0 器高:3.6 底径:推定5.6	約1/2	粗製, 平底	外面指ナデ, 内面指頭圧痕	細砂粒・黒雲母・石英	良好	内: 黄灰色 外: 黄灰-暗灰黄色	
5	SB-6510	甕	須恵器	B期東妻柱列棟持柱掘方埋土		頸部破片	No.116-118と同一か	外面カキ目後沈線を巡らせ沈線間に櫛歯刺突文, 内面ヨコナデ	白色粒, 繊密	良好	内: 灰色 外: 暗灰色	
6	SI-5033	瓶	須恵器	1(2層)	胴部最大径: 推定20.3 器高: 残存17.0 底径:推定9.0	胴部-底 部約1/3	肩部に整形時円孔閉塞痕あり	胴部外面上半カキ目後下半ヘラケズリ, 底部外面ヘラケズリ後ナデ, 腹部内面ヨコナデ, 底部内面ナデ	細砂粒	良好	内: 黄灰色 外: 黄灰-灰色	
7	SI-5033	壺	土師器	2(2層)	口径:推定12.2 器高: 残存4.9	口縁部- 体部下半 約1/3	口縁部と体部の境に不明瞭な稜を有し口縁部は直立, 体部外面一部に指頭圧痕, 体部上半一部に煤付着	口縁部外面ヨコナデ, 体部外面ヘラナデ, 内面ヨコナデ後ヘラミガキ	砂粒・黒雲母・石英	良好	内: 灰黄褐-黒褐色 外: 暗灰-黒褐色	
8	SI-5033	壺	土師器	覆土	口径:推定12.0 器高:4.8	口縁部約1/10, 体部-底部 約1/4	口縁部と体部の境に不明瞭な稜を有し口縁部は直立	口縁部外面ヨコナデ, 体部ナデ後底部外面ヘラケズリ, 内面ヨコナデ後放射状ヘラミガキ	砂粒・石英	良好	内: にぶい黄橙-灰 外: にぶい黄橙-灰褐色	
9	SI-5033	甕	土師器	4(2層)	口径:推定15.8 器高: 残存4.8	口縁部~ 体部約1/8	口縁部やや直立	口縁部外面ヨコナデ, 体部外面ヘラナデ	砂粒・白色粒・金雲母・黒雲母・石英	良好	内: 黒褐-褐色 外: 黑褐色	
10	SI-6034	甕	土師器	1(窓5層), 窓周辺, 窓東袖内	口径:推定19.0 胴部最大径: 推定28.7 器高: 残存16.3	口縁部- 胴部上半 約1/4	球形, 口縁部内外面煤付着	口縁部外面ヨコナデ, 腹部内外面ヘラナデ	砂粒・黒雲母	良好	内: 黑褐-黑色 外: 黑色	
11	SI-6034	甕	土師器	窓東袖部東側 床面直上	口径:17.2 器高:24.5 底径:7.4	ほぼ完形	長胴, 口縁部やや歪む, 腹部内面に輪積痕残る, 腹部下位-底部の一部に煤付着, 腹部内面上位でアクリ状のシミが同じ高さで一周する	口縁部外面ヨコナデ, 腹部・底部外面ヘラケズリ, 腹部内面ヘラナデ	砂粒・赤色粒・白色粒・黒雲母	良好	内: にぶい黄橙色 外: にぶい褐色一部黒色	
12	SI-6147	甕	須恵器	窓付近上面		胴部破片		外面平行叩き, 内面無文當て具痕	砂粒・白色針状粒	良好	内: 黄灰色 外: 黄灰-灰色	南那須産か
13	SI-6147	壺	土師器	窓付近, SK-6166埋土	口径:推定14.4 器高:4.6	約1/3	口縁部と体部の境に稜を有し口縁部は外反, 口唇部を外側につまみ出す, 内面黒色処理	口縁部外面ヨコナデ, 体部・底部外面ヘラケズリ, 内面ヘラミガキ後口縁部ナデ	細砂粒・赤色粒・白色粒・銀雲母	良好	内: 黑色 外: にぶい黄橙-黒色	
14	SI-6178	甕	土師器	4(1層), P3(2層)	口径:推定14.2 胴部最大径: 推定15.6 器高: 残存12.4	口縁部- 胴部約1/3	口縁部外反, 外面煤付着	外面ハケ目, 口縁部内面ハケ目後ヘラミガキ, 腹部内面上位ナデ後ハケ目, 腹部内面下位ハケ目後ナデ	細砂粒・礫・石英	良好	内: にぶい黄橙一部 褐灰色 外: にぶい黄褐-黒褐色	
15	SI-6178	甕	土師器	覆土	口径:推定13.5 器高: 残存6.7	口縁部- 胴部上半 約1/12	口縁部の字に外傾, 外面煤付着	口縁部外面ハケ目後ヨコナデ, 腹部外面ハケ目, 腹部内面ヘラナデ	細砂粒・石英, 繊密	良好	内: にぶい黄橙-灰 黄褐色 外: にぶい黄褐一部 黒褐色	
16	SI-6178	壺	土師器	P3(2層)	口径:推定10.0 器高: 残存5.4	口縁部約1/2	内外面赤彩	口縁部外面ヨコナデ後ヘラミガキ	砂粒・白色粒・黒雲母・石英	良好	内: 赤褐色 外: 明褐色	
17	SI-6192	甕	土師器	上面	口径:推定14.0 器高: 残存10.5	口縁部- 胴部約1/2	口縁部外反, 口縁部外面輪積痕残る, 外面煤付着, 内面やや摩滅	口縁部外面ヨコナデ, 腹部外面ハケ目, 腹部内面ヘラナデ	砂粒・石英	良好	内: 浅黄-にぶい黃色 外: にぶい黄褐-黒褐色	
18	SI-6235	蓋(摘みか)	土師器	2(1層)	摘み径:推定4.6 器高: 残存2.0	摘み(か) 約1/2	上面に二列の列点文(端部に4点, 中央部に8点), 上面一部赤彩	外面ナデ	砂粒・赤色粒・白色粒・石英	良好	内: にぶい黄橙色 外: にぶい橙色	
19	SI-6235	高壺	土師器	26(5層)・ 31(5層)・ 32(5層)・ 46(5層)	口径:推定25.2 器高: 残存7.3	环部のみ 約1/3		内外面丁寧なヘラミガキ	砂粒・赤色粒・白色粒・黒雲母	良好	内・外: 明赤褐一部 黒褐色	
20	SI-6235	高壺	土師器	30(1層)	器高: 残存6.3	脚部のみ	脚部中位に三個の孔を穿孔	脚部外面ヘラミガキ, 腹部内面ヘラケズリ, 腹部内面ナデ	砂粒・白色粒・黒雲母	良好	内: 橙一部黒褐色 外: 橙-褐色	

21	SI-6235	器台	土師器	7(1層)・ 15(1層)	器高:残存5.4 底径:8.4	脚部1/3, 裾部1/4, 坏部底部 一部	脚部中位に三脚 の孔を外側から 穿孔, 内外面赤 彩, 脚部内面に赤 彩後のへラ状の 線刻	脚部内外面ハケ目後裾部ヨコナ デ, 坏部内面ヘラミガキ	砂粒・赤色粒・白色 粒	良好	坏部内: 黒色 脚部内: 赤褐色一部に ぶい黄橙色 脚部外: 赤褐色一部に ぶい黄褐色	
22	SI-6235	壺	土師器	24(床面直上)	器高:残存6.8	頸部約 1/6	折り返し口縁, 内 面著しく摩滅	口縁部外面ヨコナデ, 頸部外面ハ ケ目	砂粒・赤色粒・黒雲 母・石英	やや良 好	内: 浅黄-にぶい黄 橙色 外: 浅黄橙色	
23	SI-6235	壺	土師器	SK-6234覆土	器高:残存1.4 底径:4.8	底部約 1/2		底部外面ハラミガキ, 底部内面ハ ケ目	砂粒・白色粒・金雲 母	良好	内: 浅黄一部黒褐色 外: 明赤褐色一部黒 褐色	SK-6234 下層 SI-6235 で掲載
24	SI-6235	甕	土師器	11(1層)	器高:残存1.7	口縁部破 片	S字口縁	口縁部外面ハケ目, 口縁部内面ヨ コナデ	砂粒・白色粒	良好	内: にぶい黄橙一部 黒褐色 外: にぶい黄褐色一部 黒褐色	
25	SI-6235	甕	土師器	覆土	器高:残存2.0	口縁部破 片	S字口縁	口縁部外面ヨコナデ	砂粒・白色粒	良好	内: 橙一部黒褐色 外: 明褐一部黒褐色	
26	SI-6235	甕	土師器	覆土	器高:残存1.9	口縁部破 片	S字口縁	口唇部外面ヨコナデ後口縁部 内面ハケ目	砂粒・白色粒	良好	内: にぶい褐一部黒 褐色 外: 暗褐-黒褐色	
27	SI-6235	甕	土師器	4(1層)	器高:残存1.5	口縁部破 片	S字口縁	口唇部外面ヨコナデ後口縁部外 面ハケ目, 口縁部内面ヨコナデ	砂粒・白色粒	良好	内: にぶい橙一部明 赤褐色 外: にぶい黄橙色	
28	SI-6235	甕	土師器	25(床面直上)	器高:残存4.5 底径:推定8.0	底部約 1/3	胴部外面に煤付 着	胴部下位外面ハケ目後ナデ, 底部 外面へラケズリ後ナデ, 内面ハケ 目後ナデ	砂粒・白色粒・黒雲 母・石英	良好	内: にぶい褐色 外: にぶい黄橙一部 黒褐色	
29	SI-6235	甕	土師器	9(1層)・ 33(1層)	口径:推定13.2 胴部最大径: 推定14.8 器高:残存13.8	口縁部- 胴部約 1/5	S字口縁, 胴部内 外面に輪積痕残 る, 内外面煤付着	口縁部外面ヨコナデ, 胴部外面ハ ケ目後一部ヘラミガキ, 口縁部内 面ヨコナデ後胴部ハケ目, 胴部内 面へラケズリ後ナデ, 胴部内面上 位は指ナデ	砂粒・白色粒・黒雲 母	良好	内: にぶい黄橙一部 黒色 外: にぶい褐一部黒 褐色	
30	SI-6280	坏	須恵器	覆土	口径:推定14.8 器高:残存3.0	口縁部- 体部約 1/8	口縁部と体部の 境に稜を有し口 縁部は外傾	口縁部内外面ヨコナデ, 体部外面 に稜を有し口縁部は外傾, 体部内面ロク ロナデ	細砂粒	良好	内: 灰色 外: 灰色	
31	SI-6280	瓶	須恵器	覆土	口径:推定9.4 器高:残存1.8	口縁部約 1/10	内外面自然釉付 着	内外面ロクロナデ	細砂粒	良好	内: 灰-灰オリーブ色 外: 灰-灰オリーブ 色	東海産
32	SI-6280	長頸壺	須恵器	2(床面直上)	口径:9.5 器高:残存10.0	口縁部の み完形	内外面自然釉付 着	内外面ロクロナデ	細砂粒, 繊密	良好	内: 灰-灰オリーブ 色 外: 灰黄-黄灰色	東海(湖西 か)産
33	SI-6280	坏	土師器	7(床面直上)	口径:推定14.4 器高:4.2	約1/2	口縁部と体部の 境に稜を有し口 縁部は上半より 内湾, 内面黒色処 理, 口縁部外面中 位に輪積痕残る	口縁部外面ヨコナデ, 体部・底部 外面へラケズリ内面へラミガキ	砂粒・黒雲母・石英	良好	内: 黑色 外: にぶい黄橙一部 黒色	
34	SI-6280	坏	土師器	A期貯蔵穴内	口径:推定13.7 器高:残存3.9	口縁部- 体部約 1/5	口縁部と体部の 境に段を有し口 縁部は外傾, 内面 黒色処理	口縁部外面ヨコナデ, 体部外面へ ラケズリ, 内面ヘラミガキ	砂粒・赤色粒・銀雲 母, 繊密	良好	内: 黑色 外: 灰黄褐色一部黒色	
35	SI-6280	坏	土師器	覆土・ 竈内	口径:推定15.5 器高:残存3.7	口縁部約 1/4	口縁部と体部の 境に不明瞭な段 を有し口縁部は 上半でやや内湾, 口唇部内面に一 条の沈線, 口縁部 外面・内面全面漆 仕上げ	口縁部外面ヨコナデ, 体部外面へ ラケズリか, 内面ヨコナデ	砂粒・黒雲母・石英	良好	内: にぶい褐-黑色 外: にぶい褐-黑色	
36	SI-6280	坏	土師器	覆土・ 竈内	口径:推定14.2 器高:残存4.1	口縁部- 体部約 1/3	口縁部と体部の 境に不明瞭な段 を有し口縁部は 直立, 口縁部外面 ・内面全面漆仕上 げ	口縁部内外面ヨコナデ, 体部外面へ ラケズリ, 体部内面ナデ	細砂粒・黒雲母・石 英	良好	内: にぶい黄橙-黑 褐色 外: にぶい黄橙-黑 褐色	
37	SI-6280	坏	土師器	A期貯蔵穴内	口径:推定10.0 器高:残存2.6	口縁部- 体部上位 約1/3	口縁部と体部の 境に稜を有し口 縁部は内湾, 内面 に工具痕残る	口縁部外面ヨコナデ, 体部外面へ ラケズリ, 内面ヨコナデ	細砂粒・赤色粒・黑 雲母	良好	内: にぶい黄橙-橙 色 外: 橙-にぶい黄橙 色	
38	SI-6280	坏	土師器	覆土	口径:推定11.6 器高:残存2.2	口縁部- 体部約 1/3	口縁部直立	口縁部内外面ヨコナデ, 体部内外 面へラケズリ	細砂粒・黒雲母	良好	内: 橙色 外: 橙一部黒褐色	
39	SI-6280	塊	土師器	覆土	口径:推定10.8 器高:6.3 底径:推定5.8	約1/3	口縁部は内湾し 口唇部直立, 口縁 部外面・内面全面 漆仕上げ	口縁部外面ヨコナデ, 体部外面ナ デ, 底部外面へラケズリ, 口縁部 内面ヨコナデ後体部へラナデ	砂粒・赤色粒・白色 粒・黒雲母	良好	内: 黑色 外: にぶい褐-黑褐色	

40	SI-6280	塊	土師器	覆土	口径:推定11.6 器高:残存4.3 体部約1/3	口縁部- 体部直立	口縁部は内湾し 口唇部直立	口縁部外面ヨコナデ,体部外面ナ デ,内面ヨコナデ	細砂粒・銀雲母・石 英	良好	内:にぶい橙色 外:にぶい黄橙-褐 灰色
41	SI-6280	鉢	土師器	覆土	口径:推定16.0 器高:残存5.1 体部約1/12	口縁部と体部の 境に不明瞭な稜 を有し口縁部は 大きく外反,体部 外面に輪積痕残 る	口縁部と体部の 境に不明瞭な稜 を有し口縁部は 大きく外反,体部 外面に輪積痕残 る	口縁部外面ヨコナデ,体部外 面ヘラナデ	砂粒・赤色粒・白 色粒・黒雲母・石英	良好	内:にぶい橙一部黒 褐色 外:にぶい黄橙一部 黒褐色
42	SI-6280	塊	土師器	覆土	口径:推定10.5 器高:残存8.1 体部約1/4	口縁部直立	口縁部直立	口縁部外面ヨコナデ,体部外 面ヘラナデ	砂粒・黒雲母	良好	内:黒褐色 外:黒褐色
43	SI-6280	甕	土師器	覆土	口径:推定14.9 器高:残存4.8 胴部上位 約1/8	長胴,口縁部外面 と胴部外面の境 に沈線巡る外面 の口縁部と胴部 の境を粘土で補 強している	長胴,口縁部外面 と胴部外面の境 に沈線巡る外面 の口縁部と胴部 の境を粘土で補 強している	口縁部外面ヨコナデ,胴部外 面ナデか,胴部内面ヘラナデ	砂粒・金雲母・黒雲 母・石英	良好	内:赤褐-にぶい褐 色 外:にぶい褐-黒褐 色
44	SI-6280	甕	土師器	貼床内	口径:推定15.3 器高:残存3.9 口縁部約 1/8	口唇部に面を有 する	口縁部外面ヨコナデ	砂粒・白色粒・黒雲 母・石英	良好	内:褐-黒褐色 外:にぶい橙-黒褐 色	
45	SI-6280	甕	土師器	A期貯蔵穴内	口径:推定23.2 器高:残存5.1 胴部上位約 1/8	口縁部約 1/12,胴 部上位約 1/8	長胴	口縁部外面ヨコナデ,胴部外 面ヘラケズリ,胴部内面ヘラナデ	砂粒・赤色粒・白 色粒・黒雲母・石英	良好	内:橙-にぶい褐色 外:にぶい橙-黒褐 色
46	SI-6280	甕	土師器	A期貯蔵穴内	口径:推定22.0 器高:残存5.5 口縁部約 1/12	口唇部外面に面 を有する	内外面ナデ	砂粒・礫・銀雲母	良好	内:赤褐色 外:にぶい橙-明赤 褐色	
47	SI-6280	甕	土師器	覆土	口径:推定21.0 器高:残存4.6 口縁部約 1/12	長胴	口縁部外面ヨコナデ,胴部外 面ナデ,胴部内面ヘラナデ	砂粒・赤色粒・白 色粒・黒雲母・石英	良好	内:にぶい黄褐色一部 黒褐色 外:にぶい黄褐色	
48	SI-6280	甕	土師器	6(床面直上)	口径:推定17.2 器高:29.3 底径:5.5 長胴,胴部内面一 部にヘラ傷あり, 底部完 形	口縁部約 1/4,胴部 -底部完 形	口縁部外面ヨコナデ,胴部外 面ヘラナデ 長石	砂粒・赤色粒・石英 長石	良好	内:にぶい黄橙一部 黒褐色 外:にぶい黄橙一部 黒褐色	
49	SI-6280	甕	土師器	竈1(竈6層)	口径:21.0 器高:残存15.4 口縁部約 3/4	口縁部- 胴部約 3/4	長胴,外面煤付 着,外面著しい摩 滅	口縁部外面ヨコナデ,胴部内 外面ヘラナデ	砂粒・黒雲母・石英 長石	良好	内:赤褐-褐灰色 外:赤褐-黒褐色
50	SI-6280	甕	土師器	4(床面直上)	器高:残存8.1 底径:8.4 胴部下位 -底部約 3/4	胴部下位 -底部約 3/4	底部木葉痕残る, 底部の粘土板と 胴部の境に貼付 粘土痕残る	胴部外面ナデ,胴部内面ヘラナ デ	砂粒・石英	良好	内:灰黄褐-褐灰色 外:にぶい黄橙-褐 灰色
51	SI-6280	甕	土師器	A期貯蔵穴内	器高:残存2.2 底径:推定8.1 口縁部約 1/4	底部約 1/4	底部木葉痕残る	胴部下端外面ナデ,胴部内面ヘラ ナデ	砂粒・礫・赤色粒・白 色粒・石英	良好	内:黑色 外:にぶい橙-褐灰 色
52	SI-6280	甕	土師器	覆土	器高:残存2.7 底径:推定7.2 口縁部約 1/3	底部約 1/3	底部外周がドー ナツ状に盛り上 がる,底部外周に 補強板	胴部下端外面ヘラナデ,底部外 面ヘラケズリ,底部内面ヘラナデ	砂粒・礫・赤色粒・白 色粒・黒雲母	良好	内:にぶい橙色 外:にぶい橙色
53	SI-6322	环	土師器	覆土	口径:推定12.5 器高:6.0 口縁部約 1/4	口縁部直立,内面 1/6,体部 約1/4	口縁部直立,内面 煤付着	口縁部外面ヨコナデ,体部外面ヘ ラケズリ,口縁部内面ヨコナデ・ 底部内面ヘラナデ後ヘラミガキ	砂粒・赤色粒・白 色粒・石英	良好	内:明赤褐色 外:にぶい橙-明赤 褐色
54	SI-6322	环	土師器	贴床内	口径:推定15.1 器高:残存4.4 口縁部約 1/12	口縁部- 体部約 1/12		口縁部外面ヨコナデ,体部外面ヘ ラナデ,口縁部内面ヨコナデ後ヘ ラミガキ	砂粒・白色粒・黒 雲母	良好	内:明赤褐色 外:明赤褐一部黒色
55	SI-6322	塊	土師器	覆土	口径:推定15.8 器高:残存4.4 口縁部約 1/6	口縁部- 体部上位 約1/6		口縁部外面ヨコナデ,体部外面ヘ ラケズリ後ナデ,口縁部内面ヨ コナデ後口縁部内面ヘラミガキ,体 部外面に煤付着	細砂粒・白色粒・黒 雲母・石英	良好	内:赤褐色 外:にぶい褐一部黒 色
56	SI-6322	塊	土師器	P-6N0.1, 覆土	口径:14.9 器高:7.9 約2/3	口縁部や外反, 底部中央鈍む,体 部外面に焼成後 の擦痕あり,口縁 部外面に煤付着	口縁部や外反, 底部中央鈍む,体 部外面に焼成後 の擦痕あり,口縁 部外面に煤付着	口縁部外面ヨコナデ後ヘラ ミガキ,体部・底部外 面ヘラケズリ後ヘ ラミガキ,体部・底部内 面ヘラナデ後ヘラ ミガキ	砂粒・赤色粒・白 色粒・黒雲母	良好	内:赤褐-暗赤褐色 外:暗赤褐色
57	SI-6322	塊	土師器	P-6N0.2, P-6覆土	口径:16.4 器高:7.4 約3/4	口縁部や外反, 口縁部外面に輪 積痕残る,口縁部 内外面一部に煤 付着	口縁部や外反, 口縁部外面に輪 積痕残る,口縁部 内外面一部に煤 付着	口縁部外面ヨコナデ,体部外 面ヘラナデ,底部外 面ヘラケズリ,体 部・底部内面ヘラナ デ	砂粒・白色粒・黒 雲母	良好	内:にぶい黄橙-褐 灰色 外:にぶい黄橙-褐 灰色
58	SI-6330	龜か	須恵器	覆土	器高:残存2.7 底径:推定6.0 口縁部約 1/4	胴部下端 -底部約 1/4		胴部下端外面・底部外 面ヘラケズリ後胴部下端ヘラナ デ,内 面ロクロナデ	砂粒・白色粒	良好	内:灰色 外:灰-オリーブ黑 色
59	SI-6330	甕	須恵器	覆土		胴部破片	No.60・61と同一	外面格子叩き,内面同心円文当 て具痕	白色粒,緻密	良好	内:灰色 外:灰色
60	SI-6330	甕	須恵器	覆土		胴部破片	No.59・61と同一	外面格子叩き,内面同心円文当 て具痕	白色粒,緻密	良好	内:灰色 外:灰色

61	SI-6330	甕	須恵器	覆土		胴部破片	No.59・60と同一 外面格子叩き, 内面同心円文当て 具痕	白色粒, 繊密	良好	内:灰色 外:灰色	
62	SI-6330	甕	須恵器	竪1層		胴部破片		外面格子叩き, 内面同心円文当て 具痕	砂粒・白色粒・黒雲 母	良好	内:灰色 外:灰色
63	SI-6330	甕	須恵器	覆土		胴部破片		外面平行叩き後カキ目, 内面同心 円文当て具痕をナデ消す	砂粒・石英	良好	内:灰白色 外:灰白色
64	SI-6330	壺	土師器	SB-6510B期北 側柱列東第2柱 抜き取り痕跡 埋土	口径:推定13.2 器高:残存5.4	口縁部- 体部約 1/4	口縁部と体部の 境に不明瞭な稜 を有し口縁部は 内傾, 口縁部内面 及び体部外面下 位の一部に煤付 着	口縁部内外面ヨコナデ, 体部内外 面ヘラナデ	白色粒・金雲母	やや良 好	内:明赤褐色-暗赤褐色 外:にぶい赤褐色-赤褐色
65	SI-6330	壺	土師器	4(2層), 覆土	口径:14.8 器高:5.5	ほぼ完形	口縁部と体部の 境に不明瞭な稜 を有し口縁部は 上半よりやや内 湾, 口縁部外面・ 内面全面漆仕上 げ	口縁部外面ヨコナデ, 体部・底部 ヘラケズリ, 内面底部縦方向のヘ ラミガキ後口縁部・体部横方向 のヘラミガキ	砂粒・赤色粒・白 色粒・黒雲母	やや良 好	内:にぶい黄橙-黒 褐色 外:にぶい黄橙-黒 褐色
66	SI-6330	壺	土師器	覆土	口径:推定12.0 器高:4.3	口縁部- 体部約 1/4	口縁部と体部の 境に不明瞭な稜 を有し口縁部は やや直立, 内面黒 色處理	口縁部外面ヨコナデ, 体部外面ヘ ラナデ後底部外面ヘラケズリ, 内 面ヘラミガキ	赤色粒・白色粒・黒 雲母	良好	内:黒色 外:浅黄-一部黒色
67	SI-6330	壺	土師器	覆土	口径:推定10.4 器高:3.2 底径:推定5.8	約1/8	口縁部と体部の 境に不明瞭な稜 を有し口縁部は 直立, 平底, 口縁 部外面・内面全面 漆仕上げ	口縁部外面ヨコナデ, 体部外面ヘ ラケズリ後ナデ, 底部外面ヘラケ ズリ, 内面ヨコナデ	細砂粒・白色粒・黒 雲母	良好	内:にぶい黄橙-黒 褐色 外:暗灰黄-黒色
68	SI-6330	壺	土師器	覆土	口径:11.8 器高:残存3.5	口縁部約 1/2, 体部 約1/5	口唇部外面に一 条の沈線, 口縁部 外面・内面全面漆 仕上げ	口縁部外面ヨコナデ, 体部外面ヘ ラナデ後底部外面ヘラケズリ, 内 面ヨコナデ	白色粒, 繊密	良好	内:にぶい黄褐色-黒 色 外:黒褐色-黒色
69	SI-6330	壺	土師器	覆土	口径:推定11.0 器高:残存3.1	口縁部- 体部約 1/6	口唇部外面に一 条の沈線, 口縁部 外面・内面全面漆 仕上げ	口縁部外面ヨコナデ, 体部外面ヘ ラナデ, 内面ヨコナデ	細砂粒, 繊密	良好	内:にぶい褐色-黒色 外:にぶい褐色-黒色
70	SI-6330	壺	土師器	A期掘方埋土	口径:推定11.4 器高:残存3.3	口縁部- 体部約 1/4	口唇部外面に一 条の沈線, 口縁部 外面・内面全面漆 仕上げ	口縁部外面ヨコナデ, 体部外面ヘ ラナデ後底部外面ヘラケズリ, 内 面ヨコナデ	白色粒・銀雲母, 繊 密	良好	内:暗灰黄-黒色 外:暗灰黄-黒色
71	SI-6330	小型壺	土師器	覆土	器高:残存6.6 胴部最大径:9.5 底径:5.5	胴部下位 -底部のみ	胴部下位 -底部のみ 平底, 底部外面に 木葉痕残る, 胴部 内面に輪縫痕残 る	胴部外面ヘラケズリ, 胴部内面ヘ ラナデ	砂粒・赤色粒・白 色粒・黒雲母	良好	内:橙一部黒色 外:にぶい黄橙一部 黒色
72	SI-6330	壺	土師器	覆土	口径:推定15.0 器高:残存5.0	口縁部約 1/10	口縁部の字に 外傾	内外面ヨコナデ	砂粒・白色粒・黒雲 母	良好	内:にぶい赤褐色 外:にぶい赤褐色
73	SI-6330	壺	土師器	覆土	口径:推定16.4 器高:残存10.2	口縁部- 胴部上位 約1/5	口縁部と胴部の 境に面を有し口 縁部中位に段を 有す, 胴部内面一 部に指頭圧痕	口縁部外面ヨコナデ, 胴部外面ヘ ラナデ, 口縁部内面ヨコナデ後ヘ ラミガキ, 胴部内面ヘラナデ	細砂粒・白色粒・黒 雲母・金雲母	良好	内:にぶい黄橙色 外:にぶい黄橙-褐 灰色
74	SI-6330	甕	土師器	覆土	口径:推定17.0 器高:残存3.7	口縁部約 1/6	口縁部内面に煤 付着	口縁部内外面ヨコナデ, 頭部内面 ヘラナデ	砂粒・赤色粒・白 色粒・黒雲母・長石	良好	内:にぶい黄橙一部 黒褐色 外:にぶい橙一部黑 褐色
75	SI-6330	甕	土師器	A期掘方埋土, 覆土	口径:推定21.8 器高:残存4.2	口縁部約 1/5		口縁部内外面ヨコナデ, 胴部外面 ヘラケズリ, 胴部内面ヘラナデ	砂粒・礫・赤色粒・金 雲母	良好	内:にぶい橙色 外:にぶい橙一部黑 褐色
76	SI-6330	甕	土師器	覆土	口径:推定12.3 器高:残存3.2	口縁部約 1/8		口縁部内外面ヨコナデ, 胴部上端 外面ハケ目, 胴部上端内面ナデ	砂粒・赤色粒・白 色粒・黒雲母	良好	内:橙色 外:にぶい橙色
77	SI-6330	甕	土師器	北東隅柱穴 (P1)内	口径:18.2 器高:残存23.0	口縁部- 胴部約 2/3	長胴, 胴部内面中 位に黒いアグク 同じ高さで全周	口縁部内外面ヨコナデ, 胴部外面 ヘラケズリ後指ナデ, 胴部内面ヘ ラナデ	砂粒・赤色粒・白 色粒・黒雲母・金雲母・ 長石	良好	内:浅黄一部黒色 外:橙-にぶい褐色
78	SI-6330	甕	土師器	竪1層	口径:推定21.7 器高:残存20.4	口縁部- 胴部約 1/4	長胴, 胴部内外面 に輪縫痕残る, 口 縁部内外面・胴部 外面一部煤付着	口縁部内外面ヨコナデ, 胴部外面 ヘラケズリ後ヘラナデ, 胴部内面 ヘラナデ	砂粒・礫・赤色粒・白 色粒・金雲母・石英	やや良 好	内:灰褐色-にぶい黄 褐色 外:明黄褐色-黒褐色

79	SI-6330	甕	土師器	覆土	器高:残存3.8 底径:7.3	底部のみ	底部突出,底部に丸形の粘土板を貼付補強	胴部下端外面へラケズリ,底部外面ナデ,胴部内面へラナデ	砂粒・赤色粒・白色粒・金雲母・石英	良好	内:にぶい黄橙-黒色 外:にぶい赤褐-黒褐色	
80	SI-6330	甕	土師器	覆土	器高:残存6.5 底径:5.8	胴部下位 -底部のみ	底部木葉痕残る	胴部下位外面へラナデ後胴部下端外面へラケズリ,内面へラナデ	砂粒・白色粒・石英	良好	内:にぶい黄橙-褐灰色 外:にぶい黄橙色	
81	SI-6330	甕	土師器	5(2層), 覆土, 壺1層	器高:残存22.0 底径:6.5	胴部約 1/2,底部 (ほぼ完形)		胴部・底部外面へラケズリ,胴部内面へラナデ	砂粒・赤色粒・白色粒	良好	内:橙-黒褐色 外:橙-にぶい褐色	
82	SI-6330	甕	土師器	覆土	器高:残存7.8 底径:8.4	胴部下位 約1/4-底 部約1/2	底部木葉痕やや 残る	胴部下位外面へラナデ,胴部下端外面へラケズリ,底部外面ナデ,胴部内面へラナデ	砂粒・白色粒・金雲母・黒雲母・石英	良好	内:にぶい橙色 外:にぶい黄褐-灰 黄褐色	
83	SI-6330	甕	土師器	覆土	器高:残存2.4 底径:8.0	底部のみ		胴部下端外面指ナデ,底部外面ナデ,内面ナデ	砂粒・礫・白色粒・黒雲母	良好	内:にぶい橙色 外:にぶい黄褐色	
84	SI-6330	甕	土師器	A期掘方埋土	器高:残存3.1 底径:8.0	底部のみ	底部外周が下一下ナツ状に盛り上がる	胴部下端外面指ナデ,底部外面ナデ,内面ナデ	砂粒・赤色粒・白色粒・黒雲母・金雲母	良好	内:にぶい橙-黒褐色 外:橙-黒褐色	
85	SI-6330	甕	土師器	覆土	器高:残存5.3 底径:推定8.5	胴部下位 -底部約 1/3	單孔,底部外面に ヘラの痕跡	胴部外面へラナデ,胴部内面へラミガキ	砂粒・礫・赤色粒・白色粒・石英	良好	内:橙色 外:橙色	
86	SI-6341	皿か	灰釉陶器	覆土	口径:推定12.8 器高:残存2.0	口縁部- 体部約 1/11		内外面クロナデ	白色粒,緻密	良好	内:灰白-オリーブ 外:黄色	東海(猿投 か)産,混 入か
87	SI-6341	高台付坏	須恵器	壺内	器高:残存1.7	坏部約 1/5,高台 部一部		坏部底部外面回転へラケズリ後 高台貼付,坏部底部内面クロナデ	白色粒	良好	内:灰色 外:灰色	
88	SI-6341	盤状高坏	須恵器	1(4層)	器高:残存1.3 高坏部底径: 推定24.8 脚部径:推定6.6	高坏部底 部約1/4	高坏部底部外面 に脚部接合痕残 る	高坏部外面ロクロナデ後底部外 面手持ちヘラケズリ	砂粒・白色粒・石英	良好	内:灰オリーブ色 外:灰オリーブ色	南那須産 か
89	SI-6341	甕	須恵器	覆土		胴部破片		外面平行叩き一部ナデ消す,内面 同心円文當て具痕	細砂粒,緻密	良好	内:灰色 外:灰色	
90	SI-6341	甕	須恵器	覆土	口径:推定38.0 器高:残存4.4	口縁部約 1/12	口縁部外面に一 条の沈線	内外面クロナデ,口縁部外面波 状文施文後沈線	砂粒・白色粒	良好	内:灰オリーブ-オ リーブ黒色 外:暗灰-暗赤灰色	
91	SI-6341	甕	須恵器	覆土		胴部破片		外面平行叩き,内面同心円文當て 具痕	細砂粒・石英	良好	内:灰色 外:灰色	
92	SI-6341	坏	土師器	覆土	口径:推定10.8 器高:残存2.5	口縁部約 1/4	口縁部外面と体 部外面の境に一 条の浅い沈線,口 縁部外面・内面全 面漆仕上げ	内外面ヨコナデ	砂粒・赤色粒・白色 粒・黒雲母・石英	良好	内:にぶい黄橙-黒 色 外:にぶい黄橙-黒 色	
93	SI-6341	坏	土師器	覆土	口径:推定14.4 器高:残存2.8	口縁部約 1/12	口縁部外面全 面黒色 處理	口縁部外面ヨコナデ,体部外面へ ラケズリ,内面ヘラミガキ	白色粒・黒雲母	良好	内:黒色 外:黒色	
94	SI-6528	坏	土師器	覆土	口径:推定9.0 器高:残存2.8	口縁部- 体部約 1/5	口唇部内面に一 条の沈線	口縁部外面ヨコナデ,体部外面へ ラケズリ,内面ヨコナデ	砂粒・白色粒・黒雲 母,緻密	良好	内:赤褐色 外:赤褐色	
95	SE-6113	甕	須恵器	覆土		胴部破片		外面平行叩き,内面無文當て具痕	細砂粒	良好	内:灰色 外:灰色	
96	SE-6113	瓶	灰釉陶器	覆土		肩部破片	肩部に二条の沈 線	内外面ナデ	細砂粒	良好	内:にぶい黄色 外:黄褐色-灰オ リーブ色	東海 (猿投)産 原始灰釉
97	SK-6040	坏	土師器	1(1層)	口径:推定10.1 器高:3.9	口縁部約 1/4,体部 -底部約 1/2	口縁部直立,内外 面全面黒色處理	口縁部外面ヨコナデ,体部外面へ ラケズリ一部ナデ,内面ヨコナデ	赤色粒・白色粒・金 雲母・石英	良好	内:黒色 外:灰黄褐-黒色	
98	SK-6177	器台	土師器	覆土	器高:残存5.2	脚部のみ	脚部中に四個 の孔を穿孔	脚部外面へラミガキ,脚部内面 ナデ	砂粒・赤色粒・黒雲 母・金雲母	良好	内:明褐色 外:にぶい黄橙-明 赤褐色	下層の SI-6178 から流入
99	SK-6531	坏	土師器	覆土	口径:11.0 器高:4.2	(ほぼ完形)	口唇部内面に一 条の沈線,口縁部 外面・内面全面漆 仕上げ	口縁部外面ヨコナデ,体部・底 部外面指ナデ後へラミガキ,体部 -底部内面へラナデ	赤色粒・白色粒,緻 密	良好	内:橙色 外:明褐色	100と二 枚重なり 99が上
100	SK-6531	坏	土師器	覆土	口径:12.3 器高:4.6	完形	重厚な作り,口縁 部外面・内面全面 漆仕上げ,体部外 面一部に指頭圧 痕残る	口縁部外面ヨコナデ,体部・底 部外面指ナデ後底部へラケズリ, 体部・底部内面へラナデ後へラ ミガキ	砂粒・赤色粒・白 色粒	良好	内:にぶい黄褐-褐 灰色 外:橙一部褐灰色	99と二 枚重なり 100の下
101	SD-1400	甕	須恵器	覆土(さ-12 グリッド)		胴部破片		外面平行叩き,内面無文當て具痕	砂粒・礫・白色粒・石 英	良好	内:褐灰色 外:黄灰色	
102	SD-4007	甕	須恵器	上面		胴部破片		外面平行叩き,内面無文當て具痕	砂粒	良好	内:灰黄色 外:黄灰色	三毳産か
103	SD-4011	甕	須恵器	覆土		胴部破片		外面平行叩き,内面同心円文當て 具痕	白色粒	良好	内:灰白色 外:灰色	
104	SD-6001	坏	須恵器	底面(ま-15 グリッド)	口径:推定13.0 器高:残存3.1	口縁部- 体部約 1/8		内外面クロナデ	白色粒・石英	良好	内:灰色 外:灰色	

105	SD-6001	环	須恵器	底面(ほ-15 グリッド)	器高:残存0.8 底径:推定8.0	底部約 1/5	底部外面にヘラ 記号あり	底部ヘラ切り離し	白色粒	良好	内:灰色 外:灰色	益子産か
106	SD-6001	瓶	灰釉陶器	底面(ほ-15 グリッド)	器高:残存3.2 底径:推定8.6	胴部下位 -底部約 1/3		底部回転糸切り離し後外周回転 ヘラケズリ,胴部内外面ロクロナ デ	黒雲母・金雲母,緻 密	良好	内:灰-黄一部褐色 外:灰黄-黄灰色	東海(猿投 黒笛14号 窯)産
107	SD-6001	甕	須恵器	底面(ほ-15 グリッド)		胴部破片		外面平行叩き,内面ナデか	白色粒	良好	内:灰-黄灰色 外:灰-黄灰色	
108	SD-6001	長頸瓶	灰釉陶器	底面		頸部破片		内外面ロクロナデ	黒色粒,緻密	良好	内:浅黄-灰オリー ブ色 外:灰オリーブ-灰 オリーブ黒色	東海(猿 投)産
109	SD-6001	瓶	灰釉陶器	底面		胴部破片		内外面ロクロナデ	黒色粒,緻密	良好	内:灰黄色 外:灰オリーブ色	東海 (猿投)産
110	SD-6001	鉢	土師器	底面(み-15 グリッド)		体部破片	外面の二箇所に 墨書きあり(×□(宍 カ),×□),内面黒 色処理	外面ナデ,内面ヘラミガキ	砂粒・黒雲母・石英	良好	内:黑色 外:にぶい橙-黄褐 色	
111	SD-6001	支脚か	土製品	底面(ほ-15 グリッド)	器高:残存3.3 底径:推定6.4	約1/2		外面ヘラナデ	黒雲母・金雲母	良好	明黄褐-明褐色	
112	SD-6236	甕	須恵器	覆土		胴部破片		外面平行叩き,内面同心円文當て 具痕	白色粒	良好	内:灰色 外:灰色	混入遺物
113	SD-6236	捕り鉢	陶器	覆土		胴部破片		外面ナデ,内面スリ目	砂粒・石英	良好	内:灰黄褐-にぶい 褐色 外:にぶい黄褐-褐 色	在地系陶 器(近世)
114	SD-6236	高台付皿	陶器	覆土	器高:残存1.7 底径:推定6.8	約1/4	皿部口縁部外面 釉薬あり,皿部内 面全面に長石釉 を付け掛け,見込 輪ハケあり	皿部体部,底部外面回転ヘラケ ス後高台貼付,皿部内面ロクロ ナデ	砂粒・黒雲母	良好	内:にぶい黄橙-白 色 外:にぶい橙一部白 色	在地系陶 器(近世後 期)
115	SD-6530	甕	須恵器	最上層		肩部破片	外面自然釉付着	内外面ロクロナデ	黑色粒	良好	内:灰色 外:灰オリーブ色	
116	SD-6530	甕	須恵器	最上層		頸部破片	No.5-118と同一 か	外面カキ目後沈線を巡らせ沈線 間に櫛齒刺突文,内面ロクロナデ	白色粒,緻密	良好	内:灰色 外:暗灰色	
117	SD-6530	甕	須恵器	最上層		胴部破片		外面格子叩き,内面同心円文當て 具痕	白色粒・金雲母	良好	内:灰-灰白色 外:灰黄-灰色	
118	遺構外	甕	須恵器	さ-13グリッド	口径:推定36.0 器高:残存9.8	口縁部破 片	No.5-116と同一 か	頸部外面カキ目後上段に四条沈 線,下段に二条沈線を巡らせ沈 線間に櫛齒刺突文施文,内面ロク ロナデ後一部ヘラナデ	白色粒,緻密	良好	内:灰色 外:灰-暗灰色	
119	遺構外	甕	須恵器	な-12グリッド		胴部破片		外面平行叩き,内面無文當て具痕	細砂粒	良好	内:灰色 外:灰色	
120	遺構外	环	土師器	6区調査区内	器高:残存1.8 底径:6.5	底部のみ	内面黒色処理	体部下端外面ロクロナデ,底部外 面回転糸切り離し後外周手持ヘ ラケズリ,内面ロクロナデ	砂粒・黒雲母・石英	良好	内:黑色 外:浅橙色	
121	遺構外	环か	土師器 (手捏ね 土器)	さ-12グリッド	口径:5.5 器高:3.6 底径:6.2	約2/3	粗製,平底	内外面指ナデ	白色粒・金雲母	やや良 好	内:にぶい黄橙色 外:灰黄褐-褐灰色	
122	SI-6280	襄玉	石製品	3(壁溝内)	径:1.15 厚さ:0.45~0.7 孔径:0.4 重量:1.18	完存	琥珀製					混入品か
123	SI-6330	白玉	石製品	床面直上	径:1.15 厚さ:0.2 孔径:0.4 重量:0.07	完存	滑石片岩製					混入品
124	SI-6280	打製石斧	石器	覆土	長さ:残存9.25 幅: 残存7.4~8.6 厚さ:2.4 重量: 残存290.73	約1/2						混入品
125	SI-6330	石鎌	石器	覆土	長さ:3.4 幅:最大2.4 厚さ:最大0.59 重量:4.3	完存	チャート製					混入品
126	遺構外	有舌 尖頭器	石器		長さ:残存2.45 幅:残存最大1.1 厚さ: 残存最大0.5 重量:残存1.05	中央部や や先端寄 り破片	小瀬ガ沢型,黒曜 石製,両面を丹念 に加工し側縁部 を鋸歯状に仕上 げ,縄文時代草創 期か					長野方面 産か
127	SI-6330	刀子	鉄製品	2(7層)・ 3(7層)・ 2の下(7層)	長さ:残存10.35 幅:1.1 厚さ:0.55 重量:残存8.229	切先・茎 尻僅かに 欠損	平棟,両側緩や か,茎部のほぼ全 体に木質遺存					

128	SI-6330	鍔か	鉄製品	1(7層)	長さ:残存 6.45 幅:0.45-1.45 厚さ:0.45 重量:残存7.4	ほぼ完存	端部に木質遺存、 先端と端部の間を平坦にしている				
129	SD-1400	釘か	鉄製品	覆土(さ-12 グリッド)	長さ:残存4.6 幅:0.5 厚さ:0.5 重量:残存4.36	両端欠損	棒状,断面方形				
130	SB-6515	帶金具	銅製品	南西隅柱掘方 埋土	長さ:2.25 幅:2.15 厚さ:0.95 重量:7.11	完存	馬具(鈍尾),木葉 (矢羽根)状を呈し先端は尖り端部中央は切れ込む,表面に1本の突線,鈍は端部際に2本(直径0.2cm ・長さ0.8cm)				

第VI章 まとめ

森後遺跡（1～6区）からは、古墳時代前期から奈良・平安時代の堅穴住居132軒、奈良・平安時代の掘立柱建物163棟など、古墳時代前期から中世・近世まで多くの遺構が確認されており、江川流域及びさくら市域で最大規模の遺跡となった。今回の調査区（6区）は、4・5区の中央を東西に貫く形で設定しており、主な遺構は調査区東端の埋没谷より西に集中する傾向が見られる。

第1節 遺構の変遷（第54図）

古墳時代前期

6区内においては、堅穴住居を3軒確認しており、遺構の時期は4世紀後半頃と推測される。堅穴住居は、調査区のほぼ中央にまとまっており、6区北側の5-①区にも広がりを見せてている。

古墳時代中期

調査区西側において、堅穴住居を1軒確認している。平面形は方形を呈し、南側中央には張り出しピットを有する。時期は、5世紀後半頃と推測される。現在整理作業中であるが、4・5区においては張り出しピットを有する堅穴住居を確認しており、さらに、1～3区内では当該期の高壙が出土した土坑なども確認されている。中期の堅穴住居を主体とした集落は、遺跡全体に広がりを見せる可能性がある。

古墳時代後期

6区内においては、6世紀代の遺構を確認することは出来なかった。ただ、1～5区においては、この時期に相当する遺物が出土していることから、6区周辺に遺構が展開していると考えられる。

古墳時代終末期

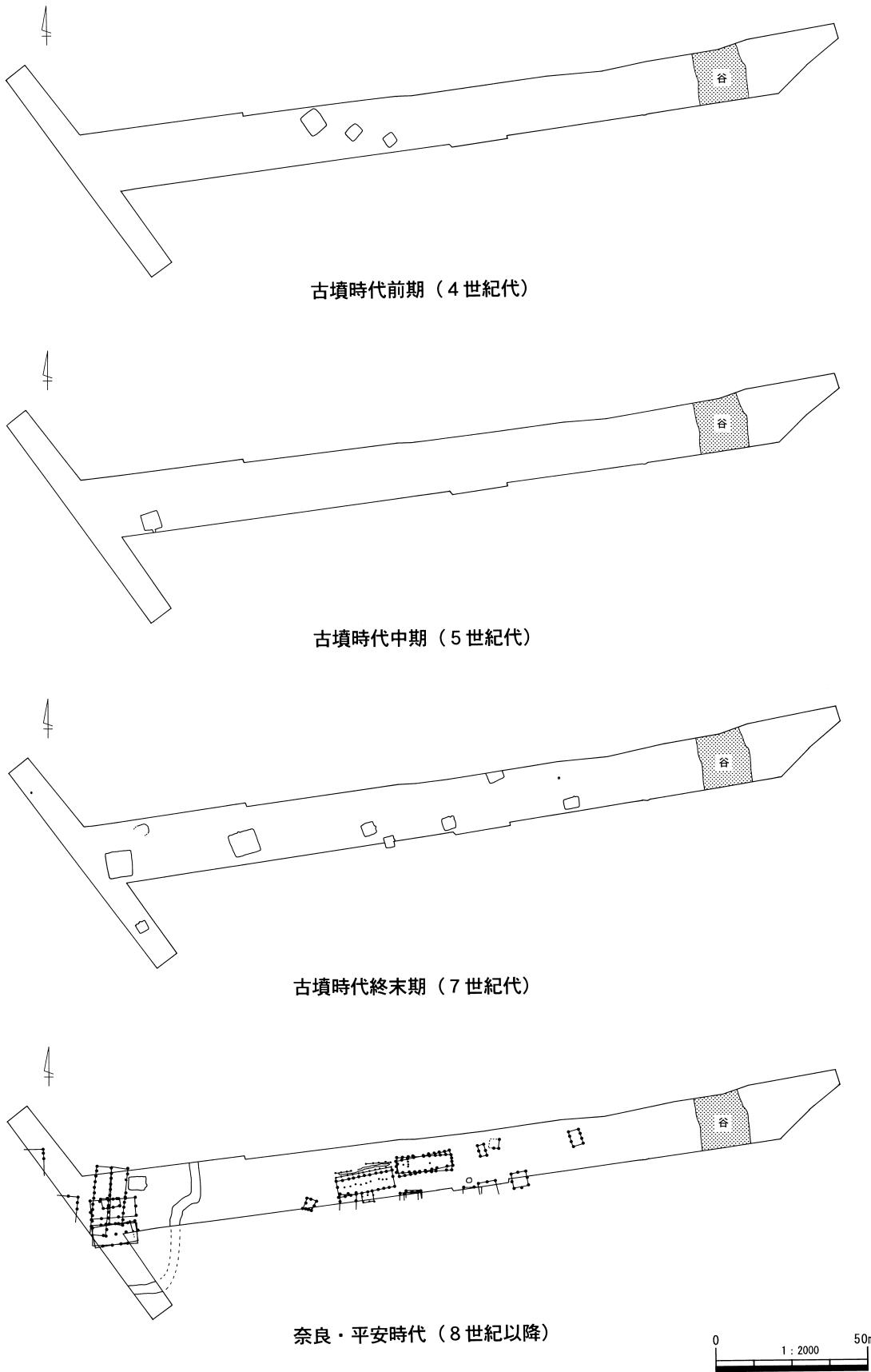
6区内では、堅穴住居9軒と土坑2基を確認している。時期は、7世紀前葉から7世紀後葉と考えられる。やや大型の堅穴住居は、調査区西寄りで河川（江川）に近接した位置に設置されている。堅穴住居が、調査区全体に展開していることから、当該期に森後遺跡の集落規模が拡大傾向を示したと推測される。

奈良・平安時代

森後遺跡の最盛期は、遺構の在り方から8世紀以降である。遺跡の南半部分（4～6区）では、掘立柱建物が主体となっており、6区内においても20棟を確認している。掘立柱建物は、調査区の中央部と西端部に集中区が見られる。

調査区中央部の掘立柱建物群は、5区内の建物を含めて17棟が規則的に配置されている。6区内では、桁行10間の長大な東西棟側柱式建物を3棟確認している（SB-6160・6170・6200）。その内の1棟であるSB-6200は、床張りで身舎の北側に縁を有し、南側の中央には南北2間×東西2間の舞台状の張り出しが取り付く特殊な建物である。この建物は、中央部掘立柱建物群の中で最も古い建物の1棟である。

調査区西端部では、3区から5区・6区と連続する大溝に区画された内側に、南北に長大な側柱式建物（SB-6350A・B期・5040）と大型の東西棟側柱式建物（SB-6340・6510A・B期）が配されている。特に、SB-6350A・B期は、A期桁行10間×梁行1間・B期桁行12間×梁行1間の特殊な南北棟側柱式建物である。



第54図 森後遺跡6区 遺構変遷図

5-①区で確認した桁行10間×梁行3間の南北棟建物（SB-5040）と併せて、長大な南北棟側柱式建物が南北方向に建物方位を揃えて配置されている。

この2箇所の建物群の変遷を概観すると、建物方位により大きく3時期に分かれると推測される。主要な建物（SB-6300・6515等の小規模建物を除く）を見てみると、北で西に振れた建物が最も古く（SB-6150A・B期・6170・6200）、次いで真北方向に近い建物方位を示す建物が古く（SB-5042A・B期・5043・5044A・B期・5045A・B期・5046A・B期・6150A・B期・6160・6340など）、北で東に振れる建物（SB-6350A・B期）が最も新しいと考えられる。これらの掘立柱建物群の時期区分は細分できることから、今後5区内の掘立柱建物を含めた詳細な検討を行っていく必要があろう。

8世紀以降は、掘立柱建物を主体とした遺構変遷となっており、特に5・6区内の建物群は建物規模が大きく、建物配置も企画性を持っている。これらの掘立柱建物群は、官衙に関連した施設と推測したい。また、5-②区の南端では、運河とも考えられる大溝（SD-5310）も確認されており、森後遺跡の南側には近接して東山道駅路も想定されている。このことによって、森後遺跡は、道路と河川の合流地点に位置した遺跡と言えるだろう。今後の検討を要するが、森後遺跡の南半部分については、水陸交通に関連した官衙施設が含まれているとも推測できる。

中世

6区調査区では、中世の遺構としては方形竪穴遺構1基と井戸1本を確認したのみである。5区内においては、方形竪穴遺構・地下式坑・墓坑などを確認している。さらに、5-①区西端において、大溝による区画溝も確認されており、館の存在も示唆できる。森後遺跡の北方に位置する、金枝城や鹿子畠館跡・古屋敷遺跡などの城館との関連も考えられる。

近世

今回の調査区内においては、数条の溝を確認しているにすぎないが、3区では道路状遺構が交差する地点が確認されており、鹿子畠地区の交通網を考える上で重要な遺構である。

第2節 銅製帶金具について

6区西端に位置する掘立柱建物群の内、最も新しい掘立柱建物SB-6515南西隅柱掘方埋土中から、銅製の帶金具（鉈尾）が出土している（第53図No.130）。幅が約2cmと細いことから、馬具と推測される。形状が木葉形（矢羽根形）を呈し、表面中央には突線がありその突線と連続して先端が尖り、端部の中央が切れ込んでいる。鉈は、端部際に2本穿たれている。

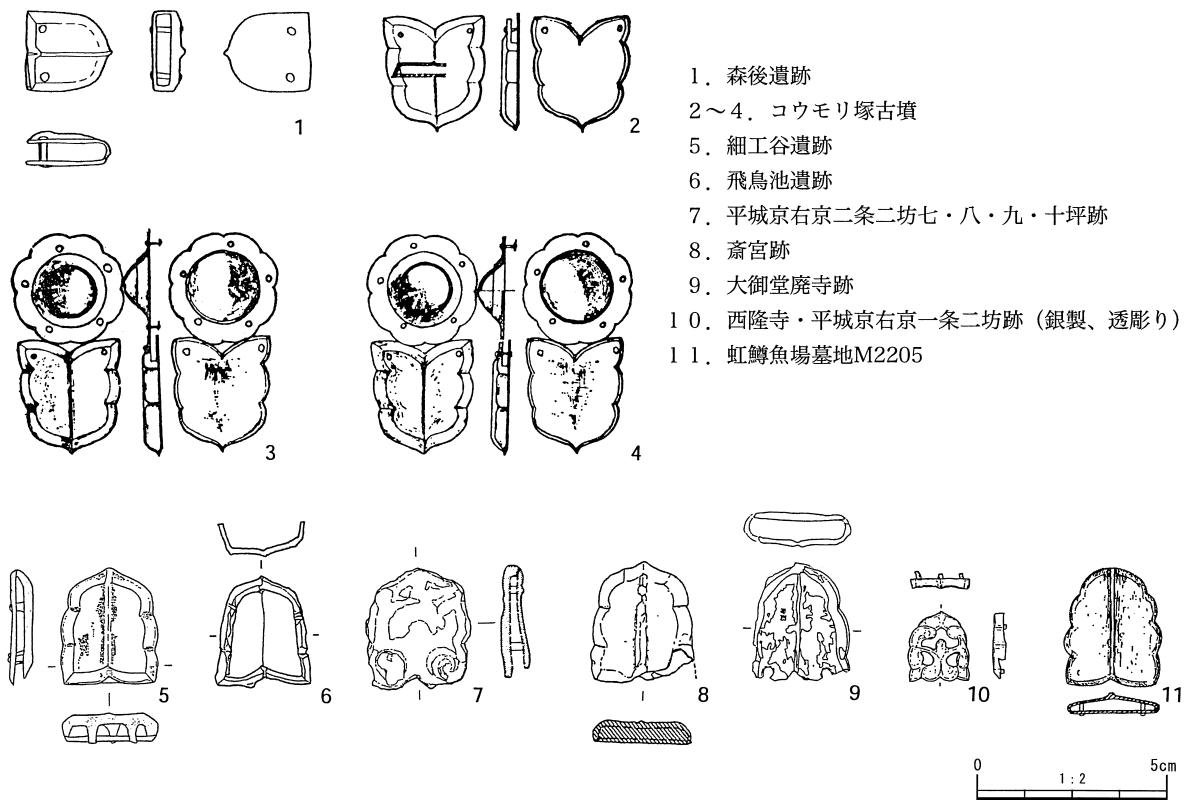
この銅製帶金具（鉈尾）と類似する遺物は、国内では9例が確認されているのみである（第55図）。長野県コウモリ塚古墳、奈良県飛鳥池遺跡、奈良県平城京右京二条二坊七・八・九・十坪跡、奈良県西隆寺・平城京右京一条二坊跡（銀製、透彫り）、大阪府船橋遺跡、大阪府林遺跡、大阪府細工谷遺跡、三重県斎宮跡、鳥取県大御堂廃寺跡で出土している。国外では、渤海国の資料（黒竜江省寧安市虹鱒魚場墓地M2205）が1例確認されている。国内出土品では、飛鳥・奈良時代の生産工房跡出土例が目立ち、時期的にも限られたものと推測され、奈良時代中頃までの使用が想定されている。

森後遺跡以外の出土品は、先端と端部の形状は森後遺跡出土品と同じであるが、側面にも切れ込みを有しており、形状は矢羽根形を呈する。森後遺跡の帶金具（鉈尾）は、側面は直線的であり、爪形の帶金具と矢

羽根形の中間的な形状を呈するとも言える。帶金具（鉈尾）が出土した掘立柱建物（S B-6515）は、7世紀代の大型竪穴住居（S I-6330）や、調査区西端における8世紀以降の主要建物である大型掘立柱建物（S B-6340・6350 A・B期）より新しいことから、県外出土の類例遺物の年代と符合すると推測される。

参考文献

- 富永里菜 2002 「馬具の帶金具」『鎧帶をめぐる諸問題』奈良文化財研究所
 宮坂光昭 1983 「南信地区 コウモリ塚古墳」『長野県史』考古資料編全1巻（3）主要遺跡（南信）
 社団法人長野県史刊行会



第55図 木葉形（矢羽根形）帶金具（鉈尾）の類例

第3節 まとめ

国道293号バイパス工事に伴う発掘調査区（6区）は、4区と5区の中央部分を東西に貫いて設定されており、森後遺跡の総面積101,400m²の5%を調査したに過ぎない。本報告書のまとめでは、6区内で確認した遺構の変遷を概観したのみである。県営圃場整備に伴う報告書（森後遺跡II）では、現在整理作業中である調査区（1～5区）と、今回の調査区（6区）を併せた森後遺跡の全容を把握してから、遺構及び遺物の詳細な検討を行い、各時期毎の森後遺跡の性格や周辺遺跡との関連性などを考察することとした。

写 真 図 版



森後遺跡全景(東上空より)



6区調査区中央部・西半部全景(南上空より)



6区調査区中央部掘立柱建物群全景(東上空より)

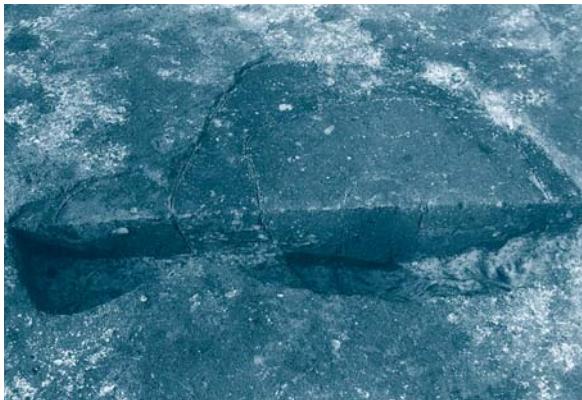


SB-5043・5044A・B期・5045A・B期掘方完掘全景(東より)

図版三 森後遺跡（六区）遺構写真



SB-5043・5044A・B期・5045A・B期掘方完掘全景(南より)



SB-5043・5044A・B期・5045A・B期北西隅柱土層断面(南より)



SB-5043・5044A・B期・5045A・B期北東隅柱土層断面(南より)



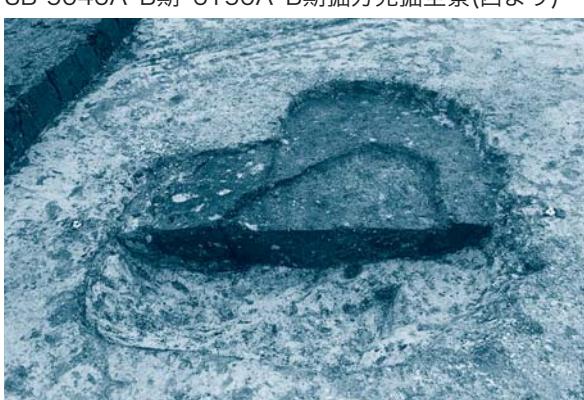
SB-5046A・B期・6150A・B期全景(北西より)



SB-5046A・B期・6150A・B期掘方完掘全景(西より)



SB-5046A・B期北西隅柱土層断面(北より)

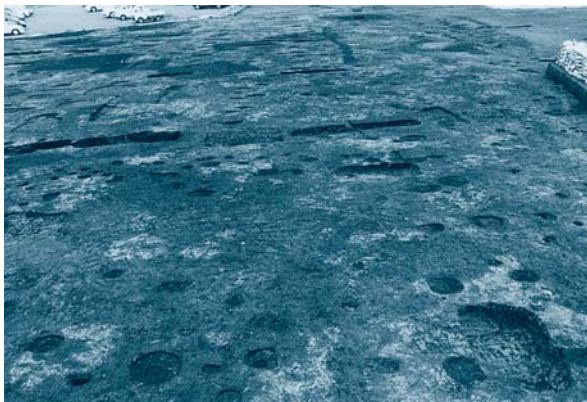


SB-6150A・B期北西隅柱土層断面(東より)



SB-6150A・B期北妻柱列棟持柱土層断面(東より)

図版四
森後遺跡（六区）
遺構写真



SB-6160・6170全景(東より)



SB-6160北西隅柱土層断面(南西より)



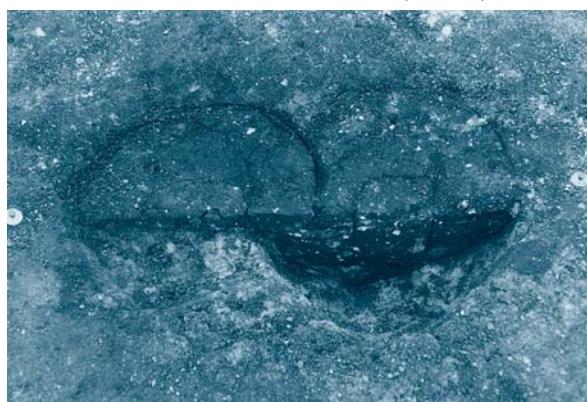
SB-6160北側柱列東第10柱土層断面(東より)



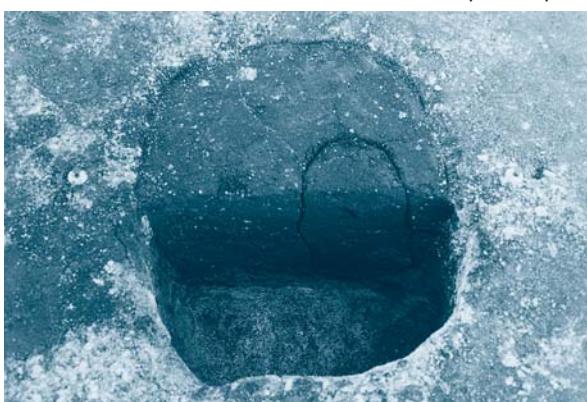
SB-6160間仕切り柱列南柱土層断面(東より)



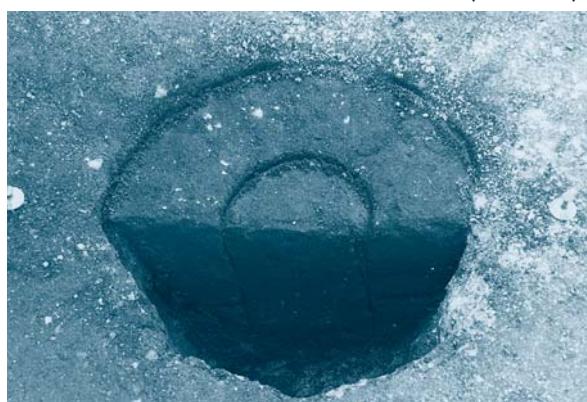
SB-6160・6170南側柱列東第7柱土層断面(東より)



SB-6160・6170北側柱列東第8柱土層断面(南東より)



SB-6170北西隅柱土層断面(南より)



SB-6170間仕切り柱列東第3柱土層断面(東より)

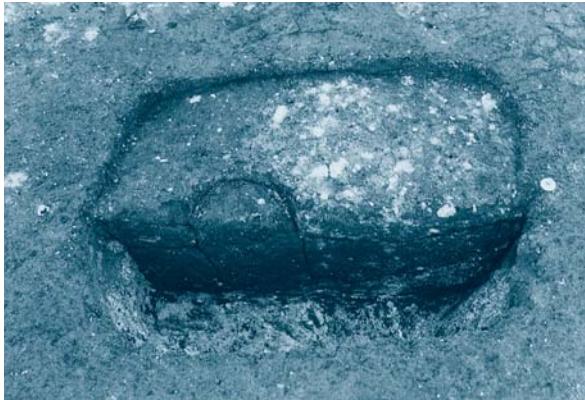


SB-6200掘方完掘全景(東より)



SB-6200掘方完掘全景(東より)

図版六
森後遺跡（六区）
遺構写真



SB-6200 南側柱列東第2柱土層断面(東より)



SB-6200 南側柱列東第10柱土層断面(南より)



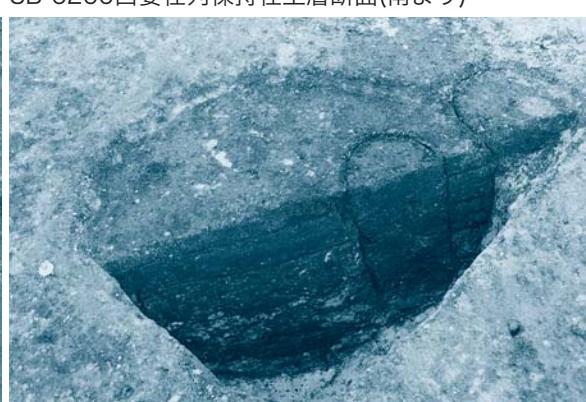
SB-6200 北側柱列東第8柱土層断面(東より)



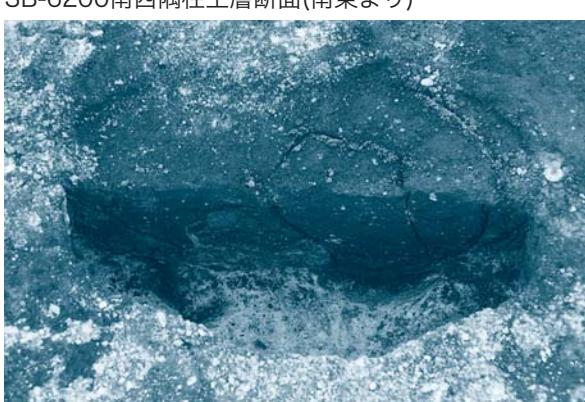
SB-6200 西妻柱列棟持柱土層断面(南より)



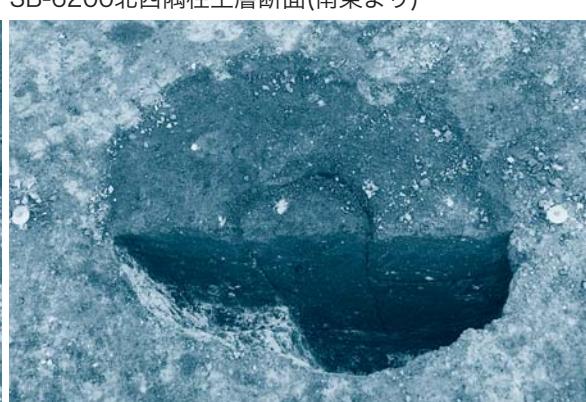
SB-6200 南西隅柱土層断面(南東より)



SB-6200 北西隅柱土層断面(南東より)

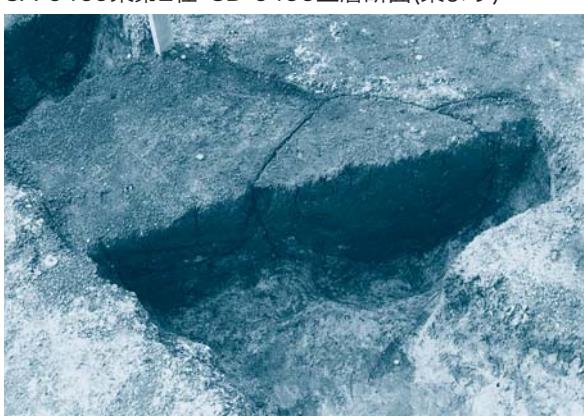
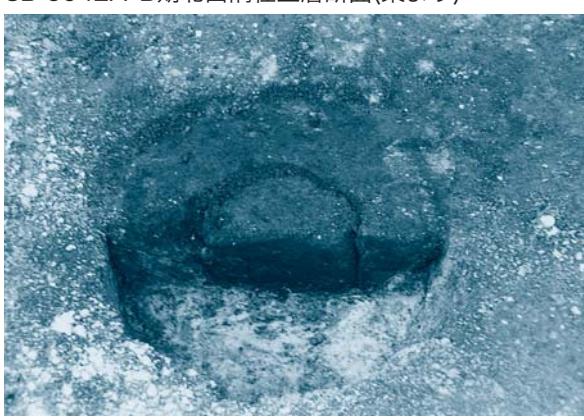
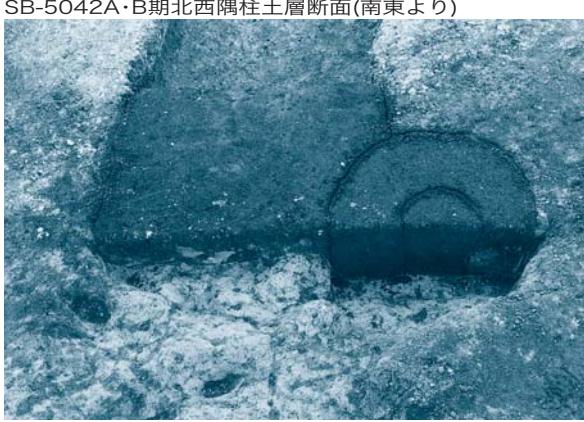
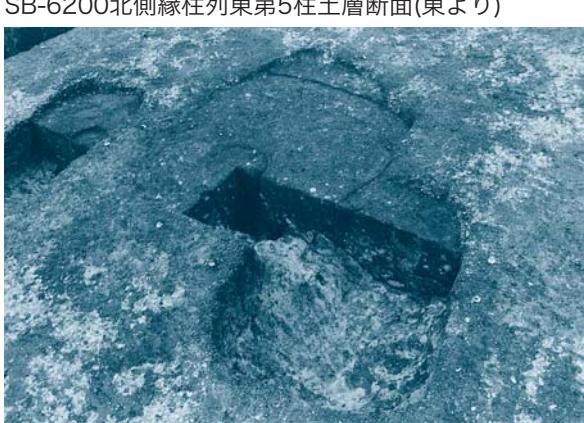
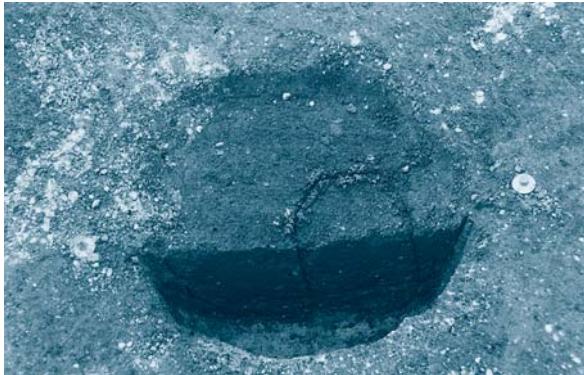


SB-6200 南側張り出し南第2列東第2柱土層断面(南東より)

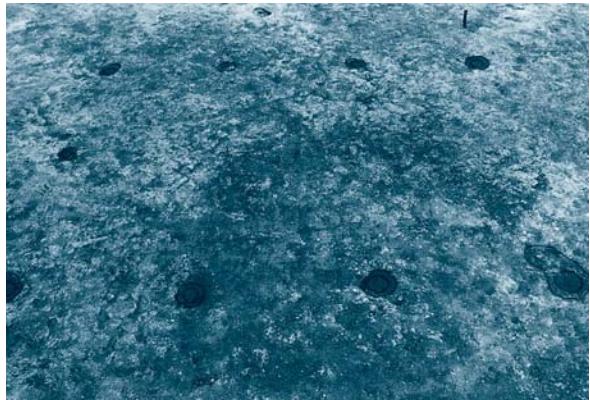


SB-6200 南側張り出し南第1列東第2柱土層断面(東より)

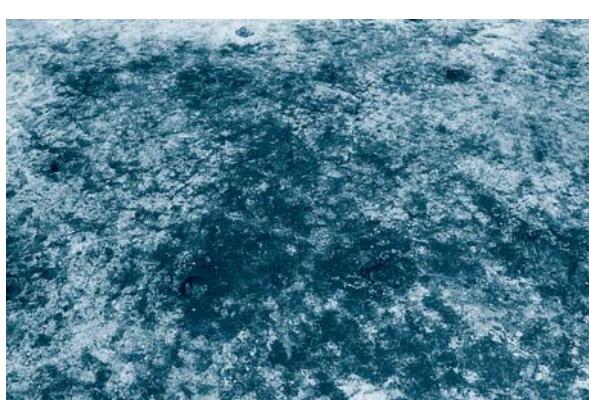
図版七 森後遺跡（六区）遺構写真



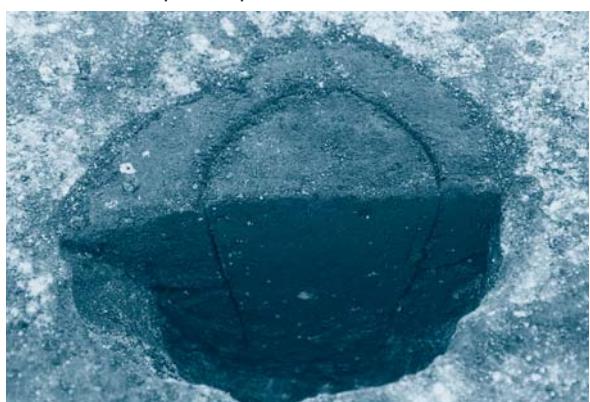
図版八
森後遺跡(六区)
遺構写真



SB-6029全景(東より)



SB-6029掘方完掘全景(東より)



SB-6029南東隅柱土層断面(南より)



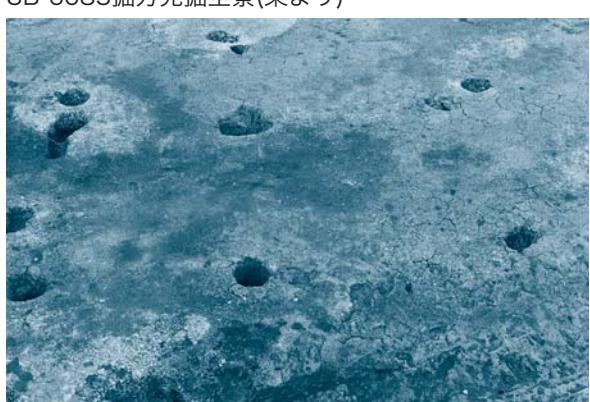
SB-6029南妻柱列棟持柱土層断面(南西より)



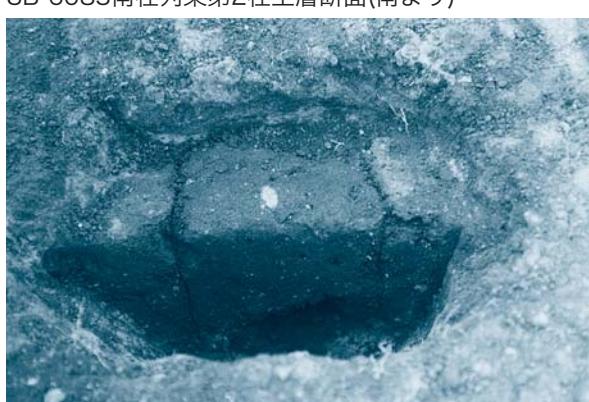
SB-6083掘方完掘全景(東より)



SB-6083南柱列東第2柱土層断面(南より)



SB-6084掘方完掘全景(東より)



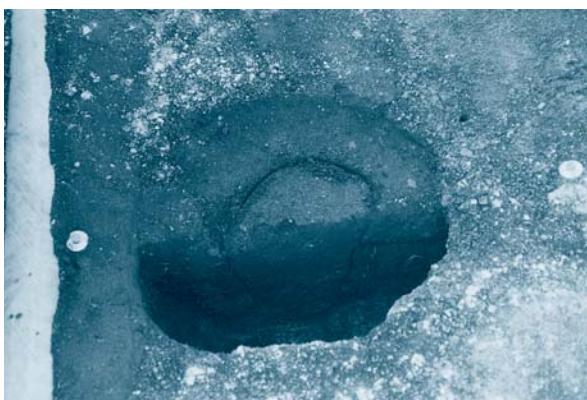
SB-6084北東隅柱土層断面(東より)



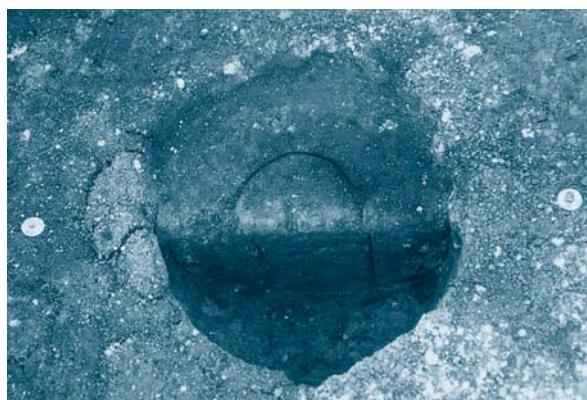
SB-4165全景(東より)



SB-4165掘方完掘全景(南より)



SB-4165北西隅柱土層断面(南より)



SB-4165東柱列中央柱土層断面(南より)



SB-6340・6350A・B期・6510A・B期・6515・SA-6525掘方完掘全景(南東より)

図版十
森後遺跡（六区）
遺構写真



SB-6340掘方完掘全景(東より)



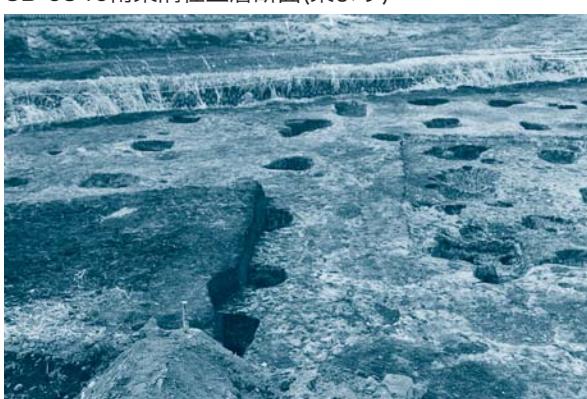
SB-6340北東隅柱土層断面(南東より)



SB-6340南東隅柱土層断面(東より)



SB-6340南側柱列東第5柱土層断面(南より)



SB-6510A・B期掘方完掘全景(東より)



SB-6510A・B期北側柱列東第3柱土層断面(南より)



SB-6510A・B期北東隅柱土層断面(南より)



SB-6510A・B期棟持柱列東第4柱・
SB-6350B期南東隅柱土層断面(南より)



SB-6350A期北半部掘方完掘全景(北より)



SB-6350B期掘方完掘全景(北より)



SB-6350A期東側柱列北第2柱土層断面(東より)



SB-6350B期西側柱列北第7柱土層断面(南より)



SB-6350A期西側柱列北第4柱・
B期東側柱列北第4柱土層断面(南より)



SB-6350A期北西隅柱・B期北東隅柱土層断面(南より)



SB-6515掘方完掘全景(南より)

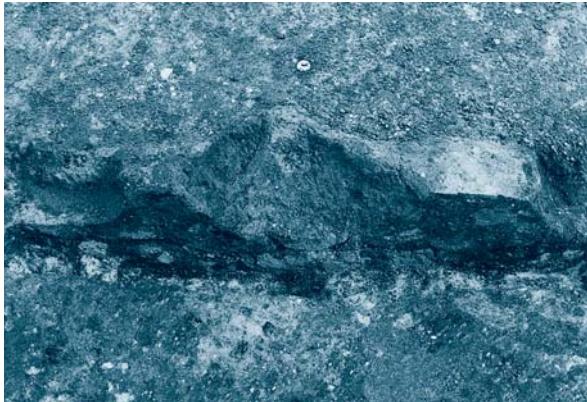


SA-6525北第1柱土層断面(南より)

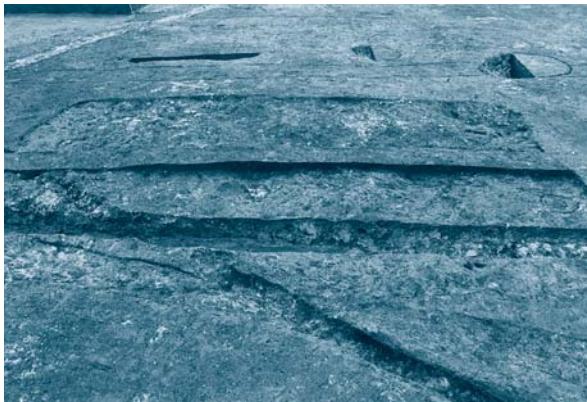
図版十二 森後遺跡(六区) 遺構写真



SI-5033完掘全景(南より)



SI-5033竈断ち割り土層断面(西より)



SI-6009完掘全景(東より)



SI-6051完掘全景(南東より)



SI-6034完掘全景(南より)



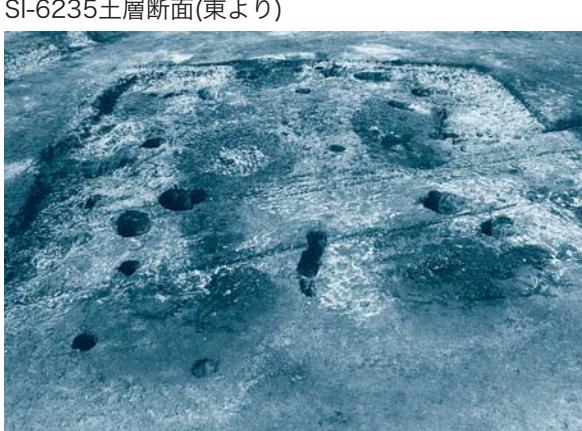
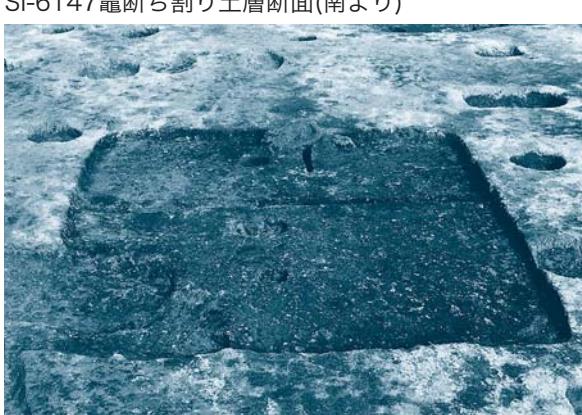
SI-6034土層断面(南東より)



SI-6034竈完掘全景(南より)



SI-6034竈袖部断ち割り土層断面(南より)



図版十四 森後遺跡（六区）遺構写真



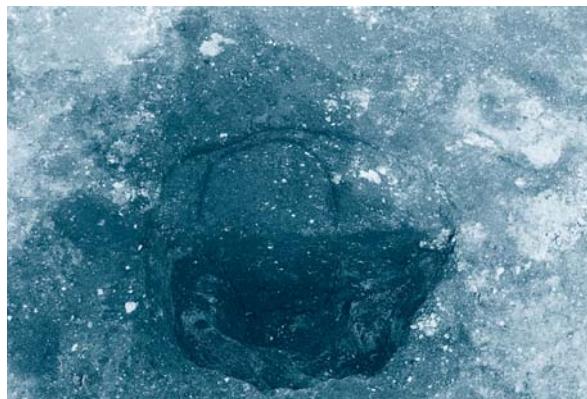
SI-6280P9土層断面(南より)



SI-6280竈東側遺物出土状況(北西より)



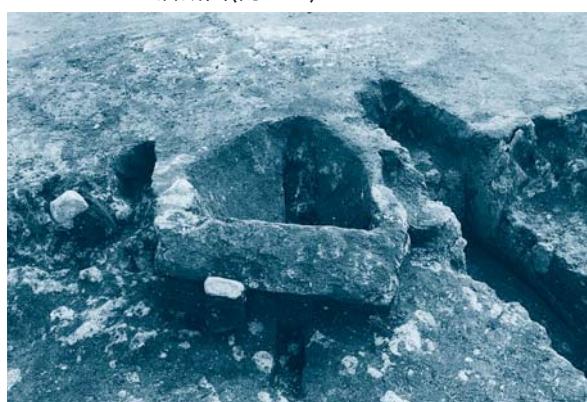
SI-6322完掘全景(南より)



SI-6322P1土層断面(南より)



SI-6341・6342完掘全景(西より)



SI-6341竈完掘全景(北西より)



SI-6528完掘全景(東より)



SI-6528竈土層断面(南より)

図版十五 森後遺跡（六区）

遺構写真



SI-6330完掘全景(東より)



SI-6330土層断面(南東より)



SI-6330竪完掘全景(南より)



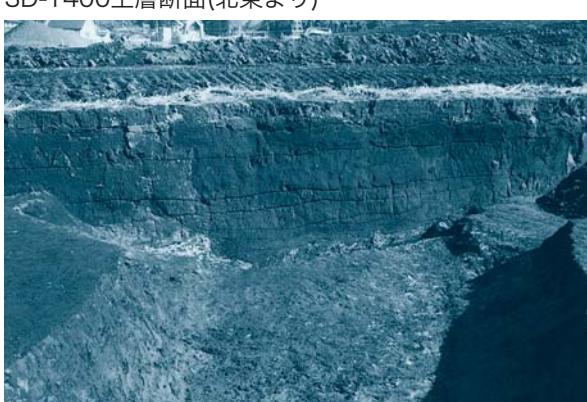
SI-6330竪土層断面(南東より)



SD-1400土層断面(北東より)



SD-1400土層断面(南より)



SD-6530土層断面(西より)



SD-4007土層断面(南より)

図版十六
森後遺跡
(六区)
遺構写真



SD-6001 土層断面(東より)



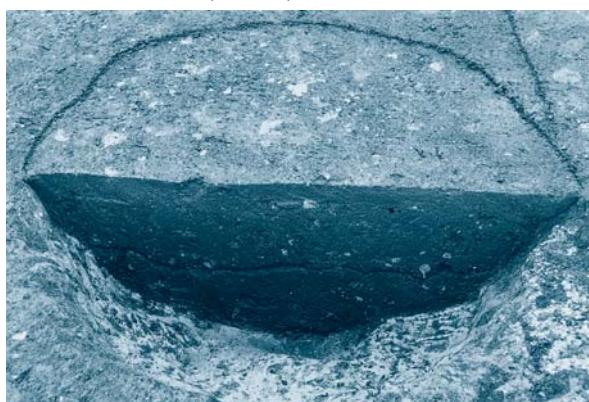
SD-6001 土層断面(北東より)



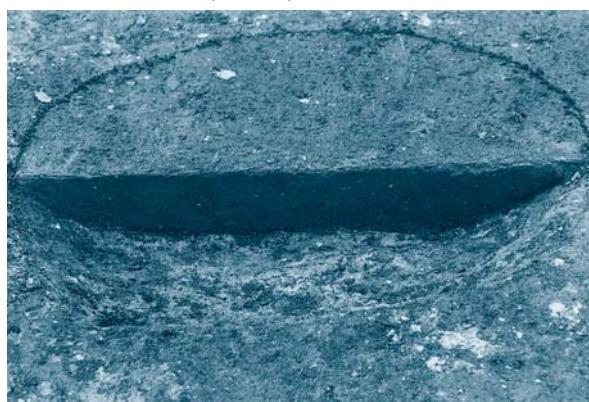
SE-6113 土層断面(南より)



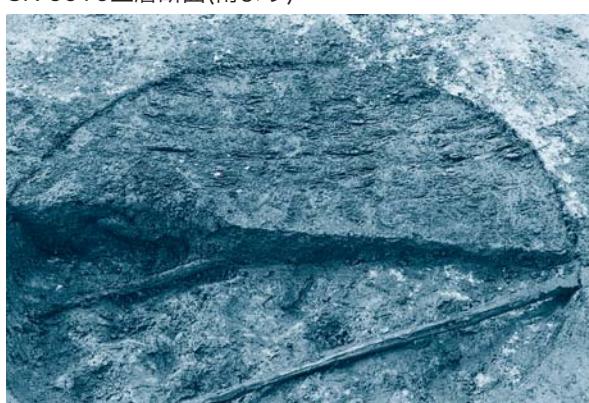
SK-6005 完掘全景(南より)



SK-6010 土層断面(南より)



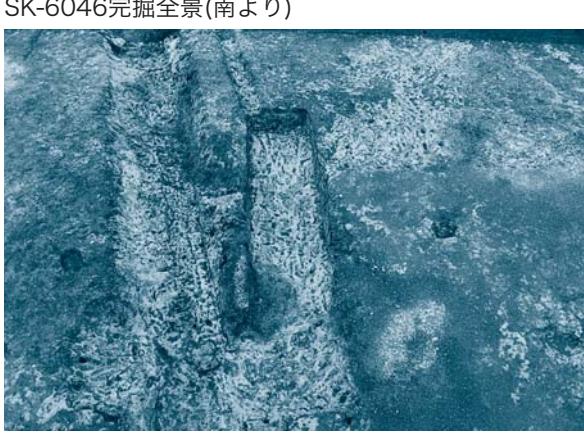
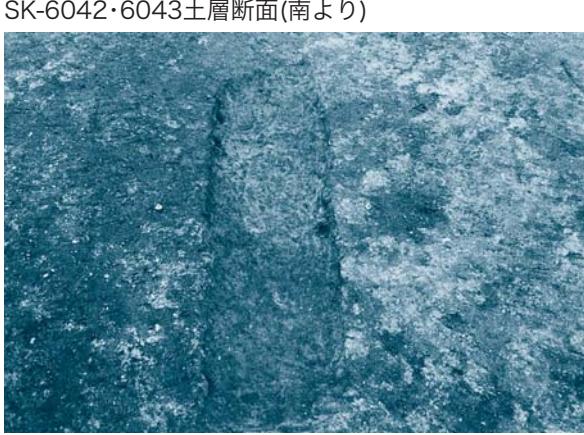
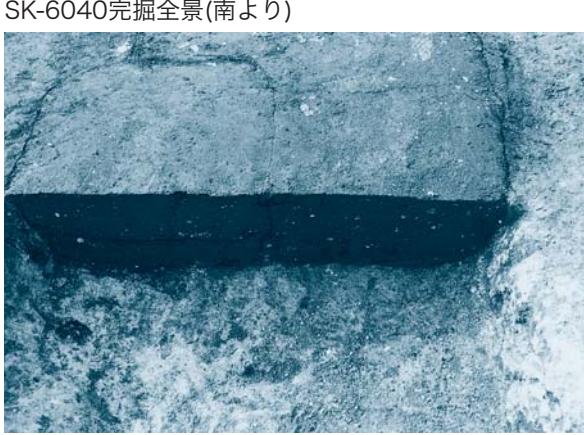
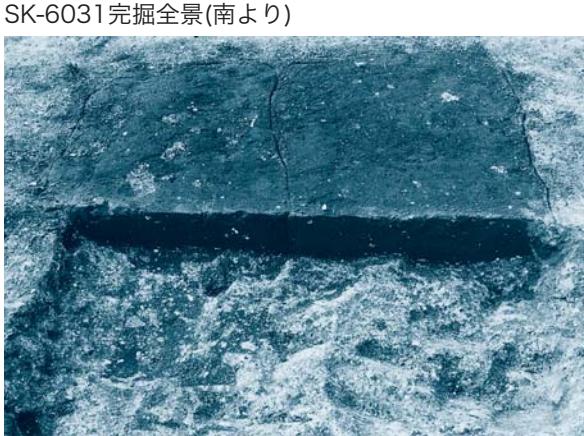
SK-6011 土層断面(南より)

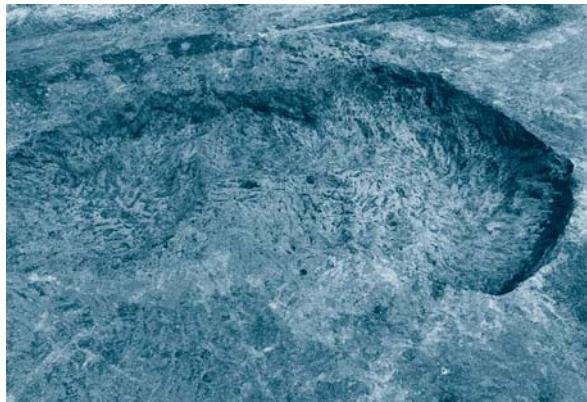


SK-6013 土層断面(南より)



SK-6028 土層断面(東より)





SK-6107完掘全景(南より)



SK-6129土層断面(南より)



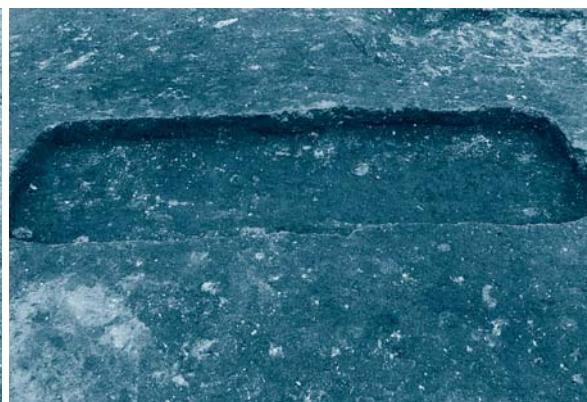
SK-6132完掘全景(東より)



SK-6166土層断面(南より)



SK-6177土層断面(東より)



SK-6187完掘全景(東より)



SK-6188・6189土層断面(南より)



SK-6191完掘全景(西より)



SK-6234完掘全景(南より)



SK-6238・6239完掘全景(南より)



SK-6241・6242・6451土層断面(東より)



SK-6243土層断面(西より)



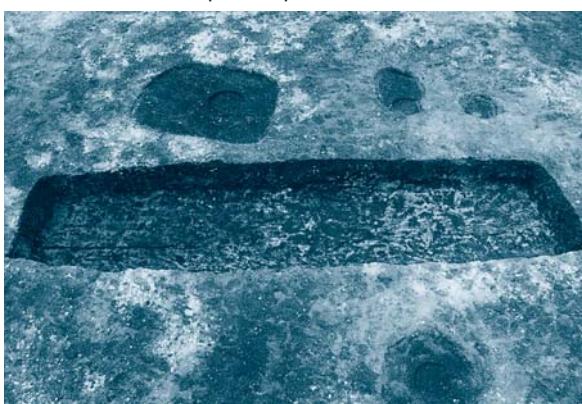
SK-6323完掘全景(東より)



SK-6325土層断面(南より)



SK-6437・6438土層断面(南より)



SK-6448完掘全景(東より)

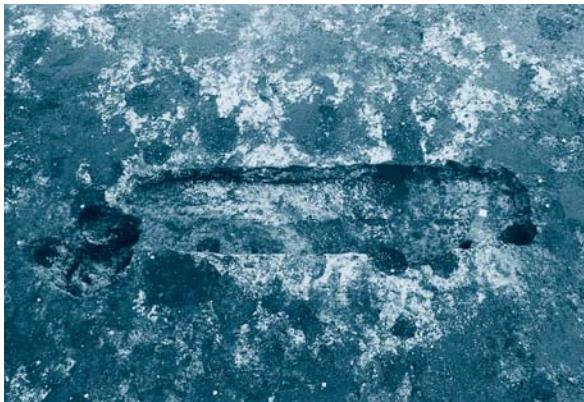
図版二十 森後遺跡(六区) 遺構写真



図版二十一 森後遺跡（六区）遺構写真



SK-6502・7713・7717完掘全景(東より)



SK-8129完掘全景(西より)



SK-8437完掘全景(西より)



SK-6513完掘全景(南より)



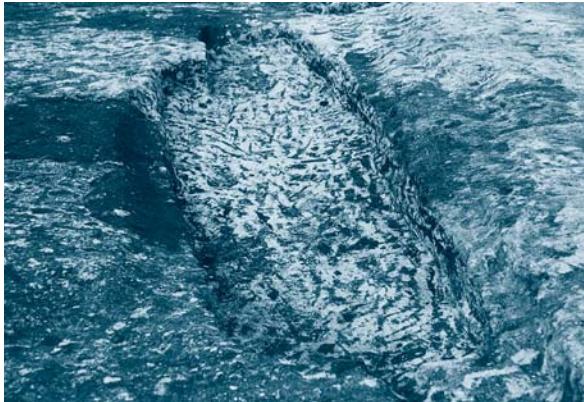
SK-6518完掘全景(東より)



SK-6519完掘全景(東より)



SK-6521土層断面(南より)

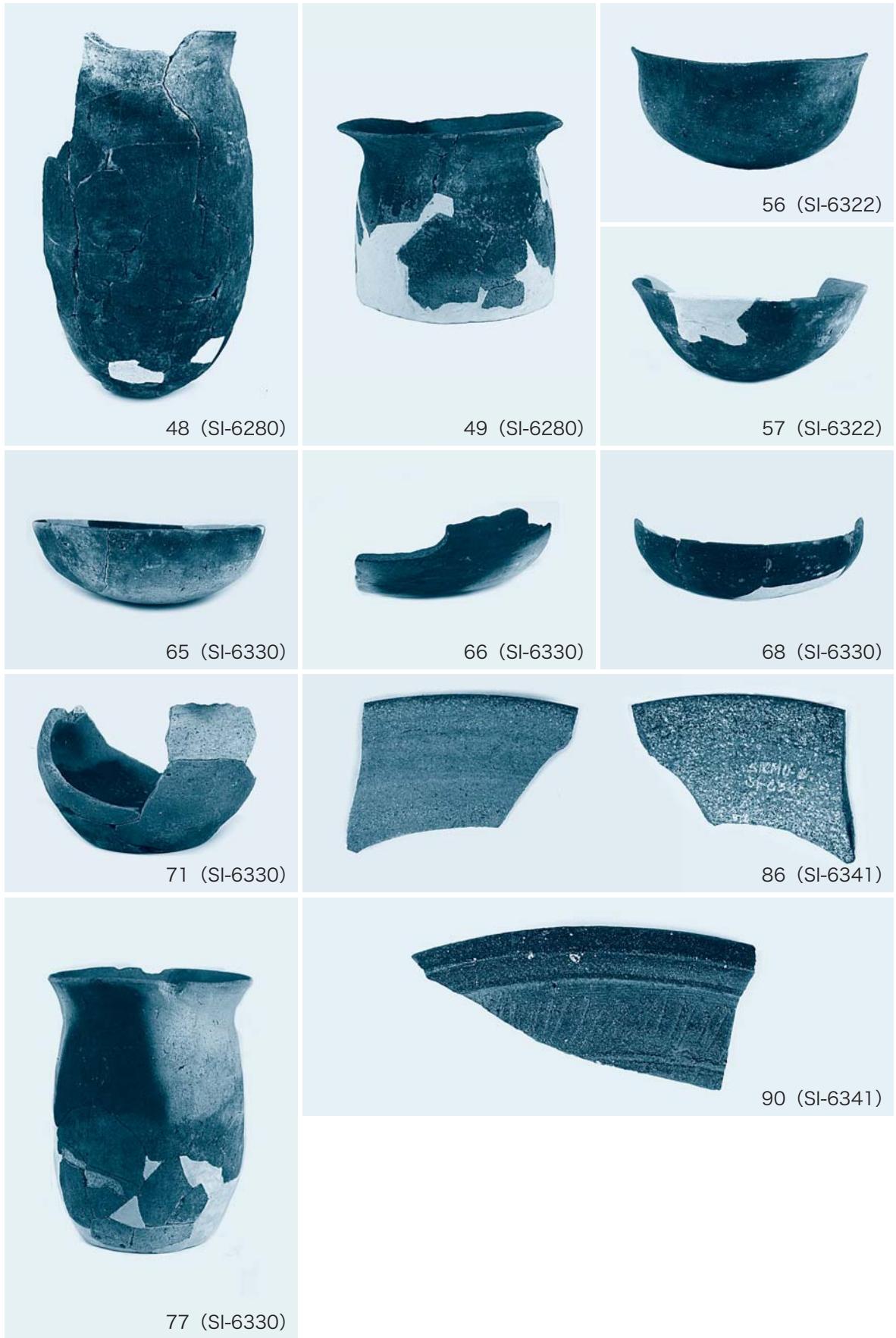


SK-6522・6523完掘全景(南より)

図版二十二 森後遺跡(六区)遺物写真



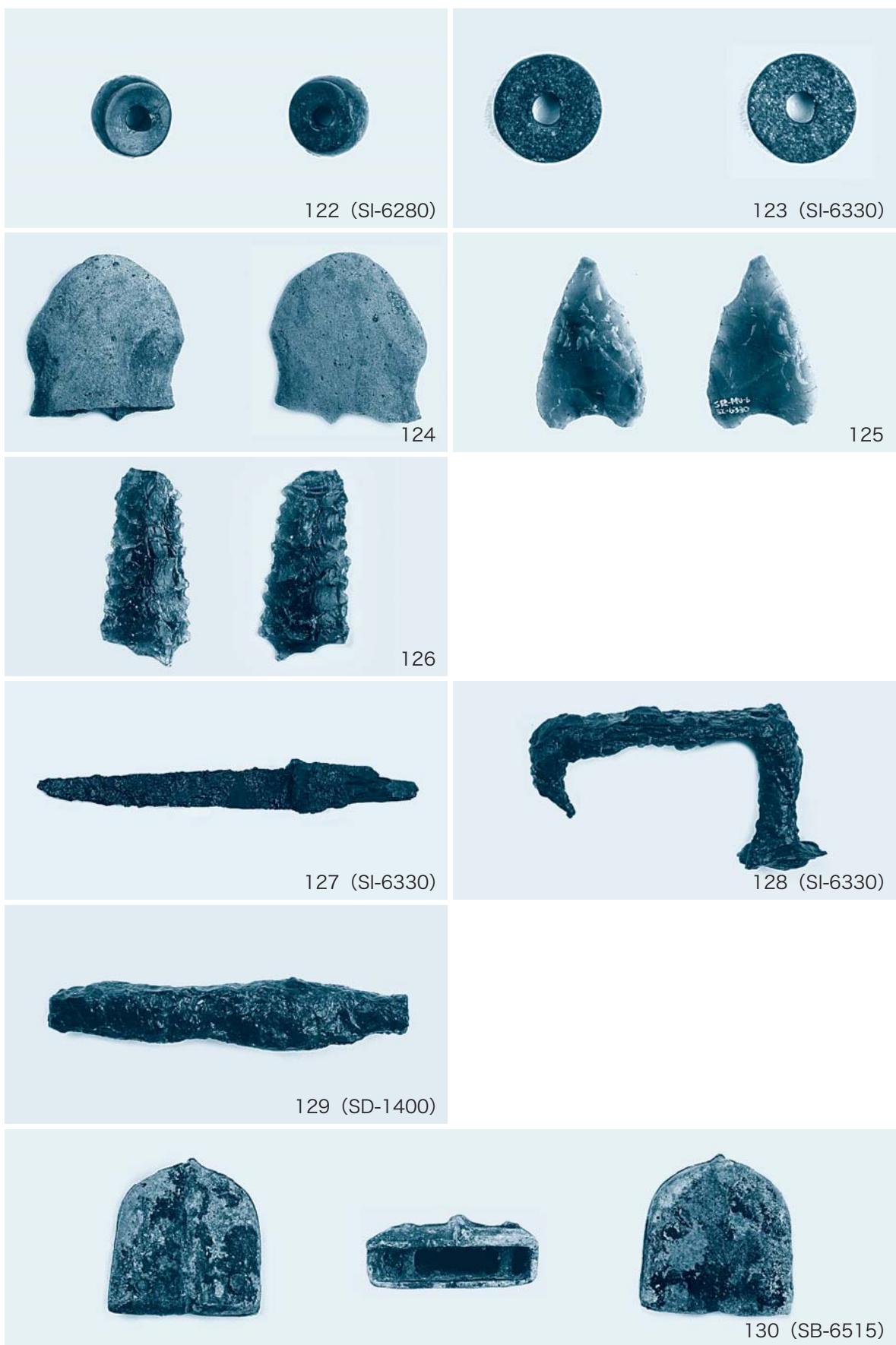
図版二十三 森後遺跡（六区）遺物写真



図版二十四 森後遺跡(六区)遺物写真



図版二十五 森後遺跡（六区）遺物写真



報告書抄録

ふりがな	もりうらいせき
書名	森後遺跡
副書名	緊急地方道路整備事業一般国道293号鹿子畠バイパスに伴う埋蔵文化財発掘調査
卷次	I
シリーズ名	栃木県埋蔵文化財調査報告
シリーズ番号	第319集
編著者名	板橋正幸 鈴木芳英
編集機関	財団法人とちぎ生涯学習文化財団 埋蔵文化財センター
所在地	〒329-0418 栃木県下野市紫474番地 TEL 0285-44-8441
発行機関	栃木県教育委員会 財団法人とちぎ生涯学習文化財団
発行年月日	西暦 2009年3月27日 (平成21年3月27日)

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 °' "	東経 °' "	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	遺跡番号					
もりうらいせき 森後遺跡	さくら市 かのこはた 鹿子畠	09214		36°43'4"	140°3'45"	20070402～ 20071031 20080107～ 20080131	4,710	緊急地方道路 整備事業 (一般国道293 号鹿子畠バイ パス)

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
森後遺跡	集落	古墳時代前期	竪穴住居3軒	土師器	
	集落	古墳時代中期	竪穴住居1軒	土師器	
	集落	古墳時代 終末期	竪穴住居9軒 土坑2基	須恵器、土師器、石製品(棗玉・白玉)、鉄 製品	
	官衙関連	奈良・平安 時代	竪穴住居1軒 掘立柱建物20棟 掘立柱廻3列 井戸1本 溝4条	須恵器、土師器、灰釉陶器、銅製品	
	集落・墓域	中世・近世	方形竪穴遺構1基 井戸1本 土坑1基 溝3条	陶器	
		時期不明	竪穴状遺構1基 溝8条 土坑89基		

要約	森後遺跡は、さくら市鹿子畠地内に所在し、喜連川丘陵内を南北に流れる江川左岸の低位段丘面に立地している。遺跡の南端は那須烏山市との境界に接している。遺跡の発掘調査は、江川南部I地区の県営圃場整備事業に伴う発掘調査が平成17年度から実施された。平成17年度には国道293号北側の1～3区(24,120m ²)、平成18・19年度には国道南側の4・5区(11,400m ²)の調査が行われ、平成19年度は国道293号バイパス部分の調査(6区)と同時期に行われた。調査面積は、6区(4,710m ²)と併せると約40,000m ² にも及ぶ大規模な調査となった。遺構総数は、古墳時代前期から奈良・平安時代の竪穴住居132軒・奈良・平安時代の掘立柱建物163棟等となり、この地域でも最大規模の遺跡となった。6区の調査区は、4・5区の中央を東西に貫く形で設定された。主な遺構は、調査区東端の埋没谷から西に集中して存在している。古墳時代前期の竪穴住居はほぼ中央にまとまり、終末期の住居はほぼ全体的に見られる。掘立柱建物は、全て古代の範疇内と考えられ、調査区中央部と西端の2箇所に集中区が見られる。調査区中央部の掘立柱建物群は、5区内の建物を含めて17棟が規則的に配置されている。西端部の建物群は、3区から南に続く大溝に囲まれた内側に南北に長大な側柱式建物と大型の東西棟建物を設置している。
----	--

1:1000

森後遺跡航空写真測量図



1:1000

0 10 20 50 100 200m

栃木県埋蔵文化財調査報告第319集

森後遺跡I

—緊急地方道路整備事業一般国道293号鹿子畠バイパスに伴う埋蔵文化財発掘調査—

発行 栃木県教育委員会

宇都宮市塙田1-1-20

TEL 028(623)3425

財団法人とちぎ生涯学習文化財団

宇都宮市本町1-8

TEL 028(643)1011

平成21年3月27日発行

編集 財団法人とちぎ生涯学習文化財団

埋蔵文化財センター

下野市紫474番地

TEL 0285(44)8441

印刷 株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷
